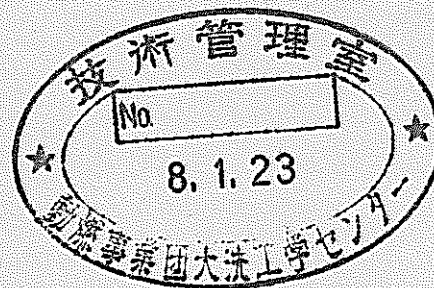


高速実験炉「常陽」第10回定期点検報告書

電源設備定期点検時のプラント操作

1995年10月



動力炉・核燃料開発事業団
大洗工学センター

複製又はこの資料の入手については、下記にお問い合わせください。

〒311-13 茨城県東茨城郡大洗町成田町4002

動力炉・核燃料開発事業団

大洗工学センター システム開発推進部・技術管理室

Enquires about copyright and reproduction should be addressed to: Technology Management Section O-arai Engineering Center, Power Reactor and Nuclear Fuel Development Corporation 4002 Narita-cho, O-arai-machi, Higashi-Ibaraki, Ibaraki-ken, 311-13, Japan

動力炉・核燃料開発事業団 (Power Reactor and Nuclear Fuel Development Corporation)

高速実験炉「常陽」第10回定期点検報告書

電源設備定期点検時のプラント操作

舟木 功* 則次 明広* 山崎 学*
山田 守昌* 米川 満* 小林 哲彦*
田村 政昭*

要 旨

本報告書は、高速実験炉「常陽」第10回定期点検期間中の平成5年5月29日から30日及び平成5年8月30日から9月15日に実施した電源設備定期点検時のプラント操作、電源操作並びに経験等についてまとめたものである。

今回の電源設備点検は、一般系電源設備B系（一部A系含）、非常系電源設備D系（一部C系含）及び交・直無停電電源設備について行った。

これらの作業時のプラント状態は、1次・2次主冷却系にナトリウムを充填したまま炉心崩壊熱を主冷却系で除去する状態と、1次系ナトリウムをGL-8,600mmまでドレンして炉心崩壊熱除去及び予熱を予熱N₂ガス系で行い、2次系についてもナトリウムを全ドレンした状態で実施した。点検前後のプラント操作及び電源操作は直員が行い、かつ、電源操作時は点検担当者が立ち会う体制で実施した。

この結果、第10回電源設備定期点検は、無事予定通り終了した。

目 次

1. 緒言	1
2. 「常陽」電源設備の概要	2
2.1 受電・変電設備	2
2.1.1 受電設備	2
2.1.2 メタクラ設備	3
2.1.3 パワーセンター設備	3
2.1.4 非常系100V電源設備	4
2.2 非常用電源設備	4
2.3 無停電電源設備	5
2.3.1 交流無停電電源設備	5
2.3.2 直流無停電電源設備	5
2.4 補助電源設備	6
3. 点検工程及びプラント状態	10
3.1 電源設備点検工程	10
3.2 プラント状態	18
4. 電源設備の停電・復電操作の基本	38
4.1 一般系メタクラ系 (1A, 1B-M/C) の場合	38
4.2 一般系パワーセンター系 (2B, 3B-P/C) の場合	39
4.3 非常系メタクラ系 (1C-M/C) の場合	39
4.4 非常系メタクラ系 (1D-M/C) の場合	40
4.5 非常系パワーセンター系 (2D, 3D, 3S, 4C, 4S, 4D, 2HC, 1HC) の場合	41
4.6 無停電電源設備 (5C, 5D, 7C, 7D 整流装置, 6C, 6Dインバータ及び 蓄電池, 5C, 5D, 7C, 7S, 7D, 6C, 6S, 6D電源盤) の場合	41
5. プラント対策	43

6. プラント経験	44
7. 管理体制	45
8. 結言	46
9. 謝辞	47

参 考 資 料

1. プラント操作チェックシート	48
2. 電源設備操作チェックシート	93
3. プラント状態表	237

添 付 資 料

一般系電源設備点検

1. 一般照明電源切替要領書	301
2. 電源喪失時負荷投入チェックシート	304
3. 電源喪失に伴う付属空調復旧操作	311
4. 格納容器雰囲気監視装置停止・復旧要領書	312
5. FFD-CG法 停止・起動要領書	313
6. 1C-M/C点検に伴う2次予熱ヒータ母線連絡時の負荷制限	319

非常系電源設備点検

1. 弁ロックリスト	320
2. 仮設電源継込み・復旧要領書	339
3. 格納容器雰囲気監視装置停止・復旧要領書	393
4. FFD-CG法 停止・起動要領書	394
5. N ₂ 気化器温度監視記録	400
6. オーバフロー系・1次純化系電磁ポンプダクト温度監視記録	402
7. 2次系ドレン配管温度記録	405
8. 1次系Arガス配管, 1次系ドレン配管温度監視記録	406

1. 緒 言

高速実験炉「常陽」は、高速増殖炉の技術経験を得ることを目的として、昭和45年3月に建設が開始され、増殖用炉心（MK-I炉心）で昭和52年4月23日に初臨界を達成した。その後、熱出力を50MW、75MWと段階的に上昇させて各種の性能試験を実施し、更に第2の目的である燃料及び材料の照射施設として、昭和57年11月22日に照射用炉心（MK-II炉心）で初臨界を達成した。それ以来、照射施設として熱出力100MW定格出力運転第27サイクルを実施した後、第10回定期点検に入った。

今回の電源設備点検は、一般系電源設備（1A, 1B）、非常系電源設備（1C, 1D）と交・直流無停電電源設備、一般系（2B, 3B）及び非常系（2D, 3D, 3S, 4C, 4D, 4S, 1HD, 2HD）に分けて行った。

点検時のプラント状態は、一般系電源設備（1A, 1B）は、従来通り炉心崩壊熱除去の容易性を考慮して、温態待機状態で実施した。一方、無停電電源設備の点検では、無停電電源をプラントの計装・制御用として使用していることから、1次・2次主冷却系にナトリウムを充填した温態待機状態でD系からC系への電源切替えを行った場合、機器の起動・停止が多くプラント操作が繁雑となり、安定維持が困難であることから、ナトリウムを主系統からドレンした状態で実施した。

以上のようなプラント状態を形成するにあたって、定期検査の全工程との兼ね合いから電源設備点検は、平成5年5月29日から30日、平成5年8月30日から9月15日に分けて実施した。尚、点検期間中、電源設備の停電及び切替操作が多く、これに伴いナトリウム機器をはじめ、プラント全体の機器の起動・停止も多くなり、更に特殊なプラント操作も必要なことから、電源設備点検に伴うプラント操作、電源操作等の要領書の作成・検討をワーキング・グループを結成し行った。

本報告書は、これらの経過を踏まえて実施した第10回電源設備点検の電源設備操作・プラント操作時の経験・実績を、今後の電源設備点検時の参考に供するため、まとめたものである。

2. 「常陽」電源設備の概要

電源設備は、原子炉の運転、監視及び安全確保のために運転を必要とする補機、制御盤等に電源を供給すると共に、外部電源の使用が不可能な時には原子炉を安全に停止するために必要な電源を供給するものである。Fig. 2.1 に「常陽」電源設備系統図を、Fig. 2.2 (1/2, 2/2)に電源盤配置図を示す。

2.1 受電・変電設備

受電・変電設備は、大洗工学センター大洗変電所から地中送電線によって受電エリアに設置された常陽変電所に6.6 kV 1回線を受電し、主変圧器で3.3 kVに降圧する受電設備、主変圧器で3.3 kVに降圧した電源を受電して所内高圧補機及び高圧コントロールセンターに給電するメタクラ設備、メタクラ設備より受電して低圧(420 V及び210 V)に降圧後、所内低圧補機、低圧コントロールセンター及び各分電盤に給電するパワーセンター設備と計測制御専用の電源を給電する電源設備(AC・DC 110 V)で構成されている。

2.1.1 受電設備

受電設備は、大洗工学センター大洗変電所の6.6 kV閉鎖型配電盤から6.6 kV地中送電線(OFケーブル)で6.6 kV 1回線を高速実験炉敷地内の常陽変電所6.6 kV閉鎖型配電盤に引き込み、主変圧器で3.3 kVに降圧して高速実験炉の所内に3.3 kVを配電する設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 6.6 kV閉鎖型配電盤
- (2) 主変圧器(タップ切替装置付)
- (3) 3.3 kV屋外用閉鎖型配電盤
- (4) 転送引き外し装置

2.1.2 メタクラ設備

メタクラ設備は、主変圧器で3.3 kVに降圧された電源を受電して、所内高圧補機及び高圧コントロールセンターに給電する高圧配電設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 1 A及び1 Bメタクラ (一般系3.3 kVメタクラ)
- (2) 1 C及び1 Dメタクラ (非常系3.3 kVメタクラ)

1 A及び1 Bメタクラの給電対象は、外部電源（商用電源）が健全な時に運転される補機類である。一方、1 C及び1 Dメタクラの給電対象は、通常外部電源により運転され、外部電源が使用不可能な場合（停電及び受電設備のメンテナンス時等）にはディーゼル発電機から受電して運転する補機類である。

2.1.3 パワーセンター設備

パワーセンター設備は、メタクラより受電した電源をパワーセンター変圧器にて低圧（420 V及び210 V）に降圧し、所内低圧補機、低圧コントロールセンターに給電する低圧配電設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 2 A及び2 Bパワーセンター (一般系420 Vパワーセンター)
- (2) 3 A及び3 Bパワーセンター (一般系210 Vパワーセンター)
- (3) 2 C, 2 D及び2 Sパワーセンター (非常系420 Vパワーセンター)
- (4) 3 C, 3 D及び3 Sパワーセンター (非常系210 Vパワーセンター)
- (5) 1 HC, 1 HD及び2 HC, 2 HDパワーセンター (非常系210 V
パワーセンター)

2 A, 2 B及び3 A, 3 Bパワーセンターの給電対象は、外部電源が健全な時に運転する補機類である。

2 C, 2 D, 2 S及び3 C, 3 D, 3 Sパワーセンターの給電対象は、通常外部電源により運転され、外部電源が使用不可能な場合（停電及び受電設備のメンテナンス

時等)には、ディーゼル発電機から受電して運転する補機類である。

非常系1HC, 1HD及び2HC, 2HDパワーセンターは、前述の非常系パワーセンターと同様な運転をするが、それぞれ1次及び2次冷却系のナトリウム予熱のための電気ヒータ専用のパワーセンターである。

2.1.4 非常系100V電源設備

非常系100V電源設備は、2C及び2Dパワーセンターから受電した電源を110Vに降圧して計測用、制御用として各分電盤に電源を供給する設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 4C, 4D及び4S電源盤(非常系110V電源盤)

2.2 非常用電源設備

非常用電源設備は、外部電源が使用不可能な場合にプラントを安全に停止するのに必要な電源を給電するための設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) ディーゼル機関及び同補機
- (2) ディーゼル発電機
- (3) 制御盤
- (4) 同期盤

ディーゼル発電機は、同一仕様のもものが2機設置され、1号発電機は非常系1Cメタクラに、2号発電機は、非常系1Dメタクラに接続されている。

外部電源健全時は非常用電源として起動可能な状態で待機しており、1Cメタクラの停電で1号発電機が、1Dメタクラの停電で2号発電機がそれぞれ限時継電器で停電を検知した後、自動起動する。また、非常用負荷には、予め決められた順序に従って発電機から給電される。

2.3 無停電電源設備

無停電電源設備は、2 C及び2 Dパワーセンターから受電した電源を110 Vに降圧して安全保護回路、格納容器隔離弁、放射線監視設備、ナトリウム漏洩検出器、電磁流量計、ポンプモータ、電気設備操作回路等、瞬時の停電も許されない負荷へ給電する設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 交流無停電電源設備
- (2) 直流無停電電源設備

2.3.1 交流無停電電源設備

交流無停電電源設備の設備構成を以下に示す。

- (1) 5 C及び5 D電源設備
- (2) 6 C, 6 D及び6 S電源設備
- (3) 5 C及び5 D蓄電池

交流無停電電源設備は、通常5 C及び5 D電源設備にて整流され、5 C及び5 D蓄電池を浮動充電しながら6 C及び6 D電源設備にて再び交流に変換し、各負荷に給電している。外部電源喪失時には、5 C及び5 D蓄電池より各負荷への給電が継続されており、ディーゼル発電機が起動し、電圧確立後はディーゼル発電機より各負荷へ給電される。

2.3.2 直流無停電電源設備

直流無停電電源設備の設備構成を以下に示す。

- (1) 7 C, 7 D及び7 S電源設備
- (2) 7 C及び7 D蓄電池

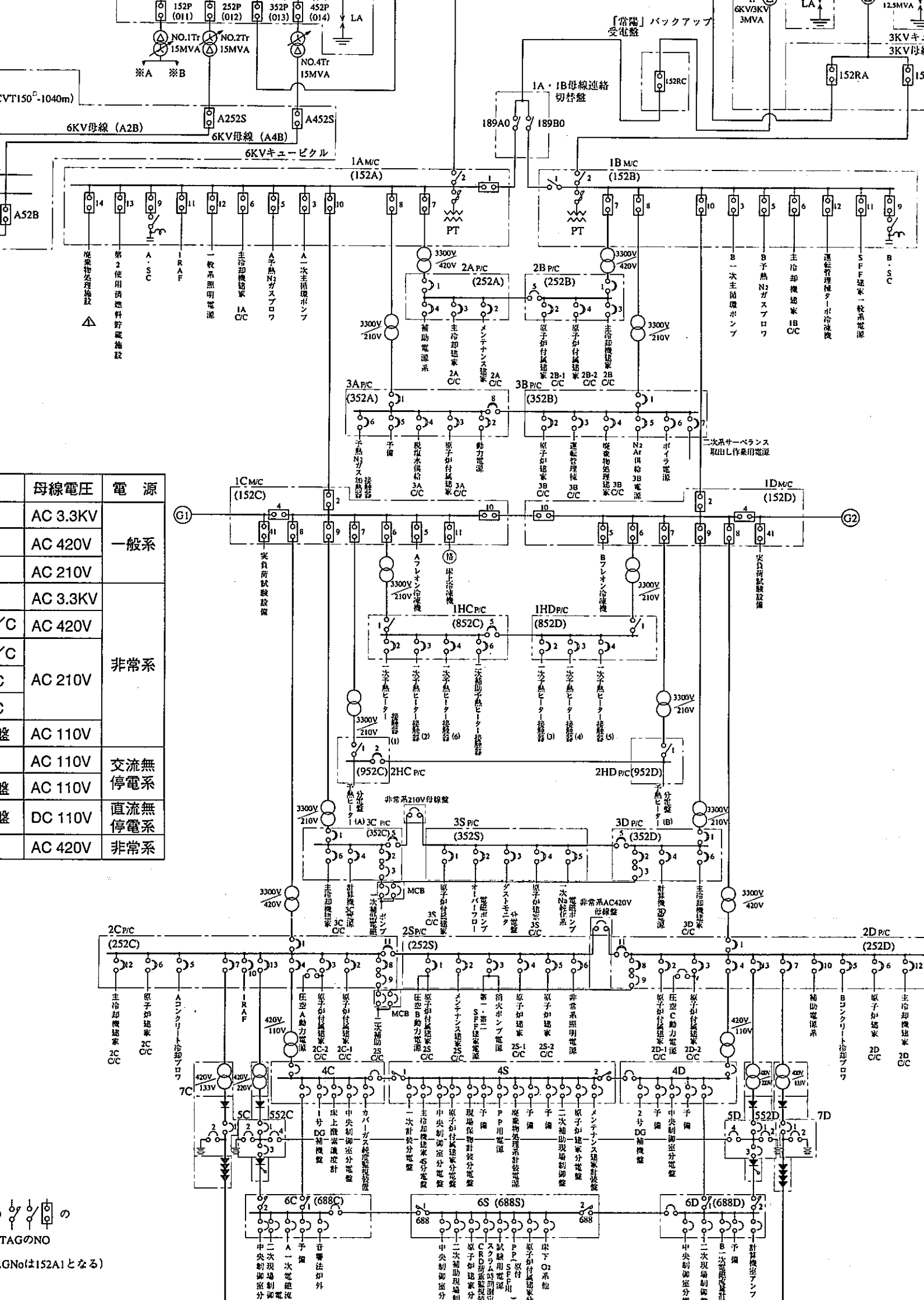
直流無停電電源設備は、通常7C及び7D電源設備にて整流され、7C及び7D蓄電池を浮動充電しながら各負荷に給電している。外部電源喪失時には、7C及び7D蓄電池より各負荷への給電が継続されており、ディーゼル発電機が起動し、電圧確立後はディーゼル発電機より各負荷へ給電される。

2.4 補助電源設備


補助電源設備は、負荷容量の増加及び電源設備点検時の仮設電源を確保するために増設されたもので、主に各現場分電盤に給電される。以下に設備構成を示す。

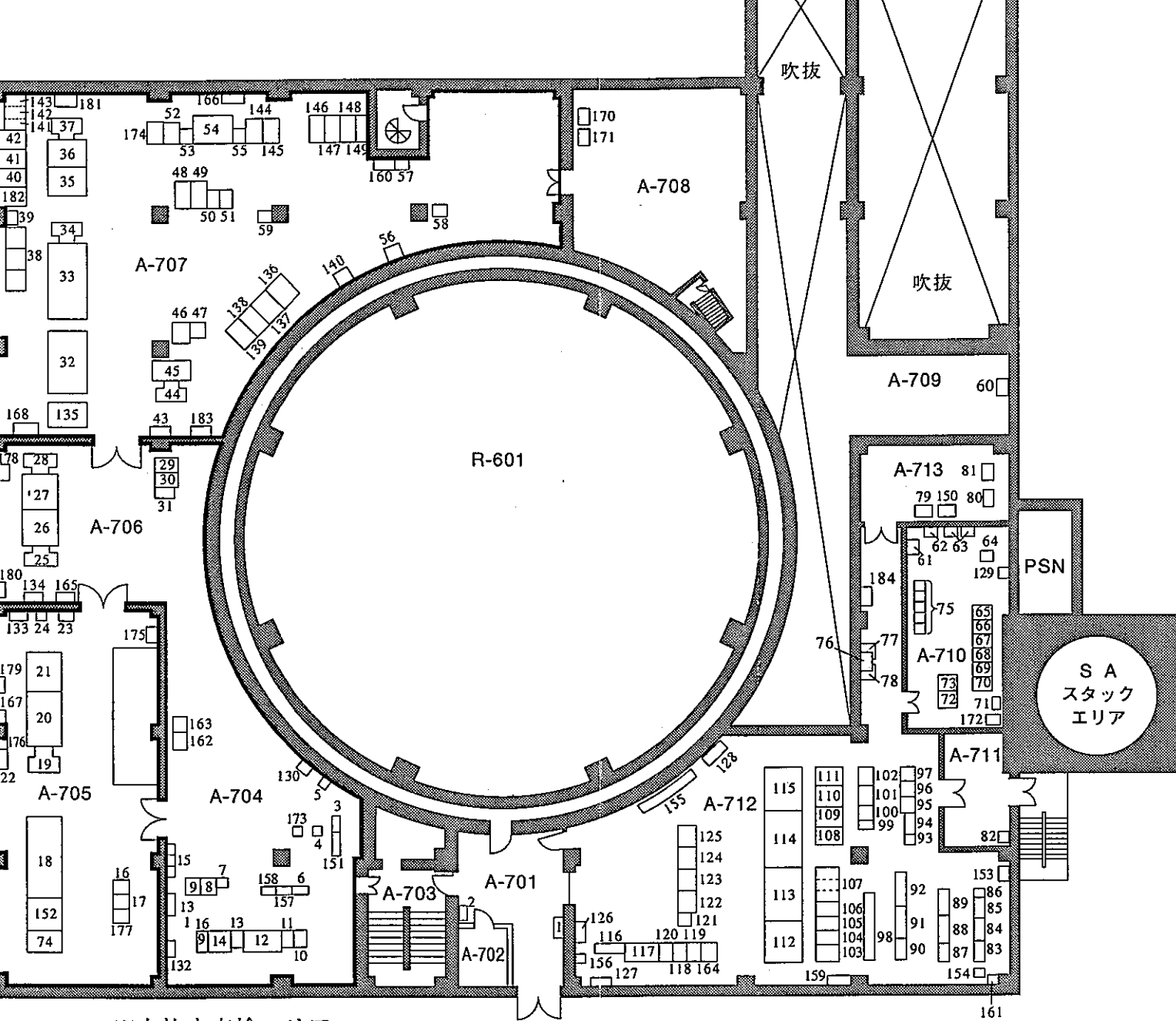
- (1) 補助電源整流装置
- (2) 補助電源インバータ
- (3) 補助電源蓄電池

補助電源設備は、通常非常系2Dパワーセンターから受電し、一部は変圧器にて降圧(420/110, 210V)される。また、一部は整流装置にて整流し、蓄電池を浮動充電しており、外部電源喪失時には、インバータにより交流に変換して、各負荷に給電している。一方、非常系2Dパワーセンターからの受電が不可能な場合は、一般系2Aパワーセンターからの受電が可能である。



母線電圧	電源
AC 3.3KV	一般系
AC 420V	
AC 210V	
AC 3.3KV	非常系
AC 420V	
AC 210V	
AC 110V	交流無停電系
AC 110V	
DC 110V	直流無停電系
AC 420V	

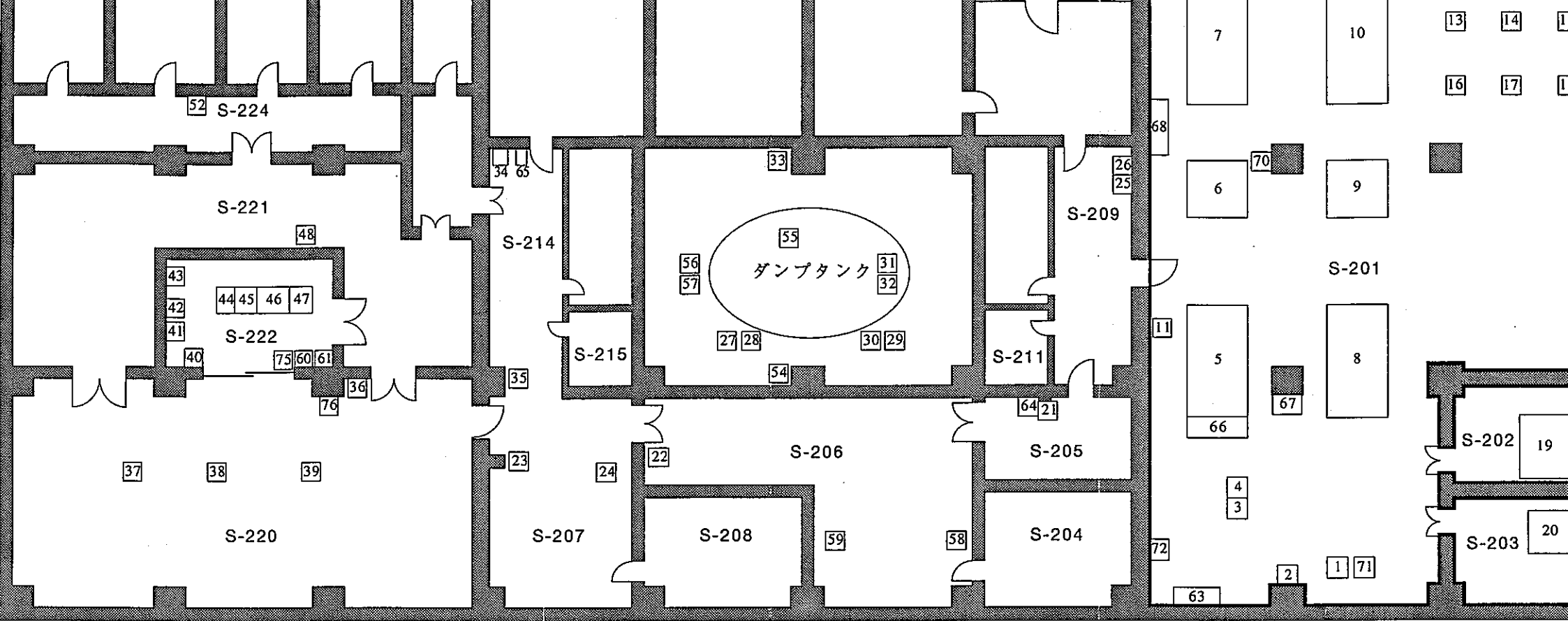
 の
 TAGのNO
 (G)Not#152A1となる)



※太枠内点検エリア

9	整流装置盤
10	6S電源盤
11	6C
12	6Cインバータ盤
13	5C整流装置盤
14	5C電源盤
18	1C M/C盤
19	2C P/C 2S P/C用変圧器
20	2C P/C盤
21	2S P/C盤
25	3C P/C用変圧器
26	3C P/C盤
27	1HC P/C盤
28	1HC P/C用変圧器
29	4S電源盤
30	4C
31	電源設備操作7C分電盤
32	1D M/C盤
33	2D P/C盤
34	2D P/C用変圧器 (名板無し)
35	3S P/C盤
36	3D P/C盤
37	3S,3D P/C用変圧器 (名板無し)
44	1HD P/C用変圧器
45	1HD P/C盤
46	4D電源盤
47	電源設備操作7D分電盤
48	7D整流装置盤
49	7D負荷電圧補償装置盤
50	7D電源盤
51	7S
52	5D電源盤
53	5D整流装置盤
54	6Dインバータ盤
55	6D電源盤
136	補助電源受電盤
144	非常系AC420V母線盤
145	AC210V
146	インバータ盤
147	整流器盤

部屋番号	部屋名称	部屋番号	部屋名称
R-601	コントロールセンタエリア	A-707	ディーゼルパワーセンタ室
A-701	ホー ル	A-708	蓄電池室
A-702	トイ レ (コールド)	A-709	回転移送器駆動装置室
A-703	階 段 室	A-710	計 算 機 室



※太枠内点検エリア

部屋番号	部屋名称	部屋番号	部屋名称
S-201	一般系電源盤室	S-215	パイプシャフト
S-202	変圧器室 (No.1)	S-216	ナトリウム溜点検室 (A)
S-203	変圧器室 (No.2)	S-217	ナトリウム溜室 (A)
S-204	ダクトスペース (A)	S-218	ナトリウム溜室 (B)
S-205	前室 (No.3)	S-219	ナトリウム溜点検室 (B)
S-206	ファン室 (No.1)	S-220	ボイラー室
S-207	ファン室 (No.2)	S-221	機器搬入エリア
S-208	ダクトスペース (B)	S-222	ボイラー制御室
S-209	前室 (No.1)	S-223	ケーブル室
S-210	階段室 (A)	S-224	油タンク室廊下
S-211	倉庫	S-225	油タンク室 (No.1)
S-212	2次系ダンプタンク室	S-226	油タンク室 (No.2)
S-213	階段室 (B)	S-227	油タンク室 (No.3)

番号	名称	盤番号
3	電源設備操作7S分電盤	647
4	スペースヒータ分電盤	648
5	主冷却機建家1B M/C	642
6	〃 2B P/C	644
7	〃 3B P/C	646
8	〃 1A M/C	641
9	〃 2A P/C	643
10	〃 3A P/C	645
11	電源盤 S-B1-3	
12	〃 S-MB-2	
13	コンデンサ油入開閉器操作箱	
14	〃	
15	〃	
16	〃	
17	〃	

3. 点検工程及びプラント状態

3.1 電源設備点検工程

電源設備点検工程表をTable 3.1 に、電源切替工程表をTable 3.2 ～ 3.4に示す。

工程の作成に当たっては、点検担当である原子炉第2課と協議の上決定した。尚、工程検討に際しては、以下の点を考慮して決定した。

- (1) 各メタクラ、パワーセンタ及び電源盤の点検または更新等の作業の所要時間
(原則として作業時間は、8:30～17:00)
- (2) 点検作業人員
- (3) プラントを健全に保つための組合せ
- (4) 電源設備操作回数を極力少なくする組合せ
- (5) 電源設備盤配置

点検の結果、電源設備点検工程表を変更しなければならないような不具合箇所もなく予定通り終了した。

No.	5月 29日 (土)		5月 30日 (日)		5月 31日 (月)		6月 29日 (木)		6月 30日 (金)		6月 31日 (火)		7月 1日 (水)
	1A・1B-M/C		1C-M/C		1D-M/C		仮設電源布設・補助電源切替		C系無停電系電源盤点検開始		6C・6S電源盤		4C
	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直
変電所	①	⑧											
-M/C	②	⑨											
-M/C	③	⑩											
-P/C	④	⑪											
-P/C	⑤	⑫											
-P/C	⑥	⑬											
-P/C	⑦	⑭											
-M/C			⑪	⑫									
-M/C					⑪	⑫							
-P/C			⑦	⑧	⑬	⑭							
-P/C					⑦	⑧	⑬	⑭					
-P/C			⑨	⑩	⑮	⑯							
-P/C					⑨	⑩	⑮	⑯					
-P/C			⑤	⑥	⑰	⑱							
-P/C			①	②	⑳	㉑							
-P/C					⑤	⑥	⑰	⑱					
-P/C			③	④	⑲	㉒							

	7 C電源盤		C系無停電系電源盤点検終了		D系無停電系 7 S電源盤		7 D電源盤		4 D電源盤		6 D電源盤		D系無停
	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直
- C / C													
- C / C									①		②		
電源設備													
整流装置				④									
C電源				⑤									
整流装置							⑩						
D電源							⑨						
ンバータ				⑥									
C電源				⑦	⑧								
S電源				⑨	⑩								
ンバータ							⑧						
D電源							⑥	⑦				①	②
整流装置				①									
C電源		②	③										
S電源				①	②								
整流装置					⑤								
D電源				③	④			①	②				

	仮設電源復旧 (予熱N ₂ 除く)		2B・3B-P/C		2D-P/C		3D・3S-P/C		1HD・2HD-P/C		1HD・2HD-P/C		予熱N ₂
	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直
-C/C													
-C/C					⑦	⑧	⑪	⑫					
電源設備													
整流装置													
C電源													
整流装置					①		⑬						
D電源													
ンバータ													
C電源													
S電源													
ンバータ													
D電源													
整流装置													
C電源													
S電源					②	③	⑯	⑰					
整流装置					⑥		⑬						
D電源					④	⑤	⑭	⑮					

3.2 プラント状態

電源設備の点検対象盤とプラントの最適状態との兼ね合いから電源設備点検は、平成5年5月29日から30日と8月25日から9月15日に分けて行った。Table 3.5～3.7 にプラント状態表を、Table 3.8～3.11に機器の運転状態表を示す。

電源設備点検は、一般系（1A, 1B）及び非常系（1C, 1D）の場合は、原子炉崩壊熱除去の容易性とプラントの安定性を考慮して、1次・2次主冷却系にナトリウムが充填され、崩壊熱除去は主冷却系にて行う状態とした。格納容器床下雰囲気系は、主冷却系にナトリウムが充填された状態ではあるが、床下作業準備として窒素雰囲気から空気雰囲気に置換され、床上空気雰囲気系と連結されている状態であった。

一方、無停電電源設備の点検・更新開始後は、無停電電源が計装・制御用の電源であるため、プラント維持の問題と原子炉崩壊熱除去との観点から、1次及び2次主冷却系はナトリウムをドレンした状態とし、原子炉崩壊熱除去及び原子炉容器の予熱は、予熱 N_2 ガス系にて行った。その他、格納容器床上雰囲気系は、下部案内管交換作業、燃料取扱設備の点検等により機器搬入口を開放していたため、格納容器床上雰囲気系、アニユラス部、付属建家間の圧力バウンダリが開放されていた。このため、アニユラス部排気ファンは「停止」、格納容器床上雰囲気系の圧力制御は「手動」とし、アニユラス部及び格納容器内は、付属建家の空調により負圧（大気との差圧）に保持されていた。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
工 程																															
検 項 目																															
ント状態 >																															
-6100mm																															
-7500mm																															
-8600mm																															
-9540mm																															
流量 100%																															
20%																															
ポニ 0%																															
温度 500℃																															
250℃																															
200℃																															
常温																															
流量 100%																															
0%																															
ドレン																															
温度 472℃																															
250℃																															
200℃																															
常温																															
運 転																															
停 止																															
通 常																															
低 極																															
通 常																															

回転プラグ分解点検

1号D/G点検

フロン冷凍機点検

GL - 6100 mm

20%

200℃

100%

200℃

停 止

通 常

通 常

1A,

		下部案内管(LGT) 交換作業(3B3, 3D3)																													
工 程	新 LGT 装荷 (3B3)					LGT 引 抜 (3D3)					新 LGT 装荷 (3D3)					MARICO 付 帯 電															
	炉内燃料取扱										炉内燃料取扱																				
検 項 目											仮設電源布設, 弁ロック実施, 仮										無停電										
																					5C 整流装置 6C インバータ 7C 整流装置 7C 整流装置					装置一置 タ補					
ント状態 >		GL - 6100 mm										GL - 8600 mm										GL - 6100 mm									
-6100mm -7500mm -8600mm -9540mm																															
流量 100% 20% ポニ 0%												停止										20%									
温度 500℃ 250℃ 200℃ 常温												200℃																			
流量 100% 0% ドレン												100%																			
温度 472℃ 250℃ 200℃ 常温												200℃																			
運 転 停止 下												運 転										停止									
運 転 停止																						停止									
ス 通 常 低 任 極 低												通 常																			
ス 通 常 低 任 極 低												通 常																			

工 程	無停電電源設備点検										
検 項 目	4C, 4S点検	7D点検	6D点検	仮設電源 弁リク復旧	3D, 3S点検						
	7C点検	7S点検	4D点検		2B, 3B点検	2HD, 1HD点検					
	5C 整流装置 6C 整流装置 7C 整流装置	▼ 整流装置 置圧補償装置	▼ 整流装置 置圧補償装置		2D点検	第1.2SFF非常系電源点検	第1.2SFF一般系電源点検				
	5D 整流装置 6D 整流装置 7D 整流装置	▼ 整流装置 置圧補償装置	▼ 整流装置 置圧補償装置	5D 整流装置 6D 整流装置 7D 整流装置	置圧補償装置	復旧					
ント状態 >											
	-6100mm -7500mm -8600mm -9540mm	G L - 8 6 0 0 mm									
流量	100% 20% ポニ 0%	ドレン									
温度	500℃ 250℃ 200℃ 常温	200℃									
流量	100% 0% ドレン	ドレン									
温度	472℃ 250℃ 200℃ 常温	常温									
運転停止	運転停止 下	運 転									
系 運 転	停止	通 常									
ス	通低極	通 常									
二	通 常	通 常									

			1A・1B-M/C点検		1C-M/C点検		1D-M/C点検				
			3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直
系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C	2HC									
	2HD, 6D, 7D	2HD									
ガスブロウ	1A 7S, 4S 1B	A									
		B									
N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A									
		B									
系 循環ポンプ	2C	A									
	2D	B									
水ポンプ	2C	A									
	2D	B									
系 湯水ポンプ	2C	A									
	2D	B									
気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A									
		B									
		C									
ベピコン	補助電源 (2A or 2D)	自動									
		停止									
廃ガス 圧縮機	2C 4S	A									
	2D	B									
用 廃ガス圧縮機	3S, 4S										
ガス ブロウ	2C 4S 2D	A									
		B									
循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B									
		C, D									
クリートブロウ	2C	A									
	2D	B									
ルプースタブロウ	2C, 6C	A									
	2D, 6D	B									
容器常用 ・排気ファン	2C	A									
	2D	B									
ン冷凍機	1C, 2C	A									
	1D, 2D	B									
冷却ファン	2C 4S	A									
	2D	B									
ュラス部	2C	A									

停止中

停止中

			仮設電源布設・弁ロック	C系無停電電源設備停止	6C・6S電源盤点検	4C・4S電源盤点検	7C電源盤点検	C系無停電		
			3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	
主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			26日ドレン	停	止	中		
	1B, 6C, 6D, 4S	B								
主循環ポンプ (ボニーモータ)	7C	A			26日ドレン	停	止	中		
	7D	B								
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A								
		1B								
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A								
		2B								
主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A								
	2D	B								
補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線			26日ドレン	停	止	中		
	3D, 7D, 6D	D母線								
パフロー 電磁ポンプ	3S, 4S				26日ドレン	停	止	中		
	6S, 6C									
純化系 電磁ポンプ	3S, 4S				26日ドレン	停	止	中		
	6C									
純化系 冷却ブロウ	2B				26日ドレン	停	止	中		
主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C	A			27日ドレン	停	止	中		
	4S, 6S	B								
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A				停	止	中		
		2A								
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B				停	止	中		
		2B								
主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A				停	止	中		
		2A								
主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B				停	止	中		
		2B								
補助系 電磁ポンプ	2C	C母線			28日ドレン	停	止	中		
	7S, 6S	D母線								
補助系 冷却ファン	2S, 7S	1			28日ドレン	停	止	中		
		2								
純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				27日ドレン	停	止	中		
純化系 電磁ポンプ	3C				27日ドレン	停	止	中		

			仮設電源布設・弁ロック	C系無停電電源設備停止	6C・6S電源盤点検	4C・4S電源盤点検	7C電源盤点検	C系無停電	
			3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直
系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C	2HC							
	2HD, 6D, 7D	2HD							
ガスブロウ	1A	A							
	7S, 4S 1B	B							
N ₂ ガス系 滑油ポンプ	2B	A							
		B							
系 循環ポンプ	2C	A							
	2D	B							
水ポンプ	2C	A							
	2D	B							
系 水ポンプ	2C	A							
	2D	B							
圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C							
	補助電源 (2A or 2D)	自動							
停止									
廃ガス 圧縮機	2C 4S	A							
	2D	B							
用 廃ガス圧縮機	3S, 4S								
ガス ブロウ	2C 4S	A							
	2D	B							
循環 ブロウ	2C 4S	A, B							
	2D	C, D							
クリートブロウ	2C	A							
	2D	B							
ルプースタブロウ	2C, 6C	A							
	2D, 6D	B							
容器常用 排気ファン	2C	A							
	2D	B							
ン冷凍機	1C, 2C	A							
	1D, 2D	B							
冷却ファン	2C 4S	A				停止	中		
	2D	B							
ュラス部	2C	A				停止	中		

			仮設電源布設・弁ロック	C系無停電電源設備停止	6C・6S電源盤点検	4C・4S電源盤点検	7C電源盤点検	C系無停電	
			3直	1～3直	3直	1～3直	3直	1～3直	3直
PL計	補助電源 6SS 4S	運轉 停止							
主PL計	3C 4S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF							
補助PL計	4S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF							
器	2C	A							
却水ポンプ	2D	B							
制御室	2C	A							
空調器	2D	B							
給水ポンプ	2B	A							
		B							
(A)	2C	1							
給気ファン		2							
(B)	2D	1							
給気ファン		2							
器盤室	2D	1							
給気ファン	2C	2							
器盤室	2D	1							
排気ファン	2C	2							
制御室系	2C	1							
給気ファン	2D	2							
制御室系	2C	1							
排気ファン	2D	2							
供給系	2B	1							
給気ファン		2							
供給系	2B	1							
排気ファン		2							
室系	2B	1							
給気ファン		2							
室系	2B	1							
排気ファン		2							
室系	2C	1							
給気ファン	2D	2							
室系	2C	1							

			7 S電源盤D系無停電系停止		6 D電源盤点検		4 D電源盤点検		7 D電源盤点検		D系無停電電源設備停止		仮設電源
			3 直	1~3直	3 直	1~3直	3 直	1~3直	3 直	1~3直	3 直	1~3直	3 直
主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A					停	止	中				
	1B, 6C, 6D, 4S	B											
主循環ポンプ (ボニーモータ)	7 C	A					停	止	中				
	7 D	B											
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A											
		1 B											
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A											
		2 B											
主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A											
	2 D	B											
補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線					停	止	中				
	3D, 7D, 6D	D母線											
パフロー 電磁ポンプ	3 S, 4 S						停	止	中				
	6 S, 6 C												
純化系 電磁ポンプ	3 S, 4 S						停	止	中				
	6 C												
純化系 冷却ブロワ	2 B					停	止	中					
主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A					停	止	中				
		B											
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 A, 4 S	1 A					停	止	中				
		2 A											
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 B, 4 S	1 B					停	止	中				
		2 B											
主循環ポンプ 抵抗ファン	2 A, 4 S	1 A					停	止	中				
		2 A											
主循環ポンプ 抵抗ファン	2 B, 4 S	1 B					停	止	中				
		2 B											
補助系 電磁ポンプ	2 C	C母線					停	止	中				
	7 S, 6 S 2 D	D母線											
補助系 冷却ファン	2 S, 7 S	1					停	止	中				
		2											
純化系 電磁ポンプ	3 C, 7 S					停	止	中					
純化系 電磁ポンプ	3 C					停	止	中					

			7 S 電源盤 D 系無停電系停止		6 D 電源盤点検		4 D 電源盤点検		7 D 電源盤点検		D 系無停電電源設備停止		仮設電源
			3 直	1~3直	3 直	1~3直	3 直	1~3直	3 直	1~3直	3 直	1~3直	3 直
系 予 熱 ヒータ	2HC, 6C, 7C	2 HC											
	2HD, 6D, 7D	2 HD											
ガ ス プロウ	1 A 7 S, 4 S 1 B	A											
		B											
N ₂ ガ ス 系 潤 滑 油 ポンプ	2 B	A											
		B											
系 環 ポ ン プ	2 C	A											
	2 D	B											
水 ポ ン プ	2 C	A											
	2 D	B											
系 水 ポ ン プ	2 C	A											
	2 D	B											
気 圧 縮 機	2 C, 4 C 2 S, 4 S 2 D, 4 D	A											
		B C											
ベ ビ コ ン	補助電源 (2 A or 2 D)	自 動											
		停 止											
廃 ガ ス 圧 縮 機	2 C	A											
	2 D 4 S	B											
用 廃 ガ ス 機 圧 縮 機	3 S, 4 S												
ガ ス プ ロ ウ	2 C 4 S 2 D	A											
		B											
循 環 プ ロ ウ	2 C 4 S 2 D	A, B											
		C, D											
ク リ ー ト プロウ	2 C	A											
	2 D	B											
ル プ ー ス タ プロウ	2 C, 6 C	A											
	2 D, 6 D	B											
容 器 常 用 ・ 排 気 ファン	2 C	A											
	2 D	B											
ン 冷 凍 機	1 C, 2 C	A											
	1 D, 2 D	B											
冷 却 ファン	2 C 4 S 2 D	A						停 止 中					
		B											
ュ ラ ス 部	2 C	A					停 止 中						

			2B・3B-P/C点検		2D-P/C点検		3D・3S-P/C点検		1HD・2HD-P/C点検		1HD・2HD-P/C点検		仮設電源復
			3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直	1~3直	3直
主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A						停	止	中			
	1B, 6C, 6D, 4S	B											
主循環ポンプ (ボニーモータ)	7C	A						停	止	中			
	7D 7S	B											
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A											
		1B											
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A											
		2B											
主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A											
	2D	B											
補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線						停	止	中			
	3D, 7D, 6D	D母線											
バフロー 電磁ポンプ	3S, 4S							停	止	中			
	6S, 6C												
純化系 電磁ポンプ	3S, 4S							停	止	中			
	6C												
純化系 T冷却ブロワ	2B						停	止	中				
主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A						停	止	中			
		B											
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A						停	止	中			
		2A											
主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B						停	止	中			
		2B											
主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A						停	止	中			
		2A											
主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B						停	止	中			
		2B											
補助系 電磁ポンプ	2C	C母線						停	止	中			
	2D 7S, 6S	D母線											
補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1						停	止	中			
		2											
純化系 電磁ポンプ	3C, 7S						停	止	中				
純化系 電磁ポンプ	3C						停	止	中				

4. 電源設備の停電・復電操作の基本

今回の電源設備点検は、以下に示すような手順に基づいて作成した「電源設備操作チェックシート」に従って停電操作及び点検終了後の電源操作を実施した。

4.1 一般系メタクラ系（1A, 1B-M/C）の場合

- (1) 中央制御室にて大洗変電所常陽線用遮断器 352P を「切」にすることにより、商用電源を停電させる。
[一般系メタクラ（1A-M/C, 1B-M/C）が同時に停電する。大洗変電所にて 352P の「切・ロック」をする。]
- (2) 一般系メタクラの停電により、ディーゼル発電機（D/G）が起動し、非常系母線は D/G によって給電される。
- (3) 1号D/G, 2号D/Gが自動起動し、非常系電源設備が順調に運転されていることを確認する。
- (4) 自動起動負荷の確認及び一般系メタクラ停電後のプラント復旧操作を実施する。
（手動起動負荷も含む。）
- (5) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (6) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (7) 電源設備の操作電源及び制御電源用 NFB を「切」にする。
- (8) 電源盤のスペースヒータ用 NFB を「切」にする。

..... 検電・接地後、 点検作業開始

..... 点検作業終了

- (9) 中央制御室にて大洗変電所常陽線用遮断器 352P を「入」にすることにより、一般系電源を給電する。〔大洗変電所にて 352P の「切・ロック」解除後〕

- (10) 一般系メタクラの復電後、非常系母線はD/Gと一般系電源との同期並列運転を行い、D/G負荷から一般系電源へ負荷を移す。

4.2 一般系パワーセンター系（2B, 3B-P/C）の場合

- (1) 各パワーセンター停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置を講ずる。
(予備機が運転可能であればA系の予備機に切替える。)
- (2) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (3) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (4) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。
- (5) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
- (6) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、 点検作業開始

..... 点検作業終了

- (7) 停電と逆の操作を行う。

4.3 非常系メタクラ系（1C-M/C）の場合

- (1) 1Cメタクラ停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
- (2) 2C, 2S, 3Cパワーセンターは、特殊受電を行いD系から給電する。
- (3) 1HC, 2HCパワーセンターは母線連絡を行い、D系から給電する。
- (4) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (5) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (6) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。
- (7) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。

- (8) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、 点検作業開始

..... 点検作業終了

- (9) 停電と逆の操作を行う。

4.4 非常系メタクラ系（1D-M/C）の場合

- (1) 1Dメタクラ停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
- (2) 2D, 3D（3S）パワーセンターは、特殊受電を行いC系から給電する。
- (3) 1HD, 2HDパワーセンターは母線連絡を行い、C系から給電する。
- (4) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (5) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (6) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。
- (7) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
- (8) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、 点検作業開始

..... 点検作業終了

- (9) 停電と逆の操作を行う。

4.5 非常系パワーセンター系（2D, 3D, 3S, 4C, 4S, 4D, 2HC, 1HC）の場合

- (1) 2Dパワーセンターの点検前に次の切替操作を行い電源を確保する。
 - (a) 5D電源特殊受電、5D整流装置停止
 - (b) 7D, 7S電源特殊受電
 - (c) 7D, 7S整流装置停止
 - (d) 4D電源特殊受電
- (2) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (3) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (4) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。
- (5) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
- (6) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。
- (7) 1HC, 2HCパワーセンターの点検は、予熱ヒータ電源「断」による各配管の温度低下があるため、点検作業を短時間に実施すると同時に予熱温度に注意する。

..... 検電・接地後、 点検作業開始

..... 点検作業終了

- (8) 停電と逆の操作を行う。

4.6 無停電電源設備（5C, 5D, 7C, 7D整流装置、6C, 6Dインバータ及び蓄電池, 5C, 5D, 7C, 7S, 7D, 6C, 6S, 6D電源盤）の場合

- (1) 各電源盤の停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
 - (a) 無停電電源設備は主に、制御電源及び計装電源に使用しているため、本電源系の停電、復電の際には機器のトリップ、弁の開閉動作が生じ、プラントに悪

影響を及ぼす。このため、電源操作に当たっては詳細に検討し、適切な措置を行う。（弁ロックや仮設電源の継込みを検討する。）

(2) 各無停電電源設備点検時に、母線切替操作、特殊受電を行う。

(a) 5 C 整流装置、6 C インバータ点検時

- ・ 6 S 電源の母線切替（6 D より受電）
- ・ 6 C 電源の特殊受電（6 D, 6 S より受電）

(b) 5 D 整流装置、6 D インバータ点検時

- ・ 6 D 電源の特殊受電（6 C, 6 S より受電）

(c) 7 C 整流装置更新時

- ・ 7 C 電源の特殊受電（7 D, 7 S より受電）

(d) 7 D 整流装置更新時

- ・ 7 S 電源の母線切替（7 C より受電）
- ・ 7 D 電源の特殊受電（7 C, 7 S より受電）

(3) 停電対象設備を停止し、電源引込み遮断器を「切」にする。

(4) 停電対象設備のバッテリー装置を停止する。

(5) 電源設備の制御電源用 NFB を「切」にする。

(6) 電源盤のスペースヒータ用 NFB を「切」にする。

----- 検電・接地後、 点検作業開始 -----

----- 点検作業終了 -----

(7) 停電と逆の操作を行う。

5. プラント対策

電源設備点検期間中に於けるプラント対策は、過去の実績より対策項目を選定し、それぞれに監視・記録を行い良好な結果を得た。プラント対策項目は以下の通りである。

- (1) 一般系照明電源切替え
- (2) 1C-M/C点検に伴う2次予熱ヒータ母線連絡時の負荷制限
- (3) 弁ロック
- (4) 仮設電源
- (5) N₂ 気化器の温度監視
- (6) オーバフロー系EMP、1次純化系EMPダクト温度監視
- (7) 2次補助予熱ヒータ設定温度変更
- (8) 2HD-P/C点検時2次系予熱温度監視
- (9) 1HD-P/C点検時1次系予熱温度監視

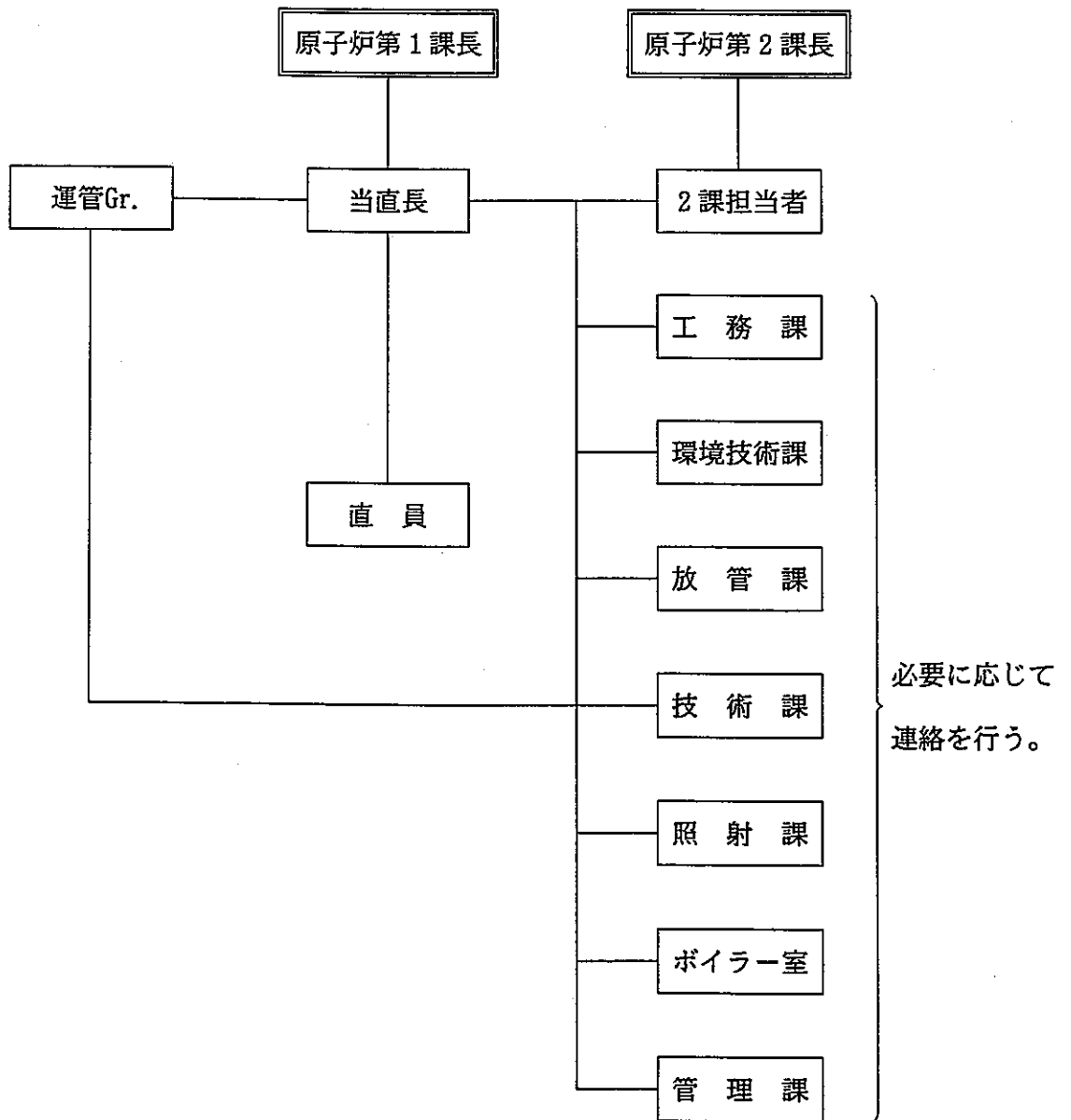
6. プラント経験

電源設備点検に際しては、過去の電源設備点検での経験を踏まえるとともに、ワーキンググループにより十分な検討を重ねた上でプラント対策、プラント操作及び電源操作要領書等を作成したため、検討不十分に基づく不具合は、設備に基づく不具合も含め、軽微なものが数件発生しただけであり、プラントに悪影響を与えるようなものは無かった。

7. 管理体制

電源設備点検に伴う作業は、通常のプラント操作では殆ど実施する機会がない電源操作等の作業が多いため、電源設備点検ワーキンググループを設置し、各種要領書等を作成しこれに基づき下表に示す体制にて実施した。

電源設備点検時体制表



8. 結 言

今回の電源盤点検は、プラントを温態待機状態と1次系、2次系ナトリウムをドレンした2通りのプラント状態を形成し実施した。また、仮設電源の布設等のプラント対応を施した上で実施したことにより、プラントに悪影響を与えるような不具合も無く、計画通り電源設備点検を終了することができた。

尚、電源設備点検に関するプラント操作及び電源操作手順、プラント対策、監視体制等は、これまでの経験によってほぼ確立されており、マニュアル類についてもプラントの操作実績を反映した内容でおおよそ完成されている。但し、電源設備点検関連のマニュアルの作成に際しては、定期点検毎にプラント状態が異なることから、現状では、点検開始前にワーキンググループを設置し、前回の電源設備点検のマニュアルを参考に見直しを行っているが、直業務を行いながらの作業負担はかなり大きい。また、複数の人数で作成するためにマニュアルの内容に個人差が生じることがある。

第9回の電源設備点検は、一般系A系及び非常系C系（一部B系、C系含む）が主であり、各マニュアル、状態表等のフォーマットを細分化して、ワープロのフロッピーディスクに記録した。今回は、一般系B系、非常系D系（一部A系、C系含む）が主であったため、今回も前回同様ワープロのフロッピーディスクに記録した。従って、マニュアル類のワープロ化により、今後のマニュアル類の作成に際しては、ワーキンググループ員の作業負担の軽減と画一されたマニュアル類の作成が期待できる。

9. 謝 辞

今回の電源設備点検の実施にあたり、プラント操作、電源操作、データ採取等に御協力戴いた原子炉第1課の運転員の方々及び運転管理グループの方々に深く感謝の意を表します。

また、保守担当として貴重な経験と助言をいただいた原子炉第2課の方々に感謝致します。

1. プラント操作チェックシート

電源設備点検時

プラント操作 1 A・1 B - M / C 点検
チェックシート

H5. 5月29日(土) 1/5

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作前 <>		
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による)	5:00	
-2	一般照明の一部を非常系に切替える。	5/29 2:40	添付資料-1参照
-3	ボイラー室へボイラーの停止及びシミュレータ室空調の停止を依頼する。(5/28 15:52)		
-4	2次補助充填弁(V32.2-3)を「2%開」から「全閉」にする。	5:53	
-5	水処理設備の停止を確認する。(燃取Gr) (第1・第2SFFプール水系)	5/28 9:00 ~11:00	付属プール停止中 (5月31日 復旧)
-6	常陽守衛所へ空調関係・照明・P.P設備の電源が停止することを連絡する。(電動扉含む)	5:52	電動扉の開放を依頼する。
-7	オーバフロー系インターロックスイッチの「手動引保持」を確認する。	5/29 1:17	
-8	商用電源喪失前の電源設備点検を行う。	5/29 1:15	電 5. 29-4, 5参照
-9	IRAF建家空調系の停止を確認する。 (照射課:倉田氏)	5/28 17:47	5月28日(金)実施
-10	廃棄物処理建家の空調系停止を確認する。 (廃棄物処理建家:会川氏)	5/28 16:59	5月28日(金)実施
-11	放管関係機器の停止を確認する。(放管:橋本氏)	5/28 17:20	5月28日(金)実施
-12	メンテナンス建家の空調の停止を確認する。 (2課4Gr)	5/28 16:45	5月28日(金)実施
-13	工務課に停電予告を連絡する。 (内線2074:担当者 大島氏)	5:50	
-14	1次純化系を停止する。 1) 自動PL計を「運転」→「停止」にする。 2) 1次C/T冷却ブロウを停止する。 3) 1次純化系C/T入口弁V34.1-23A・23Bを「全閉」とする。 4) 1次純化系電磁ポンプを停止する。 5) 電磁ポンプCOSを「運転」から「予熱」に切替える。	5:47	機器冷却ファン吐出圧力調整 C/T予熱保持のため予熱ヒータ設定値変更(2Gr発行) 3BP/C喪失で途中開度でロックするため ・初期開度値記録 (V34.1-23A・23B)
-15	2次補助PL計「ope」→「power on」にする。	5:54	
-16	2次純化系を停止する。 1) 2次主PL計「ope」→「power on」にする。 2) 2次C/T冷却ブロウを停止する。 3) 2次純化系電磁ポンプを停止する。 4) C/T出入口手動ダンパを「閉」にする。 5) V34.1-4A・5A, 4B・5Bを「閉」にする。		

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1-17	工務課に停電を連絡する。 (内線2074:担当者 大島氏)	5:59	
	<> 電源操作 <> ・一般系停電操作(CB352P「切」)	6:06	電 5.29-6参照
	<> 一般系停電後操作 <> 「EPO-20-04-1に従い行う。」	6:06	添付資料-2参照
2-1	ポニーモータ自動起動確認		
-2	1・2号DGの運転状態の確認		
-3	オーバーフロー系電磁ポンプを起動する。		起動条件確認
-4	2次補助系電磁ポンプの自動起動を確認する。		機器冷却ファン吐出圧力調整
-5	圧空コンプレッサの自動起動を確認する。		
-6	84系各機器の自動起動を確認する。		
-7	1次予熱ヒータ「スタート」ボタンを「ON」		
-8	2次予熱ヒータ引込みユニットNFB「ON」		20ユニット
-9	2次補助予熱ヒータ引込みユニット NFB「ON」		3ユニット
-10	燃取系の復旧を行う。 (1)燃取格外制御室4S制御電源を「ON」にする。 (2)24系隔離弁復旧 (3)トランスファロータ隔離弁の復旧		(1)制御電源(缶詰設備) (トランスファロータ) (2)制御電源 (燃料移送機) V24-216「閉」→「開」 V24-215「閉中」 (電源OFF 中のため) 21系隔離弁は「閉中」
-11	CGCS系「緊急停止リセット」PB「ON」	5/30 22:00	
-12	工務課に停電処置(352P切ロック)を依頼する。 (内線2074:担当者 大島氏)	6:17	電 5.29-6参照
-13	工務課より停電処置完了の連絡を受ける。		

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作 <>		
	・常陽変電所停電分離	6:17~6:40	電 5. 29-6, 7参照
	・1A-M/C停電分離	7:02~7:23	電 5. 29-7, 8参照
	・1B-M/C停電分離	7:26~7:45	電 5. 29-9, 10参照
	<< 2課点検開始 >> << 2課点検終了 >>		
	<> 電源操作 <>		
	・常陽変電所受電	18:49 ~18:59	電 5. 29-11参照
	・1A-M/C復電	19:00 ~19:43	電 5. 29-12, 13参照
	・1B-M/C復電	19:46 ~20:19	電 5. 29-14, 15参照
	・1C-M/C商用電源復旧	19:46 ~20:41	電 5. 29-16参照
	・1D-M/C商用電源復旧	20:42 ~21:16	電 5. 29-17, 18参照
	<> 電源操作後 <>		
3-1	常陽警備所へ復電の連絡を行う。		
-2	2次純化系を起動する。 1) 2次純化系ロジックスイッチを「開ロック」にする。 2) V34.2-4A・5A, 4B・5Bを「開」にする。 3) 2次純化系電磁ポンプを起動する。 4) C/T出入口手動ダンパを「開」にする。 5) 2次C/T冷却ブロワを起動する。 6) 2次純化系ロジックスイッチを「復帰」にする。	21:25 21:31	2次主PL計は、5月30日(1C-M/C復電時)まで「power on」
-3	2次純化系ロジックスイッチを「開ロック」にする。	22:02	3直で再実施(2直で戻したため)
-4	2次主循環ポンプ油ポンプ2A、1Bを起動する	2A 22:03 1B 22:06	
-5	2次主循環ポンプ抵抗ファン2A、1Bを起動する。	2A 22:09 1B 22:11	
-6	2次主循環ポンプA・Bを起動する。	A 22:13 B 22:14	

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
3-7	2次補助充填弁(V32.2-3)を「2%開」にする。	5/30 0:38	
-8	1次補助電磁ポンプのC系・D系CSを一旦「切」にする。	22:41	
-9	1次主循環ポンプA・Bを起動する。		150rpm以上
	1) ポニーモータA・BのCSを「切・引き保持」とする。	22:42	
	2) 1次主循環ポンプA・BのCSを「入」とする	22:45	
	3) 1次主循環ポンプ流量280m ³ /hで安定したらポニーモータA・BのCSを「自動」にする。	22:54	
-10	2次純化系ロジックスイッチを「復帰」にする。	22:56	
-11	スタコンを投入する。		
-12	照明電源を非常系から一般系に切り替える。	5/30 1:00	添付資料-1参照
-13	一般系空調換気系自動起動機器の確認及び運転状態の監視を行う。	23:55	
-14	一般系空調換気系手動起動及び運転状態の監視を行う。	5/30 0:33	
-15	ボイラー室へボイラーの起動及びシミュレータ室空調の起動を依頼する。		
-16	予熱N ₂ ガス系Bループ炉容器出入口弁V71-48B, 49Bの「開」を確認する。	23:25	3B-C/C停電でF, Cとなるため)弁操作盤:R501,#521 鍵:V71-48B C-28 :V71-49B C-29
-17	常陽警備所へ空調関係・照明・P, P設備の復電を連絡する。		
-18	1号DGの燃料補給を確認する。(ボイラー)	22:21	
-19	2号DGの燃料補給を確認する。(ボイラー)	22:21	
-20	予熱N ₂ ガス系油ポンプ(B)を起動する。	23:40	
-21	IRAF建家空調系の起動を確認する。 (照射課:倉田氏)		5月31日(月)実施
-22	放管関係機器の起動を確認する。 (放管:橋本氏)		5月31日(月)実施
-23	メンテナンス建家の空調系及び水処理設備の起動を確認する。 (2課4Gr)		5月31日(月)実施

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
- 2 4	廃棄物処理建家空調系の起動を確認する。 (廃棄物処理建家：会川氏)		5月31日(月) 実施
- 2 5	水処理設備の起動を確認する。 (燃取Gr：鈴木寿氏) (第1・第2SFFプール水系を確認する。)		5月31日(月) 実施 5月31日(月) 実施
- 2 6	圧空コンプレッサをB/CからC/Bに切替える。	5/30 0:13	

1 源設備点検時
プラント操作
チェックシート

1 C-M/C点検

H5. 5月30日(日) 1/6

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作前 <>		
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)	5:00	
-2	P/C室A側給気ファンNo.1を停止する。	5:01	
-3	オーバフロー系電磁弁を停止し「予熱」とする。 (4S)	5:04	機器冷却ファン吐出圧力調整
-4	2次純化系ロジックスイッチを「開ロック」にする。	5:11	
-5	2次補助充填弁(V32.2-3)を「2%開」から「全閉」にする。	5:11	
-6	2次主循環ポンプA・Bを停止する。(4S)	A 5:13 B 5:14	
-7	2次主循環ポンプ潤滑油ポンプ2A・1Bを停止する。 (4S)	5:15	
-8	2次主循環ポンプ抵抗ファン2A・1Bを停止する。 (4S)	5:16	
-9	2次純化系を停止する。(3C)		
	1) 2次C/T冷却ブロワを停止する。	5:19	
	2) 2次純化系電磁ポンプを停止する。	5:20	
	3) V34.2-4A・5A, 4B・5Bを「閉」にする。	5:21	
	4) C/T冷却ブロワ出入口ダンパを「閉」にする。	5:24	
-10	2次補助電磁ポンプを停止する。(2C)	5:27	
-12	2次補助電磁ポンプ冷却ファンNo.2を停止する。 (2C)	5:28	
-13	チリングユニットを停止する。 STOP PBを押す。	5:47	
-14	床ドレンビットポンプの選択COSを「自動」から「手動」に切り替える。	5:46	
-15	IRAF空調停止確認		28日照射課にて停止
-16	第1・第2SFF建家非常系負荷の停止、シミュレータ室空調の停止をボイラー室に依頼する。	5:04	シミュレータ室空調は28日に停止
-17	放管関係機器停止確認		28日放管にて停止
-18	メンテナンス建家の空調の停止の確認		28日2課4Grにて停止
-19	格納容器雰囲気監視盤を停止する。(2S) (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	5:36	添付資料-4参照
-20	1次系ガスクロ、FFD-CG法を停止する。	5:20	添付資料-5参照

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1-21	水冷却池水処理設備を停止する。		28日燃取Grにて停止する。
-22	2次予熱ヒータ負荷制限を実施する。 「切」ヒータの温度監視を行う。	5:37	添付資料-6 2次予熱ヒータ母線連絡時の 負荷制限参照
<> 電源操作 <>			
	・3C-P/C特殊受電(3C←3S・3D)	6:45	電 5.30-4参照
	・2C・2S-P/C特殊受電(2C・2S←2D)		電 5.30-4参照
	・1HC-P/C母線連絡		電 5.30-5参照
	・2HC-P/C母線連絡		電 5.30-6参照
	・1C-M/C停電	8:27	電 5.30-7参照
<< 2課点検開始 >>			
<> 電源操作後 <>			
2-1	1次予熱ヒータを再スタートさせる。	8:22	
-2	オーバフロー系電磁ポンプを起動する。	9:53	起動条件の確認 機器冷却ファン吐出圧力調整
-3	2次純化系を起動する。	9:03	
	1) C/T冷却ブロウ出入口ダンパを「開」にする。		
	2) V34.1-4A・5A, 4B・5Bを「開」にする。		
	3) 2次純化系電磁ポンプを起動する。		
	4) 2次C/T冷却ブロウを起動する。	9:05	
-4	2次主循環ポンプ潤滑油ポンプ2A・1Bを起動する。	9:08	
-5	2次主循環ポンプ抵抗ファン2A・1Bを起動する。	9:08	
-6	2次主循環ポンプA・Bを起動する。	9:11	
-7	2次純化系ロジックスイッチを「復帰」にする。	9:29	
-8	2次補助電磁ポンプ冷却ファンNo.2を起動する。	9:12	
-9	2次補助電磁ポンプを起動する。	9:13	
-10	第1・第2SFF建家非常系負荷の復旧、主冷空調の復旧をボイラー室に依頼する。	9:15	
-11	FFD-CG法を起動する。	10:14	添付資料-5参照

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
2-11	格納容器雰囲気監視盤を起動する。 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	9:58	添付資料-4参照
-12	廃ガスタンク選択ボタンを「ON」にする。	9:59	
-13	床ドレンピットポンプの選択COSを「手動」から「自動」に切り替える。		
-14	燃取格外制御盤の制御電源(4S)を「入」にし 24系隔離弁を「開」、T/Rタンク隔離弁を「開」にする。	9:39	制御電源(缶詰設備・トランスファロータ、燃料移送機)
<< 2課点検終了 >>			
<> 電 源 操 作 前 <>			
3-1	オーバフロー系電磁弁を停止し「予熱」とする。 (4S)	15:52	機器冷却ファン吐出圧力調整
-2	2次純化系ロジックスイッチを「開ロック」にする。	15:57	
-3	2次主循環ポンプA・Bを停止する。	16:02	
-4	2次主循環ポンプ潤滑油ポンプ2A・1Bを停止する	16:05	
-5	2次主循環ポンプ抵抗ファン2A・1Bを停止する。	16:05	
-6	2次純化系を停止する。(3C)		
	1) 2次C/T冷却ブロウを停止する。		
	2) 2次純化系電磁ポンプを停止する。	16:09	
	3) V34.2-4A・5A, 4B・5Bを「閉」にする。		
-8	2次補助電磁ポンプを停止する。(2C)	16:11	
-9	2次補助電磁ポンプ冷却ファンNo.2を停止する。 (2C)	16:11	
-10	第1・第2SFF建家非常系負荷の停止をボイラ室に依頼する。	13:40	
-11	格納容器雰囲気監視盤を停止する。(2S) (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	13:42	添付資料-4参照
-12	FFD-CG法を停止する。	13:50	添付資料-5参照
-13	床ドレンピットポンプの選択COSを「自動」から「手動」に切り替える。	14:00	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
3-14	旋回クレーンが停止中であることを確認する。	14:00	
	<> 電源操作 <>		
	・1 C-M/C復電	16:32	電 5.30-9参照
	・1 HC-P/C母線切替	17:00	電 5.30-11参照
	・2 HC-P/C母線切替	17:12	電 5.30-11参照
	・3 C-P/C特殊受電復帰	17:17	電 5.30-12参照
	・2 C・2 S-P/C特殊受電復旧	17:31	電 5.30-12参照
	<> 電源操作後 <>		
4-1	1次予熱ヒータを再スタートさせる。	17:34	
-2	2次予熱ヒータ負荷制限を復旧する。	17:20	添付資料-6参照
-3	オーバフロー系電磁ポンプを起動する。	17:45	起動条件の確認
-4	2次純化系を起動する。 1) V34.2-4A・5A, 4B・5Bを「開」にする。 2) 2次純化系電磁ポンプを起動する。 3) 2次C/T冷却ブロウを起動する。	17:49	機器冷却ファン吐出圧力調整
-5	2次主循環ポンプ潤滑油ポンプ2A・1Bを起動する	17:58	
-6	2次主循環ポンプ抵抗ファン2A・1Bを起動する。	18:01	
-7	2次主循環ポンプA・Bを起動する。	18:02	
-8	2次純化系ロジックスイッチを「復帰」にする。		
-9	2次補助電磁ポンプ冷却ファンNo.2を起動する。	18:15	
-10	2次補助電磁ポンプを起動する。	18:16	
-11	2次補助充填弁(V32.2-3)を「2%開」にする。		
-12	2次主PL計を「Power on」から「S.B」にする。	18:52	
-13	2次補助PL計を「Power on」から「S.B」にする。	19:18	
-13	P/C室A側給気ファンNo.1を起動する。	19:32	

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
4-14	放管関係機器を起動する。		31日放管にて起動 (担当者:橋本氏)
-15	FFD-CG法を起動する。	23:00	添付資料-5参照
-16	格納容器雰囲気監視盤を起動する。 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	22:11	添付資料-4参照
-17	廃ガスタンク選択ボタンを「ON」にする。	18:37	
-18	床ドレンピットポンプの選択COSを「手動」から「自動」に切り替える。	19:34	
-19	チリングユニットを起動する。	19:15	
-20	燃取格外制御盤の制御電源(4S)を「入」にし 24系隔離弁を「開」、T/Rタンク隔離弁を「開」にする。	19:58	制御電源(缶詰設備・トランスファロータ、燃料移送機)
-21	第1・第2SFF建家非常系負荷の復旧、主冷空調の復旧、シミュレータ室空調の復旧をボイラー室に依頼する。		
	<> 電源操作終了後機器切替え <>		
5-1	1次主循環ポンプ潤滑油ポンプ	2A→1A 2B→1B	20:43 20:46
-2	ベDESTALブースタブロワ	B → A	20:51
-3	遮蔽コンクリートブロワ	B → A	20:51
-4	フレオン冷凍機	B → A	19:18
-5	機器冷却ファン	B → A	20:48
-6	格納容器常用給気ファン	B → A	19:03
-7	格納容器常用排気ファン	B → A	19:03
-8	補給水ポンプ	B → A	19:07
-9	空調系循環ポンプ	B → A	18:39
-10	補機系揚水ポンプ	B → A	18:45

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
5-11	中央制御室空調器 B → A	18:33	
-12	空調系冷却塔ブロワ B → A	19:54	
-13	補機系冷却塔ブロワ B → A	20:00	
-14	Ar 廃ガス圧縮機 B → A	19:30	
-15	N ₂ 廃ガスブロワ B → A	19:34	
-16	空調器冷却水ポンプ B → A	20:13	
-17	1次現場制御室給気ファン 2 → 1	19:40	
-18	1次現場制御室排気ファン 2 → 1	19:40	
-19	廃ガス処理室系給気ファン 2 → 1	18:54	
-20	廃ガス処理室系排気ファン 2 → 1	18:54	
-21	燃料洗浄室系給気ファン 2 → 1	20:10	
-22	燃料洗浄室系排気ファン 2 → 1	20:10	
-23	ホット配管路室系給気ファン 2 → 1	19:45	
-24	ホット配管路室系排気ファン 2 → 1	19:45	
-25	格 設備室系給気ファン 2 → 1	18:30	
-26	格 設備室系排気ファン 2 → 1	18:30	
-27	接触器盤室系給気ファン 1 → 2	20:09	
-28	接触器盤室系排気ファン 1 → 2	20:09	
-29	自動給油装置 B → A	22:39	

電源設備点検時
プラント操作 1 D-M/C点検
チェックシート

H5. 5月31日(月) 1/4

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 電源操作前 <>			
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による)	5:31	
-2	1次主循環ポンプA・Bを停止する。	5:31	ポニーモーターへの引継ぎ確認
-3	オーパフロー電磁ポンプを停止し「予熱」とする。	5:35	機器冷却ファン吐出圧力調整
-4	FFD-CG法を停止する。	5:59	添付資料-5参照
-5	格内ベビコンが停止中であることを確認し、格内ベビコン2台のCOSを「停止」にする。	5:36	2D-P/C復電時の起動防止
-6	圧空コンプレッサーをC/BからA/Bに切り替える。	5:42	
-7	P/C室B側給気ファンNo.1を停止する。	5:34	
-8	放管関係機器の停止を確認する。	5/28 17:20	28日放管にて停止 (担当者:橋本氏)
-9	常陽警備所へ停電の連絡を行う。		P・P関係
-10	廃棄物処理建家へ停電対策完了の確認をする。	5/28 16:59	28日処理建家にて実施 (担当者:会川氏)
-11	燃取系機器の停止を確認する。	5/28 17:02	28日燃取にて実施 (担当者:金野氏)
-12	ボイラー室へ停電の連絡を行う。	6:09	
-13	N ₂ 再循環ファン CD→AB	5:46	冷媒弁調整の為
<> 電源操作 <>			
	・3S・3D-P/C特殊受電 (1D-M/C受電から3C-P/C受電に切り替える。)	6:37~6:48	電 5.31-4参照
	・2D-P/C特殊受電 (1D-M/C受電から2C・2SP/C受電に切り替える。)	6:48~6:59	電 5.31-5参照
	・1HD-P/C母線連絡 (1D-M/C受電から1HC-P/C受電に切り替える。)	7:00~7:07	電 5.31-6参照
	・2HD-P/C母線連絡 (1D-M/C受電から2HC-P/C受電に切り替える。)	7:08~7:20	電 5.31-6, 7参照
	・1D-M/C停電	7:20~7:46	電 5.31-7, 8参照

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作後 <>		
2-1	放管課へ非常系の復電連絡を行う		
- 2	常陽警備所へ非常系の復電連絡を行う。	6:59	P・P関係
- 3	廃棄物処理建家へ非常系の復電連絡を行う。		
- 4	燃取へ非常系の復電連絡を行う。		
- 5	ボイラー室へ非常系の復電連絡を行う。	7:55	
- 6	オーバフロー電磁ポンプを起動する。	7:55	起動条件の確認 機器冷却ファン吐出圧力調整
- 7	1次主循環ポンプA・Bを起動する。		
	1) ポニーモータA・BのCSを「切・引保持」とする。	8:12	
	2) 1次主循環ポンプA・BのCSを「入」とする。	8:13	
	3) 1次主循環Na流量が約280m ³ /hで安定したら、ポニーモータA・BのCSを「自動」にする。	8:22	主ポンプ回転数150rpm以上であることを確認する
- 8	FFD-CG法を起動する。	8:15~8:25	添付資料-5参照
- 9	P/C室B側給気ファンNo.1を起動する。	8:00	
-10	格内ベピコン2台のCOSを「自動」にする。	8:00	
-11	A-504室の冷房装置を起動する。	8:07	
	<< 2課点検開始 >>	8:00	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<< 2課点検終了 >>	18:00	
	<> 電源操作前 <>		
1-1	1次主循環ポンプA・Bを停止する。	17:50	ポニーモーターへの引継ぎ確認
-2	オーバフロー電磁ポンプを停止し「予熱」とする。	17:52	機器冷却ファン吐出圧力調整
-3	格内ベビコンが停止中であることを確認し、格内ベビコン2台のCOSを「停止」にする。	17:54	2D-P/C復電時の起動防止
-4	FFD-CG法を停止する。	17:35 ~ 17:49	添付資料-5参照
-5	P/C室B側給気ファンNo.1を停止する。	17:48	
	<> 電源操作 <>		
	・1D-M/C復電	18:08	電 5.31-9, 10参照
	・1HD-P/C母線連絡復旧 (1HC-P/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)	18:45	電 5.31-11参照
	・2HD-P/C母線連絡復旧 (2HC-P/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)	18:57	電 5.31-11参照
	・2D-P/C特殊受電復旧 (2C・2SP/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)	19:20	電 5.31-12参照
	・3S・3D-P/C特殊受電復旧 (3C-P/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)	19:35	電 5.31-12, 13参照
	<> 電源操作後 <>		
2-1	放管へ非常系の復電完了の連絡を行う。	17:10	17:00 復旧予定
-2	常陽警備所へ非常系の復電完了の連絡を行う。	20:20	P・P関係
-3	廃棄物処理建家へ非常系の復電完了の連絡を行う	17:10	17:00 復旧予定
-4	燃取へ非常系の復電完了の連絡を行う。	17:10	17:00 復旧予定
-5	ボイラー室へ非常系の復電完了の連絡を行う。	19:45 ~ 19:52	
-6	オーバフロー電磁ポンプを起動する。	19:49	起動条件の確認 機器冷却ファン吐出圧力調整

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
- 7	1次主循環ポンプA・Bを起動する。		
	1) ポニーモータA・BのCSを「切・引保持」とする。	19:54	
	2) 1次主循環ポンプA・BのCSを「入」とする。	19:57	
	3) 1次主循環Na流量が約280m ³ /hで安定したら、ポニーモータA・BのCSを「自動」とする。	20:09	主ポンプ回転数150rpm以上であることを確認する
- 8	1次純化系電磁ポンプを起動する。		
	1) V34.1-23Bを「全開」、V34.1-23Aを「調整開」とする。	20:02	停止前の開度確認
	2) V34.1-3の「開」を確認する。	20:02	
	3) 1次純化系電磁ポンプを起動する。	20:05	機器冷却ファン吐出圧力調整
	4) 1次純化系C/T冷却ブロワを起動する。	20:07	C/T予熱保持の為の予熱ヒータ設定値変更(2Gr発行)を復旧する。
	5) 自動連続式PL計を「停止」から「待機」に切り替える。	20:10	
- 9	FFD-CG法を起動する。	21:01	添付資料-5参照
-10	格内ベピコン2台のCOSを「自動」にする。	19:44	
-11	P/C室B側給気ファンNo.1を起動する。	20:15	
-12	P/C室B側排気ファンを起動する。	20:15	
	<> 電源操作終了後機器切替え <>		
3- 1	1次主循環ポンプ(B) 油ポンプ 1B→2B	21:21	
- 2	補機系冷却塔ブロワ A→B	20:55	
- 3	燃料洗浄室系給気・排気ファン 1→2	21:16	
- 4	ホット配管路系給気・排気ファン 1→2	21:15	
- 5	廃ガス処理室系給気・排気ファン 1→2	21:25	
- 6	⊗設備室系給気・排気ファン 1→2	21:22	
- 7	2次補助充填弁 「全閉」→「2%開」	21:01	
- 8	2次補助PL計 「S. B」→「Open」	21:04	
- 9	2次主PL計 「S. B」→「Open」	21:07	

電源設備点検時

プラント操作 弁ロック・補助電源切替え・仮設電源継込み
チェックシート

H5. 8月25日(水) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1-1	弁ロックを実施する。		・添付資料-1参照
< 補助電源受電先切替え操作前 >			
2-1	格内ベピコンが停止中であることを確認する。		
2	格内ベピコン2台のCOSを「停止」にする。		
3	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。	9:48	外周P. P関係
4	放管関係機器の停止を確認する。	9:20	
5	1次Na液面計盤の冷房装置を停止する。		
< 補助電源受電先切替え操作 >			
	・2D-P/C受電→2A-P/C受電	9:58 10:05	電 8.25-3参照
< 補助電源受電先切替え操作後 >			
3-1	格内ベピコン2台のCOSを「自動」にする。		
2	「常陽」警備所へ復電の連絡をする。	10:06	
3	1次Na液面計盤の冷房装置を停止する。		
4	放管関係機器の起動を依頼する。	10:10	
4-1	仮設電源の継込みを実施する。(8月25日分実施)		・添付資料-2参照

電源設備点検時プラント操作チェックシート

5C整流装置, 6Cインバータ, 7C整流装置, 7C負荷電圧補償装置

H5. 8月30日(月) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 電源操作前 <>			
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)	17:00	
-2	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。(6S)	17:04	・P. P用 電源
-3	核計装CH-1, 3, 4, 6, 7のモードSWを「零」にする。(6C, 6S)	16:55	
-4	1号D/Gの43AM1を「自動」から「手動」に切り替える。	17:03	・7C電源復電時の1号D/G自動起動防止
-5	格納容器雰囲気監視装置(ハロゲン計, 酸素濃度計, 湿分計)を停止する。(6S)	16:10	・添付資料-3参照
-6	FFD-CG法を停止する。(6S)	15:55	・添付資料-4参照
-7	保護系エリアモニタ(IM-1)の停止を確認する。(6C)	16:31	・30日(月)放管にて停止
<> 電源操作 <>			
	・6S電源切替え (6C受電から6D受電に切替える。)	17:05	電8.30-3参照
	・6C電源特殊受電 (6Cインバータ受電から6D・6S受電に切替える。)		電8.30-4参照
	・6Cインバータ停止	}	電8.30-5参照
	・5C電源停電及び5C整流装置停止		電8.30-6参照
	・7C電源特殊受電 (2C-P/C受電から7D・7S受電に切替える。)		電8.30-7参照
	・7C整流装置停止	17:48	電8.30-8参照
<< 2課点検開始 >>			

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
	<> 電 源 操 作 後 <>		
2- 1	「常陽」警備所へ復電の連絡をする。(6S)	17:52	
- 2	1号D/Gの43AM1を「手動」から「自動」に切り替える。	17:52	
- 3	N ₂ ガス隔離弁V74-6のCSを「開」にする。(6C)	17:53	・Rランプ点灯確認
- 4	Arガス隔離弁V73-13のCSを「開」にする。(6C)	17:53	・Rランプ点灯確認
- 5	核計装CH-1, 3, 4, 6, 7のモードSWを「測定」にする。(6C, 6S)	17:53	
- 6	2次Naレベル計(Aループ)の電源を「ON」にする。(6C)	17:58	・S-402(#678)
- 7	格納容器雰囲気監視装置(ハロゲン計, 酸素濃度計, 湿分計)を起動する。	18:03	・添付資料-3参照
- 8	FFD-CG法を復旧する。	18:13	・添付資料-4参照
- 9	圧空コンプレッサをB/CからC/Bに切り替える。	10:31	・9/14S電源点検に先立ち切替える。

電源設備点検時
プラント操作 6C・6S電源盤点検
チェックシート

H5. 8月31日(火) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 電源操作前 <>			
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)	9:00	
-2	FFD-CG法を停止する。(6S)	9:39	・添付資料-4参照
-3	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。(6S)	9:47	・P.P用 電源
-4	放射線監視盤の停止を確認する。(IM-1) (6C)	9:15	・放管にて停止
-5	格納容器雰囲気監視装置を停止する。(6C)	9:40	・添付資料-3参照
<> 電源操作 <>			
	・6C・6S電源停電	9:56 ~10:21	電 8.31-3, 4参照
<< 2課点検開始 >> << 2課点検終了 >>			
<> 電源操作 <>			
	・6C・6S電源復電	17:25 ~17:50	電 8.31-5, 6参照
<> 電源操作後 <>			
2-1	N ₂ ガス隔離弁V74-6のCSを「開」にする。 (6C)	17:51	・Rランプ点灯確認
-2	Arガス隔離弁V74-13のCSを「開」にする。 (6C)	17:51	・Rランプ点灯確認
-3	FFD-CG法を復旧する。		・添付資料-4参照
-4	放射線監視盤の起動を確認する。(IM-1) (6C)		・放管にて起動
-5	「常陽」警備所へ復電の連絡をする。(6S)		
-6	格納容器雰囲気監視装置を起動する。(6S)		・添付資料-3参照
-7	2次系Naレベル計(Aループ)電源を「ON」にする。 (6C)		

電源設備点検時
 プラント操作 4 C ・ 4 S 電源盤点検
 チェックシート

H5. 9月 1日 (水) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 電源操作前 <>			
1- 1	機器運転状態確認 (プラント状態表による。)	8 : 5 0	
- 2	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。 (4S)		・ P. P用電源
- 3	2次Arガス系の第1減圧弁止弁V36. 2-1を「閉」にする。 (Arガス系の圧力を監視する。)	9 : 0 3	・ 4 S電源喪失でV36. 2-16が「閉」となるため。
- 4	バックアップモード弁V84-127を「閉」とし、V84-128を「開」とする。		・ 4 C電源喪失でV84-127が「閉」となるため。
- 5	付属プール水処理設備を停止する。		・ 燃取Grにて停止
- 6	水モニタ監視盤停止確認。 (4S)		・ 放管にて停止
- 7	FFD-CG法を停止する。 (4S)		・ 添付資料-4参照
- 8	床ドレンピットポンプのCOSを「自動」から「手動」にする。 4 C電源停電時には、2次主配管室 (A) の温度を監視し、他の84系弁状態にも注意すること。	9 : 3 0	・ 4 C電源喪失でV84-196, 197, DP84-54, 56が「閉」となるため。
<> 電源操作 <>			
	・ 4 S電源停電	9 : 3 0	電 9. 1-3, 4参照 }
	・ 4 C電源停電	10 : 0 5	
<< 2課点検開始 >> << 2課点検終了 >>			
<> 電源操作 <>			
	・ 4 C電源復電	17 : 1 0	電 9. 1-6参照 }
	・ 4 S電源復電	17 : 3 6	
<> 電源操作後 <>			
2- 1	バックアップモード弁V84-127を「開」とし、V84-128を「閉」とする。	17 : 4 2	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
2 - 2	2次Arガス系の第1減圧弁前止弁V36.2-1を「開」にする。		
-	3 「常陽」警備所へ復電の連絡をする。		・ P. P用電源
-	4 水モニタ監視盤起動確認。		・ 放管にて起動
-	5 FFD-CG法を起動する。		・ 添付資料-4参照
-	6 床ドレンピットポンプのCOSを「手動」から「自動」にする。	17:40	
-	7 24系隔離弁を「開」にする。		

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

7 C 電源盤点検

H5. 9月 2日 (木) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1- 1	<> 電源操作前 <> 機器運転状態確認 (プラント状態表による。)	7:00	
2- 1	<> 電源操作 <> ・7C電源停電 (特殊受電状態)	7:05 } 7:21	電 9. 2-3, 4参照
	<< 2課点検開始 >> << 2課点検終了 >>		
3- 1	<> 電源操作 <> ・7C電源復電 (特殊受電状態)	15:50 } 16:05	電 9. 2-5, 6参照
4- 1	<> 電源操作後 <> 圧空コンプレッサをC/BからB/Cに切り替える。	17:00	

電源設備点検時プラント操作チェックシート

5C・7C整流装置, 6Cインバータ, 7C負荷電圧補償装置運転

H5. 9月 3日 (金) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<< 2 課点検終了 >>			
<> 電源操作前 <>			
1- 1	機器運転状態確認 (プラント状態表による。)		
- 2	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。(6S)		・P. P用電源
- 3	核計装CH-1, 3, 4, 6, 7のモードSWを「零」にする。(6C, 6S)	17:28	
- 4	1号D/Gの43AM1を「自動」から「手動」に切り替える。	17:28	・7C電源復電時の1号D/G自動起動防止
- 5	CT冷却ガス放射能監視盤を停止する。(6S)		・A-207 のマニュアル参照
- 6	格納容器雰囲気監視装置 (ハロゲン計, 酸素濃度計, 湿分計) を停止する。(6S)	17:18	・添付資料-3 参照
- 7	FFD-CG法を停止する。(6S)	17:00	・添付資料-4 参照
- 8	保護系エリアモニタ (IM-1) の停止を確認する。(6C)	16:45	・3日 (金) 放管にて停止
<> 電源操作 <>			
	・7C電源特殊受電復旧及び7C整流装置運転	17:00	電 9.3-3 参照
	・5C電源復電及び5C整流装置運転		電 9.3-5 参照
	・6Cインバータ運転)	電 9.3-6 参照
	・6C電源特殊受電復旧 (6D・6S受電から6Cインバータ受電に切替える。)		電 9.3-7 参照
	・6S電源切替え (6D受電から6C受電に切替える。)	18:16	電 9.3-8 参照

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作後 <>		
2- 1	「常陽」警備所へ復電の連絡をする。(6S)		
- 2	1号D/Gの43AM1を「手動」から「自動」に切り替える。		
- 3	N ₂ ガス隔離弁V74-6のCSを「開」にする。(6C)		・Rランプ点灯確認
- 4	Arガス隔離弁V73-13のCSを「開」にする。(6C)		・Rランプ点灯確認
- 5	核計装CH-1, 3, 4, 6, 7のモードSWを「測定」にする。(6C, 6S)		
- 6	2次Naレベル計(Aループ)の電源を「ON」にする。(6C)		・S-402(#678)
- 7	格納容器雰囲気監視装置(ハロゲン計, 酸素濃度計, 湿分計)を起動する。	18:48	・添付資料-3参照
- 8	CT冷却ガス放射能監視盤を起動する。	18:51	・A-207のマニュアル参照
- 9	FFD-CG法を復旧する。	18:45	・添付資料-4参照
- 10	保護系エリアモニタ(IM-1)を起動する。	18:56	・放管にて起動

電源設備点検時プラント操作チェックシート

7 S 電源, 5 D 及び 7 D 整流装置, 6 D インバータ, 7 D 負荷電圧補償装置 H5. 9 月 4 日 (土) 1 / 2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作前 <>		
1 - 1	スタコンを「切」にする。(7 S)	7 : 2 3	
	<> 電源操作 <> ・ 7 S 電源停電	7 : 3 7) 7 : 4 9	電 9. 4 - 3, 4 参照
	<< 2 課点検開始 >>		
	<> 電源操作後・前 <>		
2 - 1	機器運転状態確認 (プラント状態表による。)	1 6 : 0 2	
- 2	保護系エリアモニタ (IM-2) の停止を確認する。(6 D)		・ 放管にて停止
- 3	核計装 CH-2, 5, 8 のモードスイッチを「測定」から「零調」に切替える。(6 D)		
- 4	2号D/G 4 3 AM2 を「自動」から「手動」に切替える。		・ 7 D 電源復電時の 2 号 D / G 自動起動防止
	<> 電源操作 <> ・ 7 S 電源復電 ・ 7 D 電源特殊受電 (2D-P/C 受電から 7C・7S 受電に切替える。) ・ 7 D 整流装置停止 ・ 6 D 電源特殊受電 (6D インバータ受電から 6C・6S 受電に切替える。) ・ 6 D インバータ停止 ・ 5 D 電源停電及び 5 D 整流装置停止	1 6 : 2 7) 1 7 : 2 0	電 9. 4 - 4, 5 参照 電 9. 4 - 6 参照 電 9. 4 - 6, 7 参照 電 9. 4 - 7, 8 参照 電 9. 4 - 8 参照 電 9. 4 - 9 参照

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
<> 電 源 操 作 後 <>			
3- 1	2号D/G43AM2を「手動」から「自動」に切替える。	17:26	
-	2 N ₂ ガス隔離弁V74-5のCSを「開」にする。		・Rランプ点灯確認
-	3 A ₁ ガス隔離弁V73-12のCSを「開」にする。		・Rランプ点灯確認
-	4 核計装CH-2, 5, 8のモードスイッチを「零調」から「測定」に切替える。)	
-	5 2次系Naレベル計(Bループ)の電源を「ON」にする。 (6D)		・S-402(#678)
-	6 2次系D/Tレベル計を「M」→「A」に切替える。 (6D)		・S-402(#1600)
-	7 スタコンを負荷に合わせて投入する。		
-	8 保護系エリアモニタ(IM-2)を起動する。 (6D)	17:31	・放管にて起動
<< 2課点検開始 >>			

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

7 D 電源盤点検

H5. 9月 5日 (日) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作前 <>	6:55	
1- 1	機器運転状態確認 (プラント状態表による。)		
- 2	2号D/Gの43AM2を「手動」にする。	7:32	・7D電源復電時の2号D/G 自動起動阻止
	<> 電源操作 <>		
	・7D電源停電	7:35 }	電 9.5-3参照
	<< 2課点検開始 >>		
	<< 2課点検終了 >>		
	<> 電源操作 <>		
	・7D電源復電	16:15 } 16:32	電 9.5-4参照
	<> 電源操作後 <>		
2- 1	2号D/Gの43AM2を「自動」にする。	16:34	

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

4 D 電源盤点検

H5. 9月 6日 (月) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 電源操作前 <>			
1-1	仮設電源が接続されていることを確認する。	9:00	
-2	機器運転状態確認 (プラント状態表による。)		
-3	圧空コンプレッサーをB/CからB/Aに切り替える。	9:18	C号機が4D電源のため。
-4	格納容器雰囲気監視装置 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計) を停止する。	9:11	
-5	バックアップモード操作弁V84-128 (4D) が「閉」となるため、V84-127 (4C) の「開」を確認する。		N ₂ 検出弁 (V84-86) の F. C対策 添付資料-3参照
<> 電源操作 <>			
	・4D電源停電	9:30	電 9.6-3参照
<> 電源操作後 <>			
	4D電源喪失で、V84-198、DP84-55 V84-199、DP84-62が「閉」となるため、2次主配管室 (B) 室の温度を注意する。		9:40 22.8℃ 14:19 27.7℃
<< 2課点検開始 >>			

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
	<< 2 課点検終了 >>		
	<> 電源操作 <>		
	・4D電源停電	17:00	電 9.6-4参照
2-1	バックアップモード操作弁V84-127の「開」を確認する。		
- 2	格納容器雰囲気監視装置（ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計）を起動する。	15:16	添付資料-3参照
- 3	圧空コンプレッサーをB/AからB/Cに切り替える。	14:55	

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

6 D 電源盤点検

H5. 9月 7日 (火) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 電源操作前 <>			
1 -1	放射線監視盤の停止を確認する。(IM-2)	9:08	・放管にて停止
-2	機器運転状態確認(プラント状態表による。)		
-3	核計装CH-2, 5, 8のモードSWを「測定」から「零調」にする。		
<> 電源操作 <>			
	・6D電源停電	9:30) 9:41	電 9・7-3参照
<< 2課点検開始 >>			
<< 2課点検終了 >>			
<> 電源操作 <>			
	・6D電源停電	16:13) 16:32	電 9・7-4参照
<> 電源操作後 <>			
2 -1	N ₂ ガス隔離弁V74-5のCSを「開」にする。	16:35	R ランプ点灯確認
-2	Arガス隔離弁V73-12のCSを「開」にする。	17:13	R ランプ点灯確認
-3	2次Naレベル計(Bループ)の電源を「ON」にする。		
-4	2次D/Tレベル計を「MAN」から「AUT」にする。		・S-402(#678)
-5	放射線監視盤の起動を確認する。(IM-2)	16:46	・放管にて実施
-6	核計装CH-2, 5, 8のモードSWを「零調」から「測定」にする。		

電源設備点検時プラント操作チェックシート

5 D及び7 D整流装置, 6 Dインバータ, 7 D負荷電圧補償装置

H5. 9月 8日(水) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<< 2課点検終了 >>			
<> 電源操作前 <>			
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)	16:55	
-2	核計装CH-2, 5, 8のモードスイッチを「測定」から「零調」に切替える。	16:55	
-3	スタコンを「切」にする。(7S)	16:57	
-4	2号D/G43AM2を「自動」から「手動」に切替える。	17:00	・7D電源復電時の2号D/G自動起動防止
-5	保護系エリアモニタ(IM-2)を停止する。(6D)	17:00	・放管にて停止
<> 電源操作 <>			
	・7D整流装置運転	17:06	電9.8-3 参照
	・7D電源特殊受電復旧 (7C・7S受電から2D-P/C受電に切替える。)		電9.8-3, 4参照
	・7S電源特殊受電復旧 (7C受電から7D受電に切り替える。))	電9.8-4 参照
	・5D電源復旧及び5D整流装置運転		電9.8-5 参照
	・6Dインバータ運転		電9.8-6 参照
	・6D電源特殊受電復旧 (6C・6S受電から6Dインバータ受電に切替える。)	17:37	電9.8-6, 7参照
<> 電源操作後 <>			
2-1	2号D/G43AM2を「手動」から「自動」に切替える。	17:39	
-2	N ₂ ガス隔離弁V74-5のCSを「開」にする。	17:39	・Rランプ点灯確認
-3	A _r ガス隔離弁V73-12のCSを「開」にする。	17:39	・Rランプ点灯確認

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
- 4	核計装CH-2, 5, 8のモードスイッチを「零調」から「測定」に切替える。	17:39	
- 5	2次系Naレベル計 (Bループ) の電源を「ON」にする。	17:40	・S-402 (#678)
- 6	2次系D/Tレベル計を「M」→「A」に切替える。	17:56	・S-402 (#1600)
- 7	スタコンを負荷に合わせて投入する。	17:53	・Rランプ点灯確認
- 8	保護系エリアモニタ (IM-2) を起動する。	17:37	・放管にて起動

電源設備点検時プラント操作チェックシート

弁ロック復旧・仮設電源復旧

H5. 9月 9日 (木) 2/2

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
1	弁ロックを復旧する。		・添付資料-1 参照
2	仮設電源の復旧を実施する。 (予熱N：ガス系は除く。)		・添付資料-2 参照

電源設備点検時
プラント操作 2B・3B-P/C 点検
チェックシート

H5. 9月11日(土) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 電源操作前 <>			
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による)	6:00	・9月10日(金)実施 ボイラー室に依頼 N ₂ 気化器温度監視 添付資料-5 参照
-2	常陽警備所へ空調、電動扉、PP設備の停止を依頼する。	6:20	
-3	ボイラー室へボイラー設備の停止及び運転管理棟放管棟、図書室空調の停止、共同溝排水監視を依頼する。	6:22	
-4	廃棄物処理建家の停電対策が行われている事を確認する。		
-5	液体N ₂ 、液体A ₁ の受け入れのないことを確認する。(ローリー電源:3B)		
-6	N ₂ 気化器の蒸気を停止する。		
-7	真空給水ポンプ(A)を停止する。(ボイラー停止のため)	6:47	
-8	下記空調器等を停止する。		
	(1)装填燃料貯蔵室空調器No.1	6:28	・局所排風機を設置する。
	(2)装填燃料貯蔵室排気ファンNo.1	6:28	
	(3)圧縮空気供給系室給・排気ファンNo.1, No.2	6:45	
	(4)水冷却池室系給・排気ファンNo.1, No.2	6:28	
	(5)1次A ₁ ガス系バルブ操作室給・排気ファン No.1, No.2	6:28	
	(6)ホット実験室系空調器	6:28	
	(7)計算機室用空調器	6:28	
<> 電源操作 <>			
	・2B-P/C停電	7:00	電9.11-3 参照
	・3B-P/C停電		電9.11-4 参照
<< 2課点検開始 >>			

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<< 2課点検終了 >>		
	<> 電源操作 <>		
	・3B-P/C復電	17:12	電9.11-5 参照
	・2B-P/C復電	17:41	電9.11-6 参照
	<> 電源操作後 <>		
2-1	機器運転状態確認(プラント状態表による)	17:43	
-2	常陽警備所へ空調、電動扉、PP設備の復旧を依頼する。	17:43	
-3	ボイラー室へボイラー設備の起動及び運転管理棟放管棟、図書室空調の起動を依頼する。	18:25	
-4	廃棄物処理建家へ復電の連絡を行う。		
-5	N ₂ 気化器の蒸気通気を開始する。	18:25	・ボイラーに依頼
-6	真空給水ポンプ(A)を起動する。	18:24	
-7	下記空調系機器を手動起動する。		
	(1)装填燃料貯蔵室空調器No.1	18:20	
	(2)装填燃料貯蔵室排気ファンNo.1	18:20	
	(3)圧縮空気供給系室給・排気ファンNo.1, No.2	18:16	
	(4)水冷却池室系給・排気ファンNo.1, No.2	18:28	
	(5)1次A, ガス系バルブ操作室給・排気ファン No.1, No.2	18:23	
	(6)ホット実験室系空調器	18:38	
	(7)計算機室用空調器	17:51	
-8	下記空調系機器の自動起動を確認する。		
	(1)外気取入れファン		
	(2)新燃料受入れ室排気ファンNo.1, No.2		
	(3)屋上エレベータ室給・排気ファン		
	(4)1・2階便所換気ファン		
	(5)中央制御室還気ファン		
-9	A予熱N ₂ ガスフロア軸封フロアを起動する。	18:09	

電源設備点検時
プラント操作 2D-P/C点検
チェックシート

H5. 9月12日(日) 1/4

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作前 <>	6:00	
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)		
-2	ボイラー室に停電を連絡し、主冷空調がP2である場合は、P2→P1切換を依頼する。	6:09	
-3	圧空C/PをB/C→B/Aに切り換える。	6:15	
-4	P/C室(B)給気ファンを停止する。		
-5	1次現場制御室系給・排気ファンをNo2→No1に切り替える。	6:30	
-6	格納容器空調換気設備室系給気ファンNo2を停止する。	6:18	
-7	V84-127が「開」であることを確認する。		・V84-128(4D)が、「閉」となるため。
-8	1次主循環ポンプ油ポンプを2A→1Aに切り換える。		
-9	2号D/Gの43AM2を「手動」にする。	6:24	・D/G揚水ポンプ電源が2D
-10	格納容器雰囲気監視盤内のポンプP-1を停止する。	6:11	・N ₂ 検出弁V84-86(4D)が「閉」となるため。
-11	1次Arガス呼吸ヘッダの系統パージ及び隔離を実施する。	6:22	・添付資料「仮設電源継込みマニュアル」参照
-12	第1・第2SFF非常系給・排風機の停止をボイラー室に依頼する。	6:27	
-13	第2SFF放管機器の停止を確認する。		・9月10日放管にて停止
	<> 電源操作 <>		
	・5D電源特殊受電及び5D整流装置停止	6:36	電 9.12-3参照
	・7S電源特殊受電		電 9.12-3参照
	・7D電源特殊受電		電 9.12-3, 4参照
	・7D整流装置停止)	電 9.12-4参照
	・4D電源特殊受電		電 9.12-4参照
	・2D-P/C停電		電 9.12-5, 6参照
	・第1・第2SFF建家非常系電源設備停電	7:35	電 9.12-6参照
	<< 2課点検開始 >>		

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作後 <>		
2-1	供給Arガス締切弁V36.1-36の「開」を確認する。 (7S)	7:35	
-2	1次主循環ポンプ軸封ガス締切弁V36.1-14A,Bを 「閉」にする。 (7S)		
-3	1次Arガス呼吸ヘッダの隔離を復旧する。 (1次Arガス系が安定することを確認する。)		
-4	C/TN ₂ 冷却器冷却水入口弁V34.1-29の「開」 を確認する。		
-5	V84-128の「開」を確認する。		
-6	N ₂ 検出弁V84-86が「開」となったことを 確認し、格納容器雰囲気監視盤内のポンプP-1を 起動する。		
-7	2次主配管室(B)給気弁・ダンパ(4D) V84-198, DP84-55 2次主配管室(B)換気弁・ダンパ(4D) V84-199, DP84-62 が「開」となったことを確認する。		
-8	主ポンプ上蓋室東側軸流ファンの停止を確認する。		
-9	オーバフロー系電磁ポンプが予熱状態であること を確認する。		
-10	1次純化系電磁ポンプが予熱状態であることを確 認する。		
-11	スタコンを投入し、力率を調整する。	7:45	
-12	2次系Na液面計(Bループ)電源の「ON」を 確認する。		

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<< 2課点検終了 >>		
	<> 電源操作前 <>		
3-1	V84-127が「開」であることを確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ・V84-128(4D)が、「閉」となるため。 ・N₂検出弁V84-86(4D)が「閉」となるため。
-2	格納容器雰囲気監視盤内のポンプP-1を停止する。		
	<> 電源操作 <>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・2D-P/C復電 ・4D電源特殊受電復旧 ・7D整流装置運転 ・7D電源特殊受電復旧 ・7S電源特殊受電復旧 ・5D整流装置運転及び5D電源特殊受電復旧 ・第1・第2SFF建家非常系電源設備復電 	22:35 23:08	電 9.12-7, 8参照 電 9.12-8参照 電 9.12-9参照 電 9.12-9参照 電 9.12-9参照 電 9.12-10参照 電 9.12-10参照
	<> 電源操作後 <>		
4-1	2号D/Gの43AM2を「自動」にする。		
-2	供給Ar気締切弁V36.1-36の「開」を確認する。		
-3	1次主循環ポンプ軸封ガス締切弁V36.1-14A,Bを「開」にする。		
-4	1次Ar系が正常状態であることを確認する。 (呼吸ガスヘッダ安全弁 V36.1-62B「閉」確認等)		
-5	C/TN ₂ 冷却器冷却水入口弁V34.1-29の「開」を確認する。		
-6	V84-128を「開」にする。		
-7	N ₂ 検出弁V84-86が「開」となったことを確認し、格納容器雰囲気監視盤内のポンプP-1を起動する。		
-8	2次主配管室(B)給気弁・ダンパ(4D) V84-198, DP84-5.5 2次主配管室(B)換気弁・ダンパ(4D) V84-199, DP84-6.2 が「開」となったことを確認する。		
-9	オーバフロー系電磁ポンプが予熱状態であることを確認する。		

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
4-10	1次純化系電磁ポンプが予熱状態であることを確認する。	23:47	
-11	ボイラー室に復電の連絡をし、必要に応じて主冷空調のP1→P2切替を依頼する。 り換える。	23:40	
-12	圧空C/PをB/A→B/Cに切り換える。	23:47	
-13	P/C室(B)給・排気ファンを起動する。		
-14	1次現場制御室系給排気ファンをNo.1→No.2に切り換える。	23:40	
-15	格納容器空調換気設備室系給気ファンNo2を起動する。	9/12 0:12	
-16	主ポンプ上蓋室東側軸流ファンの起動を確認する。		
-17	スタコンを投入し、力率を調整する。	23:15	
-18	2次系Na液面計(Bループ)電源の「ON」を確認する。		
-19	呼吸ガスヘッダのパーズ操作を行う。		・添付資料-1 「仮設電源マニュアル」 3-順序3 参照
-20	第1・第2SFF非常系給・排風機の起動をボイラー室に依頼する。		
-21	第2SFFの放管機器を起動する。		・9月13日放管にて起動

電源設備点検時
プラント操作 3D・3S-P/C点検
チェックシート

H5. 9月13日(月) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 電源操作前 <>			
1-1	1次予熱ヒータの設定値変更を実施する。 H33-7 200℃→260℃ 8 200℃→260℃ 9 200℃→260℃ 14 200℃→260℃ 28 260℃確認 29 260℃確認 H34.1-2 200℃→260℃ 4 200℃→260℃ 5 200℃→260℃ 6 200℃→260℃ 61 200℃→260℃ 62 200℃→260℃	9/12 22:13	・3S-P/C停電に伴うオーバフロー系、1次純化系電磁ポンプダクト温度低下対策
-2	機器運転状態確認(プラント状態表による。)		
-3	廃液移送(高・低レベル)の無いことを確認する。		
-4	廃ガスの発生が無いことを確認する。		
-5	付属プール水系の停止を確認する。 (水冷却池循環ポンプ等の停止)		・9月10日燃取にて停止
-6	ダスト・モニタが停止していることを確認する。		・9月10日放管にて停止
-7	V90/50 計算機が停止していることを確認する。	9/10 16:42	・9月10日技術課にて停止
-8	廃棄物処理建家の空調が停止していることを確認する。		・9月10日処理建家にて停止
-9	FFD-CG法を停止する。		・添付資料-4参照
-10	2号D/Gの空気貯槽圧力を28kg/cm ² まで昇圧する。		・2号D/Gコンプレッサーが3D電源のため。
-11	オーバフロー系、1次純化系電磁ポンプのダクト温度の初期値を記録し、COSを「予熱」から「除外」にする。 電磁ポンプのダクト温度が100℃まで低下すると予想された場合は、100℃到達予想の1時間前に2課へ連絡し、3S-P/Cを3C-P/Cから特殊受電する準備を開始する。		・添付資料-6参照 3S-P/C停電に伴うオーバフロー系、1次純化系電磁ポンプダクト温度監視記録
<> 電源操作 <>			
	・3S-P/C停電 ・3D-P/C停電	7:55)	電 9.13-3参照 電 9.13-4参照
<< 2課点検開始 >>			

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<< 2課点検終了 >>		
	<> 電源操作 <>		
	・3D-P/C復電	18:21	電 9.13-5参照
	・3S-P/C復電	18:44	電 9.13-6参照
	<> 電源操作後 <>		
2-1	オーバフロー系、1次純化系電磁ポンプCOSを「除外」から「予熱」にする。	18:45	
-2	1次予熱ヒータの設定値変更を復旧する。	18:54	・1-1にて変更を行ったものについて、変更前の設定値に復旧する。
-3	付属プール水系の起動を燃取に依頼する。 (水冷却池循環ポンプ等)	9/14	
-4	ダスト・モニタの起動を放管に依頼する。	19:05	
-5	V90/50 計算機の起動を技術課に依頼する。	18:45	
-6	廃棄物処理建家空調の復旧を処理建家に依頼する。	9/14	
-7	FFD-CG法を復旧する。	19:18	・添付資料-4参照

電源設備点検時
 プラント操作 2HD-P/C点検
 チェックシート

H5. 9月14日(水) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1-1	<> 電源操作前 <> 2次系予熱温度の初期値をデータシートに記録する。	9:00	添付資料-7参照
	<> 電源操作 <> ・2HD-P/C停電	9:06) 9:27	電 9.14-3参照
2-1	<> 電源操作後 <> 2次系のNa温度を監視し、ヒータ温度をデータシートに記録する。(1時間毎)		添付資料-7参照
	<< 2課点検開始 >> << 2課点検終了 >>		
3-1	<> 電源操作前 <> 2次系Na温度を確認し、フリーズした部分がないことを確認する。フリーズした部分がある場合はその部分のトグルスイッチを「OFF」とし、2HD-P/C復電後順次メルトする。		
	<> 電源操作 <> ・2HD-P/C復電	11:50)	電 9.14-4参照
4-1	<> 電源操作後 <> 2次系予熱温度が電源操作前の温度で安定することを確認する。		

電源設備点検時
 プラント操作 1HD-P/C点検
 チェックシート

H5. 9月14日(水) 2/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1-1	<> 電源操作前 <> 1次系予熱温度の初期値をデータシートに記録する。		添付資料-8参照
	<> 電源操作 <> ・1HD-P/C停電	13:10) 13:25	電 9.14-5参照
2-1	<> 電源操作後 <> 1次Na温度を監視し、予熱温度をデータシートに記録する。(30分毎)		添付資料-8参照
	<< 2課点検開始 >> << 2課点検終了 >>		
3-1	<> 電源操作前 <> 1次系、2次補助系Na温度を確認し、フリーズした部分がないことを確認する。フリーズした部分がある場合は、その部分のトグルスイッチを「OFF」とし、1HD-P/C復電後順次メルトする。	17:19	
	<> 電源操作 <> ・1HD-P/C復電	17:19)	電 9.14-6参照
4-1	<> 電源操作後 <> 2次系予熱温度が電源操作前の温度で安定することを確認する。		

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

第1・2SFF一般系電源

H5. 9月15日(水) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源操作前 <>		
1- 1	ボイラー室に第1・2SFF建家空調器の停電処置が完了していることを確認する。		
- 2	第1・2SFFのダストサンプラ停止確認		放管にて停止
	<> 電源操作 <>		
	・第1・2SFF一般系電源停電	6:38 {	電 9.15-3 参照
	<< 2課点検開始 >>		
	<< 2課点検終了 >>		
	<> 電源操作 <>		
	・第1・2SFF一般系電源復電		電 9.15-3 参照

電源設備点検時プラント操作チェックシート

予熱N：ガス系仮設電源復旧

H5. 11月12日(金) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1	予熱N：ガス系の仮設電源を復旧する。		・添付資料-2参照

2. 電源設備操作チェックシート

電源設備操作チェックシート

平成5年 5月29日 (土)

<点検対象> 1 A ・ 1 B - M / C

<操作内容> 1. 商用電源喪失前の電源設備点検

2. 工務課へ停電連絡

3. 商用電源停電 (D/G自動起動)

4. 非常系電源確認

5. 常陽変電所停電分離

6. 6KV常陽線 (バックアップ系) 分離

7. 1A-M/C停電分離

8. 1B-M/C停電分離

<< 2課点検開始 >>

電源設備操作チェックシート

平成5年 5月29日 (土)

<点検対象> 1 A・1 B M / C 点検

<操作内容> << 2 課点検終了 >>

9. 常陽変電所受電

10. 1 A - M / C 復電

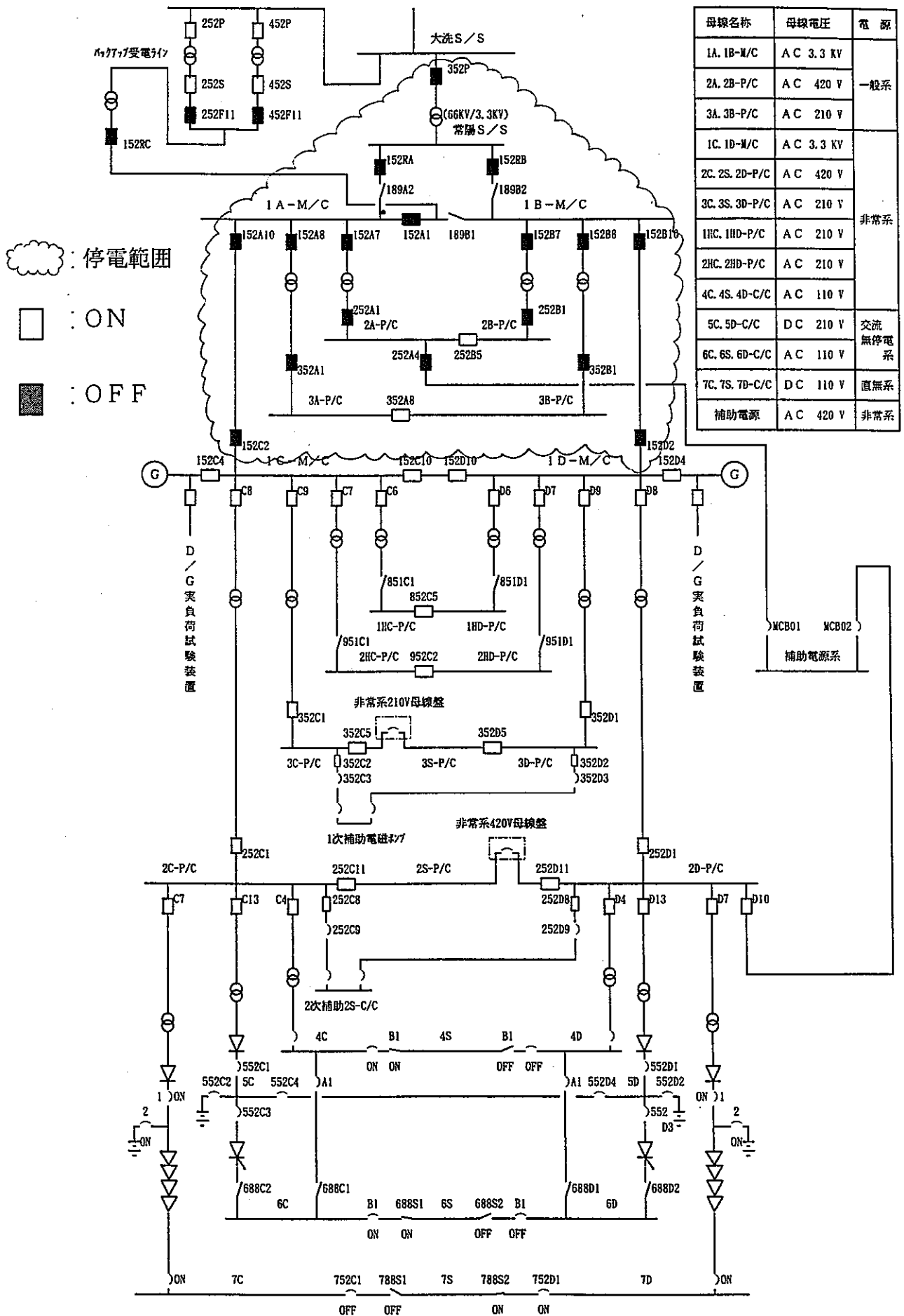
11. 1 B - M / C 復電

12. 1 C - M / C 商用電源受電へ復旧 (1号D/G停止)

13. 1 D - M / C 商用電源受電へ復旧 (2号D/G停止)

14. 6KV常陽線 (バックアツプ系) 分離

「常陽」 電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 15)

JPNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>商用電源喪失前の電源設備点検</p> <p>(a) 1号・2号D/Gの自動待機状態を確認する。</p> <p>① 電源監視盤「自動」「中央」ランプ点灯</p> <p>② D/G関係のANN点灯が無いこと</p> <p>③ D/G燃料の主貯油槽が5000ℓ以上であること</p> <p>④ D/G補機類の電源及びCOS選択の確認</p> <p>⑤ D/G始動用空気貯槽の圧力が2.5kg/cm²以上であること</p> <p>(b) 電源母線構成を確認する。(通常状態)</p> <p>① 2C-P/C順序投入COS43A「自動」</p> <p>② 2S-P/C順序投入COS43A「自動」</p> <p>③ 2C-P/C2S-P/C用CB252C11「入」</p> <p>④ 2D-P/C順序投入COS43A「自動」</p> <p>⑤ 3C-P/C順序投入COS43A「自動」</p> <p>⑥ 3D-P/C順序投入COS43A「自動」</p> <p>⑦ 3S-P/C順序投入COS43A「自動」</p> <p>⑧ 3D-P/C3S-P/C用CB352D5「入」</p> <p>⑨ 4S電源盤4C受電</p>	<p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>S-127</p> <p>S-128</p> <p>S-125</p> <p>S-130</p> <p>S-125</p> <p>S-130</p> <p>A-705 (#312)</p> <p>A-705 (#312)</p> <p>A-705 (#312)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-707 (#334)</p> <p>A-707 (#333)</p> <p>A-707 (#334)</p> <p>A-706 (#323)</p>		<p>3-452S1 Rランプ確認</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	⑩ 4 C電源盤6 C電源用NFB-A1「入」 ⑪ 4 D電源盤6 D電源用NFB-A1「入」 ⑫ 5 C整流装置及び6 Cインバータ運転中 ⑬ 6 C電源盤自動投入COS43A「自動」 ⑭ 6 S電源盤6 C受電CS3-688S1「入」 ⑮ 6 S電源盤自動投入COS43A「手動」 ⑯ 5 D整流装置及び6 Dインバータ運転中 ⑰ 6 D電源盤自動投入COS43A「自動」 ⑱ 7 C整流装置「自動」「浮動」 ⑲ 7 C負荷電圧補償装置「自動」 ⑳ 7 D整流装置「自動」「浮動」 ㉑ 7 D負荷電圧補償装置「自動」 ㉒ 7 S電源盤7 D受電CS3-788S2「入」 ㉓ 7 S電源盤自動投入COS43A「手動」	A-706 (#324) A-706 (#336) A-704 (#302) A-704 (#304) A-704 (#341) A-704 (#341) A-707 (#338) A-707 (#340) A-704 (#305) A-704 (#305) A-707 (#344) A-707 (#344) A-707 (#307) A-707 (#307)		

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	工務課（大洗変電所）へ停電前の準備完了を連絡する。（内線：2074担当者大島氏）			電話連絡 352P「切」 予定15分前に連絡
3	<p>商用電源の停電</p> <p>(a) 工務課へ停電を連絡する。 時間 5 : 5 9</p> <p>(b) 電源監視盤にて大洗変電所常陽線用CS3-352Pを「切」にする。 時間 6 : 0 0</p>	中央制御室 (#427)	○	1分前に連絡 一般系電源停電
4	<p>非常系電源の確認</p> <p>(a) 1号・2号D/Gの自動起動・電圧確立確認</p> <p>(b) P/C, C/Cの自動投入確認</p> <p>(c) D/G機関に異常のないことを確認する。</p>	中央制御室 (#427) S-125 S-130		
5	<p>常陽変電所の停電分離</p> <p>(a) 大洗変電所遮断器352P、389P「DS」、バックアップ用252F11、452F11の「切・ロック」を依頼する。（内線：2074担当者大島氏）</p> <p>(b) 常陽変電所A系CB152RAを「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし、CB152RAを「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(c) 常陽変電所B系CB152RBを「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし、CB152RBを「試験位置」まで引き出す。</p>	大洗S/S 中央制御室 (#427) 常陽S/S 中央制御室 (#427) 常陽S/S	 ○ ○○ ○ ○○	工務課所掌

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	(d) 電源設備操作7 S分電盤内、屋外・変電所制御・操作電源NFB-A1を「切」にする。	S-201 (#647)	○	常陽制御電源喪失ANN発生
6	<u>6KV常陽線（バックアップ系）分離の確認</u>			
	(a) 6KV常陽線（バックアップ系）遮断器CB152RCの「切」を確認する。	S-201	○	
	(b) 6KV常陽線（バックアップ系）遮断器CB152RCの制御電源スイッチ"8"の「切」、CB152RCの「試験位置」を確認する。	S-201	○○	
	(c) 1A・1B母線切替盤189AO, 189BO「切」確認する。	S-201	○○	
7	<u>1A-M/Cの停電分離確認</u>			
	(a) 1A-M/Cの次のCBを「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし、各CBを「試験位置」とする。			
	① A-1次主循環ポンプ CB152A3	中央制御室 (#424) S-201 (#641)	○ ○○	
	② 主冷却機建家1A-C/C用 CB152A6	S-201 (#641)	○○○	
	③ 2A-P/C用 CB152A7	S-201 (#641)	○○○	
	④ 3A-P/C用 CB152A8	S-201 (#641)	○○○	
	⑤ A-SC用 CB152A9	S-201 (#641)	○○○	
	⑥ 1C-M/C用 CB152A10	中央制御室 (#427) S-201 (#641)	○ ○○	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考	
7	⑦ IRAF用	CB152A11	S-201 (#641)	○○○	
	⑧ 一般照明用	CB152A12	S-201 (#641)	○○○	
	⑨ 第2使用済燃料貯蔵施設用	CB152A13	S-201 (#641)	○○○	
	(b) 1A-M/Cの次のCBの「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、各CBの「試験位置」を確認する。		S-201 (#641)		
	① 母線連絡用	CB152A 1	S-201 (#641)	○	
	② A-予熱N2 ガスブロワ用	CB152A 5	S-201 (#641)	○	
	(c) 1A-M/C電源引込み用DS189A2を「開放」とする。		S-201 (#641)	○	
	(d) 電源設備操作7S分電盤内、1A-M/C制御電源用NFB-A2を「切」とする。		S-201 (#647)	○	
	(e) 電源設備操作7S分電盤内、1A-M/C操作電源用NFB-A3を「切」とする。		S-201 (#647)	○	
	(f) スペースヒータ分電盤内、一般系A用NFB-B3を「切」とする。		S-201 (#648)	○	
	(g) 1C-M/C電源引込CB152C2の「切」を確認し、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C2を「試験位置」まで引き出す。		中央制御室 (#427)	○	
			A-705 (#311)	○○	
	(h) 2A-P/C変圧器2次CB252A1を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」としCB252A1を「試験位置」まで引き出す。		S-201 (#643)	○○○	
(i) 3A-P/C変圧器2次CB352A1を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」としCB352A1を「試験位置」まで引き出す。		S-201 (#645)	○○○		

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
8	<p><u>1 B - M / C の 停 電 分 離</u></p> <p>(a) 1 B - M / C の 次の各 C B を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、各 C B を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>① 主冷却機建家 1 B - C / C 用 C B 1 5 2 B 6</p> <p>② 2 B - P / C 用 C B 1 5 2 B 7</p> <p>③ 3 B - P / C 用 C B 1 5 2 B 8</p> <p>④ 第 1 S F F 建家電気設備（一般系）用 C B 1 5 2 B 1 1</p> <p>⑤ 運転管理棟ターボ冷凍機用 C B 1 5 2 B 1 2 確認</p> <p>⑥ B - 1 次主循環ポンプ用 C B 1 5 2 B 3</p> <p>⑦ B - S C 用 C B 1 5 2 B 9</p> <p>⑧ 1 D - M / C 用 C B 1 5 2 B 1 0</p>	<p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>中央制御室 (# 4 2 4)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>中央制御室 (# 4 2 7)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p>	<p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○</p> <p>○</p> <p>○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○○</p>	<p>冬期停止中</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(7 / 17)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
8	(b) 1B-M/Cの・予熱N2 ガスブロウ用CB152B5の「切」制御電源スイッチ”8”の「切」及び、CB152B5の「試験位置」を確認する。 (c) 1B-M/Cの母線連絡用DS189B1の「開放位置」を確認する。 (d) 1B-M/Cの電源引込みDS189B2を「開放」にする。 (e) 電源設備操作7S分電盤内、1B-M/C制御電源用NFB-A4を「切」にする。 (f) 電源設備操作7S分電盤内、1B-M/C操作電源用NFB-A5を「切」にする。 (g) スーベスヒータ分電盤内、一般系B用NFB-B2を「切」にする。 (h) 1D-M/Cの電源引込みCB152D2の「切」を確認し、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152D2を「試験位置」まで引き出す。 (i) 2B-P/C変圧器2次CB252B1を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252B1を「試験位置」まで引き出す。 (j) 3B-P/C変圧器2次CB352B1を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB352B1を「試験位置」まで引き出す。	S-201 (#642) S-201 (#642) S-201 (#642) S-201 (#647) S-201 (#647) S-201 (#648) 中央制御室 (#427) A-707 (#331) S-201 (#644) S-201 (#646)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○○ ○○○ ○○○	
<< 2 課点検開始 >>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(8 / 15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
<< 2 課点検終了 >>				
9	<p>常陽変電所の受電</p> <p>(a) 電源設備操作7S分電盤内、屋外・変電所制御・操作電源NFB-A1を「入」とする。</p> <p>(b) 工務課へ352P, 389P「切りロック」解除を依頼する。(内線:2074担当者大島氏)</p> <p>(c) 1A-M/Cの電源引き込み用DS189A2を「入」にする。</p> <p>(d) 1B-M/Cの電源引き込み用DS189B2を「入」にする。</p> <p>(e) 工務課より352P, 389P「切りロック」解除終了の連絡を受けた後、工務課へ復電を連絡する。(内線:2074担当者大島氏)</p> <p>(f) 電源監視盤にて大洗変電所常陽線用CS3-352Pを「入」とする。</p>	<p>S-201 (#647) 大洗S/S</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>工務課所掌</p> <p>・Rランプ点灯確認</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(9 / 15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
10	<p><u>1A-M/C復電</u></p> <p>(a) 電源設備操作7S分電盤内、1A-M/C制御電源用NFB-A2を「入」にする。</p> <p>(b) 電源設備操作7S分電盤内、1A-M/C操作電源用NFB-A3を「入」にする。</p> <p>(c) 1A-M/C母線連絡用CB152A1の「切」、制御電源”8”「切」、「試験位置」の確認をする。</p> <p>(d) 1A-M/C電源引込用DS189A2の「入」を確認する。</p> <p>(e) 常陽変電所A系CB152RAの「運転位置」、制御電源スイッチ”8”を「入」とする。</p> <p>(f) 電源監視盤にて、常陽変電所A系CB152RA「入」にする。</p> <p>(g) 1A-M/Cの次のCBを「運転位置」とし、制御電源”8”を「入」とし、各CBを「入」にする。</p> <p>① 主冷却機建家1A-C/C用 CB152A 6</p> <p>② 一般系照明電源用 CB152A12</p> <p>③ A-SC用 CB152A 9</p> <p>④ IRAF用 CB 152A11</p> <p>⑤ 第2使用済燃料貯蔵施設用 CB 152A13</p>	<p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>常陽S/S</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#641)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>・中央制御室(#427)にて Gランプ点灯確認</p> <p>< 1A-M/C 復電 > ・Rランプ点灯確認</p>

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
10	(h) 1A-M/Cの次の各CBを「運転位置」とし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。 ① 1C-M/C用 CB152A10 ② A-1次主循環ポンプ用 CB152A 3	S-201 (#641) 中央制御室 (#424) S-201 (#641)	** * **	CSは「切」のまま
	(i) 1A-M/CのA・予熱N2 ガスブロウ用CB152A5の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152A5の「試験位置」を確認する。	S-201 (#641)	*	
	(j) 2A-P/C変圧器2次CB252A1を「運転位置」にし制御電源スイッチ”8”を「入」としCB252A1を「入」にする。	S-201 (#643)	***	< 2A-P/C 復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANNが発生する。 「A系 低電圧」
	(k) 3A-P/C変圧器2次CB352A1を「運転位置」にし制御電源スイッチ”8”を「入」としCB352A1を「入」にする。	S-201 (#645)	***	< 3A-P/C 復電 > ・Rランプ点灯確認
	(l) 1A-M/Cの次のCBを「運転位置」とし、制御電源”8”を「入」とし、各CBを「入」にする。 ① 2A-P/C用 CB152A 7 ② 3A-P/C用 CB152A 8	S-201 (#641) S-201 (#641) S-201 (#641)	*** *** ***	
	(m) 1C-M/C電源引込CB152C2を「運転位置」、制御電源スイッチ”8”を「入」とする。	A-705 (#311)	**	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(11/15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
11	<p><u>1B-M/C復電</u></p> <p>(a) 電源設備操作7S分電盤内、1B-M/C制御電源用NFB-A4を「入」にする。</p> <p>(b) 電源設備操作7S分電盤内、1B-M/C操作電源用NFB-A5を「入」にする。</p> <p>(c) 1B-M/Cの母線連絡用DS189B1の「切」と「開放位置」を確認する。</p> <p>(d) 1B-M/C電源引込み用DS189B2の「入」を確認する。</p> <p>(e) 常陽変電所B系CB152RBを「運転位置」とし、制御電源スイッチ”8”を「入」とする。</p> <p>(f) 電源監視盤にて、常陽変電所B系CB152RBを「入」にする。</p> <p>(g) 1B-M/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、各CBを「入」にする。</p> <p>① 主冷却建家 1B-C/C用 CB152B6</p> <p>② B-SC用 CB152B9</p> <p>③ SFF建家電気設備(一般系)用 CB152B11</p> <p>④ 運転管理棟ターボ冷凍機用 CB152B12 (CB「試験位置」, 制御電源スイッチ”8”「切」確認)</p>	<p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>常陽S/S</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#642)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>**</p>	<p>・ANNが発生する。 「B系 低電圧」</p> <p>・中央制御室(#427)にて Gランプ点灯確認</p> <p>< 1B-M/C 復電 > ・Rランプ点灯確認</p> <p>冬期停止中</p>

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
11	(h) 1B-M/Cの次の各CBを「運転位置」とし、制御スイッチ” 8” を「入」にする。			
	① 1D-M/C用 CB152B10	S-201 (#642)	**	
	② B-1次主循環ポンプ用 CB152B3	中央制御室 (#424)	*	
	(i) 1B-M/CのB・予熱N2 ガスブロウ用CB152B5の「切」、制御電源スイッチ” 8” の「切」及び、CB152B5の「試験位置」を確認する。	S-201 (#642)	*	
	(j) 2B-P/C変圧器2次CB252B1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8” を「入」とし、CB252B1を「入」にする。	S-201 (#643)	***	< 2B-P/C 復電 > ・Rランプ点灯確認
	(k) 3B-P/C変圧器2次CB352B1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8” を「入」とし、CB352B1を「入」にする。	S-201 (#645)	***	< 3B-P/C 復電 > ・Rランプ点灯確認
	(l) 1B-M/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8” を「入」とし、各CBを「入」にする。	S-201 (#642)		
	① 2B-P/C用 CB152B7	S-201 (#642)	***	
	② 3B-P/C用 CB152B8	S-201 (#642)	***	
	(m) 1D-M/Cの電源引き込み用CB152D2を「運転位置」制御電源スイッチ” 8” を「入」とする。	A-707 (#331)	**	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(13/15)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
12	<p>1C-M/Cの商用電源運転の復旧</p> <p>(a) 自動同期盤のCOS" 8"を「入」にする。</p> <p>(b) 1A-M/Cの1C-M/C用CB152A10をCS3-152A10により「入」にする。</p> <p>(c) 同期並列用プラグを仮置場所から抜き出してCOS43-25C2に挿入する。</p> <p>(d) 同期スイッチCOS43-25C2を「自動」にする。</p> <p>※起動側、運転側の電圧、周波数を確認する。</p> <p>(e) TCB152C2が自動的に投入されたのを確認する。</p> <p>(f) CS7-65M1を「低減」側に操作し、DG電力計指示値が0.2MWになるまで負荷移動する。</p> <p>(g) CS3-152C4を速やかに「切」にする。</p> <p>(h) 同期スイッチCOS43-25C2を「切」にする。</p> <p>(i) 約5分間1号DGの無負荷運転を行う。</p> <p>(j) COS43-AM1を「手動」にする。</p> <p>(k) CS1-G1を「停止指令」にして、DGを停止する。 DGターニング実施</p> <p>(l) COS43-AM1を「自動」にする。</p>	<p>中央制御室 (#405)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p>	<p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p>	<p></p> <p>同期検定器が作動する。</p> <p>TCB152C2のRランプ点灯</p> <p>DGのモータリング防止のため0MW以下にしないこと。</p> <p>TCB152C4のGランプ点灯 TCB152C4の投入後40秒経過するとTCB152C4は自動的に開放する。</p> <p>機関の冷却運転</p> <p>1号DG状態表示灯「手動」 点灯 1号DG回転数 0rpm 電 圧 0v</p> <p>1号DG状態表示灯「自動」 点灯</p>

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
13	<p>1D-M/Cの商用電源運転の復旧</p> <p>(a) 1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10をCS3-152B10により「入」にする。</p> <p>(b) 同期並列用プラグをCOS43-25C2から抜き出してCOS43-25D2に挿入する。</p> <p>(c) 同期スイッチCOS43-25D2を「自動」にする。</p> <p>※起動側、運転側の電圧、周波数を確認する。</p> <p>(d) TCB152D2が自動的に投入されたのを確認する。</p> <p>(e) CS7-65M2を「低減」側に操作し、DG電力計指示値が0.2MWになるまで負荷移動する。</p> <p>(f) CS3-152D4を速やかに「切」にする。</p> <p>(g) 同期スイッチCOS43-25D2を「切」にする。</p> <p>(h) 同期並列用プラグを仮置場所に戻す。</p> <p>(i) 約5分間2号DGの無負荷運転を行う。</p> <p>(j) COS43-AM2を「手動」にする。</p> <p>(k) CS1-G2を「停止指令」にして、DGを停止する。 DGターニング実施</p> <p>(l) COS43-AM2を「自動」にする。</p>	<p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>中央制御室 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>同期検定器が作動する。</p> <p>TCB152D2のRランプ点灯</p> <p>DGのモータリング防止のため0MW以下にしないこと。</p> <p>TCB152D4のGランプ点灯 TCB152D4の投入後約40秒経過するとTCB152D4は自動的に開放になる。</p> <p>機関の冷却運転</p> <p>2号DG状態表示灯「手動」点灯 2号DG回転数 0rpm 電 圧 0v</p> <p>2号DG状態表示灯「自動」点灯</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(15/15)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1 3	(m) 自動同期盤の制御電源COS” 8”を「切」にする。 (n) スペースヒータ分電盤内、一般系A用NFB-B3を「入」にする。 (o) スペースヒータ分電盤内、一般系B用NFB-B2を「入」にする。	中央制御室 (#405) S-201 * (#648) S-201 * (#648)		
1 4	<u>6KV常陽線（バックアップ系）分離</u> (a) 6KV常陽線（バックアップ系）遮断器CB152RCの「切」を確認する。 (b) 6KV常陽線（バックアップ系）遮断器CB152RCの制御電源スイッチ” 8”の「切」CB152RCの「試験位置」を確認する。 (c) 1A/1B母線連絡切替盤189AO, 189BO「切」を確認する。	S-201 * S-201 ** S-201 **		

PNC TN9410 95-270

電源設備操作チェックシート

平成 5年 5月30日 (日)

<点検対象> 1 C-M/C

.....

<操作内容> 1. 3C-P/C特殊受電 (1C-M/C受電から、3D, 3S-P/C受電に切替える。)

.....

2. 2C・2S-P/C特殊受電 (1C-M/C受電から、2D-P/C受電に切替える。)

.....

3. 1HC-P/C母線連絡 (1C-M/C受電から、1HD-P/C受電に切替える。)

.....

4. 2HC-P/C母線連絡 (1C-M/C受電から、2HD-P/C受電に切替える。)

.....

5. 1C-M/C停電

.....

<< 2課点検開始 >>

.....

.....

.....

電源設備操作チェックシート

平成 5年 5月30日 (日)

<点検対象> 1 C-M/C

.....

<操作内容> << 2課点検終了 >>

.....

6. 1 C-M/C復電

.....

7. 1 HC-P/C復帰操作 (1 HD-P/C受電から、1 C-M/C受電に切替える。)

.....

8. 2 HC-P/C復帰操作 (2 HD-P/C受電から、1 C-M/C受電に切替える。)

.....

9. 3 C-P/C復帰操作 (3 D, 3 S-P/C受電から、1 C-M/C受電に切替える。)

.....

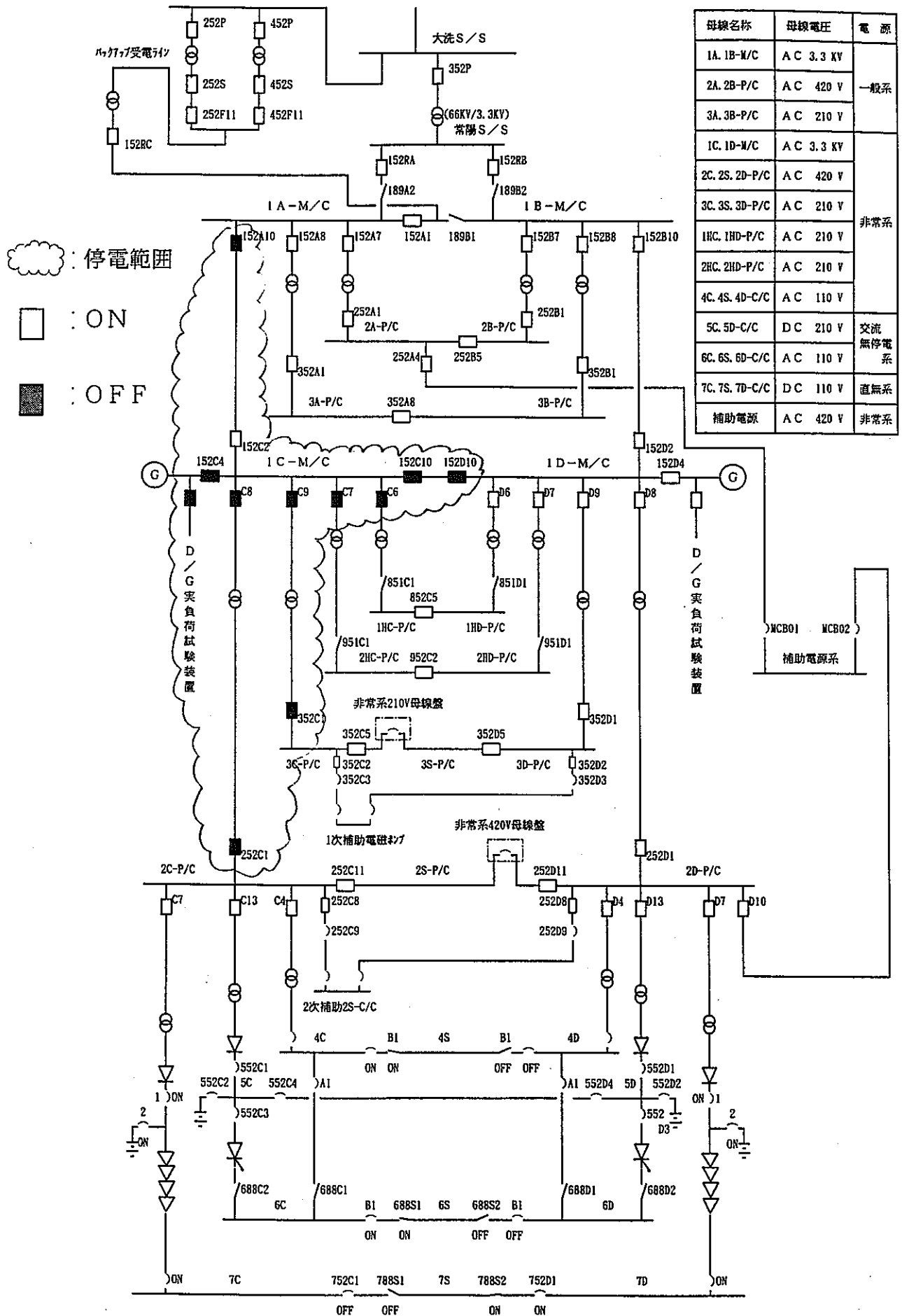
10. 2 C・2 S-P/C復帰操作 (2 D-P/C受電から、1 C-M/C受電に切替える。)

.....

.....

.....

「常陽」電源設備系統図



母線名称	母線電圧	電源
1A. 1B-M/C	AC 3.3 KV	一般系
2A. 2B-P/C	AC 420 V	
3A. 3B-P/C	AC 210 V	
1C. 1D-M/C	AC 3.3 KV	非常系
2C. 2S. 2D-P/C	AC 420 V	
3C. 3S. 3D-P/C	AC 210 V	
1HC. 1HD-P/C	AC 210 V	
2HC. 2HD-P/C	AC 210 V	交流 無停電系
4C. 4S. 4D-C/C	AC 110 V	
5C. 5D-C/C	DC 210 V	
6C. 6S. 6D-C/C	AC 110 V	直無系
7C. 7S. 7D-C/C	DC 110 V	
補助電源	AC 420 V	非常系

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>3C-P/C特殊受電</u></p> <p>(a) 非常系210V母線盤NFBの「入」を確認する。</p> <p>(b) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「運転位置」とし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(c) 1C-M/Cの3C-P/C用CB152C9を「切」にし、CB152C9を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 3C-P/C変圧器2次側CB352C1を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB352C1を「試験位置」にする。</p> <p>(e) 2課にて以下の作業をおこなう。 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5のL1~L2端子をジャンパする。</p> <p>(f) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「入」にする。</p> <p>(g) 2課にてL1~L2端子ジャンパを取り外す。</p> <p>(h) 3C-P/Cの各負荷CBを「手動投入」する。</p> <p>① 計算機電源用 CB352C4</p> <p>② 主冷却機建家3C-C/C CB352C6</p> <p>(i) 1C-M/Cの3C-P/C用CB152C9の制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#357)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-705 (#311)</p>	<p></p> <p>○○</p> <p>○○</p> <p>○○○</p> <p></p> <p>○</p> <p></p> <p></p> <p>○</p>	<p>(1C-M/C受電から 3D・3S-P/C受電 に切替える。)</p> <p>< 3C-P/C停電 > ・ANNが発生する。 「C系 低電圧」</p> <p>< 3C-P/C復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」 CB352C4トリップ CB352C6トリップ</p>
2	<p><u>2C・2S-P/C 特殊受電</u></p> <p>(a) 非常系420V母線盤NFBの「入」を確認する。</p>	<p>A-707 (#356)</p>	<p></p>	<p>(1C-M/C受電から2D-P/C受電に切替える。)</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 1 0)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p>(b) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「運転位置」とし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(c) 1C-M/Cの2C-P/C用CB152C8を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C8を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 2C-P/C変圧器2次側CB252C1を「切」にし、CB252C1を「試験位置」にする。</p> <p>(e) 2課にて以下の作業を行う。 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11のL1~L2端子をジャンパする。</p> <p>(f) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「入」にし、2C・2S-P/Cの負荷側順序投入を確認する。</p> <p>(g) 2課にてL1~L2端子ジャンパを取り外す。</p> <p>(h) 2C-P/C変圧器2次側CB252C1の制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#332)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#312)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-705 (#312)</p>	<p>○○</p> <p>○○○</p> <p>○○</p> <p></p> <p>○</p> <p></p> <p>○</p>	<p>< 2C・2S-P/C停電 > < 4C・4S電源停電 > ・ANNが発生する。 「C系 低電圧」 ・制御電源スイッチ”8”を「切」にすると2C-P/Cが復電しても負荷側の自動投入がされない為、負荷側自動投入後、”8”を「切」にする。</p> <p>< 2C・2S-P/C復電 > < 4C・4S電源復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」</p>
3	<p>1HC-P/C 母線連絡</p> <p>(a) 1C-M/Cの1HC-P/C用CB152C6を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C6を「試験位置」にする。</p>	<p>A-705 (#311)</p>	<p>○○○</p>	<p>(1C-M/C受電から1HD-P/C受電に切替える。) < 1HC-P/C停電 > ・ANNが発生する。 「C系 低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 1 0)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	(b) 1HC-P/C変圧器2次側K. S852C1を「手動開放」する。	A-706 (#322)	○	・制御電源スイッチ”8”を「切」にすると1HC-P/Cが復電しても負荷側の自動投入がされない為、負荷側自動投入、”8”を「切」にする。
	(c) 1HC-P/Cの母線連絡用CB852C5を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB852C5を「入」にする。	A-706 (#322)	○○○	< 1HC-P/C復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」
	(d) 1HC-P/Cの負荷側順序投入を確認する。			
	(e) 1HC-P/C変圧器2次側K. S852C1の制御電源スイッチ”8”を「切」にする。	A-706 (#322)	○	
	(f) 2次補助予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」とし、再投入する。	A-505 (#223-2)		・3ユニット (NFB-A, B, C)
4	<u>2HC-P/C 母線連絡</u>			(1C-M/C受電から 2HD-P/C受電に 切替える。)
	(a) 1C-M/Cの2HC-P/C用CB152C7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C7を「試験位置」にする。	A-705 (#311)	○○○	< 2HC-P/C停電 > ・ANNが発生する。 「C系 低電圧」
	(b) 2HC-P/C変圧器2次側のK. S952C1を「手動開放」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。	S-202 (#649)	○○	
	(c) 2HC-P/Cの母線連絡用CB952C2を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB952C2を「入」にする。	S-202 (#649)	○○○	< 2HC-P/C復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」
	(d) 2次予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」とし、再投入する。	S-501 (#691-1 ~ 691-15)		・12ユニット (NFB-A, J~T)

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<p>1C-M/C 停電</p> <p>(a) 1号D/Gの自動待機を解除する。</p> <p>① 電源監視盤の1号D/GCOS43AM1を「自動」から「手動」にする。</p> <p>② 1号D/G盤の1号D/GCOS43Rを「中央」から「現場」にする。</p> <p>③ 1号D/G機関運転ハンドルを「停止」にする。</p> <p>④ 電源設備操作7C分電盤内、1号D/G制御電源用NFB-D1を「切」にする。</p> <p>⑤ 1号D/G電源引き込み用CB152C4の「切」を確認する。</p> <p>⑥ 1号D/G電源引き込み用CB152C4の制御電源スイッチ”8”を「切」にし、CB152C4を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 1C-M/CのA-フロン冷凍機用CB152C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C5を「試験位置」にする。</p> <p>(c) 1C-M/Cの床上冷凍機用CB152C11を「切」とし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C11を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 1C-M/Cの母線連絡用CB152C10の「切」(中制)、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(e) 1D-M/Cの母線連絡用CB152D10の「切」(中制)、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D10の「試験位置」を確認する。</p>	<p>中央制御室 (#427) S-125 (#621) S-125</p> <p>A-706 (#325) 中央制御室 (#427) A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>中央制御室 (#427) A-705 (#311)</p> <p>中央制御室 (#427) A-707 (#331)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・1号D/G 状態表示 「自動」表示消灯確認</p> <p>・1号D/G 状態表示 「現場」表示点灯確認</p> <p>・ANNが発生する。 「1号D/G制御電源喪失」</p>

○は、タグ取り付け、*は、タグの取り外しを示す。

(5 / 1 0)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	(f) 1号D/G実負荷試験用CB152C41の「切」、制御電源スイッチの「切」、 CB152C41の「試験位置」を確認する。 (g) 電源監視盤のCS152A10を「切」にする。 (h) 電源監視盤にてCB152C2の「自動開放」を確認する。 (i) 1A-M/Cの1C-M/C用CB152A10の制御電源スイッチ”8”を「切」にし、 CB152A10を「試験位置」にする。 (j) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「切」にする。 (k) 1C-M/Cの商用電源引き込み用CB152C2の制御電源スイッチ”8”を「切」にし CB152C2を「試験位置」にする。 (l) 電源設備操作7C分電盤内、1C-M/C制御電源用NFB-A3を「切」にする。 (m) 電源設備操作7C分電盤内、1C-M/C操作電源用NFB-A4を「切」にする。	A-705 (#320) 中央制御室 (#427) 中央制御室 (#427) S-201 (#641) S-201 (#648) A-705 (#311) A-706 (#325) A-706 (#325)	○ ○ ○ ○○ ○ ○○ ○ ○	< 1C-M/C停電 > ・Gランプ点灯確認 ・ANNが発生する。 「C系 低電圧」 ・ANNリセット可 「C系 低電圧」
<< 2 課点検開始 >>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
<< 2 課点検終了 >>				
6	<p><u>1 C-M/C復電</u></p> <p>(a) 1 D-M/Cの母線連絡用CB152D10の「切」(中制)、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(b) 1 C-M/Cの母線連絡用CB152C10の「切」(中制)、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(c) 電源設備操作7C分電盤内、1 C-M/C制御電源用NFB-A3を「入」にする。</p> <p>(d) 電源設備操作7C分電盤内、1 C-M/C操作電源用NFB-A4を「入」にする。</p> <p>(e) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「入」にする。</p> <p>(f) 1 A-M/Cの1 C-M/C用CB152A10を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(g) 1 C-M/Cの商用電源引き込み用CB152C2を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(h) 電源監視盤にて、以下の操作を行う。</p> <p>① 1 A-M/Cの1 C-M/C用CB152A10を「入」にする。</p> <p>② 同期並列インターロックCOS43-25C2を「手動」にする。</p>	<p>中央制御室 (#427) A-707 (#331)</p> <p>中央制御室 (#427) A-705 (#311)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>中央制御室 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>**</p> <p>*</p>	<p>・ANNが発生する。 「C系 低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(7 / 10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	<p>③ IC-M/Cの商用電源引き込み用CB152C2を「入」にする。</p> <p>④ 同期並列インターロックCOS43-25C2を「切」にする。</p> <p>(i) IC-M/CのA-フロン冷凍機用CB152C5を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB152C5を「入」にする。</p> <p>(j) IC-M/Cの床上冷凍機用CB152C11を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB152C11を「入」とする。</p> <p>(k) 1号D/G実負荷試験用CB152C41の「切」、制御電源スイッチ"8"の「切」、CB152C41の「試験位置」を確認する。</p> <p>(l) 1号D/Gを自動待機にする。</p> <p>① 1号D/G電源引き込み用CB152C4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」にする。</p> <p>② 1号D/G電源引き込み用CB152C4の「切」を確認する。</p> <p>③ 1号D/G機関運転ハンドルを「運転」にする。</p> <p>④ 電源設備操作7C分電盤内、1号D/G制御電源用NFB-D1を「入」にする。</p> <p>⑤ 1号D/G盤の1号D/GCOS43Rを「現場」から「中央」にする。</p> <p>⑥ 電源監視盤の1号D/GCOS43AM1を「手動」から「自動」にする。</p>	<p>A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#320)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>S-125</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>S-125 (#621)</p> <p>中央制御室 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>< IC-M/C復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」</p> <p>・1号D/G 状態表示 「現場」表示消灯確認</p> <p>・1号D/G 状態表示 「自動」表示点灯確認</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(8 / 10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
7	<p><u>1HC-P/C母線切替</u></p> <p>(a) 1HC-P/C変圧器2次側の制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(b) 1HC-P/Cの母線連絡用CB852C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB852C5を「試験位置」にする。</p> <p>(c) 1HC-P/C変圧器2次側のK. Sを「手動投入」とする。</p> <p>(d) 1C-M/Cの1HC-P/C用CB152C6を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C6を「入」とする。</p> <p>(e) 1HC-P/Cの負荷側順序投入を確認する。</p> <p>(f) 2次補助予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」とし、再投入する。</p>	<p>A-706 (#322)</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>A-505 (#223-2)</p>	<p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>(1HD-P/C受電から 1C-M/C受電に 切り替える。)</p> <p>< 1HC-P/C停電 > ・ANNが発生する。 「C系 低電圧」</p> <p>< 1HC-P/C復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」</p> <p>・3ユニット (NFB-A, B, C)</p>
8	<p><u>2HC-P/C母線切替</u></p> <p>(a) 2HC-P/Cの母線連絡用CB952C2を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB952C2を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 2HC-P/C変圧器2次側のK. Sを「手動投入」とし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(c) 1C-M/Cの2HC-P/C用CB152C7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C7を「入」とする。</p> <p>(d) 2次予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」とし、再投入する。</p>	<p>S-202 (#649)</p> <p>S-202 (#649)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>S-501 (#691-1 ~ 691-15)</p>	<p>***</p> <p>**</p> <p>***</p> <p>*</p>	<p>(2HD-P/C受電から 1C-M/C受電に 切り替える。)</p> <p>< 2HC-P/C停電 ></p> <p>・ANNが発生する。 「C系 低電圧」</p> <p>< 2HC-P/C復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」</p> <p>・12ユニット (NFB-A, J~T)</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(9 / 10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
9	<p><u>3C-P/C特殊受電復旧</u></p> <p>(a) 3C-P/C変圧器2次側CB352C1の制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(b) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB352C5を「試験位置」にする。</p> <p>(c) 3C-P/C変圧器2次側CB352C1を「運転位置」にし、CB352C1を「入」にする。</p> <p>(d) 1C-M/Cの3C-P/C用CB152C9を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C9を「入」にする。</p> <p>(e) 非常系210V母線盤NFBの「入」を確認する。</p> <p>(f) 3C-P/Cの負荷側順序投入を確認する。</p>	<p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-707 (#357)</p> <p>A-706 (#321)</p>	<p>*</p> <p>***</p> <p>**</p> <p>***</p> <p></p> <p></p>	<p>(3D・3S-P/C受電から1C-M/C受電に切替える。)</p> <p>< 3C-P/C停電 > ・ANNが発生する。 「C系 低電圧」</p> <p>< 3C-P/C復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」</p>
10	<p><u>2C・2S-P/C特殊受電復旧</u></p> <p>(a) 2C-P/C変圧器2次側CB252C1の制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(b) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D11を「試験位置」にする。</p> <p>(c) 2C-P/C変圧器2次側CB252C1を「運転位置」にし、CB252C1を「入」にする。</p>	<p>A-705 (#312)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-705 (#312)</p>	<p>*</p> <p>***</p> <p>**</p>	<p>(2D-P/C受電から1C-M/C受電に切り替える。)</p> <p>< 2C・2S-P/C停電 > < 4C・4S電源停電 > ・ANNが発生する。 「C系 低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(10/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
10	<p>(d) 1C-M/Cの2C-P/C用CB152C8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”「入」とし、CB152C8を「入」にする。</p> <p>(e) 2C・2S-P/Cの負荷側順序投入を確認する。</p> <p>(f) 非常系420V母線盤NFBの「入」を確認する。</p>	<p>A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#312)</p> <p>A-707 (#356)</p>	<p>***</p>	<p>< 2C・2S-P/C復電 > < 4C・4S電源復電 > ・ANNリセット可 「C系 低電圧」</p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 5月31日 (月)

<点検対象> 1 D-M/C

- <操作内容>
1. 3S・3D-P/C特殊受電 (1D-M/C受電から3C-P/C受電に切り替える。)
 2. 2D-P/C特殊受電 (1D-M/C受電から2C・2S-P/C受電に切り替える。)
 3. 1HD-P/C母線連絡 (1D-M/C受電から1HC-P/C受電に切り替える。)
 4. 2HD-P/C母線連絡 (1D-M/C受電から2HC-P/C受電に切り替える。)
 5. 1D-M/C停電

<< 2課点検開始 >>

電源設備操作チェックシート

平成5年 5月31日 (月)

<点検対象> 1 D-M/C

<操作内容> << 2課点検終了 >>

6. 1 D-M/C復電

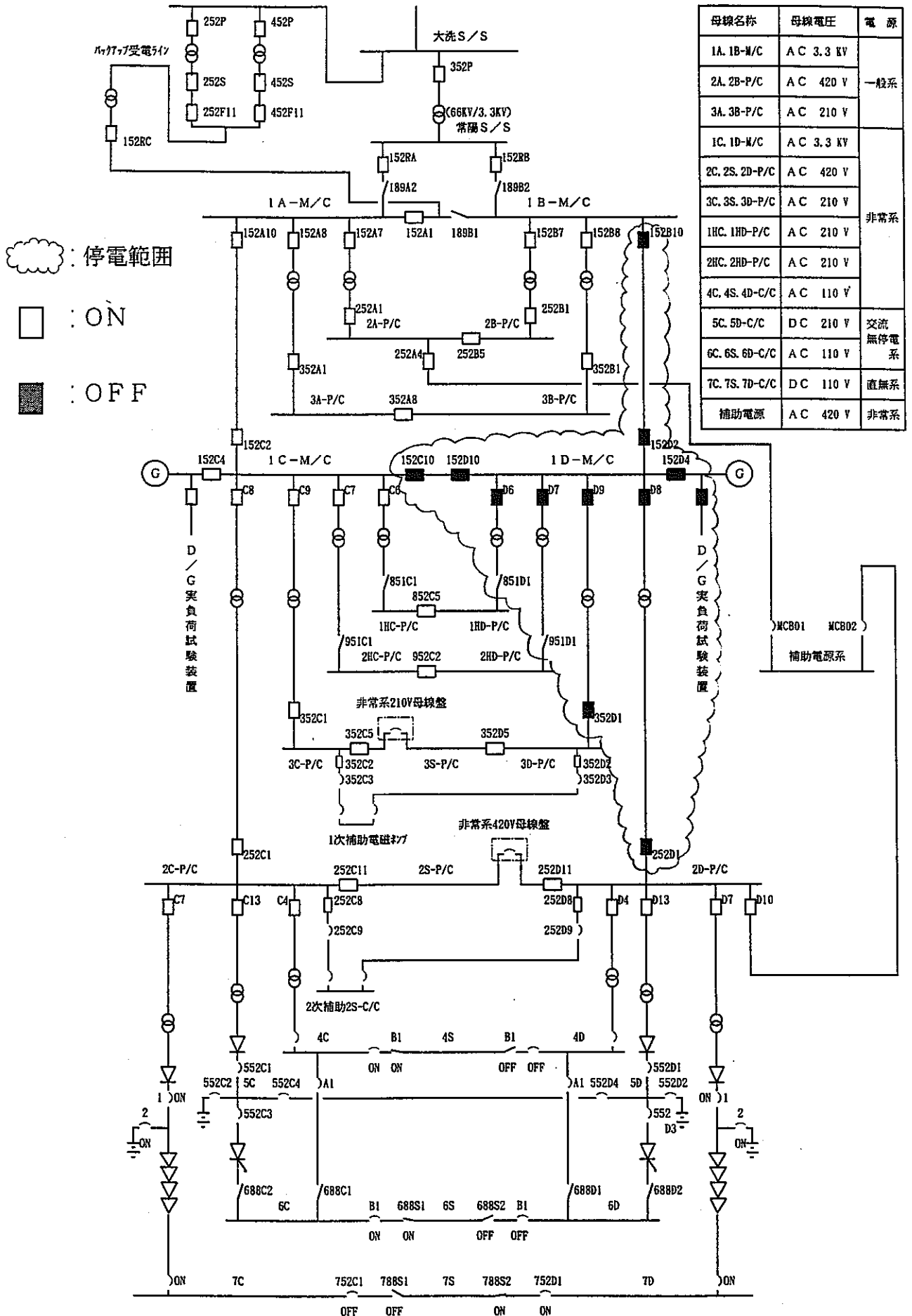
7. 1 HD-P/C復電 (1 HC-P/C受電から1 D-M/C受電に切り替える。)

8. 2 HD-P/C復電 (2 HC-P/C受電から1 D-M/C受電に切り替える。)

9. 2 D-P/C復電 (2 C・2 S-P/C受電から1 D-M/C受電に切り替える。)

10. 3 S・3 D-P/C復電 (3 C-P/C受電から1 D-M/C受電に切り替える。)

「常陽」電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>3S・3D-P/C 特殊受電</u></p> <p>(a) 非常系210V母線盤NFBの「入」を確認する。</p> <p>(b) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「運転位置」とし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(c) 1D-M/Cの3D-P/C用CB152D9を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152D9を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(d) 3D-P/C変圧器2次側CB352D1を「切」にし、CB352D1を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(e) 2課にて以下の作業を行う。 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5のL1~L2端子をジャンパする。</p> <p>(f) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「入」にし、3S・3D-P/Cの負荷側順序投入を確認する。</p> <p>(g) 2課にて行ったL1~L2端子のジャンパを取り外す。</p> <p>(h) 3D-P/C変圧器2次側CB352D1の制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#357)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#334)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-707 (#334)</p>	<p></p> <p>○○</p> <p>○○○</p> <p>○○</p> <p></p> <p>○</p> <p></p> <p>○</p>	<p>(1D-M/C受電から 3C-P/C受電へ 切替える。)</p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p><3S・3D-P/C停電> ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」</p> <p>・制御電源スイッチ”8”を 「切」にすると3D-P/Cが 復電しても負荷側の自動投 入がされない為、負荷側自 動投入後”8”を「切」に する。</p> <p><3S・3D-P/C 復電> ・ANN リセット可 「D系 低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	2D-P/C 特殊受電			(1D-M/C受電から 2C・2S-P/C受電へ 切替える。)
	(a) 非常系420V母線盤NFBの「入」を確認する。	A-707 (#356)		
	(b) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「運転位置」とし、制御電源スイッチ "8"を「入」にする。	A-707 (#332)	○○	・Gランプ点灯確認
	(c) 1D-M/Cの2D-P/C用CB152D8を「切」にし、制御電源スイッチ"8"を 「切」とし、CB152D8を「試験位置」まで引き出す。	A-707 (#331)	○○○	< 2D-P/C 停電 > < 4D電源 停電 > ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」
	(d) 2D-P/C変圧器2次側CB252D1を「切」にし、CB252D1を「試験位置」まで 引き出す。	A-707 (#332)	○○	・制御電源スイッチ"8"を 「切」にすると2D-P/Cが 復電しても負荷側の自動投 入がされない為、負荷側自 動投入後"8"を「切」に する。
	(e) 2課にて以下の作業を行う。 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11のL1~L2端子をジャンパする。	A-707 (#332)		
	(f) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「入」にし、2S・2D-P/Cの負荷側 順序投入を確認する。 注). 2S-P/C各負荷の遮断器はCB252D11を投入することにより、2D-P/C 変圧器2次側の不足電圧を検出し、遮断器をOFFとするインタロックになっている。 従って、2S-P/C各負荷の遮断器は一旦OFFとなるが、再投入される。	A-707 (#332)	○	< 2S-P/C 停電 > < 2S-P/C 復電 > < 2D-P/C 復電 > < 4D電源 復電 > ・ANNリセット可 「D系 低電圧」
	(g) 2課にて行ったL1~L2端子のジャンパを取り外す。	A-707 (#332)		
	(h) 2D-P/C変圧器2次側CB252D1の制御電源スイッチ"8"を「切」にする。	A-707 (#332)	○	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>1HD-P/C 母線連絡</u></p> <p>(a) 1D-M/Cの1HD-P/C用CB152D6を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152D6を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(b) 1HD-P/C変圧器2次側のK. S852D1を「手動開放」にする。</p> <p>(c) 1HC-P/Cの母線連絡用CB852C5を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB852C5を「入」とする。</p> <p>(d) 1HD-P/Cの負荷側順序投入を確認する。</p> <p>(e) 1HD-P/C変圧器2次側のK. S852D1の制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#335)</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>A-707 (#335)</p> <p>A-707 (#335)</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p>	<p>(1D-M/C受電から 1HC-P/C受電へ 切替える。)</p> <p><1HD-P/C 停電> ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」</p> <p>・制御電源スイッチ”8”を 「切」にすると2D-P/Cが 復電しても負荷側の自動投 入がされない為、負荷側自 動投入後、“8”を「切」 にする。</p> <p><1HD-P/C 復電> ・ANNリセット可 「D系 低電圧」</p>
4	<p><u>2HD-P/C 母線連絡</u></p> <p>(a) 1D-M/Cの2HD-P/C用CB152D7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152D7を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(b) 2HD-P/C変圧器2次側のK. S952D1を「手動開放」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p> <p>(c) 2HC-P/Cの母線連絡用CB952C2を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB952C2を「入」とする。</p>	<p>A-707 (#331)</p> <p>S-203 (#650)</p> <p>S-202 (#649)</p>	<p>○○○</p> <p>○○</p> <p>○○○</p>	<p>(1D-M/C受電から 2HC-P/C受電へ 切替える。)</p> <p><2HD-P/C 停電> ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」</p> <p><2HD-P/C 復電> ・ANNリセット可 「D系 低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	(d) 2号D/G実負荷試験設備用CB152D41の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D41の「試験位置」を確認する。 (e) 電源監視盤にて1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10を「切」にする。 (f) 1D-M/Cの商用電源引き込み用CB152D2の「自動開放」を確認する。 (g) 1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10の制御電源スイッチ”8”を「切」にし、CB152B10を「試験位置」まで引き出す。 (h) スペースヒータ分電盤内、非常系D用NFB-A3を「切」にする。 (i) 1D-M/Cの商用電源引き込み用CB152D2の制御電源スイッチ”8”を「切」にし、CB152D2を「試験位置」まで引き出す。 (j) 電源設備操作7D分電盤内、1D-M/C制御電源用NFB-A1を「切」にする。 (k) 電源設備操作7D分電盤内、1D-M/C操作電源用NFB-A2を「切」にする。	A-707 (#350) 中央制御室 (#427) 中央制御室 (#427) S-201 (#642) S-201 (#648) A-707 (#331) A-707 (#345) A-707 (#345)	○ ○ ○ ○○ ○ ○○ ○ ○	< 1D-M/C 停電 > ・Gランプ点灯確認 ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」 ・ANNリセット可 「D系 低電圧」
<< 2 課点検 >>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
<< 2 課点検終了 >>				
6	<p>1D-M/C 復電</p> <p>(a) 1C-M/Cの母線連絡用CB152C10の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(b) 1D-M/Cの母線連絡用CB152D10の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(c) 電源設備操作7D分電盤内、1D-M/C制御電源用NFB-A1を「入」にする。</p> <p>(d) 電源設備操作7D分電盤内、1D-M/C操作電源用NFB-A2を「入」にする。</p> <p>(e) スペースヒータ分電盤内、非常系D用NFB-A3を「入」にする。</p> <p>(f) 1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(g) 1D-M/Cの商用電源引き込み用CB152D2を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(h) 電源監視盤にて、以下の操作を行う。</p> <p>① 1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10を「入」にする。</p> <p>② 同期並列インターロックCOS43-25D2を「手動」にする。</p> <p>③ 1D-M/Cの商用電源引き込み用CB152D2を「入」にする。</p> <p>④ 同期並列インターロックCOS43-25D2を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#311)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>中央制御室 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>**</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ANNが発生する。 「D系 低電圧」</p> <p>< 1D-M/C 復電 > ・ANNリセット可 「D系 低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(7/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	<p>(i) 1D-M/Cの2号D/G電源引き込み用CB152D4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(j) 1D-M/Cの2号D/G電源引き込み用CB152D4「切」を確認する。</p> <p>(k) 2号D/Gを自動待機にする。</p> <p>① 2号D/G機関運転ハンドルを「運転」にする。</p> <p>② 電源設備操作7D分電盤内、2号D/G制御電源用NFB-C3を「入」にする。</p> <p>③ 2号D/G盤の2号D/GCOS43Rを「中央」にする。</p> <p>④ 電源監視盤の2号D/GCOS43AM2を「自動」にする。</p> <p>(l) 1D-M/CのBフロン冷凍機用CB152D5の「入」、制御電源スイッチ”8”の「入」、CB152D5の「運転位置」を確認する。</p> <p>(m) 2号D/G実負荷試験設備用CB152D41の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D41の「試験位置」を確認する。</p>	<p>A-707 (#331)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>S-130</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>S-130 (#631)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#350)</p>	<p>**</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ 2号D/G 状態表示 「現場」表示消灯確認</p> <p>・ 2号D/G 状態表示 「自動」表示点灯確認</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(8/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
7	<u>1HD-P/C 母線切替</u>			(1HC-P/C受電から 1D-M/C受電へ 切替える。)
	(a) 1HD-P/C変圧器2次側K. S852D1の制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	A-707 (#335)	*	
	(b) 1HC-P/Cの母線連絡用CB852C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB852C5を「試験位置」まで引き出す。	A-706 (#332)	***	<1HD-P/C 停電> ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」
	(c) 1HD-P/C変圧器2次側K. S852D1を「手動投入」する。	A-707 (#335)	*	
	(d) 1D-M/Cの1HD-P/C用CB152D6を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D6を「入」とする。	A-707 (#331)	***	<1HD-P/C 復電> ・ANNリセット可 「D系 低電圧」
(e) 1HD-P/Cの負荷側順序投入を確認する。	A-707 (#335)			
8	<u>2HD-P/C 母線切替</u>			(2HC-P/C受電から 1D-M/C受電へ 切替える。)
	(a) 2HC-P/Cの母線連絡用CB952C2を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB952C2を「試験位置」まで引き出す。	S-202 (#649)	***	<2HD-P/C 停電>
	(b) 2HD-P/C変圧器2次側のK. S952D1を「手動投入」し、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	S-203 (#650)	**	・ANNが発生する。 「D系 低電圧」
	(c) 1D-M/Cの2HD-P/C用CB152D7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D7を「入」とする。	A-707 (#331)	***	<2HD-P/C 復電> ・ANNリセット可 「D系 低電圧」
	(d) 2次予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」とし、再投入する。	S-501 (#692-1 ~9)		・8ユニット (NFB-B~I)
(e) 2次補助系貫通部ベネヒータのNFBの「入」を確認する。	A-505 (#230)		・P-108, 109系 ヒータ	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(9/10)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
9	<u>2D-P/C 母線切替</u>			(2C・2S-P/C受電から 1D-M/C受電へ 切替える。)
	(a) 2D-P/C変圧器2次側CB252D1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	A-707 (#332)	**	
	(b) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D11を「試験位置」まで引き出す。	A-707 (#332)	***	< 2D-P/C 停電 > < 4D電源 停電 > ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」
	(c) 2D-P/C変圧器2次側CB152D1を「入」とする。	A-707 (#332)	*	
	(d) 1D-M/Cの2D-P/C用CB152D8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D8を「入」とする。	A-707 (#331)	***	< 2D-P/C 復電 > < 4D電源 復電 > ・ANNリセット可 「D系 低電圧」
(e) 2D-P/Cの負荷側順序投入を確認する。	A-707 (#332)			
10	<u>3S・3D-P/C 母線切替</u>			(3C-P/C受電から 1D-M/C受電へ 切替える。)
	(a) 3D-P/C変圧器2次側CB352D1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	A-707 (#334)	**	
	(b) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB352C5を「試験位置」まで引き出す。	A-706 (#321)	***	< 3S・3D-P/C停電 > ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」
(c) 3D-P/C変圧器2次側CB352D1を「入」とする。	A-707 (#334)	*		

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(10/10)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
10	<p>(d) 1D-M/Cの3D-P/C用CB152D9を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D9を「入」とする。</p> <p>(e) 非常系210V母線盤NFBの「入」を確認する。</p> <p>(f) 3S・3D-P/Cの負荷側順序投入を確認する。</p>	<p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#357)</p> <p>A-707 (#333,334)</p>	<p>***</p>	<p><3S・3D-P/C復電> ・ANNリセット可 「D系 低電圧」</p>

PNC TN9410 95-270

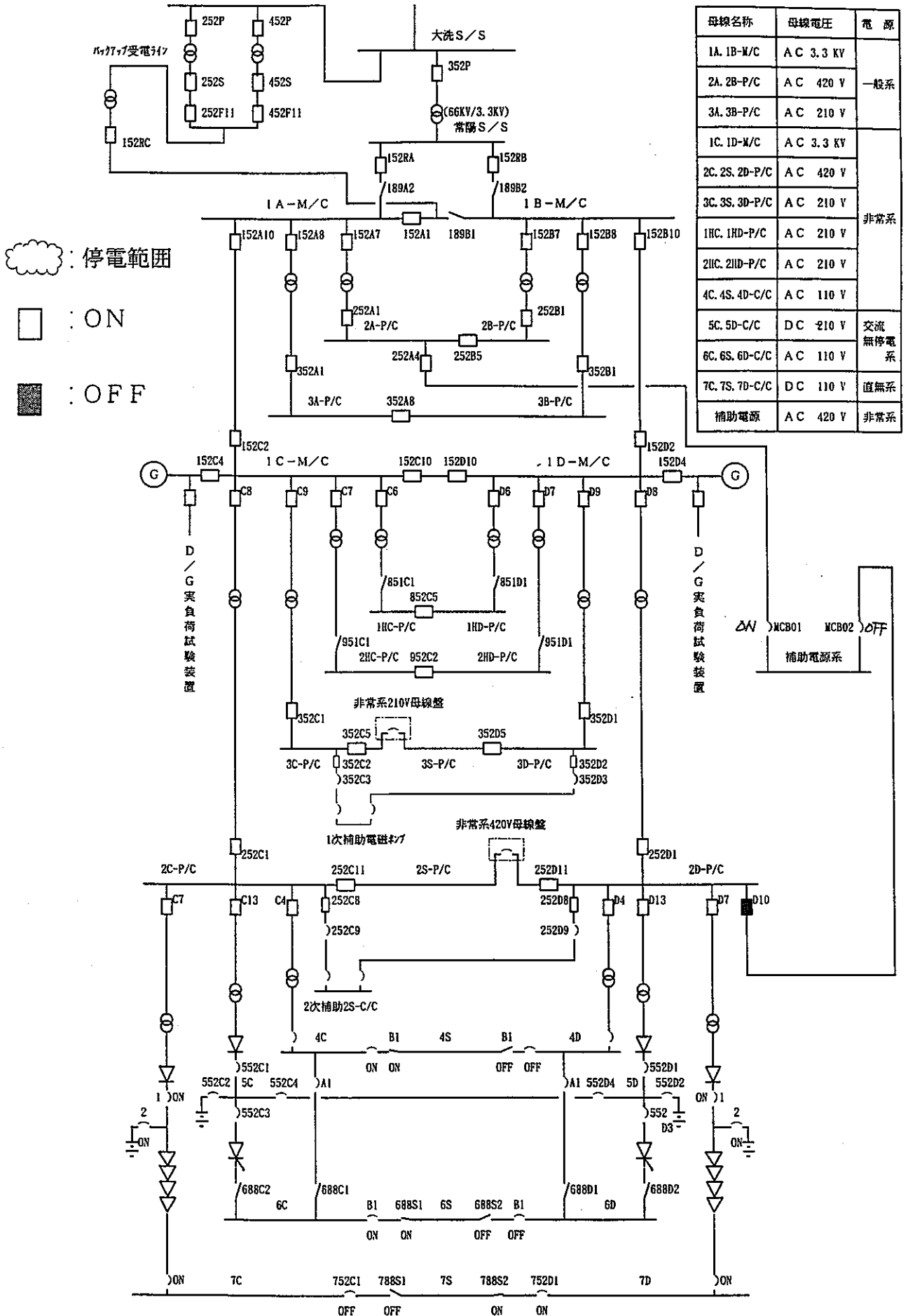
電源設備操作チェックシート

平成5年 8月25日 (水)

<点検対象> 補助電源

<操作内容> 1. 補助電源受電先切替え (2D-P/C受電→2A-P/C受電)

「常陽」電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 1)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>補助電源受電先切替え (2D-P/C受電→2A-P/C受電)</p> <hr/> <p>(a) 2D-P/Cの補助電源設備用CB252D10を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D10を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(b) 受電盤 (補助電源設備) の非常系MCB-02を「切」にする。</p> <p>(c) 受電盤 (補助電源設備) の一般系MCB-01を「切」にする。</p> <p>(d) 2A-P/Cの補助電源設備用CB252A4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252A4を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>S-201 (#643)</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p>	<p>< 補助電源停電 ></p> <p>< 補助電源復電 ></p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 8月30日 (月)

<点検対象> 5 C 整流装置・6 C インバータ・7 C 整流装置・7 C 負荷電圧補償装置

<操作内容> 1. 6 S 電源母線切替え (6 C 受電から6 D 受電へ切り替える。)

2. 6 C 電源特殊受電 (6 C インバータ受電から6 D・6 S 受電へ切り替える。)

3. 6 C インバータ停止

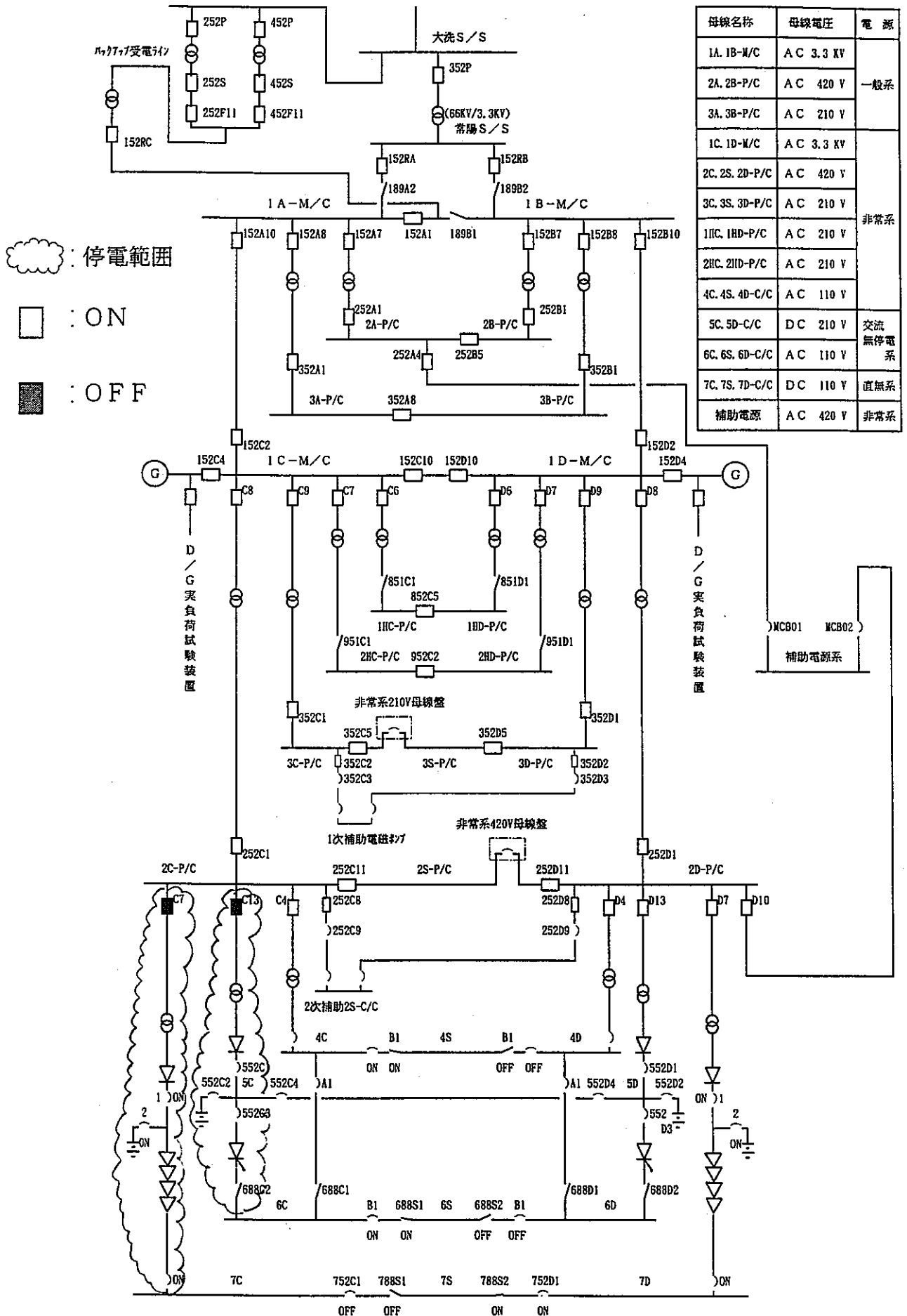
4. 5 C 電源停電及び5 C 整流装置停止

5. 7 C 電源特殊受電 (2 C-P/C 受電から7 D・7 S 受電へ切り替える。)

6. 7 C 整流装置停止

<< 2 課点検開始 >>

「常陽」 電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>6 S 電源切替え (6 C 受電 → 6 D 受電)</p> <p>(a) 6 S 電源盤の COS 4 3 A が「手動」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 D 電源盤の 6 S 電源盤用 NFB-B 1 を「入」にする。</p> <p>(c) 6 S 電源盤の 6 C 電源側 CS 3-6 8 8 S 1 を「切」にする。</p> <p>(d) 6 S 電源盤の 6 D 電源側 CS 3-6 8 8 S 2 を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#341)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p>	<p></p> <p>○</p> <p></p> <p>○</p>	<p>・CSにてNFB を操作できない場合は、盤内NFB を手動にて操作する。</p> <p>< 6 S 電源停電 ></p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・ANNが発生する。</p> <p>「6 S 電源 (低電圧)」</p> <p>< 6 S 電源復電 ></p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>・ANNリセット可</p> <p>「電源監視盤 AC 喪失」</p> <p>「6 S 電源 (低電圧)」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p>6 C電源特殊受電 (6 Cインバータ受電→6 D・6 S受電)</p> <hr/> <p>(a) 6 C電源盤の4 C電源側CS3-688C1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 C電源盤内、6 S電源盤用NFB-B1が「入」であることを確認する。</p> <p>(c) 6 C電源盤のCOS43Aを「手動」にする。</p> <p>(d) 4 C電源盤内、6 C電源盤用NFB-A1を「切」にする。</p> <p>(e) 6 C電源盤の6 Cインバータ側CS3-688C2を「切」にする。</p> <p>(f) 6 S電源盤のCOS43TAを「定検」にする。</p> <p>(g) 6 S電源盤の6 D電源側CS3-688S2が「入」で保持されていることを確認する。</p> <p>(h) 6 S電源盤の6 C電源側CS3-688S1を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#304)</p> <p>A-706 (#324)</p> <p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p>	<p></p> <p></p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・CSにてNFB を操作できない場合は、盤内NFB を手動にて操作する。</p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>< 6 C電源停電 > ・Gランプ点灯確認 ・ANNが発生する。 「C系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」</p> <p>・R ランプ点灯確認</p> <p>< 6 C電源復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANNリセット可 「C系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>6 Cインバータ停止</u></p> <p>(a) 6 Cインバータ (1) 盤前面の「停止」P. Bを押し、インバータを停止する。</p> <p>(b) 5 C電源盤の6 Cインバータ入力用CS3-552C3を「切」にする。</p> <p>(c) 5 C整流装置盤内の次の6 Cインバータ盤制御電源用NFBを「切」にする。</p> <p>(1) AC200V 制御電源 (交流入力) 用 NFB-8C (5 C整流装置盤より)</p> <p>(2) AC110V 制御電源 (インバータ出力) 用 NFB-8I (6 Cインバータ出力より)</p> <p>(3) DC110V 制御電源 (DC110V) 用 NFB-8D (5 C電源盤より)</p> <p>(4) DC110V 制御電源 (蓄電池) 用 NFB-8DB</p>	<p>A-704 (#303)</p> <p>A-704 (#302)</p> <p>A-704 (#301)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 6 Cインバータ停止 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転ランプ消灯確認 ・ ANNが発生する。 「交流無停電C」 (6 Cインバータの出力電圧低) ・ Gランプ点灯確認

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<u>5 C電源停電及び5 C整流装置停止</u>			
	(a) 5 C電源盤の母線連絡用NFB-552C4が「切」であることを確認する。	A-704 (#302)	○	
	(b) 5 D電源盤の母線連絡用NFB-552D4が「切」であることを確認する。	A-707 (#338)	○	
	(c) 2C-P/Cの5C整流装置用CB252C13を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252C13を「試験位置」にする。	A-705 (#312)	○○○	< 5 C電源停電及び 5 C整流装置停止 >
	(d) 5 C電源盤の5 C蓄電池出(入)力CS3-552C2を「切」にする。	A-704 (#302)	○	
	(e) 5 C電源盤の5 C整流器出力CS3-552C1を「切」にする。	A-704 (#302)	○	・ ANNが発生する。 「交流無停電C」 (5 C整流装置の 出力電圧低)
	(f) 6 Cインバータ盤裏側、制御電源用NFB-1を「切」にする。	A-704 (#303)	○	
	(g) 電源設備操作7 C分電盤内、5 C整流装置用NFB-C4を「切」にする。	A-706 (#325)	○	・ ANNリセット可 「交流無停電C」 (制御電源喪失のため)
	(h) 電源設備操作7 C分電盤内、5 C電源盤用NFB-A2を「切」にする。	A-706 (#325)	○	
	(i) NFB-552C2の2次側が充電状態の為、5 C蓄電池の5 C開閉器盤内MCB-3を「切」にする。	A-603 -	○	
	(j) 6 Cインバータ盤裏側の整流器入力52を「切」にする。	A-704 (#303)	○	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<p>7 C 電源特殊受電 (2 C - P / C 受電 → 7 D ・ 7 S 受電)</p> <hr/> <p>(a) 7 C 電源盤の 7 S 電源盤用 CS 3 - 7 5 2 C 1 を「入」にする。</p> <p>(b) 7 C 電源盤内の電源引き込み用 CS 3 - 7 5 2 C 2 を「切」にする。</p> <p>(c) 7 S 電源盤の COS 4 3 T D を「定検」にする。</p> <p>(d) 7 S 電源盤の 7 D 電源側 CS 3 - 7 8 8 S 2 が「入」で保持されていることを確認する。</p> <p>(e) 7 S 電源盤の 7 C 電源側 CS 3 - 7 8 8 S 1 を「入」にする。 (R ランプ点灯まで「入」を保持する。)</p>	<p>A - 7 0 4 (# 3 0 6)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 6)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 0 7)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 0 7)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 0 7)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 7 C 電源停電 > ・ ANN が発生する。 「 C 系低電圧」 「 1 号 DG 制御電源喪失」</p> <p>< 7 C 電源復電 > ・ ANN リセット可 「 C 系低電圧」 「 1 号 DG 制御電源喪失」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	<p>7 C 整流装置停止</p> <p>(a) 2 C - P / C の 7 C 整流装置用 C B 2 5 2 C 7 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ” を「切」とし、C B 2 5 2 C 7 を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 7 C 負荷電圧補償装置盤内、7 C 蓄電池主回路用 N F B - 2 を「切」にする。</p> <p>(c) 7 C 負荷電圧補償装置盤内、ファン電源用 M C B - D を「切」にする。</p> <p>(d) 7 C 整流装置盤内、7 C 直流主回路側 N F B - 1 を「切」にする。</p> <p>(e) 7 C 整流装置盤内、制御電源用 M C B - C (N F B - 3) を「切」にする。</p> <p>(f) 電源設備操作 7 C 分電盤内、7 C 整流装置用 N F B - A 1 を「切」にする。</p> <p>(g) インバータ盤 (補助電源設備) の裏盤内、7 C, 7 D 異常監視装置電源用 M C B - 1 7 を「切」にする。</p> <p>(h) N F B - 2 の 2 次側が充電状態の為、7 C 蓄電池の開閉器盤内 M C B - 1 を「切」にする。</p> <p>(i) スペースヒータ分電盤内、無停電系 C 用 N F B - A 2 を「切」にする。</p>	<p>A - 7 0 5 (# 3 1 2)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 8)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 8)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 5)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 5)</p> <p>A - 7 0 6 (# 3 2 5)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 4 6)</p> <p>A - 6 0 3</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 8)</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 7 C 整流装置停止 ></p> <p>・ ANN が発生する。 「直流無停電 C」 (出力電圧低)</p> <p>・ ANN リセット可 「直流無停電 C」 (出力電圧低)</p> <p>(7C, 7D 整流装置盤の デジタル電圧計用電源)</p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 8月31日 (火)

<点検対象> 6 C ・ 6 S 電源盤

.....

<操作内容> 1. 6 C ・ 6 S 電源停電

.....

<< 2 課点検開始 >>

.....

.....

<< 2 課点検終了 >>

.....

2. 6 C ・ 6 S 電源復電

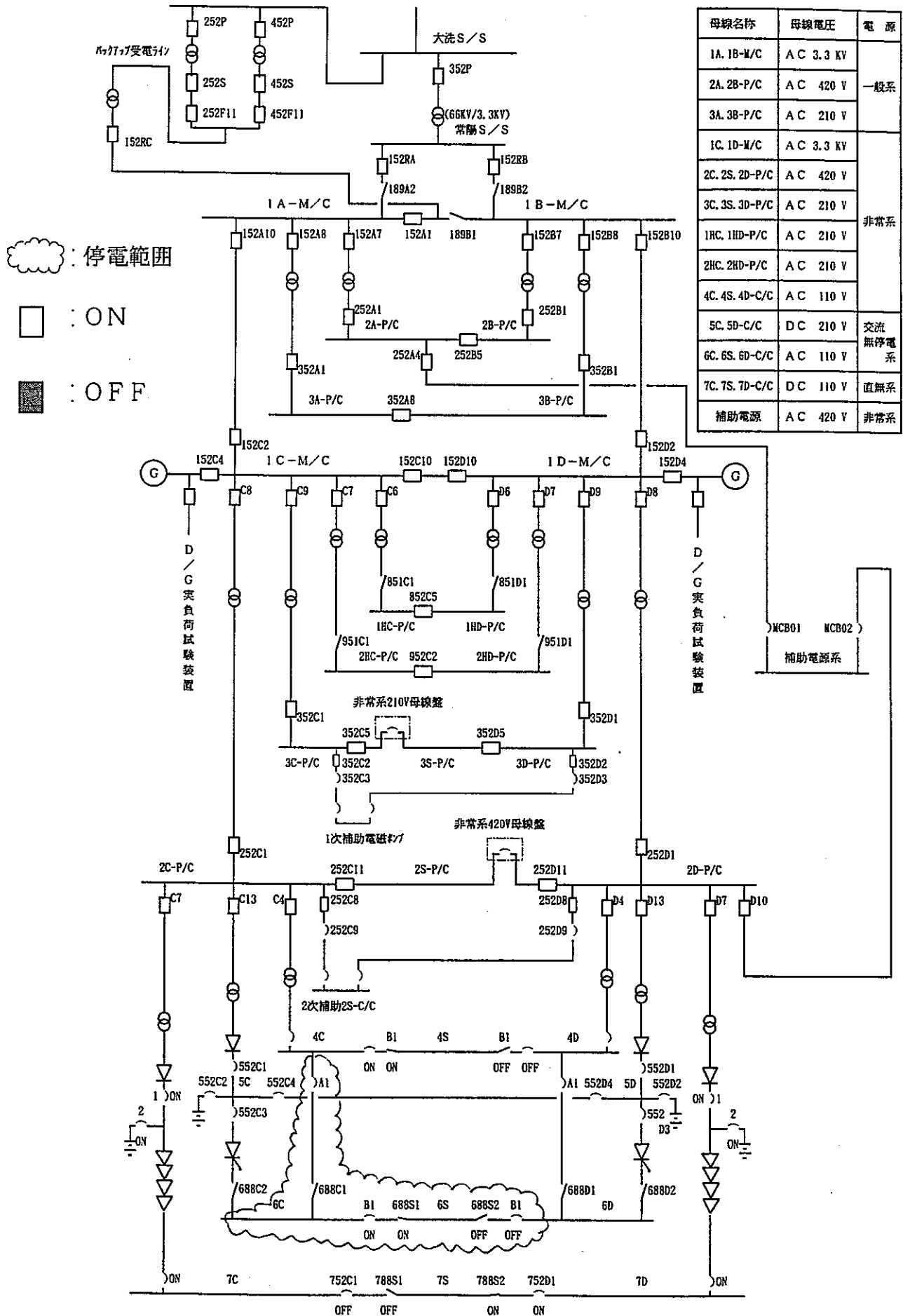
.....

.....

.....

.....

「常陽」電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>6 C ・ 6 S 電源停電</u></p> <p>(a) 6 C 電源盤の COS 4 3 A が「手動」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 S 電源盤の COS 4 3 A が「手動」であることを確認する。</p> <p>(c) 4 C 電源盤内、6 C 電源盤用 NFB-A 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(d) 5 C 電源盤の 6 C インバータ入力用 CS 3-5 5 2 C 3 が「切」であることを確認する。</p> <p>(e) 6 C 電源盤の 4 C 電源側 CS 3-6 8 8 C 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(f) 6 C 電源盤の 6 C インバータ側 CS 3-6 8 8 C 2 が「切」であることを確認する。</p> <p>(g) 6 C 電源盤の次の各 NFB を「切」にする。</p> <p>(1) 中央制御室分電盤 (6 C 系) 用 NFB-B 2</p> <p>(2) 2 次現場制御盤用 NFB-B 3</p> <p>(3) A-1 次電磁流量計電源盤用 NFB-C 1</p> <p>(4) 音響法炉外異常測定装置用 NFB-C 3</p> <p>(5) 予備 NFB-C 2 確認</p> <p>(h) 6 S 電源盤の 6 C 電源側 CS 3-6 8 8 S 1 を「切」にする。</p>	<p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 4 1)</p> <p>A-7 0 6 (# 3 2 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 2)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 4 1)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○注)</p>	<p>(6 D より受電の特殊受電状態から切り離す。)</p> <p>・ CS にて NFB を操作できない場合は、盤内 NFB を手動にて操作する。</p> <p>・ 5 C 電源盤の制御電源「切」の為、盤内の 6 C インバータ(1): NFB-C1(552C3)で「切」を確認する。</p> <p>< 6 C 電源停電 ></p> <p>・ ANN が発生する。 「C 系低電圧」</p> <p>注) 特殊受電時に逆状態タグ管理されているが、本タグを優先し、2 枚タグとなる</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考		
1	(i) 6 C電源盤内、6 S電源盤用NFB-B1を「切」にする。	A-704 (#304) A-704 (#341)	○注)	注) 特殊受電時に逆状態タグ管理されているが、本タグを優先し、2枚タグとなる		
	(j) 6 S電源盤の次の各NFBを「切」にする。					
	(1) 中央制御室分電盤 (6 S系) 用		NFB-B1		○	
	(2) 2次補助現場制御盤用		NFB-B2		○	
	(3) 原子炉建家分電盤 (6 S系) 用		NFB-B3		○	
	(4) 試験用電源 (S-402, S-505, S-507)		NFB-B4		○	
	(5) スクラム時間測定装置用 CRD荷重監視装置用		NFB-C1		○	
	(6) P. P用電源 (A-513, SFF用)		NFB-C2		○	
	(7) 原子炉付属建家分電盤 (6 S系) 用		NFB-C3		○	
	(8) 床下酸素濃度検出設備用 床下気密テスト設備用		NFB-C4確認			
	(k) 6 S電源盤のCOS43TAを「通常」にする。				A-704 (#341) ○注)	
	(l) 6 S電源盤の6 D電源側CS3-688S2を「切」にする。				A-704 (#341) ○注)	< 6 S電源停電 > ・ANNが発生する。 「6 S電源」
	(m) 6 S電源盤のCOS43TAを「定検」にする。				A-704 (#341) *	
	(n) 6 D電源盤内、6 S電源盤用NFB-B1を「切」にする。				A-707 (#340) ○注)	
(o) 電源設備操作7 C分電盤内、6 C電源盤用NFB-C2を「切」にする。		A-706 (#325) ○	・ANNリセット可 「C系低電圧」			
(p) 電源設備操作7 C分電盤内、6 S電源盤用NFB-B6を「切」にする。		A-706 (#325) ○	・ANNリセット可 「6 S電源」			

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	< < 2 課点検終了 > >			
2	<p><u>6 C・6 S 電源復電</u></p> <p>(a) 6 C 電源盤の COS 4 3 A が「手動」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 S 電源盤の COS 4 3 A が「手動」であることを確認する。</p> <p>(c) 電源設備操作 7 C 分電盤内、6 S 電源盤用 NFB-B 6 を「入」にする。</p> <p>(d) 電源設備操作 7 C 分電盤内、6 C 電源盤用 NFB-C 2 を「入」にする。</p> <p>(e) 4 C 電源盤内、6 C 電源盤用 NFB-A 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(f) 5 C 電源盤の 6 C インバータ入力用 CS 3-5 5 2 C 3 が「切」であることを確認する。</p> <p>(g) 6 C 電源盤の 4 C 電源側 CS 3-6 8 8 C 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(h) 6 C 電源盤の 6 C インバータ側 CS 3-6 8 8 C 2 が「切」であることを確認する。</p> <p>(i) 6 C 電源盤内、6 S 電源盤用 NFB-B 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(j) 6 S 電源盤の 6 C 電源側 CS 3-6 8 8 S 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(k) 6 D 電源盤内、6 S 電源盤用 NFB-B 1 を「入」にする。</p> <p>(l) 6 S 電源盤の COS 4 3 TA を「通常」にする。</p> <p>(m) 6 S 電源盤の 6 D 電源側 CS 3-6 8 8 S 2 を「入」にする。</p>	<p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 4 1)</p> <p>A-7 0 6 (# 3 2 5)</p> <p>A-7 0 6 (# 3 2 5)</p> <p>A-7 0 6 (# 3 2 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 2)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 4 1)</p> <p>A-7 0 7 (# 3 4 0)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 4 1)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 4 1)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>• ANNが発生する。 「6 S 電源」</p> <p>• ANNが発生する。 「C系低電圧」</p> <p>• 5 C 電源盤の制御電源 「切」の為、盤内の 6 C イン バータ(1) : NFB-C1(552C3) で「切」を確認する。 • 盤内のコンダクタにて確認 する。</p> <p>• 盤内のコンダクタにて確認 する。</p> <p>< 6 S 電源復電 > • ANNリセット可 「6 S 電源」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ェ ッ ク	備 考	
2	(n) 6 S電源盤のCOS43TAを「定検」にする。	A-704 (#341)			
	(o) 6 S電源盤の次の各NFBを「入」にする。	A-704 (#341)			
	(1) 中央制御室分電盤 (6 S系) 用	NFB-B1	*		
	(2) 2次補助現場制御盤用	NFB-B2	*		
	(3) 原子炉建家分電盤 (6 S系) 用	NFB-B3	*		
	(4) 試験用電源 (S-402, S-505, S-507)	NFB-B4	*		
	(5) スクラム時間測定装置用 CRD荷重監視装置用	NFB-C1	*		
	(6) P. P用電源 (A-513, SFF用)	NFB-C2	*		
	(7) 原子炉付属建家分電盤 (6 S系) 用	NFB-C3	*		
	(8) 床下酸素濃度検出設備用 床下気密テスト設備用	NFB-C4確認			
	(p) 6 C電源盤内、6 S電源盤用NFB-B1を「入」にする。		A-704 (#304)	*	
	(q) 6 S電源盤の6 C電源側CS3-688S1を「入」にする。		A-704 (#341)	*	< 6 C電源復電 > ・ANNリセット可 「C系低電圧」
	(r) 6 C電源盤の次の各NFBを「入」にする。		A-704 (#304)		
	(1) 中央制御室分電盤 (6 C系) 用	NFB-B2	*		
	(2) 2次現場制御盤用	NFB-B3	*		
	(3) A-1次電磁流量計電源盤用	NFB-C1	*		
	(4) 音響法炉外異常測定装置用	NFB-C3	*		

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月 1日 (水)

<点検対象> 4 C ・ 4 S 電源盤

.....

<操作内容> 1. 4 S 電源停電

.....

2. 4 C 電源停電

.....

<< 2 課点検開始 >>

.....

.....

<< 2 課点検終了 >>

.....

3. 4 C 電源復電

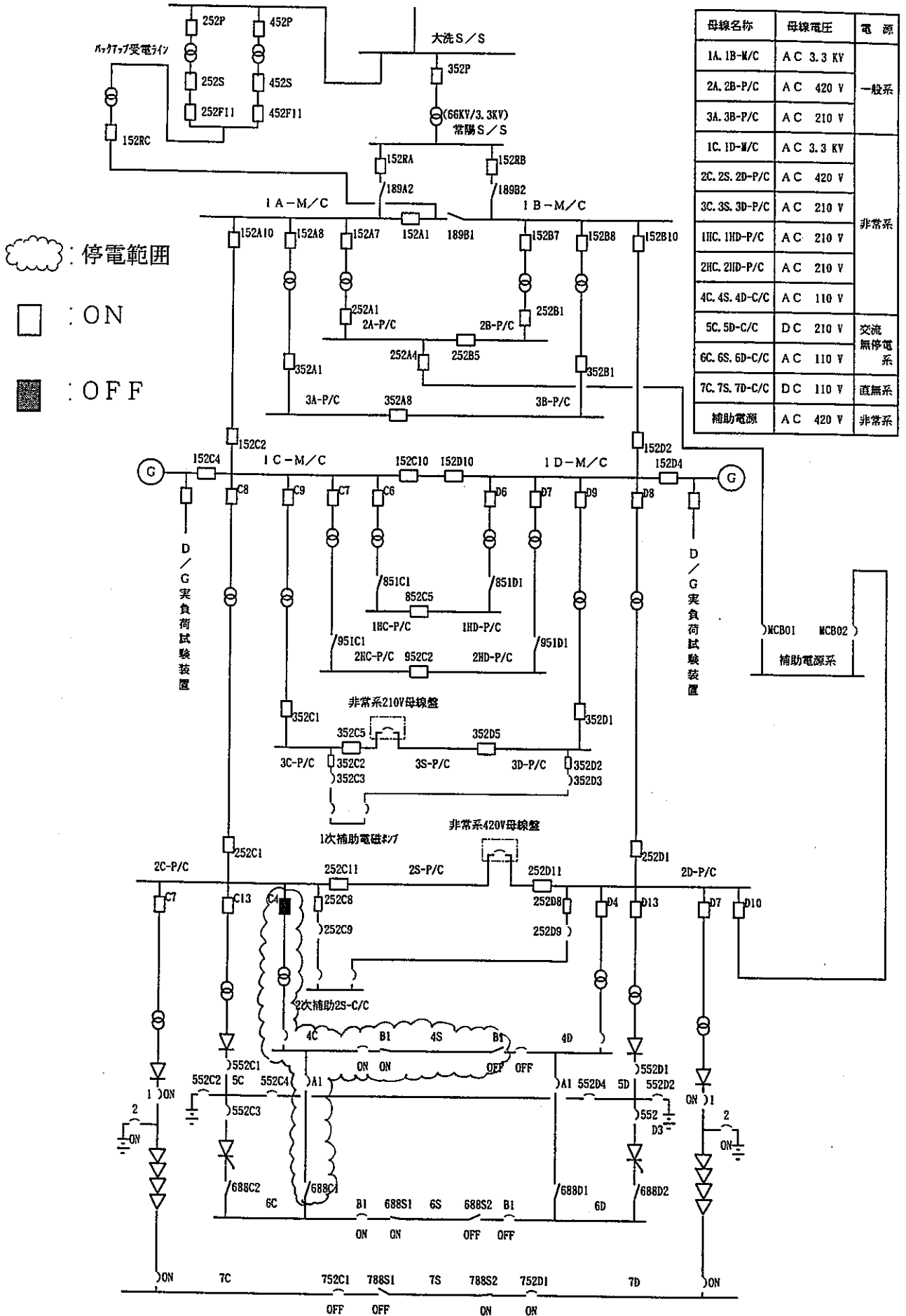
.....

4. 4 S 電源復電

.....

.....

「常陽」電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 5)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>4 S 電源停電</p> <p>(a) 4 D 電源盤内、4 S 電源盤用 NFB-B 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 4 S 電源盤の次の各 NFB を「切」にする。</p> <p>(1) 1 次計装分電盤 (4 S 系) NFB-A 1</p> <p>(2) 主冷却機建家 4 S 分電盤 NFB-A 2</p> <p>(3) 中央制御室分電盤 (4 S 系) NFB-A 3</p> <p>(4) 原子炉付属建家分電盤 (4 S 系) NFB-B 1</p> <p>(5) 現場保物計装分電盤 NFB-B 2</p> <p>(6) 予 備 NFB-B 3 確認</p> <p>(7) 核物質防護設備 (常陽警備所 P・P 用電源) NFB-C 1</p> <p>(8) 廃棄物処理建家計装電源盤 NFB-C 2</p> <p>(9) 予 備 NFB-C 3 確認</p> <p>(10) メンテナンス建家計装盤 NFB-C 4</p> <p>(11) 2 次補助現場制御盤 NFB-D 1</p> <p>(12) 原子炉建家分電盤 (4 S 系) NFB-D 2</p> <p>(13) 予 備 NFB-D 3 確認</p>	<p>A-707 (#336) A-706 (#323)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	

PNC TN9410 95-270

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 5)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考	
1	(c) 4 C電源盤内、4 S電源盤用NFB-B1を「切」にする。	A-706 (#324)	○	< 4 S電源停電 > ・ANNが発生する。 「4 S電源」 ・ANNリセット可 「4 S電源」	
	(d) 4 S電源盤裏盤、4 C電源側CS3-452S1を「切」にする。	A-706 (#323)	○		
	(e) 4 S電源盤裏盤、4 D電源側CS3-452S2が「切」であることを確認する。	A-706 (#323)	○		
	(f) 電源設備操作7C分電盤内、4 S電源盤用NFB-B5を「切」にする。	A-706 (#325)	○		
2	4 C電源停電				
	(a) 6 C電源盤の4 C電源側CS3-688C1が「切」であることを確認する。	A-704 (#304)	○		
	(b) 6 C電源盤のCOS43Aを「手動」であることを確認する。	A-704 (#304)	○		
	(c) 4 C電源盤内の次の各NFBを「切」にする。	A-706 (#324)			
	(1) 6 C電源盤用	NFB-A1	確認		○
	(2) 1号DG補機盤用	NFB-C1			○
	(3) 床上酸素濃度計装盤	NFB-C2	確認		○
	(4) 中央制御室分電盤(4C系)用	NFB-C3			○
	(5) カバーガス純度監視装置盤用	NFB-C4			○
	(d) 2C-P/Cの4C電源用CB252C4を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252C4を「試験位置」まで引出す。	A-705 (#312)	○○○		< 4 C電源停電 > ・ANNが発生する。 「C系低電圧」
	(e) 4 C電源盤の電源引込み用NFB-B2を「切」にする。	A-706 (#324)	○		

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 5)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	(f) 電源設備操作7C分電盤内、4C電源盤用NFB-C1を「切」にする。 (g) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「切」にする。	A-706 (#325) S-201 (#648)	○ ○	・ANNリセット可 「C系低電圧」
<< 2課点検開始 >>				

PNC TN9410 95-270

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 5)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>4 C 電源復電</u></p> <p>(a) 6 C 電源盤の 4 C 電源側 CS 3 - 6 8 8 C 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 電源設備操作 7 C 分電盤内、4 C 電源盤用 NFB - C 1 を「入」にする。</p> <p>(c) 4 C 電源盤の電源引込み用 NFB - B 2 を「入」にする。</p> <p>(d) 2 C - P / C の 4 C 電源用 CB 2 5 2 C 4 を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「入」とし、CB 2 5 2 C 4 を「入」にする。</p> <p>(f) 4 C 電源盤内の次の各 NFB を「入」にする。</p> <p>(1) 6 C 電源盤用 NFB - A 1 確認</p> <p>(2) 1 号 DG 補機盤用 NFB - C 1</p> <p>(3) 床上酸素濃度計装盤 NFB - C 2 確認</p> <p>(4) 中央制御室分電盤 (4 C 系) 用 NFB - C 3</p> <p>(5) カバーガス純度監視装置盤用 NFB - C 4</p> <p>(g) 6 C 電源盤の COS 4 3 A を「手動」であることを確認する。</p>	<p>A - 7 0 4 (# 3 0 4)</p> <p>A - 7 0 6 (# 3 2 5)</p> <p>A - 7 0 6 (# 3 2 4)</p> <p>A - 7 0 5 (# 3 1 2)</p> <p>A - 7 0 6 (# 3 2 4)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 4)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ ANN が発生する。 「C 系低電圧」</p> <p>< 4 C 電源復電 > ・ ANN リセット可 「C 系低電圧」</p>
4	<p><u>4 S 電源復電</u></p> <p>(a) 4 D 電源盤内、4 S 電源盤用 NFB - B 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 4 S 電源盤裏盤、4 D 電源側 CS 3 - 4 5 2 S 2 が「切」であることを確認する。</p>	<p>A - 7 0 7 (# 3 3 6)</p> <p>A - 7 0 6 (# 3 2 3)</p>	<p>*</p> <p>*</p>	

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月 2日 (木)

<点検対象> 7 C 電源盤

.....

<操作内容> 1. 7 C電源停電(7 D・7 S特殊受電状態から切り離す。)

.....

<< 2課点検開始 >>

.....

<< 2課点検終了 >>

.....

2. 7 C電源復電(7 D・7 S特殊受電状態とする。)

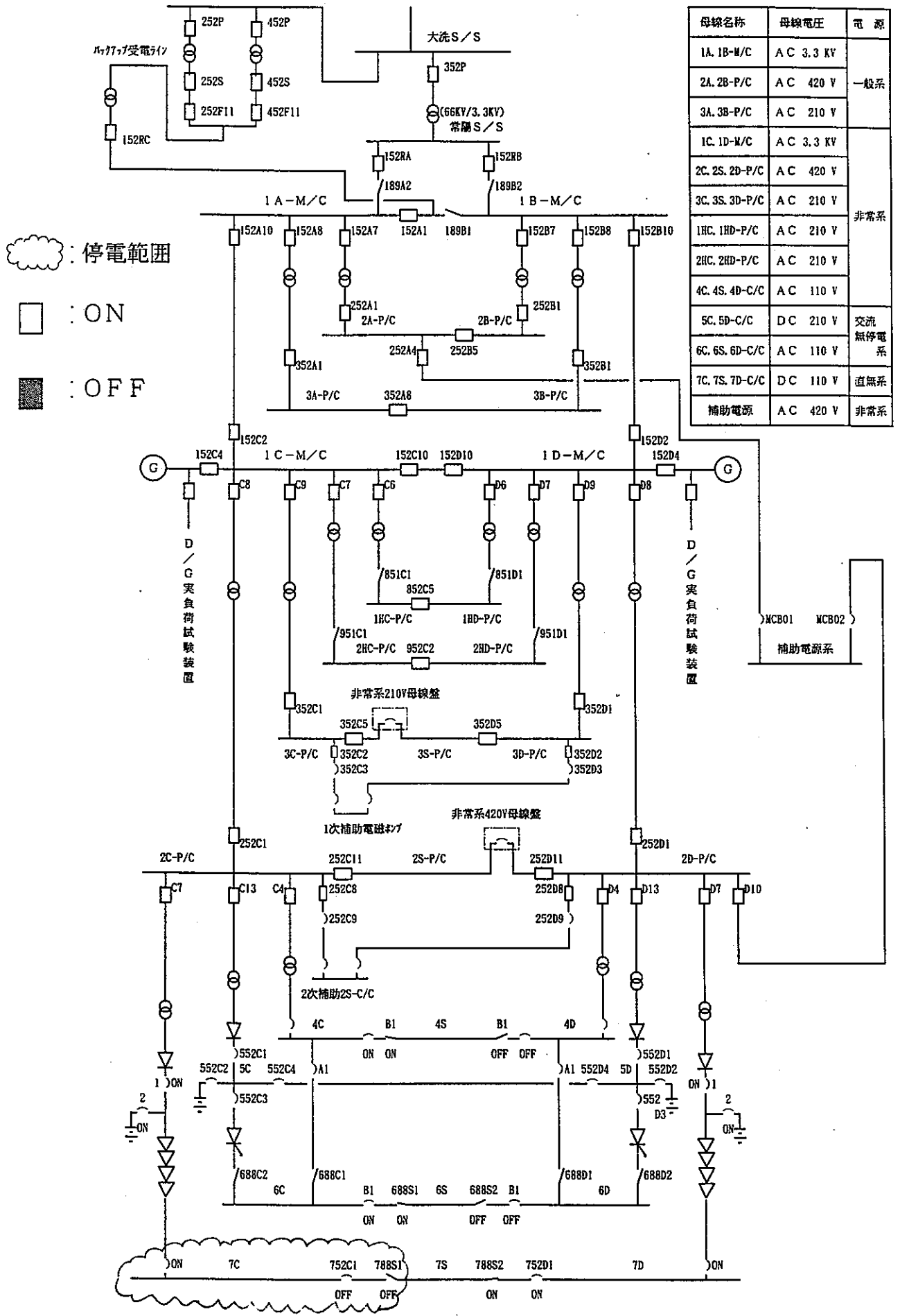
.....

.....

.....

.....

「常陽」電源設備系統圖



母線名称	母線電圧	電源
1A. 1B-M/C	AC 3.3 KV	一般系
2A. 2B-P/C	AC 420 V	
3A. 3B-P/C	AC 210 V	
1C. 1D-M/C	AC 3.3 KV	非常系
2C. 2S. 2D-P/C	AC 420 V	
3C. 3S. 3D-P/C	AC 210 V	
1HC. 1HD-P/C	AC 210 V	
2HC. 2HD-P/C	AC 210 V	交流無停電系
4C. 4S. 4D-C/C	AC 110 V	
5C. 5D-C/C	DC 210 V	
6C. 6S. 6D-C/C	AC 110 V	直無系
7C. 7S. 7D-C/C	DC 110 V	
補助電源	AC 420 V	非常系

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	7 C 電源停電			(7 D, 7 Sより受電の特殊受電状態から切り離す。) ・CSにてNFBを操作できない場合は、盤内NFBを手動にて操作する。
	(a) 7 C 電源盤内の電源引き込み用NFB-A1が「切」であることを確認する。(752C2)	A-704 (#306)	○	
	(b) 7 C 整流装置出力側NFB-1が「切」であることを確認する。	A-704 (#305)	○	
	(c) 7 C 蓄電池用NFB-2が「切」であることを確認する。	A-704 (#308)	○	
	(d) 7 C 開閉器盤の600ノトリップが「切」であることを確認する。	A-603	○	
	(e) 7 S 電源盤のCOS43Aが「手動」であることを確認する。	A-707 (#307)	○	
	(f) 7 C 電源の7 S 電源用CS3-752-C1を「切」とする。(NFB-A2)	A-704 (#306)	○注)	< 7 C 電源停電 > ・Gランプ点灯確認 ・ANNが発生する。 「C系低電圧」 「1号DG制御電源喪失」
	(g) 7 S 電源の7 C 側電源引き込み用マグネットスイッチ3-788S1を「切」にする。	A-707 (#307)	○注)	・Gランプ点灯確認 注) 特殊受電時「入」にてタグ管理されているが「切」とするため2枚タグとなる
	(h) 7 C 電源盤の次の各NFBを「切」にする。	A-704 (#306)		
	(1) 中央制御室分電盤(7C系)用 NFB-B1	A-704 (#306)	○	
	(2) 主冷却機建家7C分電盤用 NFB-B2	A-704 (#306)	○	
	(3) 電源設備操作7C分電盤用 NFB-B3	A-704 (#306)	○	
	(4) A-ボニーモータ用 NFB-B4	A-704 (#306)	○	
	(5) 直流照明電源用 NFB-C1	A-704 (#306)	○	
	(6) 主冷却機建家Aループ主送風機電磁ブレーキ用 NFB-C2	A-704 (#306)	○	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ェ ッ ク	備 考
1	<p>(7) 予 備</p> <p style="text-align: center;">NFB-C3 確認</p> <p>(i) 電源監視補助盤内、7C電源盤の制御電源用NFB-6Cを「切」にする。</p> <p>(j) スペースヒータ分電盤内無停電系（7C電源盤照明灯）NFB-A2が「切」であることを確認する。</p>	<p>A-704 (#306) 中央制御室 (#406)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ANNリセット可 「C系低電圧」 ・ANNが発生する。 「電源監視盤AC喪失」
<p><< 2 課点検開始 >></p>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ェ ッ ク	備 考
2	<p>(1) 7C電源盤の次の各NFBを「入」にする。</p> <p>(1) 中央制御室分電盤(7C系)用 NFB-B1</p> <p>(2) 主冷却機建家7C分電盤用 NFB-B2</p> <p>(3) 電源設備操作7C分電盤用 NFB-B3</p> <p>(4) A-ボニモータ用 NFB-B4</p> <p>(5) 直流照明電源用 NFB-C1</p> <p>(6) 主冷却機建家Aループ主送風機電磁ブレーキ用 NFB-C2</p> <p>(7) 予備 NFB-C3確認</p> <p>(m) 1号D/GCOS43AM1を「手動」から「自動」にする。</p>	<p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>中央制御室 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ANNリセット可 「1号DG制御電源喪失」</p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月 3日 (金)

<点検対象> 5 C 整流装置・6 C インバータ・7 C 整流装置・7 C 負荷電圧補償装置

.....

<操作内容> << 2 課点検終了 >>

.....

1. 7 C 電源特殊受電復旧及び7 C 整流装置運転

.....

2. 5 C 電源復電及び5 C 整流装置運転

.....

3. 6 C インバータ運転

.....

4. 6 C 電源特殊受電復旧 (6 D・6 S 受電から6 C インバータ受電へ切り替える。)

.....

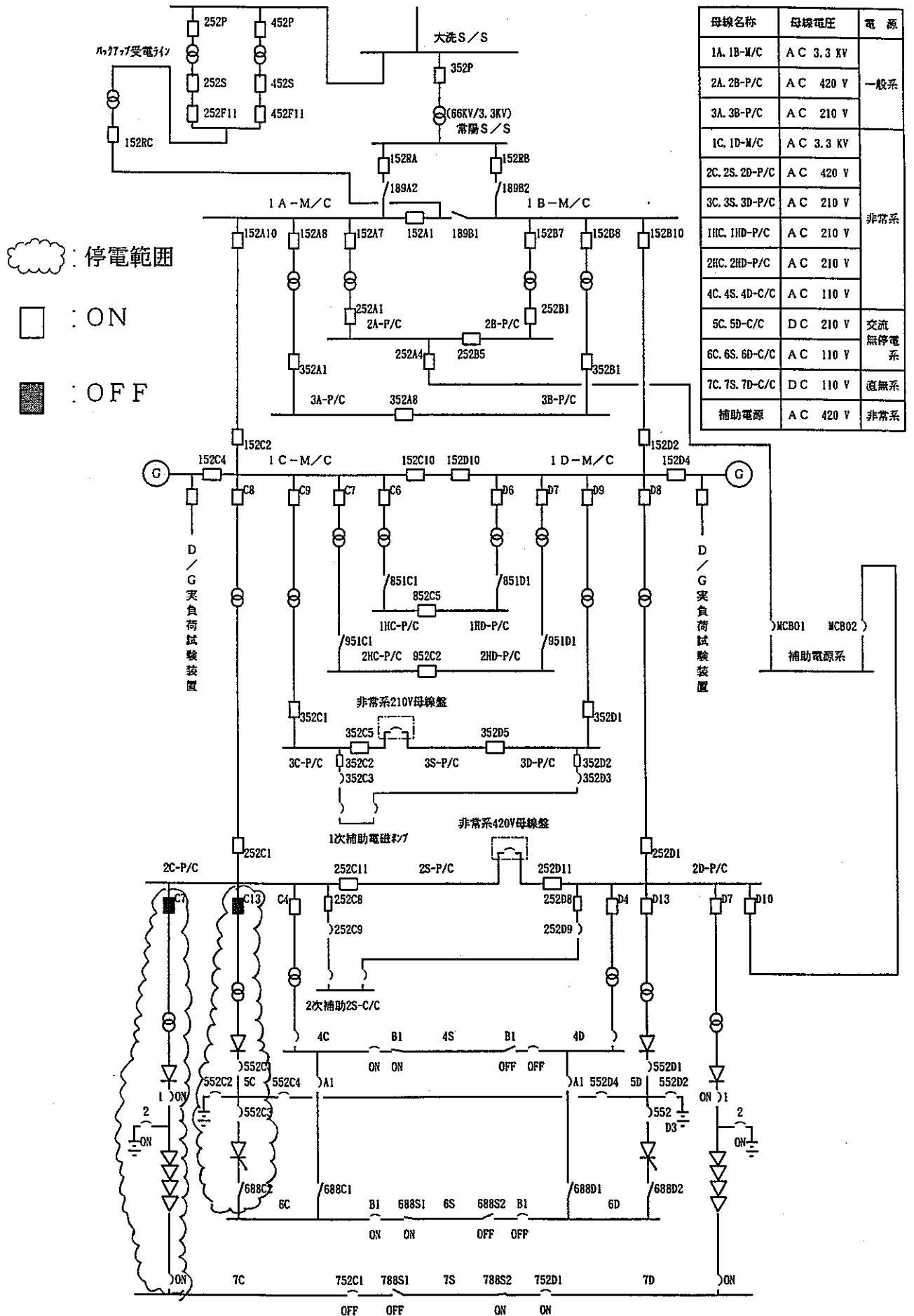
5. 6 S 電源母線切替え (6 D 受電から6 C 受電へ切り替える。)

.....

.....

.....

「常陽」電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>7 C 電源特殊受電復旧及び 7 C 整流装置運転</p> <p>(a) 7 C 電源盤内の電源引き込み用 NFB-752C2 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 7 C 整流装置盤内、7 C 直流主回路側 NFB-1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(c) 7 C 負荷電圧補償装置盤内、蓄電池主回路用 NFB-2 が「切」であることを確認する。</p> <p>(d) 7 S 電源盤の COS43A が「手動」であることを確認する。</p> <p>(e) 7 S 電源盤の 7 C 電源側 CS3-788S1 を「切」にする。</p> <p>(f) 7 C 電源盤の 7 S 電源盤用 CS3-752C1 を「切」にする。</p> <p>(g) 7 S 電源盤の COS43TD を「通常」にする。</p> <p>(h) 7 C 蓄電池の 7 C 開閉器盤内 MCB-1 を「入」にする。</p> <p>(i) インバータ盤（補助電源設備）の裏盤内、7C, 7D 異常監視装置電源用 MCB-17 を「入」にする。</p> <p>(j) 7 C 負荷電圧補償装置盤内、ファン電源用 MCB-D を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#305)</p> <p>A-704 (#308)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 * (#307)</p> <p>A-704 * (#306)</p> <p>A-707 * (#307)</p> <p>A-603 *</p> <p>A-707 * (#346)</p> <p>A-704 * (#308)</p>	<p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・CSにてNFB を操作出来ない場合は、盤内NFB にて操作する。</p> <p>< 7 C 電源停電 > ・ANNが発生する。 「C系低電圧」 「1号DG制御電源喪失」</p> <p>(7C, 7D 整流装置盤のデジタル電圧計用電源)</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	(k) 7C 負荷電圧補償装置盤内、蓄電池主回路用NFB-2を「入」にする。	A-704 (#308)	*	
	(l) 7C 電源盤内の電源引き込み用CS3-752C2を「入」にする。	A-704 (#306)	*	< 7C電源復電 > ・ANNリセット可 「C系低電圧」 「1号DG制御電源喪失」
	(m) 電源設備操作7C分電盤内、7C整流装置用NFB-A1を「入」にする。	A-706 (#325)	*	
	(n) 7C 整流装置盤内、制御電源用MCB-C (NFB-3)を「入」にする。	A-704 (#305)	*	
	(o) 2C-P/Cの7C整流装置用CB252C7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252C7を「入」にする。	A-705 (#312)	***	< 7C整流装置運転 >
	(p) 7C 整流装置盤内、7C直流主回路側NFB-1を「入」にする。	A-704 (#305)	*	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p>5 C電源復電及び5 C整流装置運転</p> <p>(a) 6 Cインバータ盤裏側の整流器入力用5 2を「入」にする。</p> <p>(b) 5 C蓄電池の5 C開閉器盤内MCB-3を「入」にする。</p> <p>(c) 電源設備操作7 C分電盤内、5 C電源盤用NFB-A2を「入」にする。</p> <p>(d) 電源設備操作7 C分電盤内、5 C整流装置用NFB-C4を「入」にする。</p> <p>(e) 5 C電源盤の母線連絡用NFB-5 5 2 C 4が「切」であることを確認する。</p> <p>(f) 5 D電源盤の母線連絡用NFB-5 5 2 D 4が「切」であることを確認する。</p> <p>(g) 6 Cインバータ盤裏側の制御電源用NFB-1を「入」にする。</p> <p>(h) 2 C-P/Cの5 C整流装置用CB2 5 2 C 1 3を「運転位置」にし、制御電源スイッチ" 8"を「入」とし、CB2 5 2 C 1 3を「入」にする。</p> <p>(i) 5 C電源盤の5 C整流器出力CS3-5 5 2 C 1を「入」にする。</p> <p>(j) 5 C電源盤の5 C蓄電池出(入)力CS3-5 5 2 C 2を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#303)</p> <p>A-603</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>A-704 (#302)</p> <p>A-707 (#338)</p> <p>A-704 (#303)</p> <p>A-705 (#312)</p> <p>A-704 (#302)</p> <p>A-704 (#302)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p></p> <p>・ANNが発生する。 「交流無停電C」 (5 C整流装置の 出力電圧低)</p> <p>< 5 C整流装置運転 > ・ANNリセット可 「交流無停電C」</p> <p>< 5 C電源復電 ></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>6 Cインバータ運転</u></p> <p>(a) 5 C整流装置盤内の次の6 Cインバータ盤制御電源用NFBを「入」にする。</p> <p>(1) AC 200 V 制御電源用 (5 C整流装置盤より) NFB-8 C</p> <p>(2) AC 110 V 制御電源 (6 Cインバータ出力) 用 (6 Cインバータ出力より) NFB-8 I</p> <p>(3) DC 110 V 制御電源用 (5 C電源盤より) NFB-8 D</p> <p>(4) DC 110 V 制御電源用 (蓄電池) 用 NFB-8 DB</p> <p>(b) 5 C電源盤の6 Cインバータ入力用CS 3-5 5 2 C 3を「入」にする。</p> <p>(c) 6 Cインバータ盤前面の「運転」P. Bを押し、インバータを起動する。</p>	<p>A-704 (#301)</p> <p>A-704 (#302)</p> <p>A-704 (#303)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ANNが発生する。 「交流無停電C」 (制御電源が復電した為)</p> <p>< 6 Cインバータ運転 > ・ANNリセット可 「交流無停電C」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<p>6 C電源特殊受電復旧 (6 D・6 S受電→6 Cインバータ受電)</p> <hr/> <p>(a) 6 C電源盤の4 C電源側CS3-688C1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 S電源盤の6 C電源側CS3-688S1を「切」にする。</p> <p>(c) 6 S電源盤のCOS43TAを「通常」にする。</p> <p>(d) 6 C電源盤の6 Cインバータ側CS3-688C2を「入」にする。</p> <p>(e) 4 C電源盤内、6 C電源盤用NFB-A1を「入」にする。</p> <p>(f) 6 C電源盤のCOS43Aを「自動」にする。</p>	<p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#304)</p> <p>A-706 (#324)</p> <p>A-704 (#304)</p>	<p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p></p> <p>< 6 C電源停電 > ・ANNが発生する。 「C系低電圧」</p> <p>< 6 C電源復電 > ・ANNリセット可 「C系低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 6)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<p>6 S 電源母線切替え (6 D 受電 → 6 C 受電)</p> <p>(a) 6 C 電源盤の 6 S 電源盤用 NFB-B1 が「入」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 S 電源盤の COS43A が「手動」であることを確認する。</p> <p>(c) 6 S 電源盤の 6 D 電源側 CS3-688S2 を「切」にする。</p> <p>(d) 6 S 電源盤の 6 C 電源側 CS3-688S1 を「入」にする。</p> <p>(e) 6 D 電源盤の 6 S 電源盤用 NFB-B1 を「切」にする。</p> <p>(f) スペースヒータ分電盤内、無停電 C 系用 NFB-A2 を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p></p> <p></p> <p>*</p> <p></p> <p>*</p> <p>*</p>	<p></p> <p></p> <p>< 6 S 電源停電 > ・ ANN が発生する。 「6 S 電源」</p> <p>< 6 S 電源復電 > ・ ANN リセット可 「6 S 電源」</p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月 4日 (土)

<点検対象> 7 S電源盤, 5 D整流装置・6 Dインバータ・7 D整流装置・7 D負荷電圧補償装置

.....

<操作内容> 1. 7 S電源停電

.....

<< 2課点検開始 >>

.....

<< 2課点検終了 >>

.....

2. 7 S電源復電 (7 D受電から7 C受電へ切り替える。)

.....

3. 7 D電源特殊受電 (2 D-P/C受電から7 C・7 S受電へ切り替える。)

.....

4. 7 D整流装置停止

.....

5. 6 D電源特殊受電 (6 Dインバータ受電から6 C・6 S受電へ切り替える。)

.....

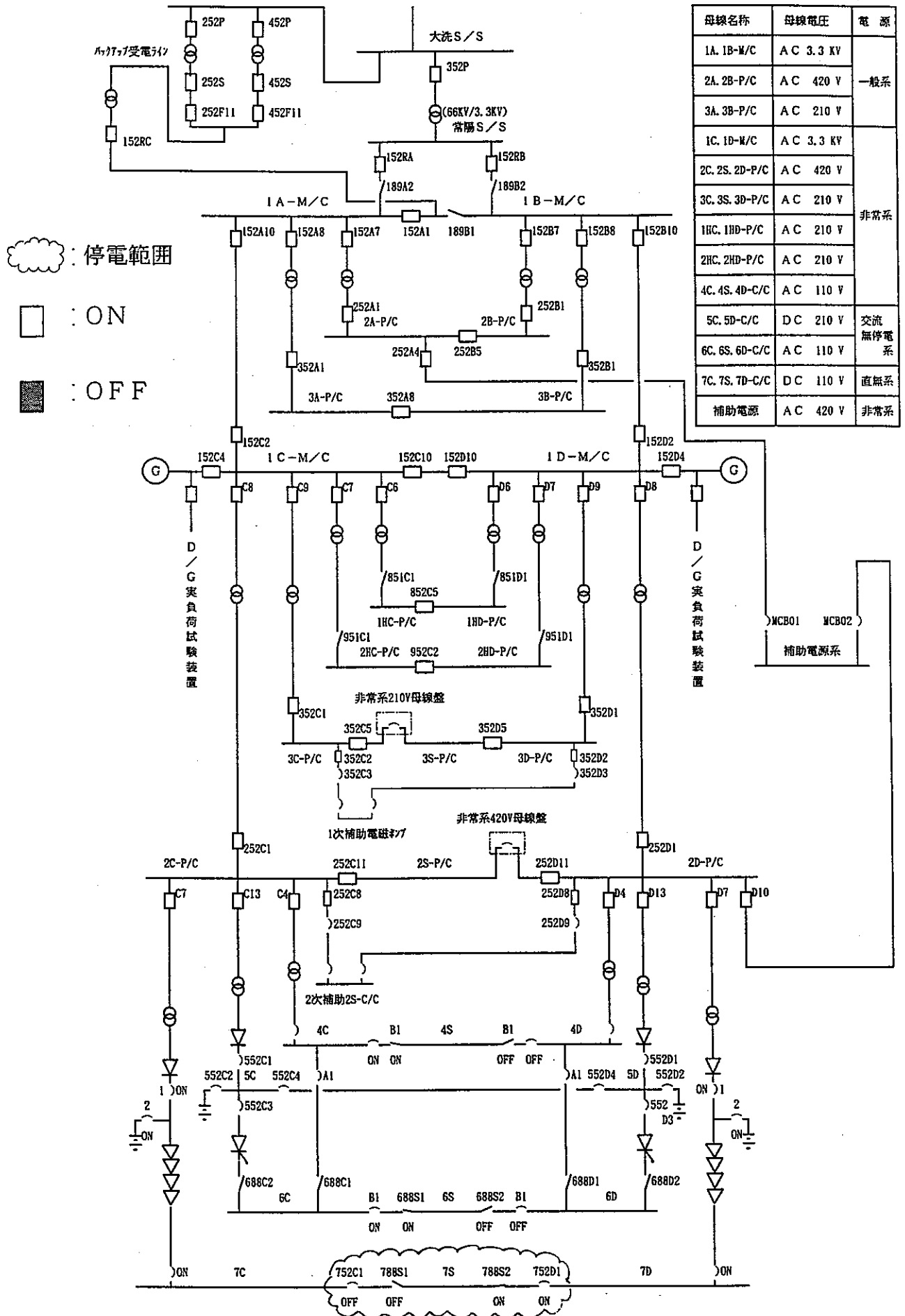
6. 6 Dインバータ停止

.....

7. 5 D電源停電及び5 D整流装置停止

.....

「常陽」電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1/7)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>7 S 電源停電</u></p> <p>(a) 7 S 電源盤のCOS 4 3 Aが「手動」であることを確認する。</p> <p>(b) 7 S 電源盤の7 C 電源側CS 3 - 7 8 8 S 1の「切」を確認する。</p> <p>(c) 7 C 電源盤の7 S 電源盤用CS 3 - 7 5 2 C 1の「切」を確認する。</p> <p>(d) 7 S 電源盤の次の各NFBを「切」にする。</p> <p>(1) 1次冷却系電動弁分電盤用 NFB-A 1</p> <p>(2) 電源設備操作7 C分電盤7 S系用 NFB-A 2</p> <p>(3) 中央制御室分電盤(7 S系)用 NFB-A 3</p> <p>(4) 原子炉建家分電盤7 S回転プラグ NFB-A 4</p> <p>(5) 2次補助7 S分電盤用 NFB-B 1</p> <p>(6) 1次冷却系計装用分電盤 NFB-B 2</p> <p>(7) 電源設備操作7 S分電盤用 NFB-B 4</p> <p>(8) 予 備 NFB-B 3 確認</p> <p>(e) 7 S 電源盤の7 D 電源側CS 3 - 7 8 8 S 2を「切」にする。</p> <p>(f) 7 D 電源盤の7 S 電源盤用CS 3 - 7 5 2 D 1を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>○</p> <p>A-707 (#342)</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>< 7 S 電源停電 ></p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・ANNが発生する。</p> <p>「常陽S/S制御電源喪失」</p> <p>「電源監視盤DC喪失」</p> <p>「7 S 電源」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2/7)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	(g) スペースヒータ分電盤内、無停電系D用NFB-A1を「切」にする。	S-201 (#648)	○	
<p><< 2 課点検開始 >></p>				
2	<p><u>7S電源復電</u></p> <p>(a) 7D電源盤の7S電源盤用CS3-752D1の「切」を確認する。</p> <p>(b) 7C電源盤の7S電源盤用CS3-752C1を「入」にする。</p> <p>(c) 7S電源盤のCOS43Aが「手動」であることを確認する。</p> <p>(d) 7S電源盤の7D電源側CS3-788S2の「切」を確認する。</p> <p>(e) 7S電源盤の7C電源側CS3-788S1を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#307)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p>	<p>○</p> <p>*○</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*○</p>	<p>(7D電源受電から、7C電源受電に切り替える。)</p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>< 7S電源復電 ></p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>・ANNリセット可 「7S電源」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3/7)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p>(f) 7 S電源盤の次の各NFBを「入」にする。</p> <p>(1) 1次冷却系電動弁分電盤用 NFB-A1</p> <p>(2) 電源設備操作7C分電盤7S系用 NFB-A2</p> <p>(3) 中央制御室分電盤(7S系)用 NFB-A3</p> <p>(4) 原子炉建家分電盤7S回転プラグ NFB-A4</p> <p>(5) 2次補助7S分電盤用 NFB-B1</p> <p>(6) 1次冷却系計装用分電盤 NFB-B2</p> <p>(7) 電源設備操作7S分電盤用 NFB-B4</p> <p>(8) 予備 NFB-B3確認</p> <p>(g) スペースヒータ分電盤内、無停電系D用NFB-A1を「入」にする。</p>	<p>S-201 (#648)</p>	<p>* * * * * * * * *</p>	<p>• ANNリセット可 「常陽S/S制御電源喪失」</p> <p>• ANNリセット可 「電源監視盤DC喪失」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4/7)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>7D電源特殊受電(2D-P/C受電→7C・7S受電)</u></p> <p>(a) 7D電源盤の7S電源盤用CS3-752D1を「入」にする。</p> <p>(b) 7D電源盤内の電源引込み用CS3-752D2を「切」にする。</p> <p>(c) 7S電源盤のCOS43TDを「定検」にする。</p> <p>(d) 7S電源盤の7C電源側CS3-788S1が「入」で保持されていることを確認する。</p> <p>(e) 7S電源盤の7D電源側CS3-788S2を「入」にする。 (Rランプ点灯まで「入」を保持する。)</p>	<p>A-707 (#342)</p> <p>A-707 (#342)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p>	<p>*○</p> <p>○○</p> <p>○</p> <p>*○</p>	<p>・Rランプ点灯確認</p> <p>< 7D電源停電 ></p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・ANNが発生する。 「D系低電圧」 「2号DG制御電源喪失」</p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>< 7D電源復電 ></p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>・ANNリセット可 「D系低電圧」 「2号DG制御電源喪失」</p>
4	<p><u>7D整流装置停止</u></p> <p>(a) 2D-P/Cの7D整流装置用CB252D7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D7を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 7D負荷電圧補償装置盤内、7D蓄電池用NFB-2を「切」にする。</p> <p>(c) 7D負荷電圧補償装置盤内、ファン電源用NFB-4を「切」にする。</p> <p>(d) 7D整流装置盤内、7D直流主回路側NFB-1を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#344)</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 7D整流装置停止 ></p> <p>・ANNが発生する。 「直流無停電D」 (出力電圧低)</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5/7)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	(e) 7D整流装置盤内、制御電源用NFB-3を「切」にする。	A-707 (#344)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ANNリセット可 「直流無停電D」 (出力電圧低) (7C, 7D 整流装置盤の デジタル電圧計用電源)
	(f) 電源設備操作7D分電盤内、7D整流装置用NFB-C2を「切」にする。	A-707 (#345)	○	
	(g) インバータ盤(補助電源設備)の裏盤内のMCB-17を「切」にする。	A-707 (#346)	○	
	(h) NFB-2の2次側が充電状態の為、7D蓄電池の7D開閉器盤内MCB-2を「切」にする	A-708	○	
5	<u>6D電源特殊受電(6Dインバータ受電→6C・6S受電)</u>			
	(a) 6D電源盤の4D電源側CS3-688D1が「切」であることを確認する。	A-707 (#340)		<ul style="list-style-type: none"> ・Gランプ点灯確認
	(b) 6D電源盤のCOS43Aを「手動」にする。	A-707 (#340)	○	
	(c) 6D電源盤内、6S電源盤用NFB-B1を「入」にする。	A-707 (#340)	○	<ul style="list-style-type: none"> < 6D電源停電 > ・Gランプ点灯確認 ・ANNが発生する。 「D系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」
	(d) 4D電源盤内、6D電源盤用NFB-A1を「切」にする。	A-707 (#336)	○	
	(e) 6D電源盤の6Dインバータ側CS3-688D2を「切」にする。	A-707 (#340)	○	
	(f) 6S電源盤のCOS43TAを「定検」にする。	A-704 (#341)	○	
	(g) 6S電源盤の6D電源側CS3-688S2を「入」にする。	A-704 (#341)	○	<ul style="list-style-type: none"> < 6D電源復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANNリセット可 「D系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」
(h) 6S電源盤の6C電源側CS3-688S1が「入」で保持されていることを確認する。	A-704 (#304)			

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6/7)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ェ ッ ク	備 考
6	<p><u>6 Dインバータ停止</u></p> <p>(a) 6 Dインバータ (1) 盤前面の「停止」P. Bを押し、インバータを停止する。</p> <p>(b) 5 D電源盤の6 Dインバータ入力用CS 3-5 5 2 D 3を「切」にする。</p> <p>(c) 5 D整流装置盤内の次の6 Dインバータ盤制御電源用NFBを「切」にする。</p> <p>(1) AC 2 0 0 V制御電源用 (5 D整流装置盤より) NFB-8 C</p> <p>(2) AC 1 1 0 V制御電源用 (インバータ出力) 用 (6 Dインバータ出力より) NFB-8 I</p> <p>(3) DC 1 1 0 V制御電源用 (5 D電源盤より) NFB-8 D</p>	<p>A-7 0 7 (# 3 3 9)</p> <p>A-7 0 7 (# 3 3 8)</p> <p>A-7 0 7 (# 3 3 7)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 6 Dインバータ停止 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転ランプ消灯確認 ・ ANNが発生する。 「交流無停電D」 (6 Dインバータの出力電圧低) <p>・ Gランプ点灯確認</p> <p>・ NFBの位置No.は、</p> <p>NFB-E 2</p> <p>NFB-E 1 1</p> <p>NFB-E 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ANNリセット可 「交流無停電D」 (制御電源喪失の為)

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(7/7)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
7	<p>5 D 電源停電及び 5 D 整流装置停止</p> <p>(a) 5 C 電源盤の母線連絡用 NFB-552C4 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 5 D 電源盤の母線連絡用 NFB-552D4 が「切」であることを確認する。</p> <p>(c) 2D-P/C の 5 D 整流装置用 CB252D13 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、CB252D13 を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 5 D 電源盤の 5 D 蓄電池出 (入) 力用 CS3-552D2 を「切」にする。</p> <p>(e) 5 D 電源盤の 5 D 整流器出力 CS3-552D1 を「切」にする。</p> <p>(f) 5 D 整流装置盤内、制御電源用 NFB-1 を「切」にする。</p> <p>(g) 電源設備操作 7 D 分電盤内、5 D 整流装置用 NFB-C1 を「切」にする。</p> <p>(h) 電源設備操作 7 D 分電盤内、5 D 電源盤用 NFB-B3 を「切」にする。</p> <p>(i) NFB-552D2 の 2 次側が充電状態のため、5 D 蓄電池の 5 D 開閉器盤内 MCB-4 を「切」にする。</p> <p>(j) 5 D 整流装置裏盤内、5 D 整流装置入力用 NFB-52 を「切」にする。</p> <p>(k) スペースヒータ分電盤内、無停電系 D 用 NFB-A1 を「切」にする。</p>	<p>A-704 (#302)</p> <p>A-707 (#338)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#338)</p> <p>A-707 (#338)</p> <p>A-707 (#337)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-708</p> <p>A-707 (#337)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・ G ランプ点灯確認 (CS3-552C4)</p> <p>・ G ランプ点灯確認 (CS3-552D4)</p> <p>< 5 D 整流装置停止 ></p> <p>< 5 D 電源停電 > ・ G ランプ点灯確認 ・ ANN が発生する。 「交流無停電 D」 (5D 整流装置の出力電圧低)</p> <p>・ G ランプ点灯確認</p> <p>・ ANN リセット可 「交流無停電 D」 (制御電源喪失の為)</p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月 5日 (日)

<点検対象> 7 D 電源盤

.....

<操作内容> 1. 7 D 電源停電 (7 Sからの特殊受電状態より切り離す。)

.....

<< 2 課点検開始 >>

.....

.....

<< 2 課点検終了 >>

.....

2. 7 D 電源復電 (7 Sからの特殊受電状態に復旧する。)

.....

.....

.....

.....

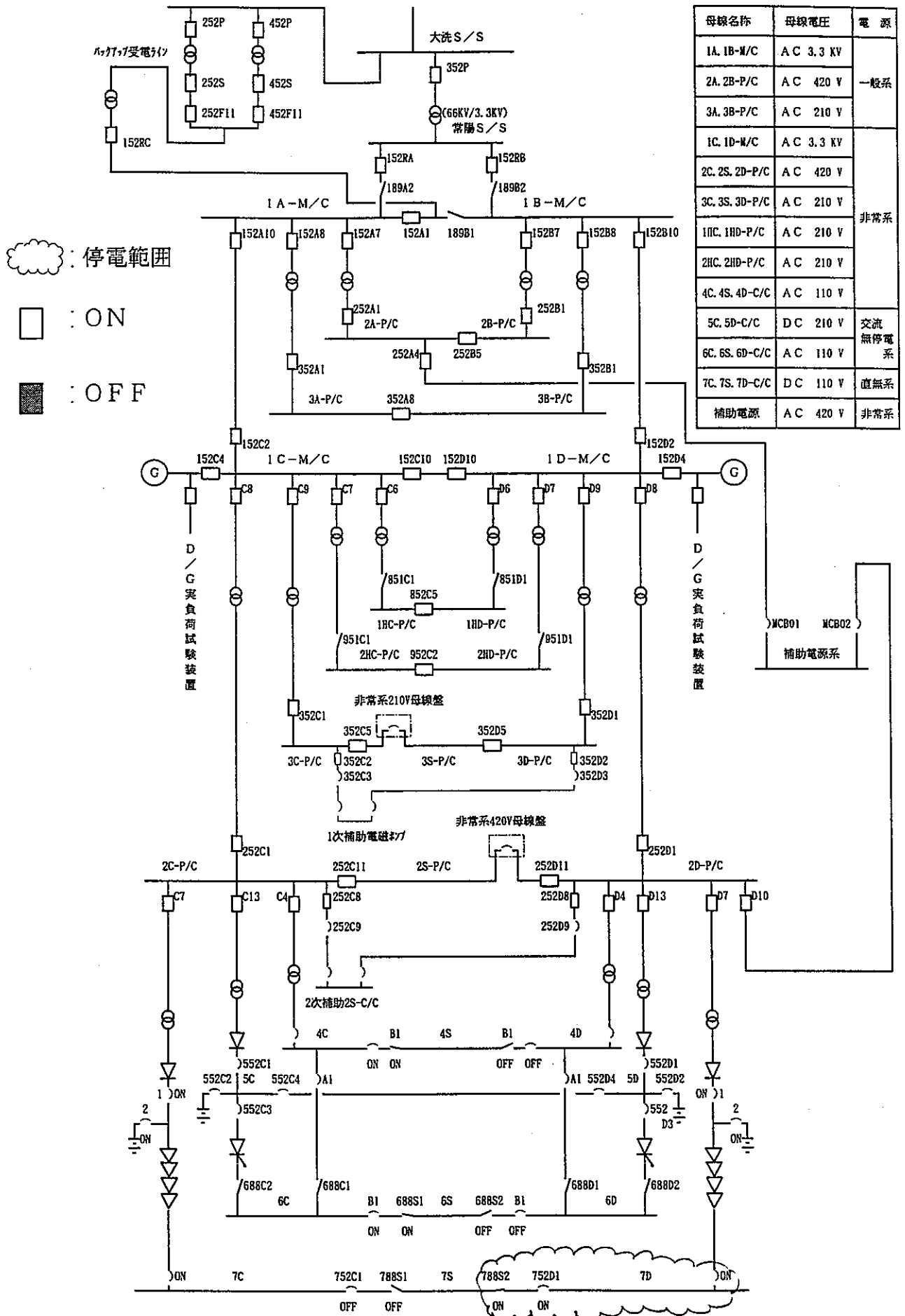
.....

.....

.....

.....

「常陽」電源設備系統図



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 2)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	7 D 電源停電			(7 C・7 Sより受電の特殊受電状態から切り離す。) ・CSにてNFBを操作できない場合は、盤内NFBを手動にて操作する。
	(a) 2 D-P/Cの7 D整流装置用CB 2 5 2 D 7が「切」、制御電源” 8” が「切」、CBが「試験位置」であることを確認する。	A-707 (#332)	○	
	(b) 7 D電源盤の7 S電源盤用CS 3-7 5 2 D 1を「切」にする。	A-707 (#342)	○ 注)	注) 特殊受電時に逆状態タグ管理されているが、本タグを優先し、2枚タグとなる
	(c) 7 S電源盤の7 D電源側CS 3-7 8 8 S 2を「切」にする。	A-707 (#307)	○ 注)	
	(d) 7 D電源盤内の電源引き込み用NFB-A 1の「切」を確認する。	A-707 (#342)		
	(e) 7 D電源盤内の次の負荷側のNFBを「切」にする。	A-707 (#342)		
	(1) 中央制御室分電盤 NFB-B 1		○	
	(2) 主冷却機建家7 D分電盤 NFB-B 2		○	
	(3) 電源設備操作7 D分電盤 NFB-B 3		○	
	(4) B-ボニーモータ NFB-B 4		○	
	(5) 予 備 NFB-C 1 確認		○	
	(6) 予 備 NFB-C 2 確認		○	
	(7) Bループ主送風機電磁ブレーキ NFB-C 3		○	
	(f) 電源監視補助盤内の7 D電源盤制御電源用NFB-6 Dを「切」にする。	A-712 (#406)	○	
	(g) スペースヒータ分電盤内のNFB-A 1の「切」を確認する。	S-201 (#648)	○	
< < 2 課点検開始 > >				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 2)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考	
<< 2 課点検終了 >>					
2	<u>7 D電源復電</u>				
	(a) 2D-P/Cの7D整流装置用CB252D7が「切」、制御電源”8”が「切」、CBが「試験位置」であることを確認する。	A-707 (#332)	*		
	(b) 電源監視補助盤内の7D電源盤制御電源用NFB-6Dを「入」にする。	A-712 (#406)	*		
	(c) 7D電源盤内の電源引き込み用NFB-A1の「切」を確認する。	A-707 (#342)			
	(d) 7D電源盤の7S電源盤用CS3-752D1を「入」にする。 (盤内NFBを手動にて投入する。)	A-707 (#342)	*		
	(e) 7S電源盤の7D電源側CS3-788S2を「入」にする。	A-707 (#307)	*	< 7D電源復電 >	
	(f) 7D電源盤内の次の負荷側のNFBを「入」にする。	A-707 (#342)			
	(1) 中央制御室分電盤	NFB-B1	*		
	(2) 主冷却機建家7D分電盤	NFB-B2	*		
	(3) 電源設備操作7D分電盤	NFB-B3	*		
	(4) B-ポニーモータ	NFB-B4	*		
	(5) Bループ主送風機電磁ブレーキ	NFB-C3	*		
	(g) 7D分電盤内の次のNFBの「切」を確認する。				
	(1) 予備	NFB-C1	*		
(2) 予備	NFB-C2	*			
(h) スペースヒータ分電盤内のNFB-A1の「切」を確認する。	S-201 (#648)	*			

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月 6日 (月)

<点検対象> 4 D 電源盤

.....

<操作内容> 1. 4 D 電源停電

.....

<< 2 課点検開始 >>

.....

.....

<< 2 課点検終了 >>

.....

2. 4 D 電源復電

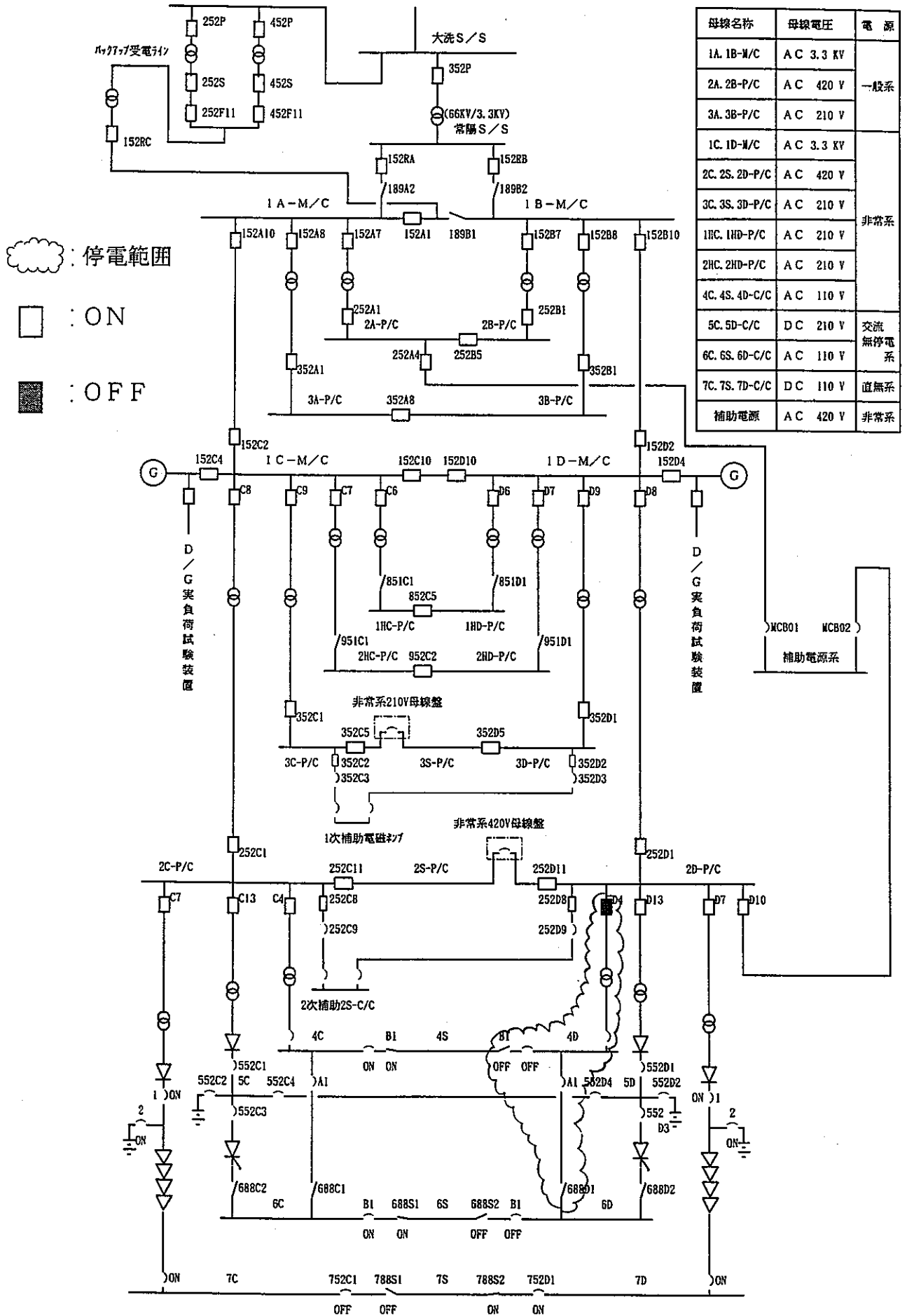
.....

.....

.....

.....

「常陽」電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 2)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	<< 2 課点検終了 >>			
2	4 D 電源復電			
	(a) 4 D 電源盤内、4 S 電源盤用 NFB-B1 の「切」を確認する。	A-707 (#336)	*	
	(b) 4 S 電源盤の裏盤、4 D 電源側 452-S2 の「切」を確認する。	A-706 (#323)	*	
	(c) 4 D 電源盤内、次の各 NFB の「切」を確認する。	A-707 (#336)		
	(1) 6 D 電源盤用 NFB-A1 確認	A-707 (#336)	*	
	(2) 予 備 (音響法炉内異常測定装置) NFB-C2 確認	A-707 (#336)	*	
	(3) 予 備 NFB-C4 確認	A-707 (#336)	*	
	(d) 6 D 電源盤の 4 D 電源側 CS3-688D1 の「切」を確認する。	A-707 (#340)	*	
	(e) 電源設備操作 7 D 分電盤内、4 D 電源盤用 NFB-B2 を「入」にする。	A-707 (#345)	*	・ ANN が発生する。 「D系低電圧」
	(f) 4 D 電源盤の電源引き込み用 NFB-B2 を「入」にする。	A-707 (#336)	*	
	(g) 2 DP/C の 4 D 電源盤用 CB252D4 を「運転位置」にし、制御電源スイッチ" 8" を「入」とし、CB252D4 を「入」にする。	A-707 (#332)	***	< 4 D 電源復電 > ・ ANN リセット可 「D系低電圧」
	(h) 4 D 電源盤内の次の各 NFB を「入」にする。	A-707 (#336)		
	(1) 2 号 DG 補機盤用 NFB-C1	A-707 (#336)	*	
	(2) 中央制御室分電盤 (4 D 系) 用 NFB-C3	A-707 (#336)	*	
	(i) 6 D 電源盤の COS43A の「手動」を確認する。	A-707 (#340)	*	
	(j) スペースヒータ分電盤内、非常系 D 用 NFB-A3 を「入」にする。	S-201 (#648)	*	

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月 7日 (火)

<点検対象> 6 D 電源盤

.....

<操作内容> 1. 6 D 電源停電 (6 C・6 S 特殊受電状態から切り離す。)

.....

<< 2 課点検開始 >>

.....

.....

<< 2 課点検終了 >>

.....

2. 6 D 電源復電 (6 C・6 S 特殊受電状態とする。)

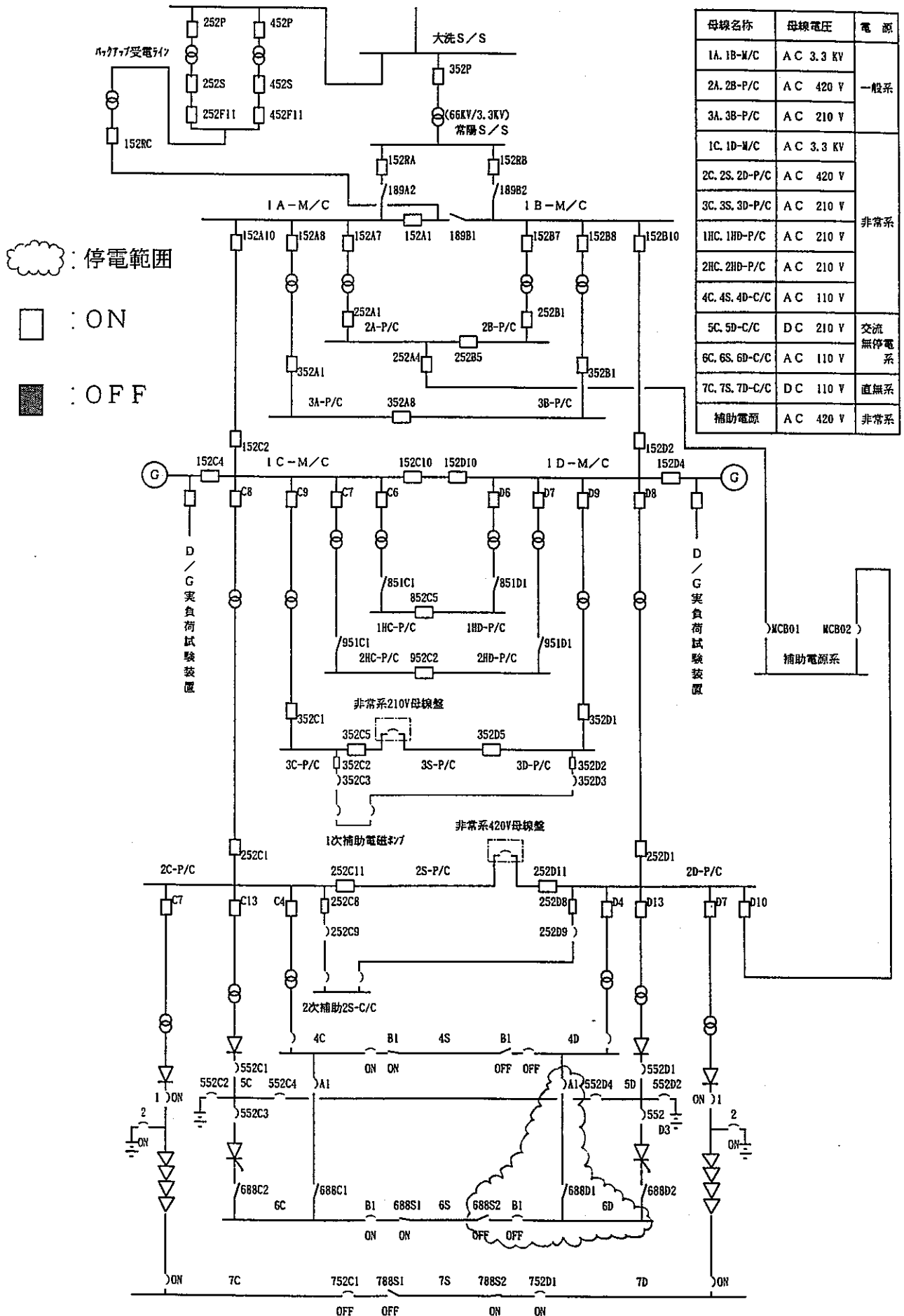
.....

.....

.....

.....

「常陽」 電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 3)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	6 D電源停電			(6 C, 6 Sより受電の特殊受電状態から切り離す) ・CSにてNFBを操作できない場合は、盤内NFBを手動にて操作する。
	(a) 6 S電源盤のCOS43Aの「手動」を確認する。	A-704 (#341)		
	(b) 6 D電源盤のCOS43Aの「手動」を確認する。	A-707 (#340)		
	(c) 4 D電源盤内、6 D電源盤用NFB-A1が「切」であることを確認する。	A-707 (#336)	○	
	(d) 6 D電源盤の4 D電源側CS3-688D1が「切」であることを確認する。	A-707 (#340)	○	
	(e) 6 D電源盤の6 Dインバータ盤CS3-688D2が「切」であることを確認する。	A-707 (#340)	○	
	(f) 6 S電源盤6 C電源側CS3-688S1が「入」であることを確認する。	A-704 (#341)		
	(g) 6 S電源盤のCOS43TAの「定検」を確認する。	A-704 (#341)		
	(h) 6 S電源盤の6 D電源側CS-688S2を「切」にする。	A-704 (#341)	○ 注)	< 6 D電源停電 > ・ランプ点灯確認
	(i) 6 D電源盤内、6 S電源盤用NFB-B1を「切」にする。	A-707 (#340)	○ 注)	・ANNが発生する。 「D系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」
	(j) 6 D電源盤の次のNFBを「切」にする。			
	(1) 中央制御室分電盤内(6 D系)用 NFB-B2	A-707 (#340)	○	注) 特殊受電時「入」にてタグ管理されているが「切」とするため2枚タグとなる
	(2) 2次現場制御盤用 NFB-B3	A-707 (#340)	○	
	(3) B. 1次電磁流量計電源盤用 NFB-C1	A-707 (#340)	○	
	(4) 2次予熱ヒータ制御装置電源用 NFB-C2確認	A-707 (#340)	○	
	(5) 技術課. 計算機室(A-710)用 NFB-C3	A-707 (#340)	○	
	(k) 電源設備操作7 D分電盤内、6 D電源盤用NFB-B5を「切」にする。	A-707 (#345)	○	・ANNリセット可 「D系低電圧」

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 3)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	<< 2 課点検終了 >>			
2	<p>6 D 電源復電</p> <p>(a) 6 D 電源盤の 4 D 電源側 CS 3 - 6 8 8 D 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 D 電源盤の COS 4 3 A の「手動」を確認する。</p> <p>(c) 6 S 電源盤の COS 4 3 A の「手動」を確認する。</p> <p>(d) 4 D 電源盤内、6 D 電源盤用 NFB - A 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(e) 電源設備操作 7 D 分電盤内、6 D 電源盤用 NFB - B 5 を「入」にする。</p> <p>(f) 6 D 電源盤の 6 D インバータ盤 CS 3 - 6 8 8 D 2 が「切」であることを確認する。</p> <p>(g) 6 D 電源盤内、6 S 電源盤用 NFB - B 1 を「入」にする。</p> <p>(h) 6 S 電源盤の COS 4 3 TA の「定検」を確認する。</p> <p>(i) 6 S 電源盤 6 C 電源側 CS 3 - 6 8 8 S 1 が「入」であることを確認する。</p> <p>(j) 6 S 電源盤の 6 D 電源側 CS - 6 8 8 S 2 を「入」にする。</p> <p>(k) 6 D 電源盤の次の NFB を「入」にする。</p> <p>(1) 中央制御室分電盤内 (6 D 系) 用 NFB - B 2</p> <p>(2) 2 次現場制御盤用 NFB - B 3</p>	<p>A - 7 0 7 (# 3 4 0)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 4 1)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 4 0)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 6)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 4 5)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 4 0)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 4 0)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 4 1)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 4 1)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 4 1)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 4 0)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 4 0)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ ANN が発生する。 「D 系低電圧」</p> <p>< 6 D 電源復電 > ・ R ランプ点灯確認 ・ ANN リセット可 「D 系低電圧」 「電源監視盤 AC 喪失」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チエック	備 考
2	(3) B. 1次電磁流量計電源盤用 (4) 技術課. 計算機室 (A-710) 用 (5) 2次予熱ヒータ制御装置電源用	NFB-C1 NFB-C3 NFB-C2 確認	A-707 * (#340) A-707 * (#340) A-707 * (#340)	

PNC TN9410 95-270

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月 8日 (水)

<点検対象> 5 D整流装置・6 Dインバータ・7 D整流装置・7 D負荷電圧補償装置

.....

<操作内容> << 2課点検終了 >>

.....

1. 7 D整流装置運転

.....

2. 7 D電源特殊受電復旧 (7 C・7 S受電から2 D-P/C受電へ切り替える。)

.....

3. 7 S電源母線切替え (7 C受電から7 D受電へ切り替える。)

.....

4. 5 D電源復電及び5 D整流装置運転

.....

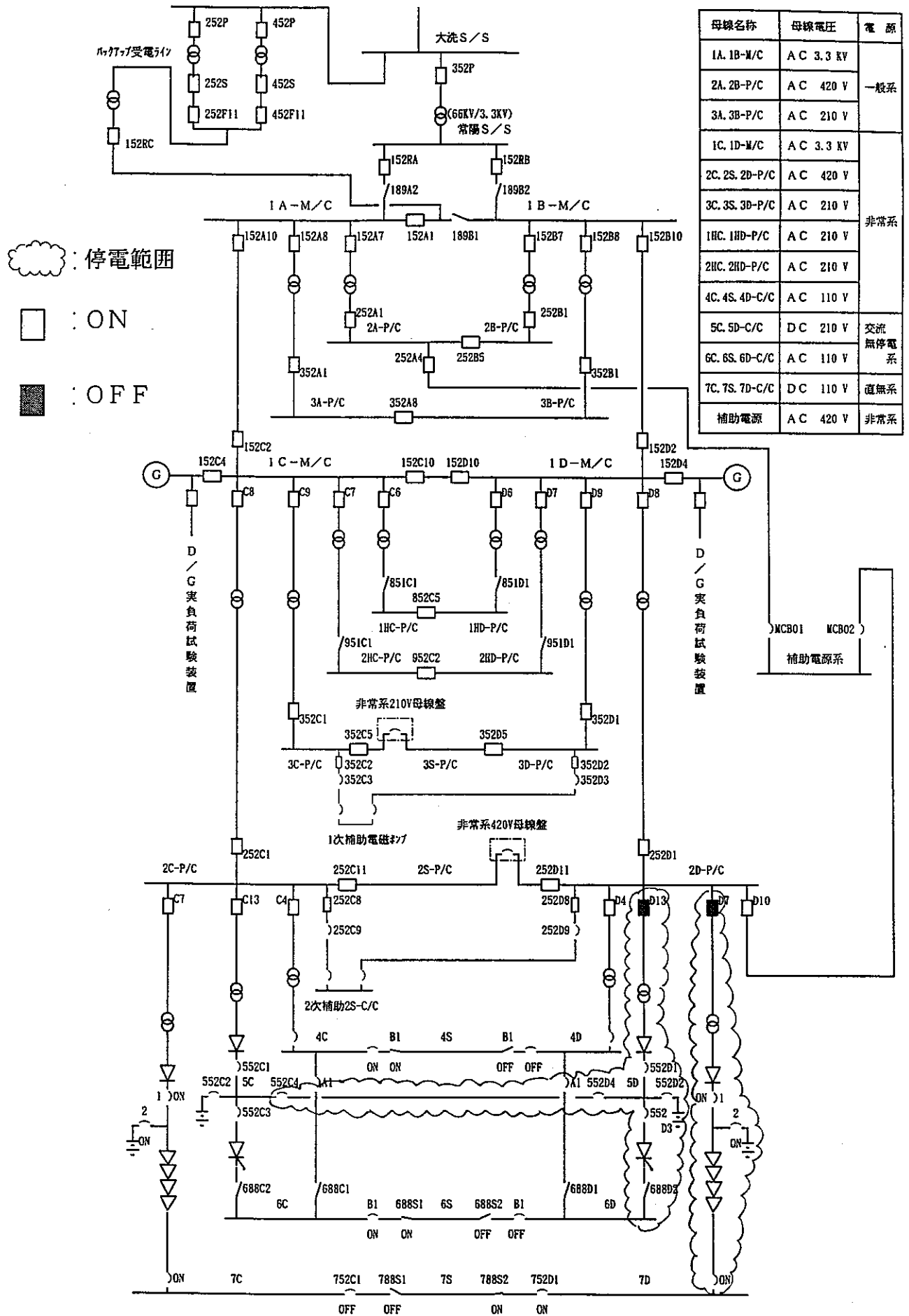
5. 6 Dインバータ運転

.....

6. 6 D電源特殊受電復旧 (6 C・6 S受電から6 Dインバータ受電へ切り替える。)

.....

「常陽」 電源設備系統図



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1/5)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>7D整流装置運転</u></p> <p>(a) 7D電源盤内の電源引込み用NFB-A1の「切」を確認する。</p> <p>(b) 7D蓄電池の7D開閉器盤内MCB-2を「入」にする。</p> <p>(c) 電源設備操作7D分電盤内、7D整流装置用NFB-C2を「入」にする。</p> <p>(d) 7D整流装置盤内、制御電源用NFB-3を「入」にする。</p> <p>(e) インバータ盤（補助電源設備）の裏盤内のMCB-17を「入」にする。</p> <p>(f) 7D負荷電圧補償装置盤内、7D蓄電池用NFB-2を「入」にする。</p> <p>(g) 7D負荷電圧補償装置盤内、ファン電源用NFB-4を「入」にする。</p> <p>(h) 7D整流装置盤内、出力側NFB-1を「入」にする。</p> <p>(i) 2D-P/Cの7D整流装置用CB252D7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D7を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#342)</p> <p>A-708 *</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#344)</p> <p>A-707 (#346)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#344)</p> <p>A-707 (#332)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p>	<p>(7C, 7D整流装置盤のデジタル電圧計用電源)</p> <p>< 7D整流装置運転 ></p>
2	<p><u>7D電源特殊受電復旧（7C・7S受電→2D-P/C受電）</u></p> <p>(a) 7S電源盤の7D電源側CS3-788S2を「切」にする。</p> <p>(b) 7S電源盤のCOS43TDを「通常」にする。</p>	<p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p>	<p>*</p> <p>*</p>	<p>< 7D電源停電 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Gランプ点灯確認 ・ANNが発生する。 「D系低電圧」 「2号DG制御電源喪失」

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2/5)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	(c) 7D電源盤内の電源引き込み用CS3-752D2を「入」にする。	A-707 (#342)	*	< 7D電源復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANNリセット可 「D系低電圧」 「2号DG制御電源喪失」
3	<p><u>7S電源 母線切替え (7C受電→7D受電)</u></p> <p>(a) 7D電源盤の7S電源盤用CS3-752D1が「入」であることを確認する。</p> <p>(b) 7S電源盤の7C電源側CS3-788S1を「切」にする。</p> <p>(c) 7S電源盤の7D電源側CS3-788S2を「入」にする。</p> <p>(d) 7C電源盤の7S電源盤用CS3-752C1を「切」にする。</p> <p>(e) 7S電源盤のCOS43Aが「手動」であることを確認する。</p>	A-707 (#342)	*	・Rランプ点灯確認
		A-707 (#307)	*	< 7S電源停電 > ・Gランプ点灯確認 ・ANNが発生する。 「常陽S/S 制御電源喪失」 「電源監視盤DC喪失」 「7S電源」
		A-707 (#307)	*	< 7S電源復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANNリセット可 「常陽S/S制御電源喪失」 「電源監視盤DC喪失」 「7S電源」
		A-704 (#306)	*	・Gランプ点灯確認
		A-707 (#307)		

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3/5)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ョ ッ ク	備 考
4	<p><u>5 D 電源復電及び 5 D 整流装置運転</u></p> <p>(a) 5 D 蓄電池の 5 D 開閉器盤内 MCB-4 を「入」にする。</p> <p>(b) 電源設備操作 7 D 分電盤内、5 D 電源盤用 NFB-B3 を「入」にする。</p> <p>(c) 電源設備操作 7 D 分電盤内、5 D 整流装置用 NFB-C1 を「入」にする。</p> <p>(d) 5 C 電源盤の母線連絡用 NFB-552C4 が「切」であることを確認する。</p> <p>(e) 5 D 電源盤の母線連絡用 NFB-552D4 が「切」であることを確認する。</p> <p>(f) 5 D 整流装置内、制御電源用 NFB-1 を「入」にする。</p> <p>(g) 2 D-P/C の 5 D 整流装置 CB252D13 を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「入」とし、CB252D13 を「入」にする。</p> <p>(h) 5 D 整流装置裏盤内、5 D 整流装置入力側 NFB-52 を「入」にする。</p> <p>(i) 5 D 電源盤の 5 D 整流器出力 CS3-552D1 を「入」にする。</p> <p>(j) 5 D 電源盤の 5 D 蓄電池出 (入) 力 CS3-552D2 を「入」にする。</p>	<p>A-708</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-704 (#302)</p> <p>A-707 (#338)</p> <p>A-707 (#337)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#337)</p> <p>A-707 (#338)</p> <p>A-707 (#338)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ ANN が発生する。 「交流無停電 D」 (5 D 整流装置の 出力電圧低)</p> <p>・ G ランプ点灯確認 (CS3-552C4)</p> <p>・ G ランプ点灯確認 (CS3-552D4)</p> <p>< 5 D 整流装置運転 ></p> <p>< 5 D 電源復電 > ・ R ランプ点灯確認 ・ ANN リセット可 「交流無停電 D」</p> <p>・ R ランプ点灯確認</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4/5)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ェ ッ ク	備 考
5	<p><u>6 Dインバータ運転</u></p> <p>(a) 6 Dインバータ (1) 盤内の次の6 Dインバータ盤制御電源用NFBを「入」にする。</p> <p>(1) AC200V制御電源用 (5 D整流装置盤より) NFB-8 C</p> <p>(2) AC110V制御電源 (インバータ出力) 用 (6 Dインバータ出力より) NFB-8 I</p> <p>(3) AC110V制御電源用 (5 D電源盤より) NFB-8 D</p> <p>(b) 5 D電源盤の6 Dインバータ入力用CS3-552D3を「入」にする。</p> <p>(c) 6 Dインバータ (1) 盤前面の「運転」P. Bを押し、インバータを起動する。</p>	<p>A-707 (#339)</p> <p>A-707 (#338)</p> <p>A-707 (#339)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・NFBの位置No.は、</p> <p>・NFB-E2</p> <p>・NFB-E11</p> <p>・NFB-E1</p> <p>・ANNが発生する。 「交流無停電D」 (6 Dインバータの出力電 圧低: 制御電源復電の為)</p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>< 6 Dインバータ運転 ></p> <p>・ANNリセット可 「交流無停電D」</p>
6	<p><u>6 D電源特殊受電復旧 (6 C・6 S受電→6 Dインバータ)</u></p> <p>(a) 6 D電源盤の4 D電源側CS3-688D1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 S電源盤の6 D電源側CS3-688S2を「切」にする。</p> <p>(c) 6 D電源盤内、6 S電源盤用NFB-B1を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#345)</p> <p>A-704 (#345)</p> <p>A-707 (#345)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>< 6 D電源停電 ></p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・ANNが発生する。 「D系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5/5)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	(d) 6S電源盤のCOS43TAを「通常」にする。 (e) 6D電源盤の6Dインバータ側CS3-688D2を「入」にする。 (f) 4D電源盤内、6D電源盤用NFB-A1を「入」にする。 (g) 6D電源盤のCOS43Aを「自動」にする。 (h) スペースヒータ分電盤内、無停電系D用NFB-A1を「入」にする。	A-704 (#341) A-707 (#340) A-707 (#336) A-707 (#340) S-201 (#648)	* * * * * *	< 6D電源復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANNリセット可 「D系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月11日 (土)

<点検対象> 2B・3B-P/C

<操作内容> 1. 2B-P/C停電

2. 3B-P/C停電

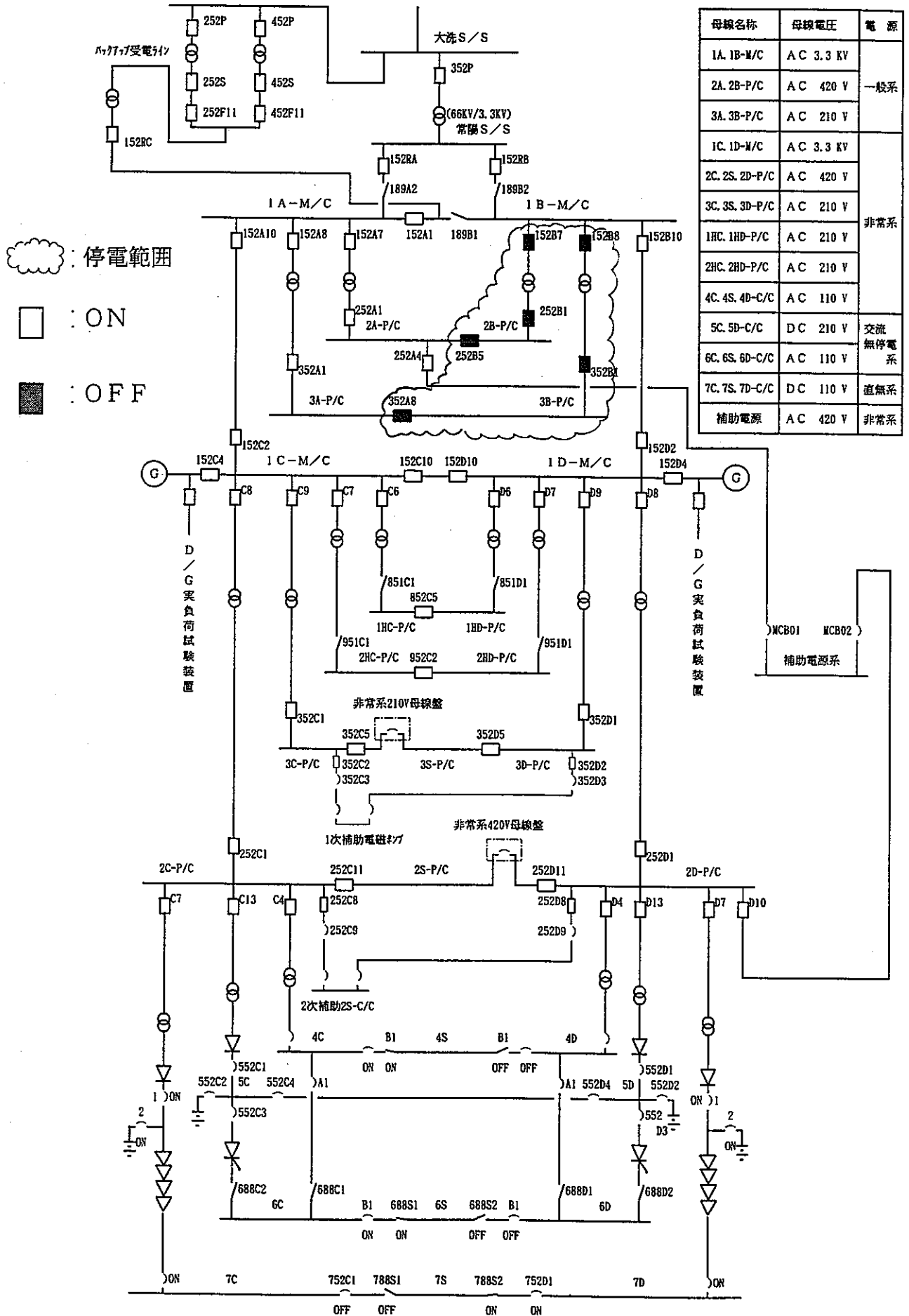
<< 2課点検開始 >>

<< 2課点検終了 >>

3. 3B-P/C復電

4. 2B-P/C復電

「常陽」電源設備系統圖



母線名称	母線電圧	電源
1A. 1B-M/C	AC 3.3 KV	一般系
2A. 2B-P/C	AC 420 V	
3A. 3B-P/C	AC 210 V	
1C. 1D-M/C	AC 3.3 KV	非常系
2C. 2S. 2D-P/C	AC 420 V	
3C. 3S. 3D-P/C	AC 210 V	
1HC. 1HD-P/C	AC 210 V	
2HC. 2HD-P/C	AC 210 V	交流 無停電 系
4C. 4S. 4D-C/C	AC 110 V	
5C. 5D-C/C	DC 210 V	直無系
6C. 6S. 6D-C/C	AC 110 V	
7C. 7S. 7D-C/C	DC 110 V	非常系
補助電源	AC 420 V	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1/4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チエック	備 考
1	<p><u>2 B - P / C 停電</u></p> <p>(a) 2 B - P / C の次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、CBを「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(1) 原子炉付属建家 2 B - 1 C / C 用 C B 2 5 2 B 2</p> <p>(2) 主冷却機建家 2 B - C / C 用 C B 2 5 2 B 3</p> <p>(3) 原子炉付属建家 2 B - 2 C / C 用 C B 2 5 2 B 4</p> <p>(4) 母線連絡用 C B 2 5 2 B 5 確認</p> <p>(b) 1 B - M / C の 2 B - P / C 用 C B 1 5 2 B 7 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、C B 1 5 2 B 7 を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(c) 2 B - P / C の変圧器 2 次側 C B 2 5 2 B 1 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、C B 2 5 2 B 1 を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(d) 電源設備操作 7 S 分電盤内、2 B - P / C 制御電源用 N F B - B 2 を「切」にする。</p>	<p>S - 2 0 1 (# 6 4 4)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 2)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 4)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 7)</p>	<p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p>	<p>CB 2 5 2 B 5 の 1 次側は活線状態のため、点検時に注意するように連絡する。</p> <p>< 2 B - P / C 停電 > ・ ANN が発生する。 「B 系低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2/4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p><u>3B-P/C停電</u></p> <p>(a) 3B-P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CBを「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(1) 原子炉建家3B-C/C用 CB352B2</p> <p>(2) 運転管理棟3B-C/C用 CB352B3</p> <p>(3) 廃棄物処理建屋3B-C/C用 CB352B4</p> <p>(4) N₂A, 供給3B電源用 CB352B5</p> <p>(5) ボイラー電源用 CB352B6</p> <p>(6) 2次系サーベイランス作業用 CB352B7確認</p> <p>(b) 1B-M/Cの3B-P/C用CB152B8を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152B8を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(c) 3B-P/Cの変圧器2次側CB352B1を「切」にし、制御電源スイッチ”8”「切」とし、CB352B1を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(d) 電源設備操作7S分電盤内、3B-P/C制御電源用NFB-B4を「切」にする。</p> <p>(e) 3A-P/Cの3B-P/C母線連絡用CB352A8が「切」で、「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(f) スペースヒータ分電盤内、一般系B用NFB-B2を「切」にする。</p>	<p>S-201 (#646)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#646)</p> <p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#645)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 3B-P/C停電 > ・ANNが発生する。 「B系低電圧」</p>
<p><< 2課点検開始 >></p>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3/4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
<< 2 課点検終了 >>				
3	<p>3 B-P/C復電</p> <p>(a) 3 A-P/Cの3 B-P/C母線連絡用CB352A8が「切」で、「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(b) 電源設備操作7S分電盤内、3 B-P/C制御電源用NFB-B4を「入」にする。</p> <p>(c) 3 B-P/Cの変圧器2次側CB352B1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB352B1を「入」とする。</p> <p>(d) 1 B-M/Cの3 B-P/C用CB152B8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB152B8を「入」とする。</p> <p>(e) 3 B-P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CBを「入」とする。</p> <p>(1) 原子炉建家3 B-C/C用 CB352B2</p> <p>(2) 運転管理棟3 B-C/C用 CB352B3</p> <p>(3) 廃棄物処理建屋3 B-C/C用 CB352B4</p> <p>(4) N₂ A, 供給3 B電源用 CB352B5</p> <p>(5) ボイラー電源用 CB352B6</p> <p>(f) 2次系サーベイランス作業用CB352B7の「試験位置」, 制御電源スイッチ"8"「切」CSが「切」であることを確認する。</p>	<p>S-201 (#645)</p> <p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#646)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#646)</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>S-201 (#646)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>*</p>	<p></p> <p></p> <p>・ANNが発生する。 「B系低電圧」</p> <p>< 3 B-P/C復電 > ・ANNリセット可 「B系低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4/4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<p><u>2B-P/C復電</u></p> <p>(a) 2B-P/Cの2A-P/C母線連絡用CB252B5が「切」で、「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(b) 電源操作7S分電盤内、2B-P/C用NFB-B2を「入」にする。</p> <p>(c) 2B-P/Cの変圧器2次側CB252B1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252B1を「入」とする。</p> <p>(d) 1B-M/Cの2B-P/C用CB152B7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152B7を「入」とする。</p> <p>(e) 2B-P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CBを「入」とする。</p> <p>(1) 原子炉付属建家2B-1C/C用 CB252B2</p> <p>(2) 主冷却機建家2B-C/C用 CB252B3</p> <p>(3) 原子炉付属建家2B-2C/C用 CB252B4</p> <p>(f) スペースヒータ分電盤内、一般系B用NFB-B2を「入」にする。</p>	<p>S-201 (#644)</p> <p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#644)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#644)</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>***</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>*</p>	<p></p> <p></p> <p>• ANNが発生する。 「B系低電圧」</p> <p>< 2B-P/C復電 > • ANNリセット可 「B系低電圧」</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月12日 (日)

<点検対象> 2D-P/C, 第1・第2SFF非常系電源設備

<操作内容> 1. 5D電源特殊受電及び5D整流装置停止

2. 7S電源特殊受電

3. 7D電源特殊受電

4. 7D整流装置停止

5. 4D電源特殊受電

6. 2D-P/C停電

7. 第1・第2SFF建家非常系電源停電

<< 2課点検開始 >>

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月12日 (日)

<点検対象> 2D-P/C, 第1・第2SFF非常系電源設備

<操作内容> << 2課点検終了 >>

8. 2D-P/C復電

9. 4D電源特殊受電復旧

10. 7D整流装置運転

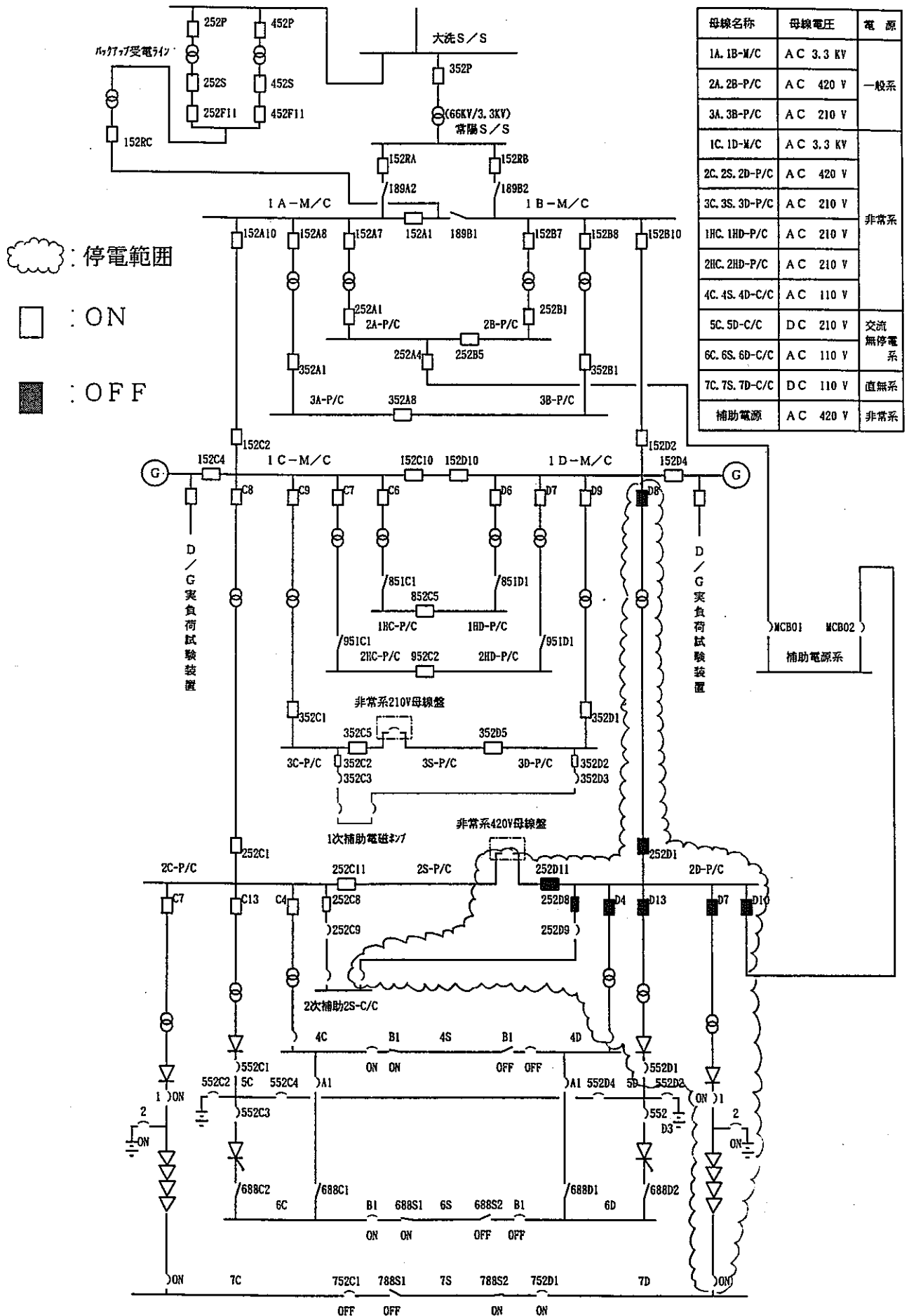
11. 7D電源特殊受電復旧

12. 7S電源特殊受電復旧

13. 5D整流装置運転及び5D電源特殊受電復旧

14. 第1・第2SFF建家非常系電源復電

「常陽」電源設備系統圖



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 8)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>5 D 電源特殊受電及び 5 D 整流装置停止</u></p> <p>(a) 2 D - P / C の 5 D 整流装置用 C B 2 5 2 D 1 3 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、C B 2 5 2 D 1 3 を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 5 D 電原盤の 5 D 整流器出力 C S - 3 - 5 5 2 - D 1 を「切」にする。</p> <p>(c) 5 D 蓄電池の電圧を確認する。</p> <p>(d) 5 C 電源盤の母線連絡 C S - 3 - 5 5 2 - C 4 を「入」にする。</p> <p>(e) 5 D 電原盤の母線連絡 C S - 3 - 5 5 2 - D 4 を「入」にする。</p>	<p>A - 7 0 7 (# 3 3 2)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 8)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 7)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 2)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 8)</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 5 D 整流装置停止 ></p> <p>・ ANN が発生する。 「交流無停電 D」</p>
2	<p><u>7 S 電源特殊受電</u></p> <p>(a) 7 S 電原盤の C O S 4 3 A が「手動」であることを確認する。</p> <p>(b) 7 C 電原盤の 7 S 電原盤用 C S - 3 - 7 5 2 - C 1 を「入」にする。</p> <p>(c) 7 S 電原盤の 7 D 電原側 C S - 3 - 7 8 8 - S 2 を「切」にする。</p> <p>(d) 7 S 電原盤の 7 C 電原側 C S - 3 - 7 8 8 - S 1 を「入」にする。 (R ランプ点灯まで「入」を保持する。)</p>	<p>A - 7 0 7 (# 3 0 7)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 6)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 0 7)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 0 7)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・操作は出来るだけ迅速に行うこと。</p> <p>< 7 S 電源停電 ></p> <p>< 7 S 電源復電 ></p>
3	<p><u>7 D 電源特殊受電</u></p> <p>(a) 7 D 電源盤の 7 S 電源盤用 C S - 3 - 7 5 2 - D 1 が「入」であることを確認する。</p> <p>(b) 7 D 電原盤内の電源引き込み用 N F B - A 1 を「切」にする。 (7 5 2 D 2)</p>	<p>A - 7 0 7 (# 3 4 2)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 4 2)</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>・操作は出来るだけ迅速に行うこと。</p> <p>< 7 D 電源停電 ></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 8)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	(c) 7S電源盤のCOS43TDを「定検」にする。 (d) 7S電原盤の7C電源側CS-3-788-S1が「入」で保持されていることを確認する。 (e) 7S電原盤の7D電源側CS-3-788-S2を「入」にする。 (Rランプ点灯まで「入」を保持する。)	A-707 (#307) A-707 (#307) A-707 (#307)	○ ○	< 7D電源復電 >
4	<u>7D整流装置停止</u> (a) 2D-P/Cの7D整流装置用CB252D7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を切」とし、CB252D7を「試験位置」にする。 (b) 7D負荷電圧補償装置盤内の7D蓄電池主回路用NFB-2を「切」にする。 (c) 7D整流装置盤内の直流主回路用NFB-1を「切」にする。 (d) 7D整流装置盤内の制御電源用NFB-3を「切」にする。 (e) 電源設備操作7D分電盤内の7D整流装置制御電源用NFB-C2を「切」にする。	A-707 (#332) A-707 (#343) A-707 (#344) A-707 (#344) A-707 (#345)	○○○ ○ ○ ○ ○	< 7D整流装置停止 >
5	<u>4D電源特殊受電</u> (a) 2D-P/Cの4D電源用CB252D4を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D4を「試験位置」にする。 (b) 4D電源引き込み用NFB-B2を「切」にする。 (c) 4D電源盤内の4S電源用NFB-B1を「入」にする。 (d) 4S電原盤のCOS-43Tを「定検」にする。 (e) 4S電原盤のCS3-452-S2を「入」にする。	A-707 (#332) A-707 (#336) A-707 (#336) A-706 (#323) A-706 (#323)	○○○ ○ ○ ○ ○	< 4D電源停電 > < 4D電源復電 >

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 8)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	2D-P/C 停電操作			
	(a) 2D-P/Cの順序投入COS43Aを「解除」にする。	A-707 (#332)	○	
	(b) 2D-P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CBを「試験位置」にする。	A-707 (#332)		
	(1) 原子炉付属建家2D-1C/C用 CB252D2		○○○	
	(2) 原子炉付属建家2D-2C/C用 CB252D3 (C-空気圧縮機動力電源)		○○○	
	(3) 4D電源用 CB252D4 確認			
	(4) B-コンクリート冷却ブロワ用 CB252D5		○○○	
	(5) 原子炉建家2D-C/C用 CB252D6		○○○	
	(6) 7D整流装置用 CB252D7 確認			
	(7) 2次補助2S-C/C用 CB252D8 確認		○	
	(8) 補助電源設備用 CB252D10 確認		○	
	(9) 2S-P/C用 CB252D11 確認		○	
	(10) 主冷却機建家2D-C/C用 CB252D12		○○○	
	(11) 5D整流装置用 CB252D13 確認			
	(c) 2D-P/Cの2次補助2S-C/C用(NFB)CB252D9が「切」であることを確認し、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。	A-707 (#332)	○○	
	(d) 1D-M/Cの2D-P/C用CB152D8を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152D8を「試験位置」にする。	A-707 (#331)	○○○	< 2D-P/C停電 >

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 8)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	(e) 2D-P/Cの変圧器2次側CB252D1を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D1を「試験位置」にする。 (f) 非常系AC420V母線盤内のNFBを「切」にする。 (g) 2次補助2S-C/C MCB盤内の2D-P/C系NFBを「切」にする。 (h) 電源設備操作7D分電盤内の2D-P/C制御電源用NFB-A3を「切」にする。 (i) スペースヒータ分電盤内の非常系Dスペースヒータ用NFB-A3を「切」にする。	A-707 (#332) A-707 (#356) A-705 (#無し) A-707 (#345) S-201 (#648)	○○○ ○ ○ ○ ○	
7	第1・第2SFF建家非常系電源設備停電 (a) 2S-P/CのSFF建家非常系電源用CB252S3を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252S3を「試験位置」にする。	A-705 (#313)	○○○	< 第1・第2SFF 非常系電源停電 >
<< 2課点検開始 >>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 8)

PNC IN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
<< 2 課点検終了 >>				
8	<p><u>2 D-P/C復電</u></p> <p>(a) 電源設備操作7 D分電盤内の2 D-P/C制御電源用NFB-A3を「入」にする。</p> <p>(b) 2 D-P/Cの変圧器2次側CB252D1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D1を「入」にする。</p> <p>(c) 1 D-M/Cの2 D-P/C用CB152D8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D8を「入」にする。</p> <p>(d) 2 D-P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CBを「入」にする。</p> <p>(1) 原子炉付属建家2 D-1 C/C用 CB252D2</p> <p>(2) 原子炉付属建家2 D-2 C/C用 CB252D3 (C-空気圧縮機動力電源)</p> <p>(3) B-コンクリート冷却ブロワ用 CB252D5</p> <p>(4) 原子炉建家2 D-C/C用 CB252D6</p> <p>(5) 主冷却機建家2 D-C/C用 CB252D12</p> <p>(e) 次のCBの「切」を確認する。</p> <p>(1) 2次補助2 S-C/C用 CB252D8 確認</p> <p>(2) 補助電源設備用 CB252D10 確認</p> <p>(3) 2 S-P/C用 CB252D11 確認</p>	<p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>A-707 (#332)</p>	<p>*</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>< 2 D-P/C復電 ></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 8)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
8	(f) 2D-P/Cの2次補助2S-C/C (NFB)用CB252D9が「切」であることを確認し、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。 (g) 2D-P/Cの順序投入COS43Aを「自動」にする。 (h) 非常系AC420V母線盤内のNFBを「入」にする。 (i) 2次補助2S-C/C MCB盤内の2D-P/C系NFBを「入」にする。 (j) スペースヒータ分電盤内の非常系Dスペースヒータ用NFB-A3を「入」にする。	A-707 (#332) A-707 (#332) A-707 (#356) A-705 (#無し) S-201 (#648)	** * * * * *	
9	<u>4D電源特殊受電復旧</u> (a) 4S電源盤のCS3-452-S2を「切」にする。 (b) 4S電源盤のCOS-43Tを「通常」にする。 (c) 4D電源盤の4S電源用NFB-B1を「切」にする。 (d) 4D電源盤内の電源引き込み用NFB-B2を「入」にする。 (e) 2D-P/Cの4D電源用CB252D4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D4を「入」にする。	A-706 (#323) A-706 (#323) A-707 (#336) A-707 (#336) A-707 (#332)	* * * * ***	< 4D電源停電 > < 4D電源復電 >

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(7 / 8)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
10	<p><u>7D整流装置運転</u></p> <p>(a) 電源設備操作7D分電盤内の7D整流装置制御電源用NFB-C2を「入」にする。</p> <p>(b) 7D整流装置盤内の制御電源用NFB-3を「入」にする。</p> <p>(c) 7D整流装置盤内の直流主回路用NFB-1を「入」にする。</p> <p>(d) 7D整流装置盤内の7D蓄電池主回路用NFB-2を「入」にする。</p> <p>(e) 2D-P/Cの7D整流装置用CB252D7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D7を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#344)</p> <p>A-707 (#344)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#332)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p>	<p>< 7D整流装置運転 ></p>
11	<p><u>7D電源特殊受電復旧</u></p> <p>(a) 7S電源盤の7D電源側CS3-788-S2を「切」にする。</p> <p>(b) 7S電源盤のCOS43TDを「通常」にする。</p> <p>(c) 7D電源盤内の電源引き込み用NFB-A1を「入」にする。 (752D2)</p>	<p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#342)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・操作は出来るだけ迅速に行うこと。</p> <p>< 7D電源停電 ></p> <p>< 7D電源復電 ></p>
12	<p><u>7S電源特殊受電復旧</u></p> <p>(a) 7S電源盤のCOS43Aが「手動」であることを確認する。</p> <p>(b) 7D電源盤の7S電源側CS3-752-D1が「入」であることを確認する。</p> <p>(c) 7S電源盤の7C電源側CS3-788-S1を「切」にする。</p> <p>(d) 7S電源盤の7D電源側CS3-788-S2を「入」にする。</p> <p>(e) 7C電源盤の7S電源側CS3-752-C1を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#342)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-704 (#306)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・操作は出来るだけ迅速に行うこと。</p> <p>< 7S電源停電 ></p> <p>< 7S電源復電 ></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(8 / 8)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1 3	<p><u>5 D 整流装置運転及び 5 D 電源特殊受電復旧</u></p> <p>(a) 2 D - P / C の 5 D 整流装置用 CB 2 5 2 D 1 3 を「運転位置」にし、制御電源スイッチ " 8 " を「入」とする。</p> <p>(b) 5 D 電源盤の母線連絡 CS 3 - 5 5 2 - D 4 を「切」にする。</p> <p>(c) 5 C 電原盤の母線連絡 CS 3 - 5 5 2 - C 4 を「切」にする。</p> <p>(d) 5 D 電源盤の 5 D 整流器出力 CS 3 - 5 5 2 - D 1 を「入」にする。</p> <p>(e) 2 D - P / C の 5 D 整流装置用 CB 2 5 2 D 1 3 を「入」にする。</p>	<p>A - 7 0 7 (# 3 3 2)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 8)</p> <p>A - 7 0 4 (# 3 0 2)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 8)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 2)</p>	<p>**</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>< 5 D 整流装置運転 ></p> <p>< 5 D 電源停電 ></p> <p>< 5 D 電源復電 ></p>
1 4	<p><u>第 1 ・ 第 2 S F F 建家非常系電源設備復電</u></p> <p>(a) 2 S - P / C の S F F 建家非常系電源用 CB 2 5 2 S 3 を「運転位置」にし、制御電源スイッチ " 8 " を「入」とし、CB 2 5 2 S 3 を「入」にする。</p>	<p>A - 7 0 5 (# 3 1 3)</p>	<p>***</p>	<p>< 第 1 ・ 第 2 S F F 非常系電源復電 ></p>

電源設備操作チェックシート

平成3年 9月13日 (月)

<点検対象> 3D・3S-P/C

<操作内容> 1. 3S-P/C停電

2. 3D-P/C停電

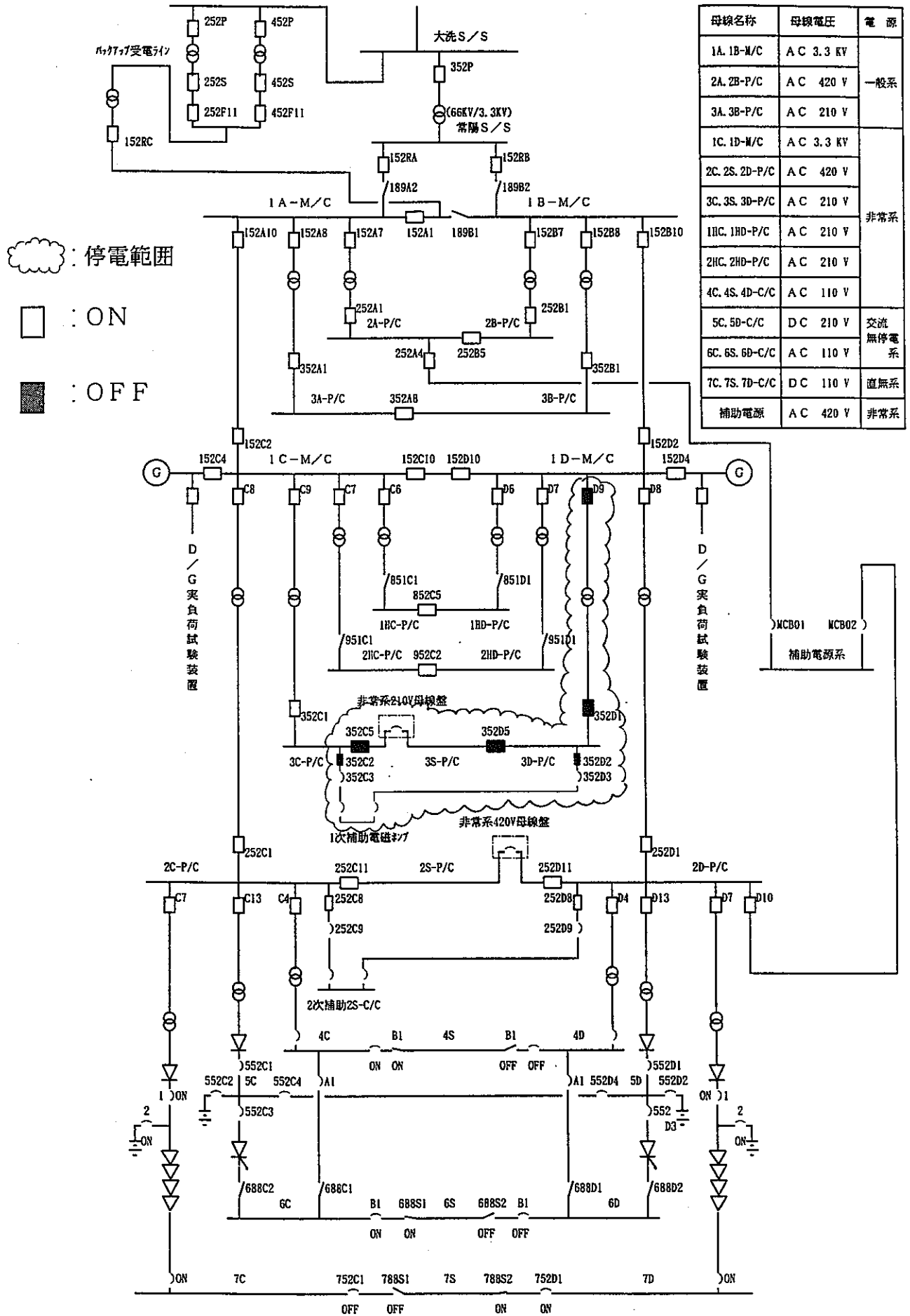
<< 2課点検開始 >>

<< 2課点検終了 >>

3. 3D-P/C復電

4. 3S-P/C復電

「常陽」電源設備系統図



○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>3 S - P / C 停電</u></p> <p>(a) 3 C - P / C の 3 S - P / C 用 CB 3 5 2 C 5 が「試験位置」、制御電源スイッチ” 8 ”が「切」、CB 3 5 2 C 5 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 3 S - P / C の 順序投入 COS 4 3 A を「解除」にする。</p> <p>(c) 3 S - P / C の 次の各 CB を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、CB を「試験位置」にする。</p> <p>(1) 原子炉付属建家 3 S - C / C 用 CB 3 5 2 S 1</p> <p>(2) ダストモニター分電盤用 CB 3 5 2 S 3</p> <p>(3) 原子炉建家 3 S - C / C 用 CB 3 5 2 S 4</p> <p>(d) 3 S - P / C の 次の各 CB の制御電源スイッチ” 8 ”を「切」にし、CB を「試験位置」にする。</p> <p>(1) オーバフロー電磁ポンプ用 CB 3 5 2 S 2</p> <p>(2) 1 次 Na 純化系電磁ポンプ用 CB 3 5 2 S 5</p> <p>(e) 3 D - P / C の 3 S - P / C 用 CB 3 5 2 D 5 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、CB 3 5 2 D 5 を「試験位置」にする。</p> <p>(f) 電源設備操作 7 C 分電盤内、3 S - P / C 制御電源用 NFB - A 6 を「切」にする。</p> <p>(g) 非常系 AC 2 1 0 V 母線盤内 NFB を「切」にする。</p>	<p>A - 7 0 6 (# 3 2 1)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 3)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 3)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 3)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 3)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 4)</p> <p>A - 7 0 6 (# 3 2 5)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 5 7)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○</p> <p>○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 3 S - P / C 停電 ></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p><u>3 D - P / C 停電</u></p> <p>(a) 3 D - P / C の順序投入 COS 4 3 A を「解除」にする。</p> <p>(b) 3 D - P / C の1次補助電磁ポンプ用 CB 3 5 2 D 2 が「切」、制御電源スイッチ” 8 ” が「切」、CB 3 5 2 D 2 が「試験位置」であることを確認する。</p> <p>(c) 3 D - P / C の1次補助電磁ポンプ NFB 用 CS 3 - 3 5 2 - D 3 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ” を「切」にする。</p> <p>(d) 3 D - P / C の次の各 CB を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ” を「切」とし、CB を「試験位置」にする。</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 計算機 3 D 電源用 CB 3 5 2 D 4</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 主冷却機建家 3 D - C / C 用 CB 3 5 2 D 6</p> <p>(e) 1 D - M / C の3 D - P / C 用 CB 1 5 2 D 9 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ” を「切」とし、CB 1 5 2 D 9 を「試験位置」にする。</p> <p>(f) 3 D - P / C の変圧器2次側 CB 3 5 2 D 1 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ” を「切」とし、CB 3 5 2 D 1 を「試験位置」にする。</p> <p>(g) 電源設備操作7 D 分電盤内の3 D - P / C 制御電源 NFB - A 4 を「切」にする。</p> <p>(h) 1次補助電磁ポンプ MCB 盤内の2 D - P / C 系 NFB を「切」にする。</p> <p>(i) スペースヒータ分電盤内の非常系 D 用 NFB - A 3 を「切」にする。</p>	<p>A - 7 0 7 (# 3 3 4)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 4)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 4)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 4)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 3 D - P / C 停電 ></p>
<p><< 2 課点検開始 >></p>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	<< 2 課点検終了 >>			
3	<u>3 D-P/C復電</u> (a) 電源設備操作7 D分電盤内の3 D-P/C制御電源用NFB-A4を「入」にする。 (b) 3 D-P/Cの変圧器2次側CB352D1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB352D1を「入」にする。 (c) 1 D-M/Cの3 D-P/C用CB152D9を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D9を「入」にする。 (d) 3 D-P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CBを「入」にする。 (1) 計算機 3 D電源用 CB352D4 (2) 主冷却機建家 3 D-C/C用 CB352D6 (e) 3 D-P/Cの1次補助電磁ポンプ用CB352D2が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB352D2が「試験位置」であることを確認する。 (f) 3 D-P/Cの1次補助電磁ポンプNFB用の制御電源スイッチ”8”を「入」にし、CS3-352-D3を「入」にする。 (g) 3 D-P/Cの順序投入COS43Aを「自動」にする。 (h) 1次補助電磁ポンプMCB盤内の2 D-P/C系NFBを「入」にする。	A-707 (#345) A-707 (#334) A-707 (#331) A-707 (#334) A-707 (#334) A-707 (#334) A-707 (#334) A-706 (#無し)	* *** *** *** *** * ** * *	< 3 D-P/C復電 >

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<p><u>3 S - P / C 復電</u></p> <p>(a) 電源設備操作7 C分電盤内の3 S - P / C制御電源用NFB - A 6を「入」にする。</p> <p>(b) 3 C - P / Cの3 S - P / C用CB 3 5 2 C 5が「試験位置」、制御電源スイッチ” 8” が「切」、CB 3 5 2 C 5が「切」であることを確認する。</p> <p>(c) 3 D - P / Cの3 S - P / C用CB 3 5 2 D 5を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8” を「入」とし、CB 3 5 2 D 5を「入」にする。</p> <p>(d) 3 S - P / Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8” を「入」とし、CB を「入」にする。</p> <p>(1) 原子炉付属建家 3 S - C / C用 CB 3 5 2 S 1</p> <p>(2) ダストモニター分電盤用 CB 3 5 2 S 3</p> <p>(3) 原子炉建家 3 S - C / C用 CB 3 5 2 S 4</p> <p>(e) 3 S - P / Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8” を「入」とする。</p> <p>(1) オーバフロー電磁ポンプ用 CB 3 5 2 S 2</p> <p>(2) 1次Na純化系電磁ポンプ用 CB 3 5 2 S 5</p> <p>(f) 3 S - P / Cの順序投入COS 4 3 Aを「自動」にする。</p> <p>(g) 非常系AC 2 1 0 V母線盤内NFBを「入」にする。</p> <p>(h) スペースヒータ分電盤内の非常系D用NFB - A 3を「入」にする。</p>	<p>A - 7 0 7 (# 3 2 5)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 2 1)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 4)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 3)</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 3)</p> <p></p> <p></p> <p>A - 7 0 7 (# 3 3 3)</p> <p>A - 7 0 7 (# 3 5 7)</p> <p>S - 2 0 1 (# 6 4 8)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p></p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p></p> <p>**</p> <p>**</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>< 3 S - P / C 復電 ></p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月14日 (火)

<点検対象> 2HD・1HD-P/C

<操作内容> 1. 2HD-P/C停電

<< 2課点検開始 >>

<< 2課点検終了 >>

2. 2HD-P/C復電

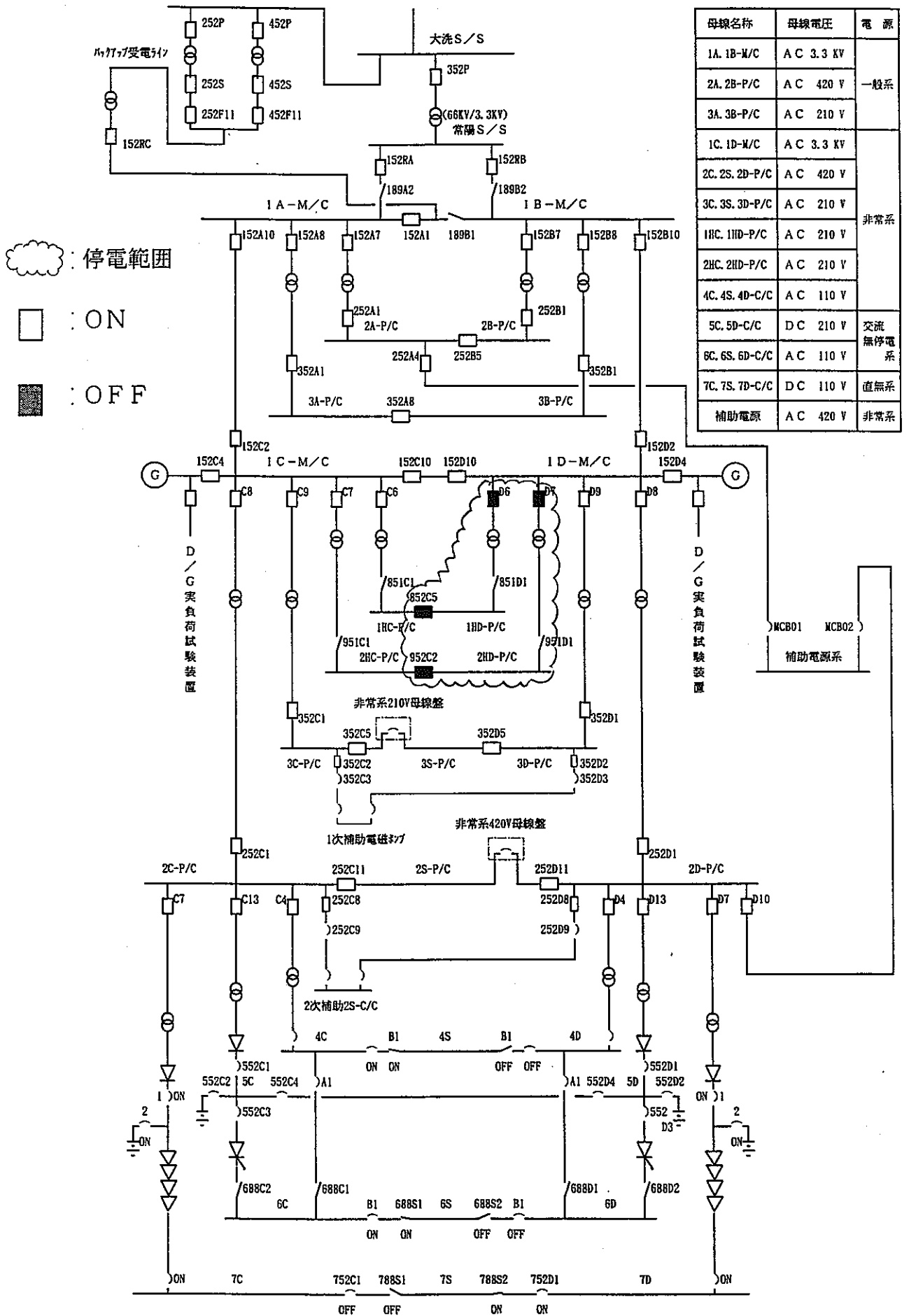
3. 1HD-P/C停電

<< 2課点検開始 >>

<< 2課点検終了 >>

4. 1HD-P/C復電

「常陽」電源設備系統圖



母線名稱	母線電圧	電源
1A. 1B-M/C	AC 3.3 kV	一般系
2A. 2B-P/C	AC 420 V	
3A. 3B-P/C	AC 210 V	
1C. 1D-M/C	AC 3.3 kV	非常系
2C. 2S. 2D-P/C	AC 420 V	
3C. 3S. 3D-P/C	AC 210 V	
1HC. 1HD-P/C	AC 210 V	
2HC. 2HD-P/C	AC 210 V	交流無停電系
4C. 4S. 4D-C/C	AC 110 V	
5C. 5D-C/C	DC 210 V	
6C. 6S. 6D-C/C	AC 110 V	直無系
7C. 7S. 7D-C/C	DC 110 V	
補助電源	AC 420 V	非常系

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>2HD-P/C停電</u></p> <p>(a) 2HD-P/Cの次の各CBを「切」にする。</p> <p>1) 2次予熱ヒータC/C (5)</p> <p>2) 2次予熱ヒータC/C (6)</p> <p>3) 2次予熱ヒータC/C (7)</p> <p>4) 2次予熱ヒータC/C (8)</p> <p>(b) 2HC-P/Cの母線連絡用CB952C2が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB952C2が「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(c) 1D-M/Cの2HD P/C用CB152D7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」し、CB152D7を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 2HD-P/C変圧器2次側のK. S951D1を「手動開放」とし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p> <p>(e) 電源設備操作7D分電盤内2HD-P/C制御電源用NFB-B1を「切」にする。</p> <p>(f) スペースヒータ分電盤内、2次系ヒータ用NFB-B1を「切」にする。</p>	<p>S-402 (#665)</p> <p>S-202 (#649)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>S-203 (#650)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 2HD-P/C停電 > ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」</p>
<p><< 2 課点検開始 >></p>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
<< 2 課点検終了 >>				
2	<p><u>2HD-P/C復電</u></p> <p>(a) 2HC P/C の母線連絡用CB952C2が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB952C2が「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(b) 電源設備操作7D分電盤内2HD P/C 制御電源用NFB-B1を「入」にする。</p> <p>(c) 2HD-P/C変圧器2次側の制御電源スイッチ”8”を「入」にし、K. S951D1を手投入する。</p> <p>(d) 1D-M/Cの2HD P/C用CB152D7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D7を「入」にする。</p> <p>(e) 2HD-P/Cの次の各CBを「入」にする。</p> <p>1) 2次予熱ヒータC/C (5)</p> <p>2) 2次予熱ヒータC/C (6)</p> <p>3) 2次予熱ヒータC/C (7)</p> <p>4) 2次予熱ヒータC/C (8)</p> <p>(f) 2次予熱ヒータのトリップしている各NFBを一旦「リセット」し、再投入する。</p> <p>(g) スペースヒータ分電盤内、2次系ヒータ用NFB-B1を「入」にする。</p>	<p>S-202 (#649)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>S-203 (#650)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>S-402 (#665)</p> <p>S-501 (#692-1 ~15)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>< 2HD-P/C復電 ></p> <p>・ANNリセット可</p> <p>「D系 低電圧」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ェ ッ ク	備 考
3	<p><u>1 HD-P/C復電</u></p> <p>(a) 1 HD-P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」とし、CBを「試験位置」にする。</p> <p>1) 1次予熱ヒータ接触器 (3) CB 8 5 2 D 2</p> <p>2) 1次予熱ヒータ接触器 (4) CB 8 5 2 D 3</p> <p>3) 1次予熱ヒータ接触器 (5) CB 8 5 2 D 4</p> <p>(b) 1 HC-P/Cの母線連絡用CB 8 5 2 C 5が「切」、制御電源スイッチ” 8”が「切」、CB 8 5 2 C 5が「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(c) 1 HD-P/Cの順序投入COS 4 3 Aを「解除」とする。</p> <p>(d) 1 D-M/Cの1 HD P/C用CB 1 5 2 D 6を「切」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」、CB 1 5 2 D 6を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(e) 1 HD-P/C変圧器 2次側のK. S 8 5 1 D 1を「手動開放」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」にする。</p> <p>(f) 電源設備操作 7 D分電盤内 1 HD-P/C制御電源用NFB-A 5を「切」にする。</p> <p>(g) スペースヒータ分電盤内、非常系D用NFB-A 3を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#335)</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>A-707 (#335)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#335)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 1 HD-P/C停電 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANNが発生する。 「D系 低電圧」 ・ANNリセット可 「D系 低電圧」
<p><< 2 課点検開始 >></p>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 4)

PNC TN9410 95-270

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
<< 2 課点検終了 >>				
4	<p><u>1 HD-P/C復電</u></p> <p>(a) 1 HC-P/Cの母線連絡用CB 8 5 2 C 5が「切」、制御電源スイッチ” 8”が「切」、CB 8 5 2 C 5が「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(b) 電源設備操作7 D分電盤内1 HD-P/C制御電源用NFB-A 5を「入」にする。</p> <p>(c) 1 HD-P/C変圧器2次側の制御電源スイッチ” 8”を「入」にし、K. S 8 5 1 D 1を手動投入する。</p> <p>(d) 1 D-M/Cの1 HD-P/C用CB 1 5 2 D 6を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8”を「入」とし、CB 1 5 2 D 6を「入」にする。</p> <p>(e) 1 HD-P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8”を「入」とし、CBを「入」にする。</p> <p>1) 1次予熱ヒータ接触器 (3) CB 8 5 2 D 2</p> <p>2) 1次予熱ヒータ接触器 (4) CB 8 5 2 D 3</p> <p>3) 1次予熱ヒータ接触器 (5) CB 8 5 2 D 4</p> <p>(f) 1 HD-P/Cの順序投入COS 4 3 Aを「自動」にする。</p> <p>(g) スペースヒータ分電盤内、非常系D用NFB-A 3を「入」にする。</p>	<p>A-706 (#322)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#335)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#335)</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>A-707 (#335)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ANNが発生する。 「D系 低電圧」</p> <p>< 1 HD-P/C復電 > ・ANNリセット可 「D系 低電圧」</p>

電源設備操作チェックシート

平成5年 9月15日 (水)

<点検対象> 第1・2SFF一般系電源

.....

<操作内容> 1. 第1・2SFF一般系電源停電

.....

<< 2課点検開始 >>

.....

.....

<< 2課点検終了 >>

.....

2. 第1・2SFF一般系電源復電

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 1)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ェ ッ ク	備 考
1	<p><u>第1・2SFF一般系電源停電</u></p> <p>(a) 1B-M/Cの第1SFF一般系電源CB152B11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152B11を「試験位置」まで引出す。</p> <p>(b) 1A-M/Cの第2SFF一般系電源CB152A13を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152A13を「試験位置」まで引出す。</p>	<p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#641)</p>	<p>○○○</p> <p>○○○</p>	<p>< 第1SFF停電 ></p> <p>< 第2SFF停電 ></p>
	<p><< 2課点検開始 >></p> <p><< 2課点検終了 >></p>			
2	<p><u>第1・2SFF一般系電源復電</u></p> <p>(a) 1B-M/Cの第1SFF一般系電源CB152B11を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152B11を「入」にする。</p> <p>(b) 1A-M/Cの第2SFF一般系電源CB152A13を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152A13を「入」にする。</p>	<p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#641)</p>	<p>***</p> <p>***</p>	<p>< 第1SFF復電 ></p> <p>< 第2SFF復電 ></p>

電源設備操作チェックシート

平成5年11月12日 (金)

<点検対象> 補助電源

<操作内容> 1. 補助電源受電先切替え (2A-P/C受電→2D-P/C受電)

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 1)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>補助電源受電先切替え (2A-P/C受電→2D-P/C受電)</p> <hr/> <p>(a) 2A-P/Cの補助電源設備用CB252A4を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252A4を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(b) 受電盤(補助電源設備)の一般系MCB-02を「切」にする。</p> <p>(c) 受電盤(補助電源設備)の非常系MCB-01を「切」にする。</p> <p>(d) 2D-P/Cの補助電源設備用CB252D10を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D10を「入」にする。</p>	<p>S-201 (#643)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#332)</p>	<p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p>	<p>< 補助電源停電 ></p> <p>< 補助電源復電 ></p>

3. プラント状態表

平成5年5月29日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その1

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1A・1B-M/C点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S	A			
	7D	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A			
	2D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線			
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S			停止中	
	6C				
1次純化系 CT冷却ブロウ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C	A			
	4S, 6S	B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B			
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B			
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S	C母線			
	2D	D母線			
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 冷却ファン	3C				
2次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 4S, 7S	1HC			
	1HD	1HD			

平成5年5月29日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1A・1B-M/C点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₁ ガス ブロワ	1A, 1S, 4S 1B	A B		停止中	
予熱N ₁ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A ₁ 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用 A ₁ 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₁ 廃ガス ブロワ	2C, 4S 2D	A B			
N ₁ 再循環 ブロワ	2C, 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロワ	2C 2D	A B			
ベデスタルブ-スタブロワ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給気ファン	2C 2D	A B			
フレオン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B		停止中	
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B			
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中	
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成5年5月29日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その3

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			1A・1B-M/C点検		
自動PL計	補助電源 1 S	運 轉 停 止			
2次主PL計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助PL計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C (A)	2 C	1			
給気ファン	2 C	2			
P/C (B)	2 D	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 D	1			
給気ファン	2 C	2			
接触器盤室	2 D	1			
排気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系	2 B	1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系	2 B	1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₂ ガス ハルツ操作室系	2 B	1			
給気ファン	2 B	2			
1次A ₂ ガス ハルツ操作室系	2 B	1			
排気ファン	2 B	2			

平成5年5月29日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その4

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1A・1B-M/C点検	
装填燃料貯蔵室 空調器	2 B	1			
		2			
装填燃料貯蔵室 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格 設備室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格 設備室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系冷却塔 プロワ	2 C	A			
	2 D	B			
空調系冷却塔 プロワ	2 C	A			
	2 D	B			

平成5年5月30日(日) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1C-M/C点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B			
1次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C 7S 7D	A B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A 1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A 2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C 2D	A B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線			
オーバーフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C		停止中		
1次純化系 CT冷却ブロワ	2B		停止中		
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A 2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B 2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A 2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B 2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C, 7S, 6S 2D	C母線 D母線			
2次補助系 電磁ポンプ	2S, 7S	1 2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 電磁ポンプ	3C				
2次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 4S, 7S 1HD	1HC 1HD			

平成5年5月30日(日) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			 3C 1HC 2HC 2C, 4S	1C-M/C点検	 1HC 2HC 3C 2C, 4S
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス フロー	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 1C 2D, 1D	A B			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
Ar廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス フロー	2C 4S 2D	A B			
N ₂ 再循環 フロー	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮蔵コンクリートフロー	2 C 2 D	A B			
ベヂスタルプースタフロー	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給排気ファン	2 C 2 D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B			
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成5年5月30日(日) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			 3C 2C 1HC 2HC 3C 2C 1C, 4S	1C-M/C点検	 1HC 2HC 3C 2C 1C, 4S
自動 P L 計	補助電源 3 C 4 S	運転停止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C (A)	2 C	1			
給気ファン		2			
P/C (B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 D	1			
給気ファン	2 C	2			
接触器盤室	2 D	1			
排気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次入ガス 操作系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次入ガス 操作系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成5年5月30日(日) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			 3C 1HC 2HC 4C, 4S	1C-M/C点検	 1HC 2HC 3C 4C, 4S
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格 設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格 設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
捕機冷却塔	2 C	A			
	2 D	B			
空調冷却塔	2 C	A			
	2 D	B			

平成5年5月31日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1D-M/C点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A	—	—	—
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C, 7S	A	—	—	—
	7D	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A	—	—	—
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A	—	—	—
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A	—	—	—
	2D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C, 3D, 7D, 6D	C母線	—	—	—
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S		—	—	—
	6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S		—	—	—
	6C				
1次純化系 CT冷却ブロウ	2B		停止中	停止中	—
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C, 4S, 5S	A	—	—	—
	1B, 2B, 7D, 6D	B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A	—	—	—
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B	—	—	—
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A	—	—	—
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B	—	—	—
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C, 7S, 6S	C母線	—	—	—
	2D	D母線			
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1	—	—	—
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S		—	—	—
2次純化系 冷却ファン	3C		—	—	—
1次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C		—	—	—
1次系予熱ヒータ	1HC, 4S, 7S	1HC	—	—	—
	1HD	1HD			

平成5年5月31日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1D-M/C点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス ブロー	1A, 7S, 4S 1B	A B		停止中	
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2B, 4B	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
Ar廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用 Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス ブロー	2C, 4S 2D	A B			
N ₂ 再循環 ブロー	2C, 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロー	2C 2D	A B			
ベDESTALブースタブロー	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給気ファン	2C 2D	A B			
フレオン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B		停止中	
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B			
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中	
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成5年5月31日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			 3S・3D 2D 2HD 1HD	1D-M/C点検	 1HD 2HD 2D 3S・3D
自動 P L 計	補助電源 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C (A)	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
P/C (B)	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次A1ルガス操作系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
1次A1ルガス操作系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			

平成5年5月31日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1D-M/C点検	
表炭燃料貯蔵室 空調器	2 B	1			
		2			
表炭燃料貯蔵室 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1			
		2 D			
ホット配管路系 排気ファン	2 C	1			
		2 D			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C	1			
		2 D			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C	1			
		2 D			
格 設備室系 給気ファン	2 C	1			
		2 D			
格 設備室系 排気ファン	2 C	1			
		2 D			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却塔	2 C	A			
		B			
空調系 冷却塔	2 C	A			
		B			

平成5年8月30日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5C 整流装置 6C インバータ 7C 整流装置 7C 負荷電圧補償装置	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B		停止中	
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S 7D	A B		停止中	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A 1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A 2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線		停止中	
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロワ	2 B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A B		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A 2 A		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B 2 B		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A 2 A		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B 2 B		停止中	
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線 D母線		停止中	
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1 2		停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C			停止中	
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC 1HD			

平成5年8月30日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態		点検前		点検中		点検後	
				5C 整流装置 6C インバータ 7C 蓄電池装置 7C 負荷電圧補償装置 点検			
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC					
予熱N ₂ ガス ブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B					
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B					
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B					
補給水ポンプ	2C 2D	A B					
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B					
空気圧縮機	3C, 4C 2B, 1D	A B C					
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止					
A _r 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B					
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S						
N ₂ 廃ガス ブロウ	2C, 4S 2D	A B					
N ₂ 再循環 ブロウ	2C, 4S 2D	A, B C, D					
遮蔽コンクリートブロウ	2C 2D	A B					
ベDESTALブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B					
格納容器常用 給・排気ファン	2C 2D	A B					
フレオン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B					
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B			停止中		
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B			停止中		
補助電源	2A 2D	一般系 非常系					

平成5年8月30日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
自動 P L 計	補助電源 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 B	A B			
P/C室(A)		1			
給 気 ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次A1ガス 作 業 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
1次A1ガス 作 業 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			

平成5年8月30日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			<p>6S 6C 5C 7C</p>	<p>5C 整流装置 6C インバータ 7C 負荷発生補償装置</p> <p>点検</p>	
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
空調器	2 B	2			
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
排気ファン	2 B	2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格 設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格 設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系	2 C	A			
冷却塔	2 D	B			
空調系	2 C	A			
冷却塔	2 D	B			

平成5年8月31日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				6C・6S点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A		停止中	
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C	A		停止中	
	7D 7S	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A		停止中	
		2D			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線		停止中	
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 CT冷却ブロワ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1		停止中	
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 冷却ファン	3C			停止中	
2次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1HD	1HC			
		1HD			

平成5年8月31日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				6C・6S点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス ブロウ	1A 1B 7S, 4S	A B			
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C: 1C 2D: 1D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A 2D)	予備 自動			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C 2D 4S	A B			
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス ブロウ	2C 2D 4S	A B			
N ₂ 再循環 ブロウ	2C 2D 4S	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルブ-スタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給排気ファン	2 C 2 D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 2D 4S	A B		停止中	
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成5年8月31日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その3

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				6C・6S点検	
自動 P L 計	補助電源 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C (A)	2 C	1			
給 気 ファン		2			
P/C (B)		1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 D	1			
給 気 ファン	2 C	2			
接 触 器 盤 室	2 D	1			
排 気 ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次A/B/Cの 給 気 ファン	2 B	1			
		2			
1次A/B/Cの 排 気 ファン	2 B	1			
		2			

平成5年8月31日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その4

			点検前	点検中	点検後
停止操作	機器運転状態			6C・6S点検	
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系	2 C	A			
冷却塔	2 D	B			
空調系	2 C	A			
冷却塔	2 D	B			

平成5年9月1日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4C・4S点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A		停止中	
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (副モータ)	7C 7S	A		停止中	
	7D	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A			
		2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A		停止中	
	2 D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線		停止中	
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T冷却ブロワ	2 B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A		停止中	
		2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B		停止中	
		2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A		停止中	
		2 A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B		停止中	
		2 B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2次補助系 電磁ポンプ	2S, 7S	1		停止中	
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C			停止中	
2次純化系 C T冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成5年9月1日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その2

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4C・4S点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス ブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス ブロウ	2C 4S 2D	A B			
N ₂ 再循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2C 2D	A B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給排気ファン	2C 2D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B		停止中	
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中	
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成5年9月1日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その3

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 C・4 S点検	
自動 P L 計	補助電源 4 S	運転 停止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C (A)	2 C	1			
給気ファン		2			
P/C (B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 D	1			
給気ファン	2 C	2			
接触器盤室	2 D	1			
排気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給気ファン		2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
給気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
排気ファン		2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス 作動系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次A ₁ ガス 作動系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成5年9月1日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その4

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4C・4S点検	
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系	2 C	A			
冷却タワー	2 D	B			
空調系	2 C	A			
冷却タワー	2 D	B			

平成5年9月2日(木) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			7C電源特殊受電	7C電源盤点検	7C電源特殊受電
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A		停止中	
		B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S 7D	A		停止中	
		B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C 2D	A		停止中	
		B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線		停止中	
		D母線			
オーバーフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1		停止中	
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 冷却ファン	3C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成5年9月2日(木) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			7C電源特殊受電	7C電源盤点検	7C電源特殊受電
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス フロー	1A 1B 7S, 4S	A B		停止中	
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A 2D)	自動 停止			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス フロー	2C 4S 2D	A B			
N ₂ 再循環 ファン	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮断コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給気ファン	2 C 2 D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B		停止中	
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成5年9月2日(木) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			7C電源特殊受電	7C電源盤点検	7C電源特殊受電
自動 P L 計	補助電源 6 C 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 B	A			
		B			
P/C (A)		1			
給 気 ファン	2 C	2			
P/C (B)		1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次入ルガる操作室系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
1次入ルガる操作室系		1			
排 気 ファン	2 B	2			

平成5年9月2日(木) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			7C電源特殊受電	7C電源盤点検	7C電源特殊受電
装填燃料貯蔵室 空調器	2 B	1			
		2			
装填燃料貯蔵室 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格設備室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格設備室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成5年9月4日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				7 S 電源点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B		停止中	
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7D	A B		停止中	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A 1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A 2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C 2D	A B		停止中	
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線		停止中	
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A B		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A 2A		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B 2B		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A 2A		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B 2B		停止中	
2次補助系 電磁ポンプ	2C 2D, 7S, 6S	C母線 D母線		停止中	
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1 2		停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 冷却ファン	3C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC 1HD			

平成5年9月4日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その2

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				7 S 電源点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス ブロー	1A 1B 7S, 4S	A B		停止中	
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 1C 2D, 1D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C 2D 4S	A B			
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス ブロー	2C 2D 4S	A B			
N ₂ 再循環 ファン	2C 2D 4S	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロー	2C 2D	A B			
ベデスタルブースタブロー	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給気ファン	2C 2D	A B			
フロン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 2D 4S	A B		停止中	
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中	
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成5年9月4日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				7S電源点検	
自動 P L 計	補助電源 7 S	運 行 運 停			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 B	A B			
P/C (A)	2 C	1			
給 気 ファン	2 C	2			
P/C (B)	2 D	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
水冷却池室系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次A、B、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z、AA、AB、AC、AD、AE、AF、AG、AH、AI、AJ、AK、AL、AM、AN、AO、AP、AQ、AR、AS、AT、AU、AV、AW、AX、AY、AZ、BA、BB、BC、BD、BE、BF、BG、BH、BI、BJ、BK、BL、BM、BN、BO、BP、BQ、BR、BS、BT、BU、BV、BW、BX、BY、BZ、CA、CB、CC、CD、CE、CF、CG、CH、CI、CJ、CK、CL、CM、CN、CO、CP、CQ、CR、CS、CT、CU、CV、CW、CX、CY、CZ、DA、DB、DC、DD、DE、DF、DG、DH、DI、DJ、DK、DL、DM、DN、DO、DP、DQ、DR、DS、DT、DU、DV、DW、DX、DY、DZ、EA、EB、EC、ED、EE、EF、EG、EH、EI、EJ、EK、EL、EM、EN、EO、EP、EQ、ER、ES、ET、EU、EV、EW、EX、EY、EZ、FA、FB、FC、FD、FE、FF、FG、FH、FI、FJ、FK、FL、FM、FN、FO、FP、FQ、FR、FS、FT、FU、FV、FW、FX、FY、FZ、GA、GB、GC、GD、GE、GF、GG、GH、GI、GJ、GK、GL、GM、GN、GO、GP、GQ、GR、GS、GT、GU、GV、GW、GX、GY、GZ、HA、HB、HC、HD、HE、HF、HG、HH、HI、HJ、HK、HL、HM、HN、HO、HP、HQ、HR、HS、HT、HU、HV、HW、HX、HY、HZ、IA、IB、IC、ID、IE、IF、IG、IH、II、IJ、IK、IL、IM、IN、IO、IP、IQ、IR、IS、IT、IU、IV、IW、IX、IY、IZ、JA、JB、JC、JD、JE、JF、JG、JH、JI、JJ、JK、JL、JM、JN、JO、JP、JQ、JR、JS、JT、JU、JV、JW、JX、JY、JZ、KA、KB、KC、KD、KE、KF、KG、KH、KI、KJ、KK、KL、KM、KN、KO、KP、KQ、KR、KS、KT、KU、KV、KW、KX、KY、KZ、LA、LB、LC、LD、LE、LF、LG、LH、LI、LJ、LK、LL、LM、LN、LO、LP、LQ、LR、LS、LT、LU、LV、LW、LX、LY、LZ、MA、MB、MC、MD、ME、MF、MG、MH、MI、MJ、MK、ML、MM、MN、MO、MP、MQ、MR、MS、MT、MU、MV、MW、MX、MY、MZ、NA、NB、NC、ND、NE、NF、NG、NH、NI、NJ、NK、NL、NM、NO、NP、NQ、NR、NS、NT、NU、NV、NW、NX、NY、NZ、OA、OB、OC、OD、OE、OF、OG、OH、OI、OJ、OK、OL、OM、ON、OO、OP、OQ、OR、OS、OT、OU、OV、OW、OX、OY、OZ、PA、PB、PC、PD、PE、PF、PG、PH、PI、PJ、PK、PL、PM、PN、PO、PP、PQ、PR、PS、PT、PU、PV、PW、PX、PY、PZ、QA、QB、QC、QD、QE、QF、QG、QH、QI、QJ、QK、QL、QM、QN、QO、QP、QQ、QR、QS、QT、QU、QV、QW、QX、QY、QZ、RA、RB、RC、RD、RE、RF、RG、RH、RI、RJ、RK、RL、RM、RN、RO、RP、RQ、RR、RS、RT、RU、RV、RW、RX、RY、RZ、SA、SB、SC、SD、SE、SF、SG、SH、SI、SJ、SK、SL、SM、SN、SO、SP、SQ、SR、SS、ST、SU、SV、SW、SX、SY、SZ、TA、TB、TC、TD、TE、TF、TG、TH、TI、TJ、TK、TL、TM、TN、TO、TP、TQ、TR、TS、TT、TU、TV、TW、TX、TY、TZ、UA、UB、UC、UD、UE、UF、UG、UH、UI、UJ、UK、UL、UM、UN、UO、UP、UQ、UR、US、UT、UU、UV、UW、UX、UY、UZ、VA、VB、VC、VD、VE、VF、VG、VH、VI、VJ、VK、VL、VM、VN、VO、VP、VQ、VR、VS、VT、VU、VV、VW、VX、VY、VZ、WA、WB、WC、WD、WE、WF、WG、WH、WI、WJ、WK、WL、WM、WN、WO、WP、WQ、WR、WS、WT、WU、WV、WW、WX、WY、WZ、XA、XB、XC、XD、XE、XF、XG、XH、XI、XJ、XK、XL、XM、XN、XO、XP、XQ、XR、XS、XT、XU、XV、XW、XX、XY、XZ、YA、YB、YC、YD、YE、YF、YG、YH、YI、YJ、YK、YL、YM、YN、YO、YP、YQ、YR、YS、YT、YU、YV、YW、YX、YY、YZ、ZA、ZB、ZC、ZD、ZE、ZF、ZG、ZH、ZI、ZJ、ZK、ZL、ZM、ZN、ZO、ZP、ZQ、ZR、ZS、ZT、ZU、ZV、ZW、ZX、ZY、ZZ					

平成5年9月4日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				7 S電源点検	
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系	2 C	A			
冷却タワー	2 D	B			
空調系	2 C	A			
冷却タワー	2 D	B			

平成5年9月6日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 D電源盤点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A		停止中	
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C	A		停止中	
	7D	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A		停止中	
	2D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線		停止中	
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S			停止中	
1次純化系 C T冷却ブロワ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C	C母線		停止中	
	2D	D母線			
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1		停止中	
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C			停止中	
1次純化系 C T冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC, 1S, 7S	1HC			
		1HD			

平成5年9月6日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 D電源盤点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス フロー	1A, 7S, 4S 1B	A B		停止中	
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス フロー	2C, 4S 2D	A B			
N ₂ 再循環 ファン	2C, 4S 2D	A, B C, D			
遮蔵コンクリートフロー	2 C 2 D	A B			
ベデスタルブースタフロー	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給気ファン	2 C 2 D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B		停止中	
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成5年9月6日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 D 電源盤点検	
自動 P L 計	補助電源 3 C 4 S	運転 停止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 B	A B			
P/C (A)	2 C	1			
給気ファン		2			
P/C (B)	2 D	1			
給気ファン		2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給気ファン		2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
給気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
排気ファン		2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A12ガス 操作系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次A12ガス 操作系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成5年9月6日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 D電源盤点検	
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成5年9月7日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			6D電源特殊受電	6D電源盤点検	6D電源特殊受電
1次主循環ポンプ (主モーター)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A		停止中	
		B			
1次主循環ポンプ (ボイラー)	7C 7S 7D	A		停止中	
		B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C 2D	A		停止中	
		B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線		停止中	
		D母線			
オーバーフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C.T冷却ブロウ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1		停止中	
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 冷却ファン	3C			停止中	
1次純化系 C.T冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1HD	1HC			
		1HD			

平成5年9月7日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			6D電源特殊受電	6D電源盤点検	6D電源特殊受電
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス フロー	1A 1B 7S, 4S	A B		停止中	
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A 2D)	自動 停止			
A r 腐ガス 圧縮機	2C 2D 4S	A B			
非常用 A r 腐ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 腐ガス フロー	2C 2D 4S	A B			
N ₂ 再循環 ファン	2C 2D 4S	A, B C, D			
遮断コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給気ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 2D 4S	A B		停止中	
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成5年9月7日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			6D電源特殊受電	6D電源盤点検	6D電源特殊受電
自動 P L 計	補助電源 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 B	A			
		B			
P/C (A)		1			
給 気 ファン	2 C	2			
P/C (B)		1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧 縮 空 気 供 給 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧 縮 空 気 供 給 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 A ガス 操 作 室 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
1 次 A ガス 操 作 室 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			

平成5年9月7日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その4

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">停止操作</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">機器運転状態</div> </div>			点検前	点検中	点検後
			6D電源特殊受電	6D電源盤点検	6D電源特殊受電
装填燃料貯蔵室 空調器	2 B	1 2			
装填燃料貯蔵室 排気ファン	2 B	1 2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C 2 D	A B			
空調系 冷却タワー	2 C 2 D	A B			

平成5年9月8日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5D 5S 6D 6S 7D 7S 復旧 7D 7S 6D 5D 補償装置	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B		停止中	
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S 7D	A B		停止中	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A 1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A 2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C 2D	A B		停止中	
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C, 6S 3D, 7D, 6D	C母線 D母線		停止中	
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T冷却ブロワ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A 2A		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B 2B		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A 2A		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B 2B		停止中	
2次補助系 電磁ポンプ	2C, 7S, 6S 2D	C母線 D母線		停止中	
2次補助系 電磁ポンプファン	2S, 7S	1 2		停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプファン	3C			停止中	
1次純化系 C T冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 4S, 7S 1HD	1HC 1HD			

平成5年9月8日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス ブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B		停止中	
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス ブロウ	2C, 4S 2D	A B			
N ₂ 再循環 ファン	2C, 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2C 2D	A B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給気ファン	2C 2D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B		停止中	
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中	
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成5年9月8日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5D 警報装置 6D 警報装置 7D 警報装置 復旧 7D 警報装置 6S 警報装置 5D 警報装置	7D 7S 6D 5D 7D 7S 6S 5D
自動 P L 計	補助電源 3 S	運 転 運 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 B	A B			
P/C (A)		1			
給 気 ファン	2 C	2			
P/C (B)		1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧 縮 空 気 供 給 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧 縮 空 気 供 給 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 A 1 ガス 作 業 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
1 次 A 1 ガス 作 業 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			


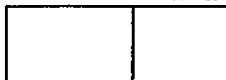
平成5年9月8日(土) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5D 浄水装置 6B 浄水装置 7B 負荷電圧補償装置 復旧	7D 7S 6D 5D
装填燃料貯蔵室 空調器	2 B	1 2			7D 7S 6S 5D
装填燃料貯蔵室 排気ファン	2 B	1 2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系冷却タワー	2 C 2 D	A B			
空調系冷却タワー	2 C 2 D	A B			

平成5年9月11日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その1


停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2B・3B-P/C  2B-P/C 3B-P/C	2B・3B-P/C点検	2B・3B-P/C  3B-P/C 2B-P/C
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B		停止中	
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S 7D	A B		停止中	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A 1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A 2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線		停止中	
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロワ	2 B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A 2 A		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B 2 B		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A 2 A		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B 2 B		停止中	
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線 D母線		停止中	
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1 2		停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 4S, 7S 1HD	1HC 1HD			

平成5年9月11日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2B・3B-P/C 	2B・3B-P/C点検	2B・3B-P/C 
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス ブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B	停止中		
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止			
Ar廃ガス 圧縮機	2C 2D, 4S	A B			
非常用 Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス ブロウ	2C 2D, 4S	A B			
N ₂ 再循環 ファン	2C 2D, 4S	A, B C, D			
遮蔵コンクリートブロウ	2C 2D	A B			
ベデスタルプ-スタブブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給気ファン	2C 2D	A B			
フレオン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 2D, 4S	A B	停止中		
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B	停止中		
補助電源	2A	一般系			
	2D	非常系			

平成5年9月11日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その3

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2B・3B-P/C 	2B・3B-P/C点検	2B・3B-P/C 
自動 P L 計	補助電源 3 C 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 B	A B			
P/C (A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C (B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガスの 操作系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次A ₁ ガスの 操作系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成5年9月11日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2B・3B-P/C 2B-P/C 3B-P/C	2B・3B-P/C点検	2B・3B-P/C 3B-P/C 2B-P/C
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格 設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格 設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成5年9月12日(日) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後																														
				2D-P/C点検																															
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A		停止中																															
	1B, 6C, 6D, 4S	B																																	
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S	A					停止中																												
	7D	B																																	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A								停止中																									
		1 B																																	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A											停止中																						
		2 B																																	
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A														停止中																			
		2 D																B																	
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線																	停止中																
	3D, 7D, 6D	D母線																																	
オーバーフロー 電磁ポンプ	3S, 4S																					停止中													
	6S, 6C																																		
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S																								停止中										
	6C																																		
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B																											停止中							
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C	A																													停止中				
	1B, 2B, 7D, 6D	B																																	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A																																停止中	
		2 A																																	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B		停止中																															
		2 B																																	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A					停止中																												
		2 A																																	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B								停止中																									
		2 B																																	
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S	C母線											停止中																						
	2D	D母線																																	
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1														停止中																			
		2																																	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S																		停止中																
2次純化系 冷却ファン	3C																					停止中													
1次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C																								停止中										
1次系予熱ヒータ	IHC 7S, 7S	IHC																										停止中							
	IHD	IHD																																	

平成5年9月12日(日) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2D-P/C点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス フロー	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用A _r ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス フロー	2C, 4S 2D	A B			
N ₂ 再循環 フロー	2C, 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベDESTALブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給排気ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B		停止中	
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成5年9月12日(日) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2D-P/C点検	
自動 P L 計	補助電源 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 B	A			
		B			
P/C (A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C (B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 D	1			
給気ファン	2 C	2			
接触器盤室	2 D	1			
排気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系	2 B	1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系	2 B	1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次入ガス操作室系	2 B	1			
給気ファン	2 B	2			
1次入ガス操作室系	2 B	1			
排気ファン	2 B	2			

平成5年9月12日（日） 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			 5D 7D 7S 4D	2D-P/C点検	 4D 7D 7S 5D
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系	2 C	A			
		冷却タワー	B		
空調系	2 C	A			
		冷却タワー	B		

平成5年9月13日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				3D・3S-P/C点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A		停止中	
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S	A		停止中	
	7D	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A		停止中	
	2D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線		停止中	
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S			停止中	
1次純化系 CT冷却ブロワ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S	C母線		停止中	
	2D	D母線			
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1		停止中	
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C			停止中	
1次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC, 4S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成5年9月13日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				3D・3S-P/C点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス ブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C 2D, 4S	A B			
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス ブロウ	2C 2D, 4S	A B			
N ₂ 再循環 ブロウ	2C 2D, 4S	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給排気ファン	2 C 2 D	A B			
フレオン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 2D, 4S	A B		停止中	
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成5年9月13日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				3D・3S-P/C点検	
自動PL計	補助電源 3 C 4 S	運 轉 停 止			
2次主PL計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助PL計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 B	A B			
P/C (A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C (B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 D	1			
排気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 D	1			
給気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系		1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系		1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス 操作室系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次A ₁ ガス 操作室系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成5年9月13日(月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

			点検前	点検中	点検後
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 停止操作 機器運転状態 </div>				3D・3S-P/C点検	
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系	2 C	A			
		B			
冷却タワー	2 D				
空調系	2 C	A			
		B			
冷却タワー	2 D				

平成5年9月14日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中		点検後
			2HD-P/C	2HD-P/C	1HD-P/C	1HD-P/C
			2HD-P/C点検		1HD-P/C点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A		停止中		
		B				
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S 7D	A		停止中		
		B				
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A				
		1B				
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A				
		2B				
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C 2D	A		停止中		
		B				
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線		停止中		
		D母線				
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中		
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中		
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2B			停止中		
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 5S	A		停止中		
		B				
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A		停止中		
		2A				
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B		停止中		
		2B				
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A		停止中		
		2A				
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B		停止中		
		2B				
2次補助系 電磁ポンプ	2C 2D 7S, 6S	C母線		停止中		
		D母線				
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1		停止中		
		2				
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中		
2次純化系 冷却ファン	3C			停止中		
1次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中		
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S	1HC				
		1HD				

平成5年9月14日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中		点検後
			2HD-P/C	2HD-P/C	1HD-P/C	1HD-P/C
			2HD-P/C点検		1HD-P/C点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD				
予熱N ₂ ガス ブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B				
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B				
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B				
補給水ポンプ	2C 2D	A B				
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B				
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C				
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止				
Ar廃ガス 圧縮機	2C 2D, 4S	A B				
非常用 Ar廃ガス圧縮機	3S, 4S					
N ₂ 廃ガス ブロウ	2C 2D, 4S	A B				
N ₂ 再循環 ブロウ	2C 2D, 4S	A, B C, D				
遮蔽コンクリートブロウ	2C 2D	A B				
ベDESTALブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B				
格常用 給排気ファン	2C 2D	A B				
フレイオン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B				
機器冷却ファン	2C 2D, 4S	A B		停止中		
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中		
補助電源	2A 2D	一般系 非常系				

平成5年9月14日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中		点検後
			2HD-P/C	2HD-P/C	1HD-P/C	1HD-P/C
			2HD-P/C点検		1HD-P/C点検	
自動 P L 計	補助電源 4 S	運行 停止				
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STOP-BY POWER-ON, OFF				
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STOP-BY POWER-ON, OFF				
空調器	2 C	A				
冷却水ポンプ	2 D	B				
中央制御室	2 C	A				
空調器	2 D	B				
真空給水ポンプ	2 B	A B				
P/C (A)		1				
給気ファン	2 C	2				
P/C (B)		1				
給気ファン	2 D	2				
接触器盤室	2 C	1				
給気ファン	2 D	2				
接触器盤室	2 D	1				
排気ファン	2 C	2				
1次現場制御室系	2 D	1				
給気ファン	2 C	2				
1次現場制御室系	2 C	1				
排気ファン	2 D	2				
圧縮空気供給系		1				
給気ファン	2 B	2				
圧縮空気供給系		1				
排気ファン	2 B	2				
水冷却池室系		1				
給気ファン	2 B	2				
水冷却池室系		1				
排気ファン	2 B	2				
燃料洗浄室系	2 C	1				
給気ファン	2 D	2				
燃料洗浄室系	2 C	1				
排気ファン	2 D	2				
1次A1ガス 操作室系	2 B	1				
給気ファン		2				
1次A1ガス 操作室系	2 B	1				
排気ファン		2				

平成5年9月14日(火) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2HD-P/C	2HD-P/C 1HD-P/C	1HD-P/C
			2HD-P/C点検	1HD-P/C点検	
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成5年9月15日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				第1・2SFF電源点検	
1次主循環ポンプ (主モーター)	1A, 7S, 3S, 6S	A		停止中	
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボローモーター)	7C	A		停止中	
	7D	B			
1次主循環ポンプ	2C	1A			
潤滑油ポンプ		1B			
1次主循環ポンプ	2D	2A			
潤滑油ポンプ		2B			
1次主循環ポンプ	2C	A		停止中	
潤滑油冷却ファン	2D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線		停止中	
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 CT冷却ブロワ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C, 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1 2		停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 冷却ファン	3C			停止中	
1次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC, 4S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成5年9月15日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その2

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				第1・2SFF電源点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N ₂ ガス ブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N ₂ ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止			
A _r 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用 A _r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N ₂ 廃ガス ブロウ	2C, 4S 2D	A B			
N ₂ 再循環 ブロウ	2C, 4S 2D	A, B C, D			
速乾コンクリートブロウ	2C 2D	A B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格常用 給排気ファン	2C 2D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B		停止中	
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中	
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成5年9月15日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				第1・2SFF電源点検	
自動PL計	補助電源 S	運転 停止			
2次主PL計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助PL計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 B	A B			
P/C (A)	2 C	1 2			
給気ファン					
P/C (B)	2 D	1 2			
給気ファン					
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 D	1			
排気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 D	1			
給気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1 2			
給気ファン					
圧縮空気供給系	2 B	1 2			
排気ファン					
水冷却池室系	2 B	1 2			
給気ファン					
水冷却池室系	2 B	1 2			
排気ファン					
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A1ガス 操作系	2 B	1 2			
給気ファン					
1次A1ガス 操作系	2 B	1 2			
排気ファン					

平成5年9月15日(水) 電源設備点検時プラント状態表 その4

PNC TN9410 95-270

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				第1・2SFF電源点検	
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系	2 C	A			
冷却タワー	2 D	B			
空調系	2 C	A			
冷却タワー	2 D	B			

4. 添 付 資 料

一般系電源設備点検

添付資料 - 1

一般照明電源切替要領書

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>照明電源の一般系から非常系への切替え</p> <p>(1) 補助電源系分電盤(2)にて、次の各NFBが投入されていることを確認する。</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-2W-F用 NFB</p> <p>(b) 照明電源切替盤 L-2E-F用 NFB</p> <p>(c) 照明電源切替盤 L-B2-F用 NFB</p> <p>(d) 照明電源切替盤 L-B1-F用 NFB</p> <p>(2) 照明電源切替盤 L-2Wの切替</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-2W-Fにて、非常系電源側NFBの「ON」を確認する。</p> <p>(b) L-2W-F盤にて、常用-非常用切替COSを「非常用」にする。</p> <p>① 常用 G 消灯、非常用 R 点灯</p> <p>② 照明再点灯確認</p> <p>} 以下照明切替操作に共通</p> <p>(3) 照明電源切替盤 L-2Eの切替</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-2E-Fにて、非常系電源側NFBの「ON」を確認する。</p> <p>(b) L-2E盤にて、常用-非常用切替COSを「非常用」にする。</p> <p>(4) 照明電源切替盤 L-B2の切替</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-B2-Fにて、非常系電源側NFBの「ON」を確認する。</p> <p>(b) L-B2-F盤にて、常用-非常用切替COSを「非常用」にする。</p>	<p>A-707 (#326-2)</p> <p>A-707 (#374)</p> <p>A-707 (#374)</p> <p>A-605</p> <p>A-701</p> <p>S-119 (#1606)</p> <p>S-119 (#1606)</p>		<p>照明が瞬時停電する。</p>

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p>(5) 照明電源切替盤 L-B1の切替</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-B1-Fにて、非常系電源側NFBの「ON」を確認する。</p> <p>(b) L-B1-F盤にて、常用-非常用切替COSを「非常用」にする。</p> <p>排水衛生設備電源の一般系から非常系への切替</p> <p>(1) 補助電源系分電盤(1)にて、排水衛生設備電源切替盤用NFBが「ON」であることを確認する。</p> <p>(2) 屋外排水衛生設備電源切替盤にて、非常系電源盤NFBの「ON」を確認する。</p> <p>(3) 屋外排水衛生電源盤にて、切替COSを「非常用」にする。</p> <p>(a) 非常用受電 G 点灯、常用受電 G 消灯</p> <p>(b) 照明再点灯確認</p>	<p>S-205 (#1605)</p> <p>S-205 (#1605)</p> <p>A-707 (#374)</p> <p>D-201</p> <p>屋 外</p> <p>廃棄物処理 建家東側、 汚水排水 7盤内</p>		<p>キーNo.D-70 必要</p> <p>照明が瞬時停電する。</p> <p>施錠中カギは盤の下のピンで開ける。</p>

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>照明電源の非常系から一般系への切替え</p> <p>(1) 照明電源切替盤 L-2W-Fにて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p> <p>(a) 常用 G 点灯確認</p> <p>(b) 照明再点灯確認</p> <p>(2) 照明分電盤 L-2E-Fにて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p> <p>(a) 常用 G 点灯確認</p> <p>(3) 照明電源切替盤 L-B2-Fにて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p> <p>(a) 常用 G 点灯確認</p> <p>(b) 照明再点灯確認</p> <p>(4) 照明電源切替盤 L-B1-Fにて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p>	<p>A-707 (#374)</p> <p>A-605</p> <p>S-119 (#1606)</p> <p>S-205 (#1605)</p>		
2	<p>排水衛生設備電源の非常系から一般系への切替</p> <p>(1) 屋外排水衛生電源盤にて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p> <p>(a) 常用 G 点灯確認</p> <p>(b) 屋外排水衛生設備電源切替盤用にて、非常系電源盤NFBを「OFF」とする。</p>	<p>屋 外</p> <p>廃棄物処理 建家東側、 汚水排水 盤内</p> <p>D-201</p>		<p>施錠中カギは盤の下のピンで開ける。</p> <p>キーNo.D-70 必要</p>

添付資料 - 2

電源喪失時負荷投入チェックシート

電源喪失時負荷自動投入確認記録 (1 / 2)

平成 年 月 日 曜日

課長	当直長	担当者

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
1 次 主 冷 却 系	A主ポンプ潤滑油ポンプ	A-712	424		1A / 2A	
	B主ポンプ潤滑油ポンプ	A-712	424		1B / 2B	
	A主ポンプ油冷却ファン	A-712	424			
	B主ポンプ油冷却ファン	A-712	424			
	オーバフロ電磁ポンプ	A-712	424			-5 cmで自動停止
2 次 補 助 冷 却 系	2次補助電磁ポンプ	A-712	425			
	2次補助電磁ポンプ冷却ファン	A-712	425		No.1 / No.2	
格納容器雰囲気調整系	格納容器給気ファン	A-712	422		A / B	
	格納容器常用排気ファン	A-712	422		A / B	
	主ポンプ上蓋室(東側)軸流ファン	A-712	422			
	主ポンプ上蓋室(西側)軸流ファン	A-712	422			
	炉上部ピット用軸流ファン	A-712	422			
	窒素再循環ファン	A-712	422			A・B / C・D
	機器冷却ファン	A-712	422			A / B

(2 / 2)

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
格納容器雰囲気調整系	回転ブラグブースタブロー	A-712	422		A / B	
	アニュラス部排気ファン	A-712	422		A / B	
	遮蔽コンクリート冷却ブロー	A-712	422		A / B	
	ペDESTALブロー	A-712	422		A / B	
補機冷却水系	補機系揚水ポンプ	A-712	413		A / B	
	空調系循環ポンプ	A-712	413		A / B	
	補給水ポンプ	A-712	413		A / B	
圧縮空気供給系	空気圧縮機	A-712	422		A / B / C	
廃ガス処理系	常用廃ガス圧縮機	A-712	415		A / B	
原子炉付属建家空調換気系	接触器盤室系給気ファン	A-712	414		A / B	
	接触器盤室排気ファン	A-712	414			
	1次現場制御室系給気ファン	A-712	414		A / B	
	1次現場制御室系排気ファン	A-712	414		A / B	
	蓄電池室系給気ファン	A-712	414			
	蓄電池室系排気ファン	A-712	414			
	蓄電池室ユニットヒータ	A-704 / A-707	364 / 309			
	空調系冷却水ポンプ	A-712	414		A / B	
貫通部系	貫通部冷却系油ポンプ	A-505	227		A / B	

電源喪失時負荷手動投入確認記録 (1 / 2)

平成 年 月 日 曜日

課長	当直長	担当者

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
1 次 主 冷 却 系	1次Na純化系電磁ポンプ	A-712	424			
	自動連続式プラグイン計予熱ヒータ	A-504	208			
	1次予熱ヒータ	S-504	207			
2 次 主 冷 却 系	2次純化系電磁ポンププロア	S-402	661			
	2次純化系電磁ポンプ	S-402	661			
	2次予熱ヒータ	S-501	691 / 692			
	2次系D/Tヒータ 内装ヒータOFF, 外装ヒータON	S-402	662			内装ヒータ SCI-138 外装ヒータ SCI-139 ~144
2 次 補 助 冷 却 系	2次補助予熱ヒータ	A-504	207			
	2次補助配管貫通部温度監視装置	A-505	230			赤マーク→ 青マークに変更
格納容器雰囲気調整系	フロン冷凍機	A-102 / A-704	011-1/ 014-1/422		A B	
原子炉付属建家空調換気系	中央制御室空調器	A-713	351		A B	
	燃料洗浄室系給気ファン	A-407 / A-704	153 / 316		No. 1 No. 2	

(2 / 2)

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
原子炉付属建家空調換気系	燃料洗浄室系排気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		No. 1 / No. 2	
	廃ガス処理室系給気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		No. 1 / No. 2	
	廃ガス処理室系排気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		No. 1 / No. 2	
	パワーセンタ室 (A) 給気ファン	A-704	4 2 2		No. 1 / No. 2	
	パワーセンタ室 (B) 給気ファン	A-707	4 2 2		No. 1 / No. 2	
	格 換気設備室系給気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		A - B	
	換気設備室系排気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		A / B	
	ホット配管路系給気ファン	A-311 / A-704	25 / 316		A / B	
	ホット配管路系排気ファン	A-215 / A-704	25 / 316		A / B	
補 機 冷 却 水 系	空調系冷却塔ブロー	A-712	4 1 3		A / B	温度高で自動起動もする。
F F D 系	CG法用コンプレッサ及びブロー	R-601	5 6 4			
	プレシピテータ	R-601	5 6 6			
燃 取 設 備 系	各機器	A-604 A-512 R-601	291, 294 278, 551 554			燃取Grに依頼
主冷建家空調換気系	主冷空調設備	S-111 S-112	P-1盤 P-2盤			ボイラ室責任者に依頼

一般系電源復旧後の負荷自動・手動投入確認記録 (1 / 3)

平成 年 月 日 曜日

課長	当直長	担当者

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
1 次 主 冷 却 系	A主ポンプ	A-712	424			
	B主ポンプ	A-712	424			
	オーバフロー系電磁ポンプ	A-712	424			
	1次純化系CT送風機	A-712	424			
	自動連続式プラグング計	A-712	420			
2 次 主 ・ 補 助 冷 却 系	A主ポンプ潤滑油ポンプ	A-712	425		1A / 2A	
	B主ポンプ潤滑油ポンプ	A-712	425		1B / 2B	
	A主ポンプ冷却ファン	A-712	425		○1A / 2A	
	B主ポンプ冷却ファン	A-712	425		○1B / 2B	
	A主ポンプ抵抗ファン	A-712	425		1A / 2A	
	B主ポンプ抵抗ファン	A-712	425		1B / 2B	
	A主ポンプ	A-712	425			
	B主ポンプ	A-712	425			

○：自動起動

(2 / 3)

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
格納容器雰囲気調整系	格納容器雰囲気調整系 冷凍設備 冷却水ポンプ	A-103	-		No.1 No.2	
	チリングユニット	A-103	-		No.1 No.2	
原子炉付属建家空調換気系	水冷却池室系給気ファン	A-704	316		A - B	
	水冷却池室系排気ファン	A-704	316		A - B	
	1次Arバルブ室系給気ファン	A-704	316		A - B	
	1次Arバルブ室系排気ファン	A-704	316		A - B	
	装填燃料貯蔵室系空調器	A-704	316		A - B	
	装填燃料貯蔵室系排気ファン	A-704	316		A - B	
	圧空供給系給気ファン	A-407	153			
	圧空供給系排気ファン	A-407	153			
	計算機用空調器	A-704	316			
	ホット実験室空調器	A-704	316			
	外気取入ファン	A-311	31		○	
	屋上エレベータ室給気ファン	A-712	414		○	
	屋上エレベータ室排気ファン	A-712	414		○	
真空給水ポンプ	A-311	-		A B		
補機冷却水系	補機冷却塔ブロア	A-712	413		A B	

(3 / 3)

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
予 熱 N ₂ ガ ス 系	予熱N ₂ ガスプロア油ポンプ	A-504	205		A / B	
そ の 他	1・2号DGターニング	S-125 / S-130	622 / 632			
	電力用コンデンサ	S-201	641 / 642			

添付資料 - 3

電源喪失に伴う付属空調復旧操作

電源喪失に伴う付属空調復旧操作

電喪に伴う付属空調復旧操作を以下に示す。特に電子式調節系に交換した系統のみについて記す。

	復 旧 操 作	確認チェック
1	コントローラのモードスイッチをAにして、ファンを起動する。	
2	コントローラは予めセットされた値（プリセット値）より制御し始めるが、そのプリセット値にて運転し続ける可能性があるため、ファン起動後コントローラ前面操作パネルSV操作ボタンにて設定値を設定する。（設定値は下表参照）	
3	SV値を設定することにより、PV（設定値）が追従し、安定することを確認する。	

*なお、水冷却池室系給気ファンの運転時では、Aモードにてファン起動をすると室圧が良好に制御できなくなりファントリップの可能性があるので、Mモードにて、MV操作ボタンを押してダンパ開度50%に設定しファン起動後PV値がSV値と一致する様MV操作ボタンを押す。室圧が安定した後は、M→Aモードスイッチを切替える。

設 定 値 表

系 統	給・排	場 所	設 定 値	系 統	給・排	場 所	設 定 値
水冷却池室系	給気	A-407	-10 mmH ₂ O	燃料洗浄室系	給気	A-210	-10 mmH ₂ O
	排気	A-215	95 mmH ₂ O		排気	A-215	115 mmH ₂ O
廃ガス処理室系	給気	A-104	-10 mmH ₂ O	ホット配管路系	排気	A-215	80 mmH ₂ O

添付資料 - 4

格納容器雰囲気監視装置

停止・復旧要領書

格納容器雰囲気監視装置 停止・復旧要領書

(原子炉建家 2S-C/C)

手 順	操 作 内 容	操作場所	備 考
1	<u>停止操作</u>		
(1)	ハロゲン計のプロセッサ内の検出器電源スイッチを「切」にする。(TCD)	R-501	
(2)	ハロゲン計のプロセッサ内のプロセッサ電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(3)	酸素分析計内の計器電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(4)	湿分計パネル前面の計器電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(5)	P-1ポンプ用スナップスイッチを「切」にする。	R-501	(盤内)
(6)	雰囲気監視盤内の装置主電源NFBを「切」にする。	R-501	
2	<u>復旧操作</u> (2課作業終了後)		
(1)	P-1ポンプ用スナップスイッチを「入」にする。	R-501	(盤内)
(2)	雰囲気監視盤内の装置主電源NFBを「入」にする。	R-501	サンプリングポンプ2台起動
(3)	湿分計パネル前面の計器電源スイッチを「入」にする。 (湿分計自動計測)	R-501	
(4)	酸素分析計内の計器電源スイッチを「入」にする。 (酸素濃度自動計測)	R-501	計測安定まで時間がかかる。
(5)	ハロゲン計のプロセッサ内のプロセッサ電源スイッチを「入」にする。	R-501	
(6)	検出器の恒温槽の温度が66℃で安定したら、ハロゲン計のプロセッサ内の検出器電源スイッチを「入」にする。	R-501	温度安定までに4hr位かかる。

添付資料 - 5

F F D - C G 法 停止・起動要領書

(1) 装置の停止

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
1.	1次系ガスクロ連続計測の停止 (1) プロセッサパネル面の6を押し時間を表示させる。 (2) OPERATIONスイッチを引き上げる。 (3) 時間表示が890.1～899.9(秒)の間にMODEスイッチのMAINTボタンを押す。 (4) OPERATIONスイッチを引き下げLOCK位置とする。	中 制 (453) 中 制 (453) 中 制 (453) 中 制 (453)	DISPLAYのDATA部に時間が表示される。 AUTOランプ消灯 MAINTランプ点灯 STATUSランプ全て消灯	各バルブを「閉」状態で停止させるため1回の分析周期終了間際(15分=900秒)にMODEを変更する。
2.	サンプルガス流通停止 (1) V36.1-80を「閉」とする。 (2) V36.1-81を「閉」とする。	中 制 (453) 中 制 (453)	Ⓒランプ点灯 Ⓒランプ点灯	
3.	ガスクロ停止 (1) プロセッサパネル内のTCD CURRENTとPWRスイッチを「OFF」とする。 (2) レコーダ電源SUPPLY及びRECORDスイッチを「OFF」とする。	中 制 (453) 中 制 (453)	CURRENT指示0mAとなる。	
4.	キャリアガス流通停止 (1) V36.1-85を「閉」とする。 (2) V36.1-84を「閉」とする。 (3) プロセッサラック裏側のNFB-1, NFB-2を「OFF」とする。	R-501 中 制 (453) 中 制 (453)	Ⓒランプ点灯 プロセッサパネル内HTRランプ消灯	
5.	FFD-CG法を停止する。 (1) プレシピテータコンソールMAIN POWER SWを「OFF」にする。 (2) CP46-1コンプレッサCOSを「手動」にする。	R-601 (566) R-601 (564)	プレシピテータコンソール「MAIN POWER」ランプ消灯 コンプレッサの停止	

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
	(3) パージガス流調弁V46-10を「全閉」とする。	R-501 (バルブ スタンド)		
	(4) 下記の弁を「直接」「閉」とする			
	① カバーガス入口弁 V46-1	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	
	② カバーガス出口弁 V46-6	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	
	③ カバーガス出口弁 V46-5, 15 (「手動」「閉」とする。)	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	
	(5) (4)のバルブを「遠方」とする。 V46-5, 15については「自動」にする。	R-601 (564)		
	(6) カバーガス流調弁V46-2 を開度表示で0%にする。	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	
	(7) B46-2 プロアCSを「停止」にする。	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	

(2) 装置の起動操作

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
1.	V46-5 COS 「直接・手動」確認。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	1次Arガス系と接続される。
2.	V46-5 CSを「開」にする。	R-601 (564)		
3.	V46-5 COS を「自動」にする。	R-601 (564)		
4.	V46-15 COS「直接・手動」確認。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	
5.	V46-15 CS を「開」にする。	R-601 (564)		
6.	V46-15 COSを「自動」にする。	R-601 (564)		
7.	V46-6 COS 「直接」確認。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯 FPRA46-1打点No.10の 「カバーガス圧力」で 0.01Kg/cm ²	
8.	V46-6 CSを「全開」にする。	R-601 (564)		
9.	V46-1 COS 「直接」確認。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	
10.	V46-1 CSを「全開」にする。	R-601 (564)		
11.	V46-8 を「全開」にする。	R-501 (バルブ スタンド)	Ⓡランプ点灯、確認は 564盤	
12.	B46-2 プロアCSを「起動」にする。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	
13.	CP46-1コンプレッサCOS 「手動」を確認する。	R-601 (564)		
14.	CP46-1コンプレッサCSを「起動」にする。	R-601 (564)		
15.	CP46-1コンプレッサCOS を「自動」にする。	R-601 (564)		
16.	V46-14 COS「手動」確認	R-601 (564)		
17.	V46-14 COSを「自動」にする。	R-601 (564)		
18.	V46-2 の開度をCSで調整する。	R-601 (564)	FPR46-2 ch1 「カバー ガス流量」が120 ~130 ℓ/min を示すこと。	

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
19.	V46-10の開度を調整する。	R-501 (バルブ スタンド)	FE46-3パーシガス流量 が0.10ℓ/min あるこ と。	
20.	V46-2 の開度をCSで調整する。	R-601 (564) R-409	FPR46-2 ch2 「サンプ ルガス流量」が350ml /min あること。 PI46-11 「コンプレッ サ吐出圧」が0.8kg/cm ² 以下であること。	通常 0.5kg/cm ²
21.	下記弁COSを「遠方」にする。 (1) 「V46- 1」 (2) 「V46-15」 (3) 「V46- 5」 (4) 「V46- 6」	R-601 (564)		本操作によ り中制 (429) のPB で開, 閉が できる。
22.	最終的な運転状態確認		弁状態表「起動」によ る。	
23.	プレシピテータコンソール MAIN POWER SWを「ON」にする。	R-601 (566)	MAIN POWER SW ㊸ラン プ点灯 8個のANN点灯	
24.	プレシピテータコンソール RESET SWを「ON」にする。	R-601 (566)	ANN消灯	
25.	プレシピテータ電圧及び設定値を確認 する。	R-601 (566)	プレシピテータ高圧 500V設定フォトマル高 圧1.5kV 設定 ソークタイム600sec設 定	
26.	プレシピテータコンソール PUSH STARTを「ON」にする。 { 1次系ガスクロの運転}	R-601 (566)	プレシピテータがカウ ントを開始する。	
27.	キャリアガス流通 (1) プロセッサラック裏側のNFB-1及 びNFB-2を「ON」にする。 (2) V36.1-84を「開」とする。	中 制 (453) 中 制 (453)	プロセッサパネル内 HTR ランプ点灯 ㊸ランプ点灯	*NFB-2が 弁の電源と なっている

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
28.	(3) V36.1-85を徐々に「開」とする。	R-501		ガスクロへ急激に圧力がかからないようゆっくり「開」にする。
	(4) ガスクロアナライザにて圧力と流量を確認する。	R-409	圧力：3.4 kg/cm ² 流量：2.5 ゲージ目盛	
	ガスクロ起動			
	(1) ガスクロアナライザの恒温槽温度を確認する。	R-409	温度指示：66℃	
	(2) プロセッサパネルを開けPWR と DET CURRENT スイッチを「ON」とする。	中 制 (453)	140mAを指示すること。 3時間以上放置する。	ベースラインが安定するまで待つ。
	(3) ベースラインの安定を確認する。			
	① クロマト用ペン(カートリッジ式)を取り付ける。	中 制 (453)		レコーダ内に置いてある。
	② 記録計のSUPPLY及びRECORDスイッチを「ON」とする。	中 制 (453)		
	③ チャートスピードを変更する。 上段スイッチ：mm/h→mm/min 下段スイッチ：25 → 12.5	中 制 (453)	チャートスピードが早くなること。	
	④ プロセッサのRECORDERスイッチをBAR からCHROMAT へ引き上げるレコード内右側上部のレバーを下に降ろす。	中 制 (453)	ベースラインを書き始めるのでドリフトしていないことを確認する。 (蛇行していない事)	安定確認 約10分間
⑤ 記録計のRECORDスイッチを「OFF」とする。	中 制 (453)			
⑥ クロマト用ペン(カートリッジ式)を取り外す。	中 制 (453)		レコーダ内に置く。	
⑦ 記録計のRECORDERスイッチを「ON」とする。	中 制 (453)			
⑧ プロセッサのRECORDERスイッチをCHROMATからBARへ引き下ろすレコード内右側上部のレバーを上げる。	中 制 (453)	1ペンレコーダから打点方式となること。		

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
	㊸ チャートスピードを変更する。 上段スイッチ: mm/min → mm/h 下段スイッチ: 12.5 → 25	中 制 (453)	チャートスピードが遅くなること。	
29.	サンプルガス流通			
	(1) V36.1-80を「開」とする。	中 制 (453)	㊸ランプ点灯	
	(2) V36.1-81を「開」とする。	中 制 (453)	㊸ランプ点灯	
30.	連続計測開始			
	(1) OPERATION スイッチを引き上げる。	中 制 (453)		各キー操作 が可能とな る。
	(2) MODEスイッチの AUTO ボタンを押す。	中 制 (453)	AUTOランプ点灯	計測開始
	(3) OPERATION スイッチを引き下げ LOCK位置とする。	中 制 (453)		
31.	サンプルガス流量調整			
	(1) アナライザ盤前面扉を六角レンチ を用い、開とする。	R-409		流量が規程 値よりずれ ている場合 のみ実施
	(2) サンプル出口流調弁NV-5を約1/2 開とする。	R-409		
	(3) サンプル入口弁NV-1及びサンプル バイパス弁NV-2を約1/2 開としサン プル流量50cc/min, サンプルバイパ ス流量500cc/min に調整する。	R-409	サンプル流量50cc/min で安定していること。 サンプルバイパス流量 500cc/minで安定して いること。	
	(4) アナライザ盤前面扉を六角レンチ を用い、閉とする。	R-409		

添付資料 - 6

1 C - M / C 点検に伴う

2 次予熱ヒータ母線連絡時の負荷制限

1 C - M / C 点検に伴う 2 次予熱ヒータ母線連絡時の負荷制限

目 的

2 次予熱ヒータの電源系統は、冷却系 A ループ及びナトリウム純化系を負荷とする 2 H C - P / C 系と冷却系 B ループを負荷とする 2 H D - P / C 系に分割されている。

2 H C - P / C の電源母線は 1 C - M / C、2 H D - P / C の電源母線は 1 D - M / C であり、1 C - M / C の点検時には、長期間の予熱ヒータ (2 H C - P / C) 停止とならないように、2 H C - 2 H D - P / C の母線連絡を行ない、2 H C - P / C 負荷の予熱ヒータ電源を確保する必要がある。

なお、この運転を行う際、2 H D - P / C 用遮断器の過電流設定値が 1500 [A]、2 H C - 2 H D - P / C 間の母線連絡用遮断器の過電流設定値が 800 [A] であるのに対し、通常の負荷は、2 H C - P / C が 1280 [A]、2 H D - P / C が 900 [A] であるため、負荷制限を行う必要がある。

操 作

2 H C - 2 H D - P / C の母線連絡前に、下表に示す予熱ヒータのトグルスイッチを「切」とし、母線連絡復旧後に「入」とする。

ブロック No.	アドレス No.	ヒータ名称	ヒータ Tag No.
S C - I	5 3	2 A - A / C (1 A) 内装ヒータ	A C 3 1. 2 - 1 A - 0 2 H
	5 4	3 A - A / C (1 A) 内装ヒータ	A C 3 1. 2 - 1 A - 0 3 H
	5 5	4 A - A / C (1 A) 内装ヒータ	A C 3 1. 2 - 1 A - 0 4 H
	6 0	2 A - A / C (2 A) 内装ヒータ	A C 3 1. 2 - 2 A - 0 2 H
	6 2	4 A - A / C (2 A) 内装ヒータ	A C 3 1. 2 - 2 A - 0 4 H
S C - II	5 1	2 B - A / C (1 B) 内装ヒータ	A C 3 1. 2 - 1 B - 0 2 H
	5 8	2 B - A / C (2 B) 内装ヒータ	A C 3 1. 2 - 2 B - 0 2 H

参 考

2 H C - 2 H D - P / C 母線連絡 (2 H D - P / C から 2 H C - P / C へ給電)

< 2 H C - P / C >

全容量	4 4 2. 6 3 K W
1A・2A-A/Cのヒータ	
「切」負荷	- 1 7 5. 0 0 K W

2 6 7. 6 3 K W
(7 3 5 A)

< 2 H D - P / C >

全容量	3 3 4. 1 0 K W
1B・2B-A/Cのヒータ	
「切」負荷	- 7 0. 0 0 K W

2 6 4. 1 0 K W
(7 2 6 A)

※ 空気冷却器内装ヒータ「切」による負荷制限により、2 H C - 2 H D - P / C 母線連絡用遮断器にかかる負荷は、過電流設定値 8 0 0 [A] を下回る 7 3 5 [A] となり、2 H D - P / C 母線用遮断器にかかる負荷も過電流設定値 1 5 0 0 [A] を下回る 1 4 6 1 [A] (7 3 5 + 7 2 6) となり運転条件を満足する。

非常系電源設備点検

添付資料 - 1

弁 ロ ッ ク リ ス ト

I. 弁 ロ ッ ク リ ス ト

(1) 管理区域

(1 / 5)

弁 番 号	弁 名 称	系 統	弁 ロ ッ ク 方 法	電 源	流 体 名	場 所	タグ管理	
							取付け	取外し
V 8 4 - 1 2 9	遮蔽コンクリート冷却系 冷却器用給水弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ロックピンにて固定する)	6 C系	水	A - 2 0 2		
V 7 6 - 3 0	1次純化系冷却ガス 冷却器用給水弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する)	6 S系	水	A - 2 0 7		
V 3 4 . 1 - 2 9	1次純化系冷却ガス 冷却器用給水弁	1次N a純化系	開ロック (手動ハンドルを、開方向へ 回らなくなるまでまわす)	7 S系	水			
V 8 4 - 4 0	床上排気隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーに て押し込んで右に回し固定する)	6 D系	空 気	A - 3 0 4		
V 8 4 - 4 1	床上排気ライン バックアップ弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープ などで固定する)	6 C系	空 気	A - 2 0 4		
V 8 4 - 2 0 2	格納容器 差圧検出ライン隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーに て押し込んで右に回し固定する)	6 D系	空 気	A - 3 1 1		
V 7 1 - 4 4	予熱N ₂ ガス系 潤滑油冷却水止弁	予熱N ₂ ガス系	開ロック (手動ハンドルを、開方向へ 回らなくなるまでまわす)	7 S系	水	A - 2 0 8		
V 7 6 - 3 1	予熱N ₂ ガスブロウ 入口遮断弁	補機冷却水系	開ロック (手動ハンドルを、NEUTRAL 方向 へ回らなくなるまでまわす)	6 S系	水			

(2) 格 内

(2 / 5)

弁 番 号	弁 名 称	系 統	弁 ロ ッ ク 方 法	電 源	流 体 名	場 所	タグ管理	
							取付け	取外し
V36.1-14A	1次主ポンプ軸封ガス遮断弁	1次A,ガス系	開ロック (開確認後、ハンドルをOPEN位置に切り替える)	7S系	A,ガス	R-303		
V36.1-14B	1次主ポンプ軸封ガス遮断弁	1次A,ガス系	開ロック (開確認後、ハンドルをOPEN位置に切り替える)	7S系	A,ガス			
V36.1-36	1次A,ガス供給遮断弁	1次A,ガス系	開ロック (手動ハンドルを、開方向へ回らなくなるまでまわす)	7S系	A,ガス			
V84-39	床上排気隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで右に回し固定する)	6C系	空 気			
V84-18	床上給気隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで右に回し固定する)	6C系	空 気	R-601		
V84-203	格納容器 差圧検出ライン隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで右に回し固定する)	6C系	空 気	R-412		
V73-13	A,ガス系隔離弁	A,ガス供給系	開ロック (ギャグ取り付け)	6C系	A,ガス	R-501		
V74-6	N ₂ ガス系隔離弁	N ₂ ガス供給系	開ロック (ギャグ取り付け)	6C系	N ₂ ガス			
V84-93	格納容器N ₂ ガス 排気系出口隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで右に回し固定する)	6C系	N ₂ ガス	R-401		
V84-191	圧縮空気供給隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで右に回し固定する)	6C系	圧縮空気			
V84-190	圧縮空気供給隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで右に回し固定する)	6D系	圧縮空気	アニュラス部		

(3) 保全区域 (1 / 2)

(3 / 5)

弁番号	弁名称	系統	弁ロック方法	電源	流体名	場所	タグ管理	
							取付け	取外し
V76-28	廃棄物処理建家用給水弁	補機冷却水系	開ロック (手動ハンドルを、NEUTRAL 方向へ回らなくなるまでまわす)	6S系	水	A-802 (屋上)		
V76-35	補助水槽バックアップ弁	補機冷却水系	閉ロック (ロックピンにて固定する)	6S系	水	A-802 (屋上)		
V76-15A	空調系冷却塔入口弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する) (通常 開ロック中)	6C系	水	A-802 (屋上)		
V76-15B	空調系冷却塔入口弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する) (通常 開ロック中)	6D系	水	A-802 (屋上)		
V76-24A	補機系冷却塔入口弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する) (通常 開ロック中)	6C系	水	A-802 (屋上)		
V76-24B	補機系冷却塔入口弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する) (通常 開ロック中)	6D系	水	A-802 (屋上)		
V76-29	圧縮空気供給系給水弁	補機冷却水系	開ロック (手動ハンドルを、NEUTRAL 方向へ回らなくなるまでまわす)	6S系	水	A-405		
V84-17	床上給気隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで右に回し固定する)	6D系	空気	A-706		
V84-193	床上排気ライン バックアップ弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ロックピンにて固定する)	6C系	N ₂ ガス	A-401		
V84-94	格納容器N ₂ ガス 排気系出口隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで右に回し固定する)	6D系	N ₂ ガス			
V73-12	A ₁ ガス系隔離弁	A ₁ ガス供給系	開ロック (ギャグ取り付け)	6D系	A ₁ ガス	A-306		
V74-5	N ₂ ガス系隔離弁	N ₂ ガス供給系	開ロック (ギャグ取り付け)	6D系	N ₂ ガス	A-305		

(3) 保全区域 (2 / 2)

(4 / 5)

弁 番 号	弁 名 称	系 統	弁 ロ ッ ク 方 法	電 源	流 体 名	場 所	タグ管理	
							取付け	取外し
B.32.2-1	補助送風機入口ベーン	2次補助冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7S系	空 気	A-505		
DP32.2-2	補助冷却器入口ダンパ	2次補助冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7S系	空 気			

(4) 主冷却機建家

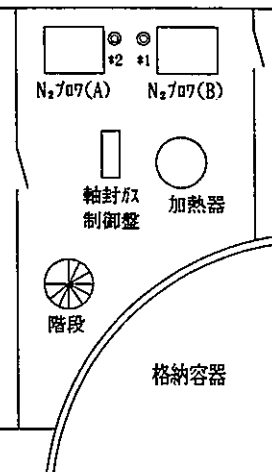
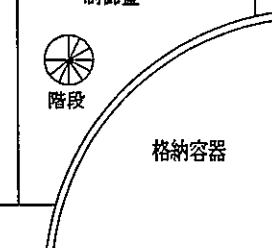
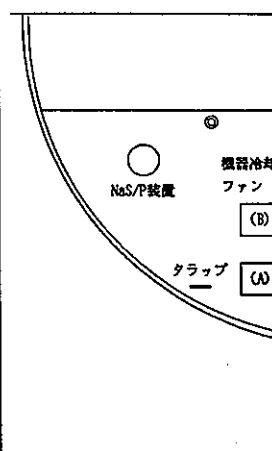
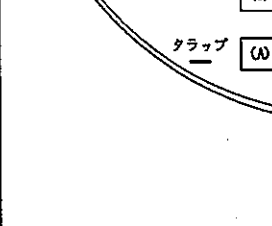
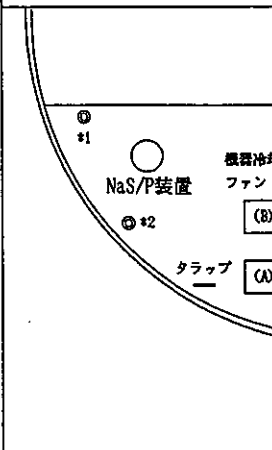
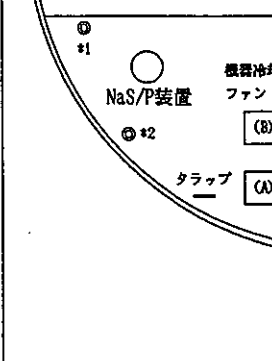
(5 / 5)

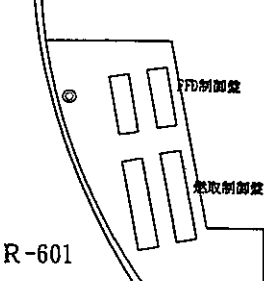
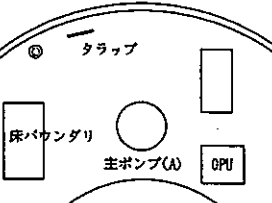
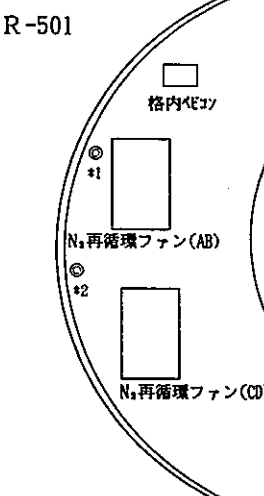
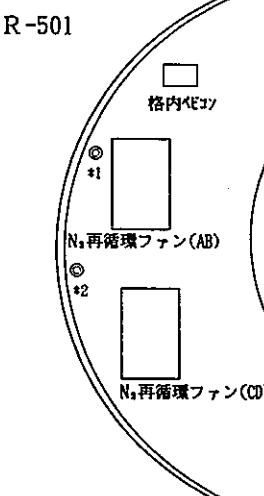
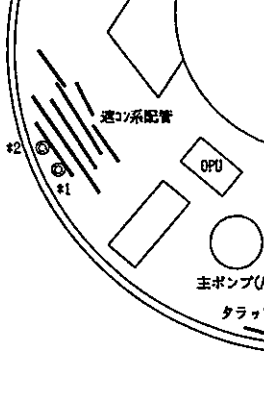
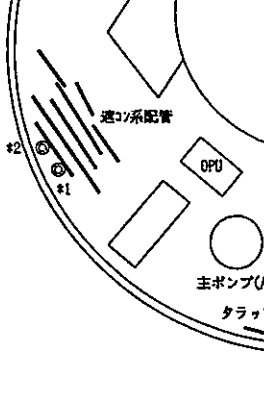
弁番号	弁名称	系統	弁ロック方法	電源	流体名	場所	タグ管理	
							取付け	取外し
B.31.2-1A	主送風機1A入口ベーン	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7C系	空気	S-403		
B.31.2-2A	主送風機2A入口ベーン	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7C系	空気			
DP31.2-1A	主冷却器1A1入口ダンパ	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7C系	空気			
	主冷却器1A2入口ダンパ							
DP31.2-3A	主冷却器2A1入口ダンパ	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7C系	空気			
	主冷却器2A2入口ダンパ							
B.31.2-1B	主送風機1B入口ベーン	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7D系	空気	S-419		
B.31.2-2B	主送風機2B入口ベーン	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7D系	空気			
DP31.2-1B	主冷却器1B1入口ダンパ	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7D系	空気			
	主冷却器1B2入口ダンパ							
DP31.2-3B	主冷却器2B1入口ダンパ	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7D系	空気			
	主冷却器2B2入口ダンパ							

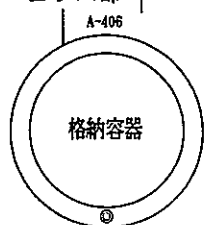
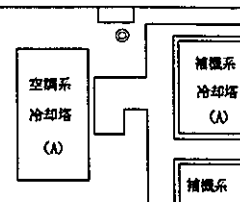
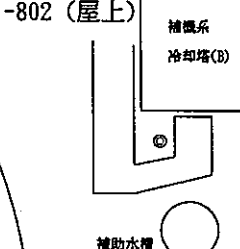
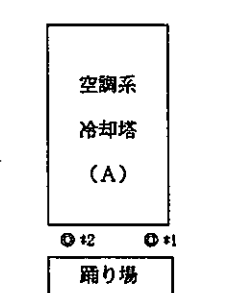

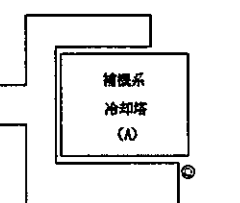
II. 弁ロック方法及び注意事項

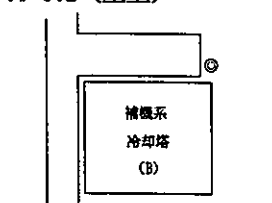
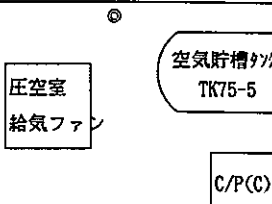
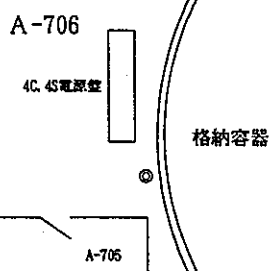
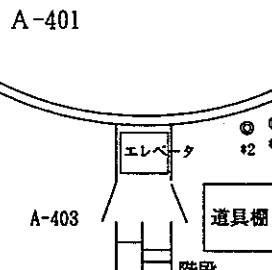
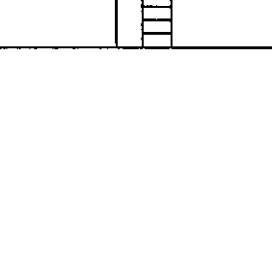
(1 / 7)


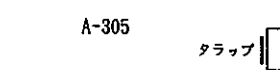
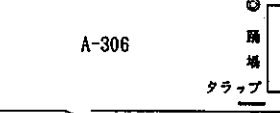

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場所
V 8 4 - 1 2 9 (KEY No. A-64-18 と A-6が必要)	遮蔽コンクリート冷却系 冷却器用給水弁	開であることを、現場のバルブ開度指示計にて確認し、ハンドルを回して、ハンドルのシャフトとピストンのシャフトの穴を合わせ、そこに、ロックピンを差し込む。 (開ロック) 添付資料-5	A-202 格納容器 A-204 A-201 A-202
V 7 6 - 3 0	1次純化系冷却ガス 冷却器用給水弁	*1 開であることを、現場のバルブ開度指示計にて確認し、ロックピンを差し込む。 (開ロック) 添付資料-7	A-207 N ₂ 系冷却器 CT冷却器 放射線監視整 予熱N ₂ ガス系ヒータ盤 *1 *2
V 3 4 . 1 - 2 9	1次純化系冷却ガス 冷却器用給水弁	*2 バルブハンドルを開方向に、回らなくなるまで回した後、ギャグを取り付ける。 (開ロック) 添付資料-3	
V 8 4 - 4 0	床上排気隔離弁	金色のキャップを取り外し、ボタン（黒色）をマイナスドライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。 (開ロック) 添付資料-1	A-304 格納容器
V 8 4 - 4 1 (KEY No. A-64-10 が必要)	床上排気ライン バックアップ弁	電磁弁の手動ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。（電磁弁は、地上約2mの踊場上にあり、高所作業となるので、十分注意すること。）（開ロック) 添付資料-2	A-204 格納容器
V 8 4 - 2 0 2	格納容器 差圧検出ライン隔離弁	金色のキャップを取り外し、ボタン（黒色）をマイナスドライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。 (開ロック) 添付資料-1	A-311 格納容器 階段 水冷却池室系 排気ファン エレベータ

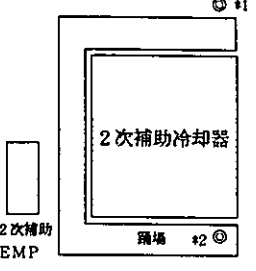
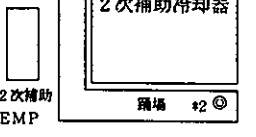
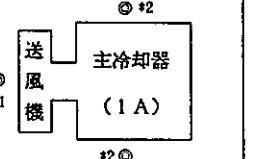
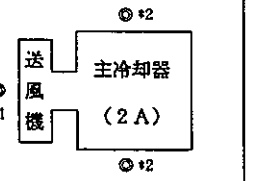
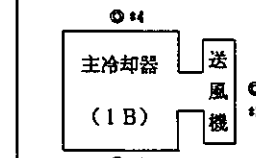
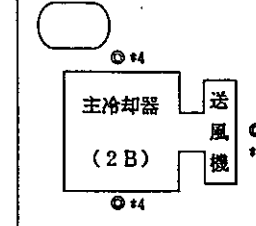
弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場所
V71-44	予熱N ₂ ガス系 潤滑油冷却水止弁	*1 バルブハンドルを開方向に、回らなくなるまで回す。(バルブは、予熱N ₂ ガスフロアAとBの中間にある。) (開ロック) 添付資料-3	A-208 
V76-31	予熱N ₂ ガスフロア 入口遮断弁	*2 現場のバルブ開度指示計にて、開の状態を確認し OPEN ↔ NEUTRAL ハンドルを OPEN 方向に回し少し固くなった所で止める。 (開ロック)	
V36.1-14A	1次主ポンプ軸封ガス 遮断弁	中制のバルブ開閉表示灯にて、開の状態を確認後 OPEN ↔ SHUTorAUTO ハンドルを OPEN 位置にする。 (開ロック) 添付資料-6	R-303 
V36.1-14B	1次主ポンプ軸封ガス 遮断弁	中制のバルブ開閉表示灯にて、開の状態を確認後 OPEN ↔ SHUTorAUTO ハンドルを OPEN 位置にする。 (開ロック) 添付資料-6	
V36.1-36	1次A _r ガス供給遮断弁	*1 バルブハンドルを開方向に、回らなくなるまで回す。 (開ロック) 添付資料-3	R-303 
V84-39	床上排気隔離弁	*2 金色のキャップを取り外し、ボタン(黒色)をマイナスドライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。 (開ロック) 添付資料-1	

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場所
V84-18	床上給気隔離弁	金色のキャップを取り外し、ボタン（黒色）をマイナスドライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。（電磁弁は地上約2m上方にあり、高所作業となるので十分注意すること。）（開ロック） 添付資料-1	R-601 
V84-203	格納容器 差圧検出ライン隔離弁	金色のキャップを取り外し、ボタン（黒色）をマイナスドライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。（開ロック） 添付資料-1	R-412 
V73-13	A, ガス系隔離弁	*1 弁棒にギャグを取り付け、弁棒が動かないように固定する。（ギャグは現場に保管されている。）（開ロック） 添付資料-4	R-501 
V74-6	N₂ ガス系隔離弁	*2 弁棒にギャグを取り付け、弁棒が動かないように固定する。（ギャグは現場に保管されている。）（開ロック） 添付資料-4	
V84-93	格納容器N₂ガス 排気系出口隔離弁	*1 金色のキャップを取り外し、ボタン（黒色）をマイナスドライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。（開ロック） 添付資料-1	R-401 
V84-191	圧縮空気供給隔離弁	*2 金色のキャップを取り外し、ボタン（黒色）をマイナスドライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。（開ロック） 添付資料-1	

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場所
V 8 4 - 1 9 0 (KEY No. A-64-16 が必要)	圧縮空気供給隔離弁	金色のキャップを取り外し、ボタン（黒色）をマイナスドライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。 (開ロック) 添付資料-1	アニュラス部 A-406 
V 7 6 - 2 8	廃棄物処理建屋用給水弁	現場のバルブ開度指示計にて、開の状態を確認し OPEN ↔ NEUTRAL ハンドルを OPEN 方向に回し少し固くなった所で止める。 (開ロック)	A-802 (屋上) 
V 7 6 - 3 5	補助水槽バックアップ弁	通常中製の413 盤のCSにて閉中なので、閉であることを、現場のバルブ開度指示計にて確認し、ロックピンにて固定する。 (注. このバルブだけは、閉ロックである。) 添付資料-7	A-802 (屋上) 
V 7 6 - 1 5 A	空調系冷却塔入口弁 (通常 開ロック中)	*1 開の状態でもロックピンにて固定する。 (現在は、開ロック中なので操作の必要なし。) 添付資料-7	A-802 (屋上) 
V 7 6 - 1 5 B	空調系冷却塔入口弁 (通常 開ロック中)	*2 開の状態でもロックピンにて固定する。 (現在は、開ロック中なので操作の必要なし。) 添付資料-7	A-802 (屋上) 
V 7 6 - 2 4 A	補機系冷却塔入口弁 (通常 開ロック中)	開の状態でもロックピンにて固定する。 (現在は、開ロック中なので操作の必要なし。) 添付資料-7	A-802 (屋上) 

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場所
V76-24B	補機系冷却塔入口弁 (通常 開ロック中)	開の状態にロックピンにて固定する。 (現在は、開ロック中なので操作の必要なし。) 添付資料-7	A-802 (屋上) 
V76-29	圧縮空気供給系給水弁	現場のバルブ開度指示計にて、開の状態を確認し OPEN ↔ NEUTRAL ハンドルを OPEN 方向に回し 少し固くなった所で止める。 (開ロック)	A-405 
V84-17	床上給気隔離弁	金色のキャップを取り外し、ボタン (黒色) をマイナスイライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。(電磁弁は、地上約2mの所にあるので、脚立が必要である。) (開ロック) 添付資料-1	A-706 
V84-94	格納容器N ₂ ガス 排気系出口隔離弁	* 1 金色のキャップを取り外し、ボタン (黒色) をマイナスイライバーにて押し込み、その状態で右に回すことにより固定する。(開ロック) 添付資料-1	A-401 
V84-193 (KEY No. D-8 が必要)	床上排気ライン バックアップ弁	* 2 通常中制の422 盤のCSにて開中なので、開であることを、現場のバルブ開度指示計にて確認しハンドルを回して、ハンドルのシャフトとピストンのシャフトの穴を合わせ、そこに、ロックピンを差し込んで固定する。(開ロック) 添付資料-5	A-403 

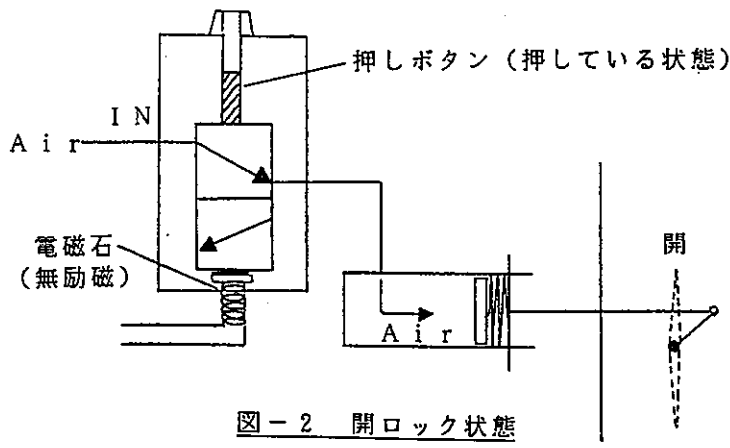
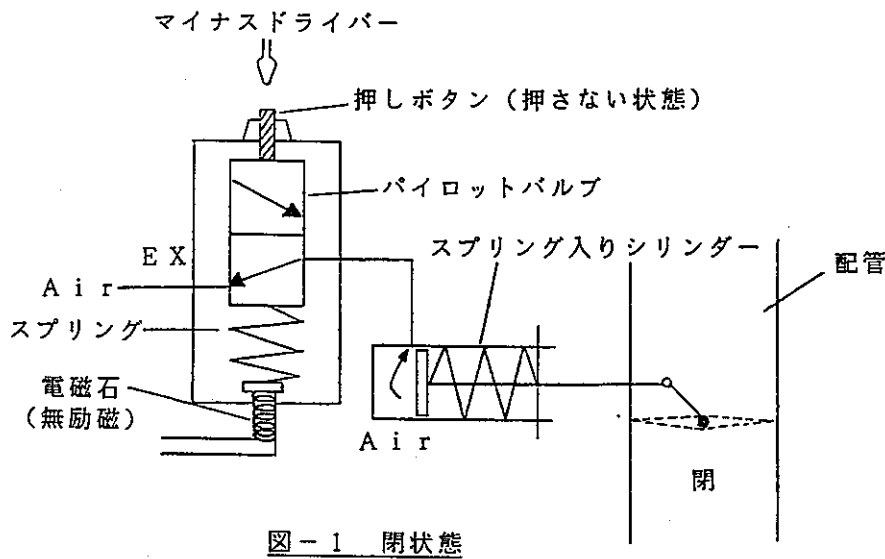
弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場 所
V73-12	A, ガス系隔離弁	弁棒にギャグを取り付け、弁棒が動かないように固定する。(バルブは、A-306中断の踊場上にあり高所作業となるので、十分注意すること。ギャグは現場に保管されている。)	A-306  A-305 
V74-5	N ₂ ガス系隔離弁	弁棒にギャグを取り付け、弁棒が動かないように固定する。(ギャグは現場に保管されている。) (開ロック)	A-305  A-306 

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場 所
B. 3 2 . 2 - 1	補助送風機入口ベーン	<p>*1 ベーンが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にし、ベーンの開・閉レバーのネジを締め固定する。(補助冷却器の裏側にある) (閉ロック)</p>	<p>A-505</p> 
DP 3 2 . 2 - 2	補助冷却器入口ダンパ	<p>*2 ダンパが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にする。(閉ロック)</p>	
B. 3 1 . 2 - 1 A B. 3 1 . 2 - 2 A	主送風機 1 A 入口ベーン 主送風機 2 A 入口ベーン	<p>*1 ベーンが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にし、ベーンの開・閉レバーのネジを締め固定する。(閉ロック)</p>	<p>S-403</p> 
DP 3 1 . 2 - 1 A DP 3 1 . 2 - 3 A	主冷却器1A1 入口ダンパ 主冷却器1A2 入口ダンパ 主冷却器2A1 入口ダンパ 主冷却器2A2 入口ダンパ	<p>*2 ダンパが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にする。(閉ロック)</p>	
B. 3 1 . 2 - 1 B B. 3 1 . 2 - 2 B	主送風機 1 B 入口ベーン 主送風機 2 B 入口ベーン	<p>*3 ベーンが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にし、ベーンの開・閉レバーのネジを締め固定する。(閉ロック)</p>	<p>S-419</p> 
DP 3 1 . 2 - 1 B DP 3 1 . 2 - 3 B	主冷却器1B1 入口ダンパ 主冷却器1B2 入口ダンパ 主冷却器2B1 入口ダンパ 主冷却器2B2 入口ダンパ	<p>*4 ダンパが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にする。(閉ロック)</p>	

Ⅲ. バルブ状態図

添付資料 - 1

対象弁 - V84-17、V84-18、V84-39、V84-40、V84-93、V84-94
 V84-190、V84-191、V84-202、V84-203



バルブの動作は、図-1に示すように制御電源が喪失した場合、パイロットバルブが無励磁となり、スプリングの力により押し上げられ、弁駆動用シリンダー内の圧縮空気が放出されバルブは閉になる。また、励磁された場合、電磁石の力によりパイロットバルブが引き下げられ、弁駆動用シリンダー内に圧縮空気が供給されバルブは開になる。

弁ロックは、金色のキャップを取外し、図-2に示すように、マイナスイドライバーで押しボタンを押して90°右に回すことにより固定され、制御電源が喪失した場合でも、パイロットバルブを励磁した状態と同じ位置に保持することができる。

対象弁 - V 8 4 - 4 1

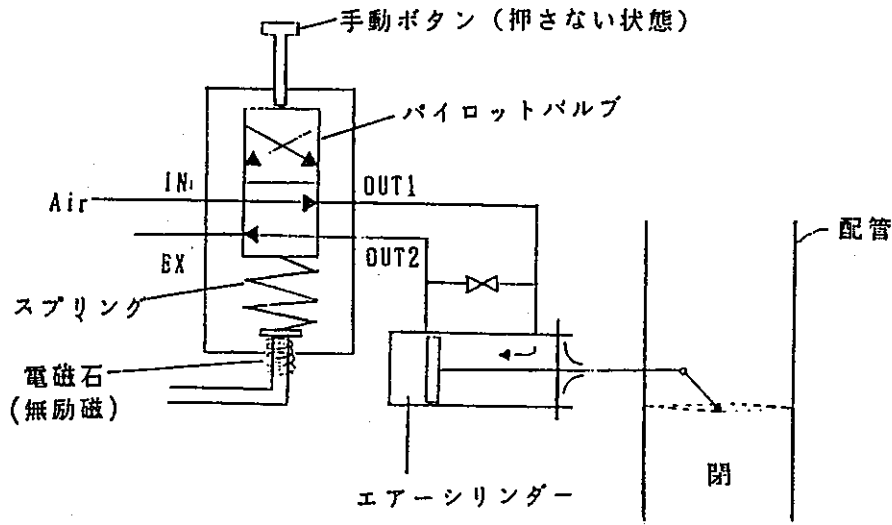


図-1 閉状態

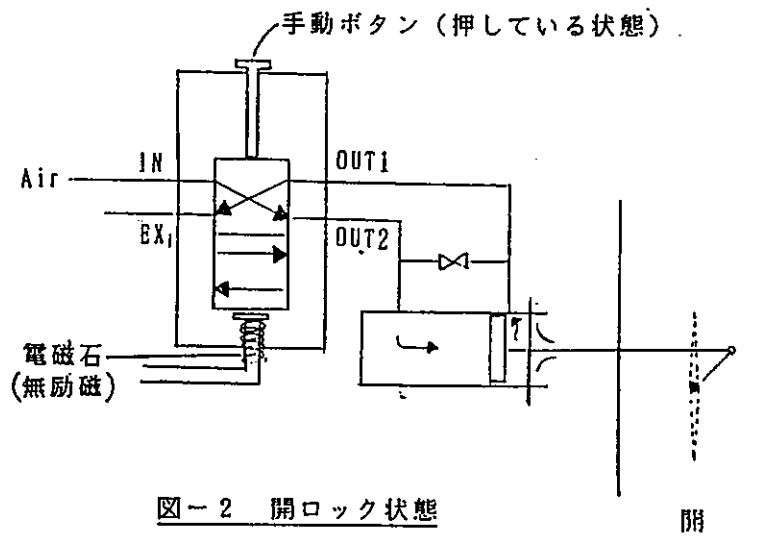


図-2 開ロック状態

動作原理は、添付資料-1と同様

対象弁 - V34. 1-29、V36. 1-36、V71-44

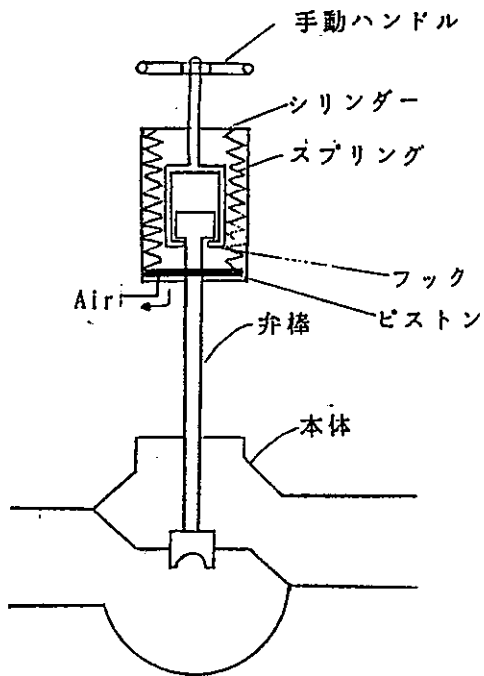


図-1 閉状態

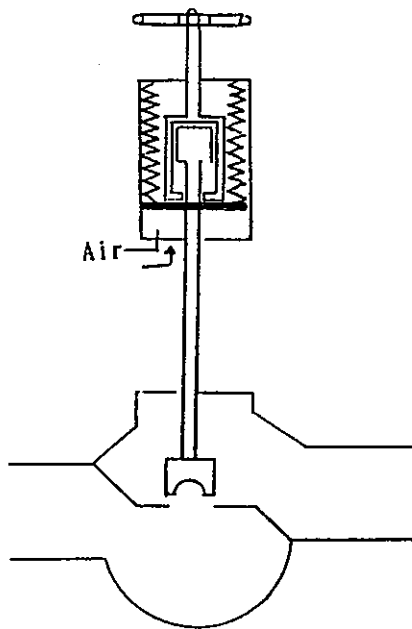


図-2 開状態

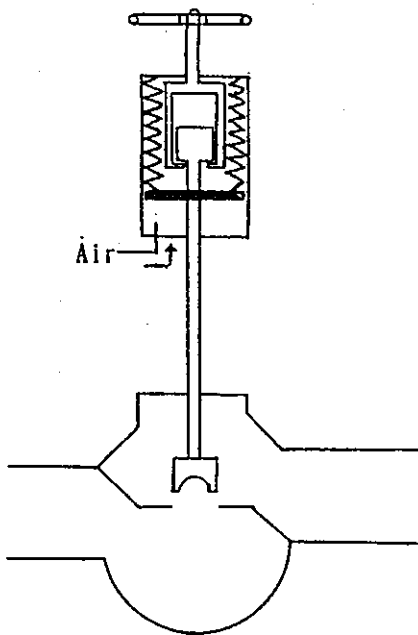
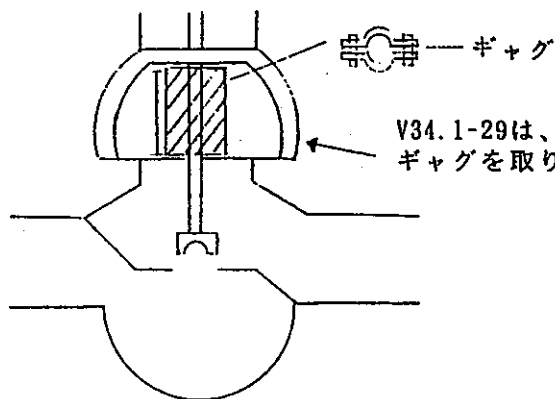


図-3 開ロック状態

バルブの動作は、電磁弁が励磁されている時には、電磁弁を介して、図-2に示すように、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し上げられバルブは開になる。

又、無励磁になった時には、図-1に示すように、シリンダー下部から圧縮空気が電磁弁を介して抜け、スプリングの力によりピストンが押し下げられバルブは閉になる。

弁ロックは、図-2に示すように、開の状態を確認し、図-3に示すように、手動ハンドルを開方向に回すことにより、手動ハンドルの先端に付いているフックが弁棒を吊り上げている状態になるので、制御電源がなくなり圧縮空気が喪失した時でも、開の状態を保持することが出来る。



対象弁 - V73-12、V73-13、V74-5、V74-6

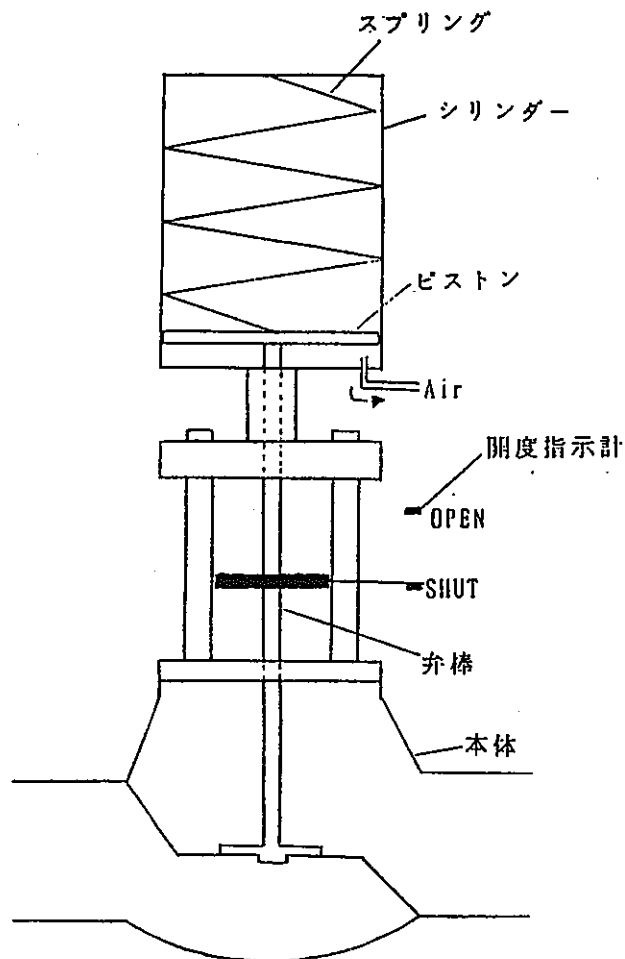


図-1 閉状態

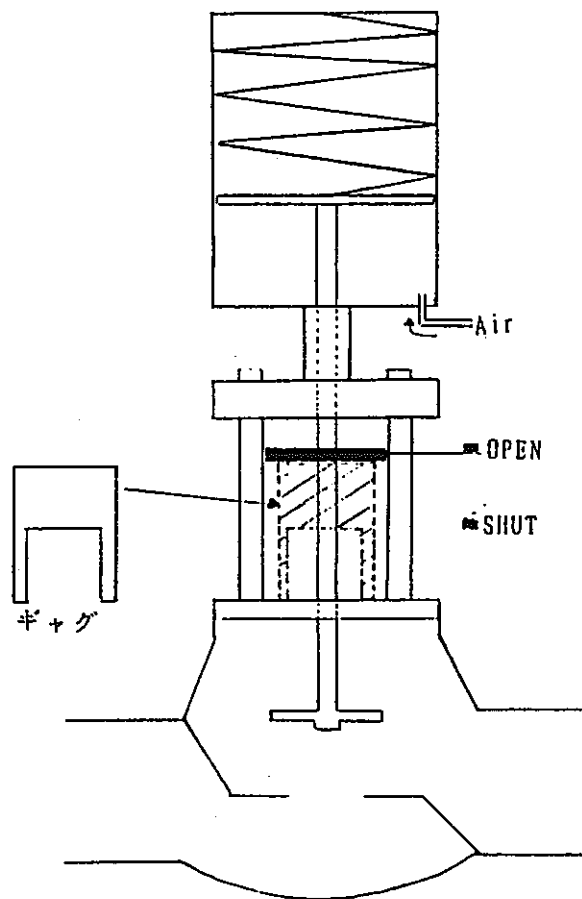


図-2 開ロック状態

バルブの動作は、電磁弁が無励磁になっている時には、図-1に示すように、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が抜け、スプリングの力によりピストンが押されバルブは閉になる。

又、励磁している時には、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し上げられバルブは開になる。

弁ロックは、開状態を確認し、弁棒に固定されている箇所（図では、黒い部分）の下に、ギヤグを差し込むことにより、制御電源がなくなり圧縮空気が喪失した時でも、開の状態を保持することが出来る。

対象弁 - V84-129、V84-193

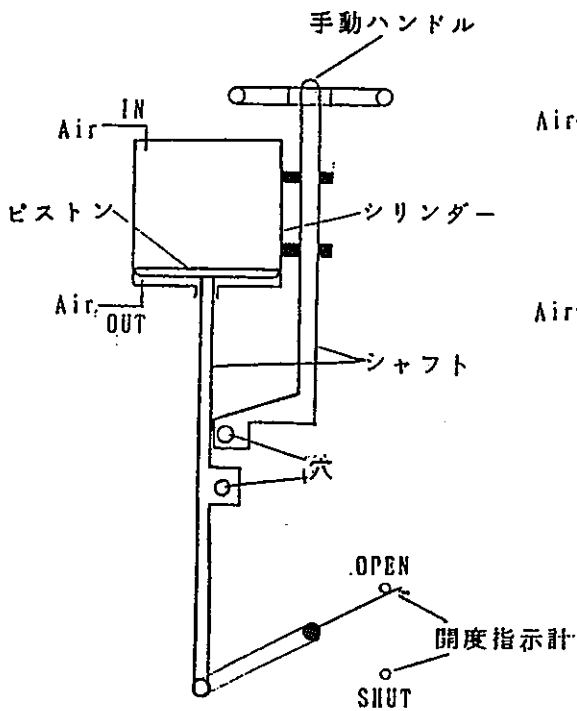


図-1 開状態

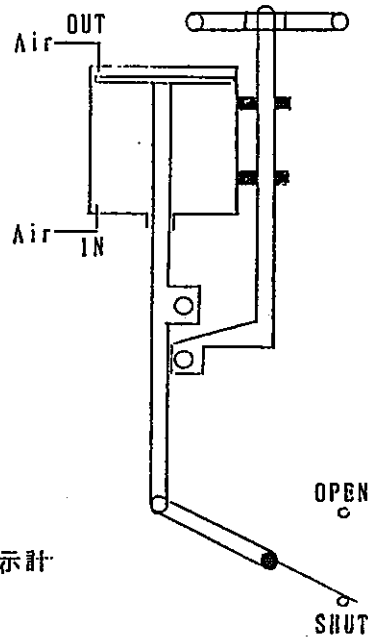


図-2 閉状態

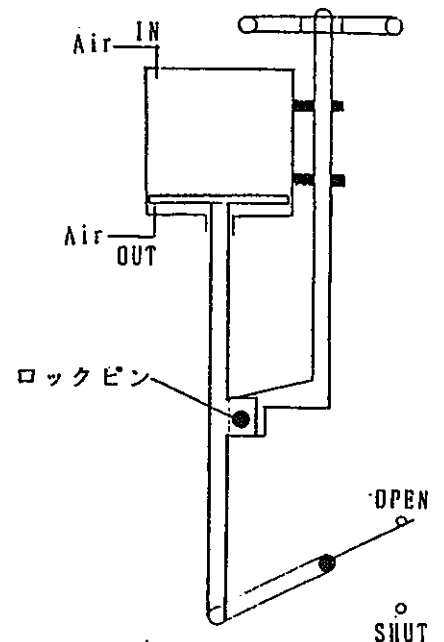


図-3 開ロック状態

バルブの動作は、電磁弁が励磁されている時には、電磁弁を介して、図-1に示すように、弁駆動用シリンダー上部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し下げられバルブは開になる。

又、無励磁になった時には、図-2に示すように、シリンダー下部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し上げられバルブは閉になる。

弁ロックは、図-3に示すように、開状態を確認し、手動ハンドルのシャフトの穴とピストンのシャフトの穴を合わせ、そこに、ロックピンを差し込み固定することにより、制御電源がなくなり圧縮空気が喪失した時でも、開の状態を保持することが出来る。

対象弁 - V36. 1-14A、V36. 1-14B

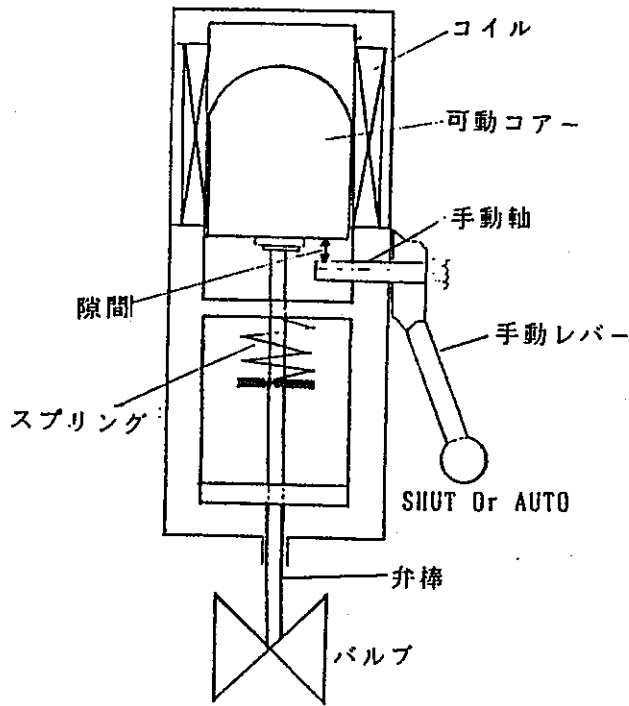


図-1 開状態

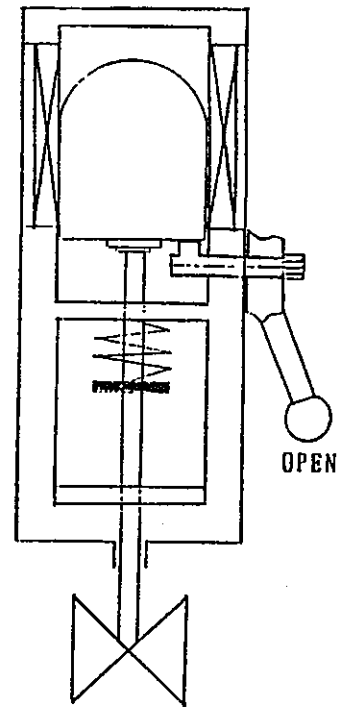


図-2 開ロック状態

このバルブは、1次主ポンプ軸封ガスの遮断弁であり配管口径が3/8Bと細いので、可動範囲(上下動)の少ない、電磁弁が使われている。

弁の動作は、図-1に示すように、可動コアと手動軸の間に約1cmの隙間があり、コイルの電源をON、OFFすることにより、この隙間を可動コアが上下しバルブの開・閉が行われる。

弁ロックは、手動レバーをOPEN位置にすることにより手動軸が回転し手動軸に取り付けられている凸部分が、図-2のように、可動コアを押し上げた状態となり開を保持する。

対象弁 - V76-15A・15B、V76-24A・24B、V76-30、V76-35

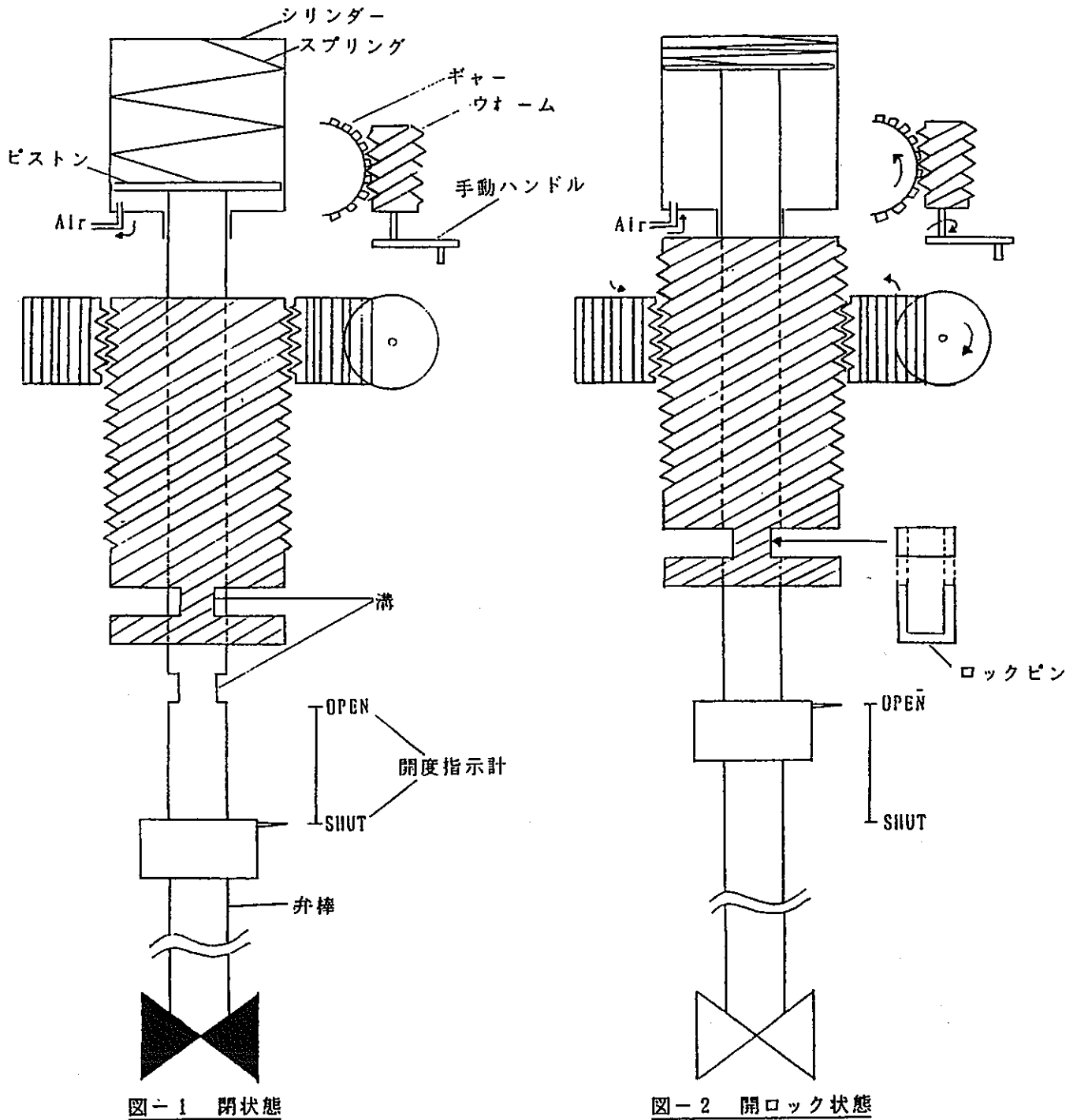


図-1 閉状態

図-2 開ロック状態

バルブの動作は、電磁弁が無励磁になっている時には、図-1に示すように、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が抜け、スプリングの力によりピストンが押し下げられバルブは閉になる。
 又、励磁している時には、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し上げられバルブは開になる。
 弁ロックは、開状態を確認し、弁棒の溝と手動ハンドルで動くシャフトの溝とを合わせ、そこにロックピンを差し込むことにより、シャフトと弁棒が固定される。そのため、制御電源がなくなり圧縮空気が喪失した時でも、開の状態を保持することが出来る。

注) V76-35 (補助水槽バックアップ弁) だけは、閉ロックである。

添付資料 - 2

仮設電源継込み・復旧要領書

第 1 0 回 電源設備点検 仮設電源一覧 (1 / 6)

No	電源名称	電源	電源取合い点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
1	1次系 計装 電源	6 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・中制分電盤 6 S系 (A-712, #426) にて # 424 盤用 NFB 「OFF」 ・1次制御盤 (A-712, #424) 6 S系 電源引き込み端子 ケーブルNo. Z 0 2 3 - 0 3 端子No. VR, VT 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次制御盤 (A-712, #424) 内 補助電源 AC 1 0 0 V 	8/30	9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・1次Arガス系 電源の確保 供給ツク Arガス 圧力 呼吸ガス圧力調整ヘッド 圧力
2	1次系 制御 電源	7 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・中制分電盤 7 S系 (A-712, #426) にて # 424 盤用 NFB 「OFF」 ・1次制御盤 (A-712, #424) 7 S系 電源引き込み端子 ケーブルNo. Z 0 2 3 - 0 1 端子No. P, N 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次制御盤 (A-712, #424) 内 補助電源 DC 1 0 0 V 	8/30	9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・1次Arガス系の確保 Arガス供給弁 V36. 1-20, 22, 36(F. C) Arガス排気弁 V36. 1-44, 46(F. C) ・主ポンプ 軸封ガス仕切弁 V83-6, 11, 14(F. C) リクツケットガス圧力調整弁
3	1次Arガス系 呼吸ガスヘッド 安全弁 制御電源	7 C系	<ul style="list-style-type: none"> ・中制分電盤 7 C系 (A-712, #426) にて # 411-1 盤用 NFB 「OFF」 ・1次補助継電器盤(1)にて、7 C操作 NFB 「OFF」 ・1次補助継電器盤(1)にて、(A-712, #411-1) 7 C操作NFB 2次側(V36. 1-62A用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次補助継電器盤(1) (A-712, #411-1)内 補助電源 DC 1 0 0 V 	8/25	9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・1次呼吸ヘッド 安全弁A・Bの 開放防止
		7 D系	<ul style="list-style-type: none"> ・中制分電盤 7 D系 (A-712, #426) にて # 411-1 盤用 NFB 「OFF」 ・1次補助継電器盤(2)にて、7 D操作 NFB 「OFF」 ・1次補助継電器盤(1)にて、(A-712, #411-2) 7 D操作NFB 2次側(V36. 1-62B用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次補助継電器盤(2) (A-712, #411-2)内 補助電源 DC 1 0 0 V 			

第 10 回 電源設備点検 仮設電源一覧 (2 / 6)

No	電源名称	電源	電源取合い点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
4	1次系計装電源 1次Na漏洩検出器電源	6C系	<ul style="list-style-type: none"> ・中制分電盤 6C系 (A-712, #426) にて #203-1盤用 NFB 「OFF」 ・1次Na漏洩検出器盤 (A-504, #203-2) 6C計器電源 NFB 「OFF」 6C漏洩検出器 NFB 「OFF」 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・1次Na漏洩検出器盤 (A-504, #203-2) 6C計器電源 NFB 2次側 6C漏洩検出器 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次Na漏洩検出器盤 (A-504, #203-2) 内補助電源 AC 100V AC 100V 	8/30	9/9	・1次Na漏洩検出器電源の確保
5	2次冷却系制御電源	7S系	<ul style="list-style-type: none"> ・中制分電盤 7S系 (A-712, #426) にて #425盤用 NFB 「OFF」 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・2次制御盤 7S系 (A-712, #425) 7S系電源引き込み 端子ケーブルNo. ZP36CTS1 端子No. 3BP, 3BN 	<ul style="list-style-type: none"> ・2次制御盤 (A-712, #425) 補助電源 DC 100V 	8/30	9/9	・2次系ANN電源の確保
6	2次Na漏洩検出器	6S系	<ul style="list-style-type: none"> ・中制分電盤 6S系 (A-712, #426) にて #410 #428 盤用 NFB 「OFF」 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・2次Na漏洩警報盤 (A-712, #410) 6S系電源引き込み 端子ケーブルNo. TB-5 端子No. 91VA1, 91VA2 	<ul style="list-style-type: none"> ・2次Na漏洩警報盤 (A-712, #410) 内補助電源 AC 100V 	8/25	9/9	・2次系漏洩検出器電源の確保
7	1次予熱ヒータ操作電源 (操作)	4S系	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却計装分電盤 (A-504, #213) AC110V (4S) 1次予熱ヒータ操作電源NFB 「OFF」 テーピング実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却計装分電盤 (A-504, #213) AC110V (4S) 1次予熱ヒータ操作電源NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却計装分電盤 (A-504, #213) 内補助電源 AC 110V 	8/25	9/9	・1次予熱ヒータ電源の確保

第 10 回 電源設備点検 仮設電源一覧 (3 / 6)

No	電源名称	電源	電源取合い点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
8	1次予熱ヒータ 操作電源 (警報用)	7S系	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却計装分電盤 (A-504, #213) DC110V (7S) 1次予熱ヒータ 操作電源NFB「OFF」 テーピング実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却計装分電盤 (A-504, #213) DC110V (7S) 1次予熱ヒータ 操作電源NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却計装分電盤 (A-504, #213) 内 補助電源 DC 110V 	8/25	9/9	・1次予熱ヒータ警報 電源の確保
9	2次予熱ヒータ 制御電源	6D系	<ul style="list-style-type: none"> ・6D電源盤 (A-707, #340) 2次予熱ヒータ制御装置電源 NFB-C2 「OFF」 NFBの2次側をリフトする。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・仮設のNFBを設け、1次側に仮設電源、 2次側にリフトしたケーブルを接続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業用分電盤 M-1 (A-705, No. 4L) AC 100V 	8/25	9/9	・2次予熱ヒータ電源 の確保
10	2次補助系予熱ヒータ 制御電源	4S系	<ul style="list-style-type: none"> ・2次補助系分電盤 4S (A-504, #221) (2次補助系現場制御盤内、収納) 2次補助系現場制御盤制御電源 NFB 「OFF」とし、テーピングする。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・2次補助系分電設備 4S (A-504, #221) (2次補助系現場制御盤内、収納) 2次補助系現場制御盤制御電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・2次補助系現場制御盤 (A-504, #221) 補助電源 AC 100V 	8/25	9/9	・2次補助予熱ヒータ 電源の確保
11	予熱N2 ガス系 計装制御電源	7S系	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 予熱N2 ガス系制御電源 7S系 NFB 「OFF」 テーピングする。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 予熱N2 ガス系制御電源 7S系 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 内 補助電源 DC 100V 	8/25	11/12	・予熱N2 ガスブロウ 電源の確保 (※復旧は11月12日に 実施する。)

第 10 回 電源設備点検 仮設電源一覧 (4 / 6)

No	電源名称	電源	電源取合い点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
11	予熱N2 ガス系 計装 制御電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 予熱N2 ガス系制御電源 4 S系 NFB 「OFF」 テーピングする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 内 補助電源 AC 100V 	8/25	11/12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予熱N2 ガスブロウ 電源の確保
		4 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 予熱N2 ガス系制御電源 4 S系 NFB 2次側 EP31. 1-11 2次側 				
12	補機冷却系 計装盤用 電源	6 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中制分電盤 6 S系 (A-712, #426) にて #422, #413 盤用 NFB 「OFF」 ・ 補機冷却系計装盤 (A-712, #413) にて 7 S NFB 「OFF」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補機冷却系計装盤 (A-712, #413) 内 補助電源 AC 100V DC 100V 	8/25	9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補機冷却系計装盤 電源の確保 ・ 格納容器雰囲気調整 系の確保 (警報電源) (計器電源) (遮り系電磁弁V84- 105-108電源)
		7 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補機冷却系計装盤 (A-712, #413) 内 6 S NFB 1次側 7 S NFB 2次側 				
4 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理系監視 (A-712, #415) 内 主電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理系監視 (A-712, #415) 内 主電源 NFB 「OFF」 テーピングする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理系監視盤 (A-712, #415) 内 補助電源 AC 100V 	8/25	9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理系監視盤 電源の確保 	

第 10 回 電源設備点検 仮設電源一覧 (5 / 6)

No	電源名称	電源	電源取合い点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
14	Ar・N2 廃ガス 処理系 電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉付属建家分電盤 4 S系 (A-509, #271) 内 廃棄物処理計装電源 NFB 「OFF」 テーピングする。 原子炉付属建家分電盤 (A-509, #271) 内 廃棄物処理計装電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉付属建家分電盤 4 S系 (A-509, #271) 内 補助電源 AC 100V 	8/30	9/9	<ul style="list-style-type: none"> Ar・N2 廃ガス 処理系 機器・計装 電源の確保
15	通信装置用 電源	6 S系	<ul style="list-style-type: none"> 中制分電盤 6 S系 (A-712, #426) にて # 408 盤用 NFB 「OFF」 通信盤 (A-712, #408) 内 電源引き込み用 TB 端子 	<ul style="list-style-type: none"> 通信盤 (A-712, #408) 内 補助電源 AC 100V 	8/25	9/9	<ul style="list-style-type: none"> 通信装置の確保
16	床上酸素濃度計電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建家分電盤 (R-601, #559) 内 酸素濃度分析計電源 NFB 「OFF」 酸素濃度監視盤 (R-601, #455) 内 酸素濃度分析計電源 1次側をリフトし 補助電源 AC 100V NFB 2次側を接続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助電源分電盤(3) (R-707, #326) NFB No.408 AC 100V 	8/27	10/6	<ul style="list-style-type: none"> 床上作業があるため 酸素モニターの確保
		4 C系	<ul style="list-style-type: none"> 4 C分電盤 (A-706, #324) 内 酸素濃度計 (記録計) 用 NFB-C2 「OFF」 床上酸素濃度監視盤 (A-712, #455) 内 床上酸素濃度記録計電源 NFB の 1次側をリフトし補助電源 AC 100V NFB の 2次側を接続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助電源現場分電盤 (A-712, No. 41) NFB No.12 AC 100V 			
17	オーバフロー系 純化系 操作電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> 4 S操作・計器電源用 NFB 「OFF」 (A-712, #424) 4 S操作・計器電源用 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> (A-712, #424)内 補助電源 AC 110V 	8/30	9/9	<ul style="list-style-type: none"> オーバフロー系・ 純化系 操作・計器 電源の確保

第 1 0 回 電源設備点検 仮設電源一覧 (6 / 6)

No	電源名称	電源	電源取合い点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
18	床下酸素濃度計電源	6 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 S電源盤 (A-704, #341) 内 床下酸素濃度検出設備用 NFB-C4 「OFF」 ・ 床下酸素濃度監視盤 (A-712, #455) 内 床下酸素濃度記録計電源NFBの1次側をリフトし補助電源AC 100V NFBの2次側を接続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助電源現場分電盤 (A-712, No. 4L) NFB No.12 AC 100V 	8/27	10/6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 床下作業があるため酸素モニターの確保
19	放射線監視盤電源	6 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーブル室分電盤 6 S系 NFB 「OFF」 ・ ケーブル室分電盤 6 S系 NFB 2次側に補助電源ケーブルを接続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助電源 AC 100V 	8/25	9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放射線モニターの電源確保
20	プロセス計装電源盤 計装・制御電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次系プロセス計装 DC24V電源盤 (A-712, #418)内 4 S計器電源 NFB 「OFF」 テーピング実施 ・ 1次系プロセス計装 DC24V電源盤 4 S計器電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次系プロセス計装 DC24V電源盤 (A-712, #418)内 補助電源 AC 100V 	8/30	9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次Arガス圧力計装 電源の確保
21	2B-1C/C 動力・制御電源	2 B系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原付2B-1C/C(A-506, #231) B予熱N₂ ガスフロア潤滑油ポンプ (2C) B予熱N₂ ガスフロア軸封フロア (2E) 用NFB 「OFF」 ・ 原付2B-1C/C(A-506, #231)内 B予熱N₂ ガスフロア潤滑油ポンプ (2C) B予熱N₂ ガスフロア軸封フロア (2E) 用NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気圧縮機予備電源 (A-405, #151)内 2 S電源 AC 420V 	8/25	11/12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予熱N₂、フロア潤滑油ポンプ、軸封フロア 電源の確保

1. 1次系 計装電源 6S系

仮設電源 継込み 操作 (1/2)

(H5. 8/30 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前のプラント確認・操作</p> <p>(1) CT冷却ガス放射能監視盤を停止する。 ・ポテンションメータ（高圧設定）で印加電圧を0Vにする。 ・選択スイッチを「断」にする。 ・電源用NFBを「OFF」にする。</p> <p>(2) 呼吸ガス圧力ヘッダ-圧力（PIS36.1-9）が、$50 \pm 10 \text{ mmAq}$で安定していることを確認する。</p> <p>(3) 1次Ar呼吸ヘッダ圧力調整弁を「閉」にする。 ・供給弁 V36.1-20 「閉」 ・供給弁 V36.1-22 「閉」 ・排気弁 V36.1-44 「閉」 ・排気弁 V36.1-46 「閉」</p>	<p>A-207 (#035)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>		<p>・A-207のモニタ 参照</p>
2	<p>1次系 計装電源 6S系の仮設電源 継込み。</p> <p>(1) 1次制御盤にて、補助電源AC100V NFBの「OFF」を確認する。</p> <p>(2) 中制分電盤 6Sフィダーの#424盤用NFBを「OFF」にする。</p> <p>(3) 1次制御盤にて、6S系電源引込みケーブル(Z-023-03 VR,VT)をリフトし、#424盤内、補助電源AC100Vを接続する。</p> <p>(4) #424盤内、補助電源 AC100V NFBを「ON」にする。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#426)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・1次制御盤 (#424) 計器電源 喪失 ・2課で実施</p> <p>・1次制御盤 (#424) 計器電源 復電</p>
3	<p>操作後、プラント復旧。</p> <p>(1) 1次制御盤の各計器が復旧したこと及び、呼吸ガス圧力調整ヘッダ-圧力（PIS36.1-9）が、$50 \pm 10 \text{ mmAq}$であることを確認する。</p> <p>(2) 1次Ar呼吸ヘッダ圧力調整弁を「自動」にする。 ・供給弁 V36.1-20 「自動」 ・供給弁 V36.1-22 「自動」 ・排気弁 V36.1-44 「自動」 ・排気弁 V36.1-46 「自動」</p> <p>(3) 1次Arガス系のカバーガス圧力制御が正常であることを確認する。</p> <p>(4) CT冷却ガス放射能監視盤を起動する。 ・電源用NFBを「ON」にし、印加電圧0Vを確認する。 ・選択スイッチを「高圧」にする。 ・ポテンションメータ（高圧設定）で印加電圧を900Vにする。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-207 (#035)</p>		<p>・A-207のモニタ 参照</p>

1. 1次系 計装電源 6S系

仮設電源 継込み 操作 (2/2)

(H5. 8/30 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	(5) 1次Na液面計変換器(2)の ・LIC31. 1-4A (1次主循環ポンプA) ・LIC31. 1-4B (1次主循環ポンプB) ・LIC31. 1-5A (オーバーフローコラムA) ・LIC31. 1-5B (オーバーフローコラムB) を「MAN」から「AUTO」に切り替える。	A-504 (#202-2)		

1. 1次系 計装電源 6S系

仮設電源 復旧 操作 (1/2)

(H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前のプラント確認・操作</p> <p>(1) CT冷却ガス放射能監視盤を停止する。 ・ポテンションメータ（高圧設定）で印加電圧を0Vにする。 ・選択スイッチを「断」にする。 ・電源用NFBを「OFF」にする。</p> <p>(2) 呼吸ガス圧力ヘッダ-圧力（PIS36.1-9）が、$50 \pm 10 \text{ mmAq}$で安定していることを確認する。</p> <p>(3) 1次Ar呼吸ヘッダ圧力調整弁を「閉」にする。 ・供給弁 V36.1-20 「閉」 ・供給弁 V36.1-22 「閉」 ・排気弁 V36.1-44 「閉」 ・排気弁 V36.1-46 「閉」</p>	<p>A-207 (#035)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>		<p>・A-207のマニュアル参照</p>
2	<p>1次系 計装電源 6S系の仮設電源 継込み。</p> <p>(1) #424盤内、補助電源 AC100V NFBを「OFF」にする。</p> <p>(2) 1次制御盤にて、6S系の仮設電源ケーブルを取り外し、本設ケーブル(Z-023-03 VR, VT)を復旧する。100Vを接続する。</p> <p>(3) 中制分電盤 6Sフィダーの#424盤用NFBを「ON」にする。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#426)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・1次制御盤 (#424) 計器電源 喪失 ・2課で実施</p> <p>・1次制御盤 (#424) 計器電源 復電</p>
3	<p>操作後、プラント復旧。</p> <p>(1) 1次制御盤の各計器が復旧したこと及び、呼吸ガス圧力調整ヘッダ-圧力（PIS36.1-9）が、$50 \pm 10 \text{ mmAq}$であることを確認する。</p> <p>(2) 1次Ar呼吸ヘッダ圧力調整弁を「自動」にする。 ・供給弁 V36.1-20 「自動」 ・供給弁 V36.1-22 「自動」 ・排気弁 V36.1-44 「自動」 ・排気弁 V36.1-46 「自動」</p> <p>(3) 1次Arガス系のカバーガス圧力制御が正常であることを確認する。</p> <p>(4) CT冷却ガス放射能監視盤を起動する。 ・電源用NFBを「ON」にし、印加電圧0Vを確認する。 ・選択スイッチを「高圧」にする。 ・ポテンションメータ（高圧設定）で印加電圧を900Vにする。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-207 (#035)</p>		<p>・A-207のマニュアル参照</p>

1. 1次系 計装電源 6S系

仮設電源 復旧 操作 (2/2)

(H5 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	(5) 1次Na液面計変換器(2)の ・LIC31.1-4A(1次主循環ポンプA) ・LIC31.1-4B(1次主循環ポンプB) ・LIC31.1-5A(オーバーフローコラムA) ・LIC31.1-5B(オーバーフローコラムB) を「MAN」から「AUTO」に切り替える。	A-504 (#202-2)		

2. 1次系 制御電源 7S系

仮設電源 継込み 操作 (1/1)

(H5. 8/30 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前のプラント確認・操作</p> <p>(1) 次の各弁のロックが完了している事を、弁ロックリストにて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Arガス供給側締切弁 V36.1-36 R-303 ・ 純化系 冷却水止弁 V36.1-29 A-207 <p>(2) 呼吸ガス圧力調整ヘッダー圧力及び、安全容器圧力が通常運転値で安定している事を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PIS 36.1-9 50±20 mmAq ・ PIS 83-2 70~300 mmAq 			<p>・ 7S電源「OFF」に よ、以下の弁が 「閉」となる。 1次Arガス系 V36.1-20 V36.1-22 V36.1-36 (開ロック) V36.1-44 V36.1-46 V36.1-14A V36.1-14B 純化系 V34.1-29 (開ロック) カナルドリ弁 V31.1-64 A,B V31.1-65 A,B 安全容器 V83-6, 11, 14 リークジャケット V71-27, 29, 32</p>
2	<p>1次系 制御電源 7S系の仮設電源 継込み。</p> <p>(1) 1次制御盤内、補助電源DC100VのNFBの「OFF」を確認する。</p> <p>(2) 中制分電盤内、7Sフィーダの#424盤NFBを「OFF」にする。</p> <p>(3) #424盤にて、下記の電源引込みケーブルをリフトする。 ・ケーブルNo. Z023-01 P, N</p> <p>(4) リフトした端子に#424盤内、補助電源 DC 100Vを接続する。</p> <p>(5) #424盤内、補助電源 DC 100V用NFBを「ON」にする。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#426)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・ 2課で実施</p>
3	<p>操作後、プラント復旧。</p> <p>(1) 主ポンプ軸シール入口 (V36.1-14A, 14B)の自動「開」を確認する。</p> <p>(2) 1次Arガス系、安全容器、リークジャケットの各圧力調整弁の電源が復旧した事をランプ点灯にて確認する。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>		

2. 1次系 制御電源 7S系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前のプラント確認・操作</p> <p>(1) 次の各弁のロックが完了している事を、弁ロックリストにて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Arガス供給側締切弁 V36. 1-36 ・ 純化系 冷却水止弁 V36. 1-29 <p>(2) 呼吸ガス圧力調整ヘッダー圧力及び、安全容器圧力が通常運転値で安定している事を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PIS 36. 1-9 50±20 mmAq ・ PIS 83-2 70~300 mmAq 	<p>R-303</p> <p>A-207</p> <p>A-712 (#424)</p>		<p>・ 7S電源「OFF」により、以下の弁が「閉」となる。</p> <p>1次Arガス系 V36. 1-20 V36. 1-22 V36. 1-36 (開ロック) V36. 1-44 V36. 1-46 V36. 1-14A V36. 1-14B</p> <p>純化系 V34. 1-29 (開ロック)</p> <p>カクシド弁 V31. 1-64 A, B V31. 1-65 A, B</p> <p>安全容器 V83-6, 11, 14</p> <p>リークジャケット V71-27, 29, 32</p>
2	<p>1次系 制御電源 7S系の仮設電源 取外し。</p> <p>(1) 1次制御盤内、補助電源DC100VのNFBの「OFF」にする。</p> <p>(2) #424盤にて、仮設ケーブルを取外し、下記の電源引込みケーブルを接続する。 ・ケーブルNo. Z023-01 P, N</p> <p>(3) 中制分電盤内、7Sフィーダの#424盤NFBを「ON」にする。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#426)</p> <p>A-712 (#426)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ 2課で実施</p>
3	<p>操作後、プラント復旧。</p> <p>(1) 主ポンプ軸シール入口 (V36. 1-14A, 14B)の自動「開」を確認する。</p> <p>(2) 1次Arガス系、安全容器、リークジャケットの各圧力調整弁の電源が復旧した事をランプ点灯にて確認する。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>		

3. 1次Arガス呼吸ヘッダ安全弁
 制御電源 7C, 7D系
 仮設電源 継込み 操作 (1/3) (H5.8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) 1次系カバーガス圧力が安定していることを確認する。 呼吸ガス圧力調整ヘッダ-圧力(PIS 36.1-9) 50±20mmAq	A-712 (#424)		・今回は、安全弁に盲板が取付けられている為、放管課のガスサンプルは、行はない。
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを隔離する。 (a) 供給弁 V36.1-20, 22 「閉」 (b) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」確認	A-712 (#424)		・隔離の復旧まで、ガス圧力の調整が不能の為、圧力監視を行う。
	(c) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「閉」	R-303		・隔離状態中、ガス圧力に異常が生じた場合は、速やかに隔離を復旧する。 順序：3
	(d) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「閉」	〃		
	(e) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「閉」	〃		
	(f) R/V, IHX (A), (B)呼吸弁 V36.1-31 「閉」確認	〃		
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパーシを行う。 (a) V36.1-44 「閉」 (b) V36.1-22 (供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパーシを3回行う。 (c) V36.1-44 「自動」 (d) V36.1-22 「閉」確認	A-712 (#424)		・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回と替え、V36.1-22を「閉」とする。
	(4) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを負圧にする。 (a) 排気弁 V36.1-46 「閉」 (b) 呼吸ガス圧力ヘッダ-圧力 (V36.1-9) 0mmAq以下 確認 (c) 排気弁 V36.1-46 「自動」	A-712 (#424)		・炉容器がガス圧力に注意。

3. 1次Arガス呼吸ヘッダ安全弁
 制御電源 7C, 7D系
 仮設電源 継込み 操作 (2/3) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	1次Arガス呼吸ヘッダ安全弁 制御電源 7C, 7D系 仮設電源 継込み。			<ul style="list-style-type: none"> ・7C, 7D 電源喪失で安全弁 V36.1-62A, 62B が「開」になるが現在安全弁には盲板が取付けられている。 ・2課にて実施
	(1) 1次補助継電器盤(1)、(2)の補助電源 DC110V NFBの「OFF」を確認する。	A-712 (#411-1) (#411-2)		
	(2) 中制分電盤内、7Cフィーダーの#411-1盤用NFBを「OFF」にする。	A-712 (#426)	○	
	(3) 中制分電盤内、7Dフィーダーの#411-2盤用NFBを「OFF」にする。	A-712 (#426)	○	
	(4) #411-1盤・#411-2盤にて、下記のNFBを「OFF」にし、NFB 2次側に補助電源DC110Vを接続する。 <ul style="list-style-type: none"> ・7C操作 NFB 2次側 ・7D操作 NFB 2次側 	A-712 (#411-1) (#411-2)		
(5) #411-1盤・#411-2盤にて、下記のNFBを「ON」にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・7C操作 NFB 2次側 ・7D操作 NFB 2次側 	A-712 (#411-1) (#411-2)	○○		
3	操作後、プラント復旧			<ul style="list-style-type: none"> ・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回とかえ、V36.1-22を「閉」とする。
	(1) 1次Ar呼吸ガスヘッダ安全弁(V36.1-62A, 62B) が「閉」になったことを確認する。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う。 (a) V36.1-44 「閉」 (b) V36.1-22 (供給弁小弁) を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを10回行う。	A-712 (#424)		

3. 1次Arガス呼吸ヘッダ安全弁
 制御電源 7C, 7D系
 仮設電源 継込み 操作 (3/3) (H5.8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを復旧する。			
	(a) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「開」	R-303		
	(b) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「開」	R-303		
	(c) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「開」	R-303		
3	(d) 供給弁 V36.1-20、22 「自動」	A-712 (#424)		
	(e) 排気弁 V36.1-44、46 「自動」	A-712 (#424)		
	(4) 1次系カバーガス圧力制御が正常に行われていることを確認する。	A-712 (#424)		

3. 1次Arガス呼吸ヘッダ安全弁
 制御電源 7C, 7D系
 仮設電源 復旧 操作 (1/3) (H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) 1次系カバーガス圧力が安定していることを確認する。 呼吸ガス圧力調整ヘッダ-圧力(PIS 36.1-9) 50 ± 20 mmAq	A-712 (#424)		・今回は安全弁に盲板が取付けられている為、放管課のガスソリッドは、行はない。
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを隔離する。			・隔離の復旧は、ガス圧力の調整が不能の為、圧力監視を行う。
	(a) 供給弁 V36.1-20, 22 「閉」	A-712 (#424)		
	(b) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	"		・隔離状態中、ガス圧力に異常が生じた場合は、速やかに隔離を復旧する。 順序：3
	(c) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「閉」	R-303		
	(d) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「閉」	"		
	(e) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「閉」	"		
	(f) R/V, IHX (A), (B)呼吸弁 V36.1-31 「閉」 (確認)	"		
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスバージを行う。	A-712 (#424)		
	(a) V36.1-44 「閉」			
	(b) V36.1-22 (供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスバージを3回行う。			・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回おぼえ、V36.1-22を「閉」とする。
	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(4) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを負圧にする。	A-712 (#424)		・炉容器がガス圧力に注意。
	(a) 排気弁 V36.1-46 「閉」			
	(b) 呼吸ガス圧力ヘッダ-圧力 (V36.1-9) 0 mmAq以下 確認			
	(c) 排気弁 V36.1-46 「自動」			

3. 1次Arガス呼吸ヘッダ安全弁
 制御電源 7C, 7D系
 仮設電源 復旧 操作 (2/3) (H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	1次Arガス呼吸ヘッダ安全弁 制御電源 7C, 7D系 仮設電源 取外し。 (1) 1次補助継電器盤(1)、(2)の補助電源 DC110V NFBを「OFF」にする。 (2) #411-1盤・#411-2盤にて、下記のNFBの2次側の仮 設ケーブルを取り外す。 ・7C操作 NFB 2次側 ・7D操作 NFB 2次側 (3) 中制分電盤内、7Cフィーダの#411-1盤用NFBを 「ON」にする。 (4) 中制分電盤内、7Dフィーダの#411-2盤用NFBを 「ON」にする。 (5) #411-1盤・#411-2盤にて、下記のNFBを「ON」に する。 ・7C操作 NFB 2次側 ・7D操作 NFB 2次側	A-712 (#411-1) (#411-2) A-712 (#411-1) (#411-2) A-712 (#426) A-712 (#426) A-712 (#411-1) (#411-2)	* *	・7C, 7D 電源喪失で安全弁 V36.1-62A, 62Bが「開」になるが現在安全弁には盲板が取付けられている。
3	操作後、プラント復旧 (1) 1次Ar呼吸ガスヘッダ安全弁(V36.1-62A, 62B) が「閉」になったことを確認する。 (2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う。 (a) V36.1-44 「閉」 (b) V36.1-22 (供給弁小弁) を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを10回行う。	A-712 (#424) A-712 (#424)		・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回とかえ、V36.1-22を「閉」とする。

3. 1次Arガス呼吸ヘッダ安全弁
 制御電源 7C, 7D系
 仮設電源 復旧 操作 (3/3) (H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを復旧する。			
	(a) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「開」	R-303		
	(b) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「開」	R-303		
	(c) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「開」	R-303		
	(d) 供給弁 V36.1-20、22 「自動」	A-712 (#424)		
	(e) 排気弁 V36.1-44、46 「自動」	A-712 (#424)		
	(4) 1次系カバーガス圧力制御が正常に行われていることを確認する。	A-712 (#424)		

4. 1次Na漏洩検出器電源 6C系

仮設電源 継込み 操作 (1/1)

(H5. 8/30 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	1次Na漏洩検出器電源 6C系 仮設電源 継ぎ込み。 (1) 1次Na漏洩検出器盤(2)内、補助電源 AC100V NFB (2ヶ) の「OFF」を確認する。 (2) A-504 補助電源「現場分電盤」内、#203-2盤用 NFBを「ON」にする。 (3) 中制分電盤の6Cフィーダーの#203-1盤用NFBを「OFF」にする。 (4) #203-2盤内、6C計装電源NFB及び6C漏洩検出器 NFBを「OFF」にする。 (5) #203-2盤内、補助電源AC100Vを6C計装電源及び6C漏洩検出器NFBの2次側に接続する。 (6) #203-2盤内、補助電源AC100V NFB (2ヶ) を「ON」にする。	A-504 (#203-2) A-504 A-712 (#426) A-504 (#203-2) A-504 (#203-2) A-504 (#203-2)	 ○ ○ ○ ○ ○○	 ・2課で実施
2	1次Na漏洩検出器電源が供給された事を#203-1、#203-2盤のWランプで確認する。	A-504 (#203-1) (#203-2)		

4. 1次Na漏洩検出器電源 6C系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	1次Na漏洩検出器電源 6C系 仮設電源 取外し。 (1) #203-2盤内、補助電源AC100V NFB (2ヶ) 及びA-504 補助電源「現場分電盤」内、#203-2盤用 NFBを「OFF」にする。 (2) #203-2盤内、6C計装電源NFB及び6C漏洩検出器 NFBの2次側の仮設電源を取り外す。 (3) 中制分電盤の6Cフィーダーの#203-1盤用NFBを「ON」にする。 (4) #203-2盤内、6C計装電源NFB及び6C漏洩検出器 NFBを「ON」にする。	A-504 (#203-2) A-504 (#203-2) A-712 (#426) A-504 (#203-2)	 *** * *	 ・2課で実施
2	1次Na漏洩検出器電源が供給された事を#203-1、#203-2盤のWランプで確認する。	A-504 (#203-1) (#203-2)		

5. 2次冷却系 制御電源 7S系

仮設電源 継込み 操作 (1/1)

(H5. 8/30 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	2次冷却系 制御電源 7S系 仮設電源 継ぎ込み。 (1) 2次制御盤内、補助電源 DC100V用NFBの「OFF」を確認する。 (2) 中制分電盤の7Sフィーダの#425盤用NFBを「OFF」にする。 (3) #425盤内、7S電源引込みケーブル(ZP 36 CTS1 3BP・3BN)をリフトし、盤内補助電源DC100Vを接続する。 (4) #425盤内、盤内補助電源 DC100V用NFBを「ON」にする。	A-712 (#425) A-712 (#426) A-712 (#425) A-712 (#425)	 ○ ○ ○	・2課で実施

5. 2次冷却系 制御電源 7S系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	2次冷却系 制御電源 7S系 仮設電源 取外し。 (1) 2次制御盤内、補助電源 DC100V用NFBの「OFF」にする。 (2) #425盤内、7S電源引込み端子に接続の仮設電源ケーブルを取外し、リフトしていた7S電源引き込みケーブル(ZP 36 CTS1 3BP・3BN)を復旧する。 (3) 中制分電盤の7Sフィーダの#425盤用NFBを「ON」にする。	A-712 (#425) A-712 (#425) A-712 (#426)	* * *	・2課で実施

6. 2次Na漏洩検出器電源 6S系

仮設電源 継込み 操作 (1/1)

(H5.8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	2次Na漏洩検出器電源 6S系仮設電源 継ぎ込み。 (1) 2次Na漏洩警報盤内、補助電源 AC100V用 NFBの「OFF」を確認する。 (2) 中制分電盤の6Sフィーダの#410、#428盤用NFBを「OFF」にする。 (3) #410盤内、6S電源引込み端子台(TB-5)の端子No. 91VA1, 91VA2のケーブルをリフトし、盤内補助電源 AC100Vを接続する。 (4) #410盤内、補助電源 AC100V用NFBを「ON」にする。	A-712 (#410) A-712 (#426) A-712 (#410) A-712 (#410)	 ○ ○ ○	・2課で実施
2	2次Na漏洩検出器電源が供給された事を盤内ランプ及び制御電源Rランプにて確認する。	A-712 (#410)		

6. 2次Na漏洩検出器電源 6S系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	2次Na漏洩検出器電源 6S系仮設電源 取外し。 (1) 2次Na漏洩警報盤内、補助電源 AC100V用 NFBを「OFF」にする。 (2) #410盤内、6S電源引込み端子台(TB-5)の仮設ケーブルを取外し、リフトしていた本設ケーブルを接続する。 (3) 中制分電盤の6Sフィーダの#410、#428盤用NFBを「ON」にする。	A-712 (#410) A-712 (#410) A-712 (#426)	* * *	・2課で実施
2	2次Na漏洩検出器電源が供給された事を盤内ランプ及び制御電源Rランプにて確認する。	A-712 (#410)		

7. 1次予熱ヒータ操作電源（操作用） 4S系

仮設電源 継込み 操作 (1/1)

(H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認。 (1) 1次予熱ヒータ制御が正常に動作中であることを確認する。	A-504 (#207) (#208)		
2	1次予熱ヒータ操作電源 4S系仮設電源継込み。 (1) 1次冷却系計装分電盤内、補助電源AC100V NFBの「OFF」を確認する。 (2) A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#213盤用AC100V NFBを「ON」にする。 (3) 1次冷却系計装分電盤内、AC100V(4S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBを「OFF」にする。 (4) 1次冷却系計装分電盤内、AC100V(4S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBの2次側に、1次冷却系計装分電盤内、補助電源AC100Vを接続する。 (5) 1次冷却系計装分電盤内、補助電源AC100V NFBを「ON」にする。	A-504 (#213) A-504 (#No.なし) A-504 (#213) A-504 (#213) A-504 (#213)	○ ○ ○	・2課にて結線チェックを行う ・NFBのCSをテーピングする ・2課で実施
3	操作後 プラント操作・確認。 (1) 1次予熱ヒータ操作盤の「START」PBを「ON」にし、温度制御系が正常復旧した事を確認する。	A-504 (#207) (#208)		

7. 1次予熱ヒータ操作電源（操作用） 4S系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認。 (1) 1次予熱ヒータ制御が正常に動作中であることを確認する。	A-504 (#207) (#208)		
2	1次予熱ヒータ操作電源 4S系仮設電源取外し。 (1) A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#213盤用AC100V NFB及び、1次冷却系計装分電盤内、補助電源AC100VNFBを「OFF」にする。 (2) 1次冷却系計装分電盤内、AC100V(4S)1次予熱ヒータ操作電源のNFB 2次側の仮設ケーブルを取外す。 (3) 1次冷却系計装分電盤内、AC100V(4S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBを「ON」にする。	A-504 (#No.なし) (#213) A-504 (#213) A-504 (#213)	** *	・2課で実施。
3	操作後 プラント操作・確認。 (1) 1次予熱ヒータ操作盤の「START」PBを「ON」にし、温度制御系が正常に復旧した事を確認する。	A-504 (#207) (#208)		

8. 1次予熱ヒータ操作電源（警報用） 7S系
 仮設電源 継込み 操作（1/1） (H5.8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	1次予熱ヒータ操作電源 7S系 仮設電源 継ぎ込み			
	(1) 1次冷却系計装分電盤内、補助電源 DC100V NFBの「OFF」を確認する。	A-504 (#213)		
	(2) A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#213 盤用DC100V NFBを「ON」にする。	A-504 (#Noなし)	○	・2課にて結線 ファックを行う。
	(3) 1次冷却系計装分電盤内、DC110V(7S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	○	・NFBのCSを テピンする。
	(4) 1次冷却系計装分電盤内、DC110V(7S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBの2次側に、同盤内の補助電源DC100Vを接続する。	A-504 (#213)		・2課で実施。
	(5) 1次冷却系計装分電盤内、補助電源 DC100V NFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	○	
2	操作後 プラント確認。			
	(1) 1次予熱ヒータ操作盤にて、警報表示がされていることを確認する。	A-504 (#207)		

8. 1次予熱ヒータ操作電源（警報用） 7S系
 仮設電源 復旧 操作（1/1） (H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	1次予熱ヒータ操作電源 7S系 仮設電源 取外し			
	(1) A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#213 盤用DC100V NFB及び、1次冷却系計装分電盤内、補助電源DC100V NFBを「OFF」にする	A-504 (#Noなし) (#213)	**	
	(2) 1次冷却系計装分電盤内、DC110V(7S)1次予熱ヒータ操作電源のNFB 2次側の仮設ケーブルを取り外す。	A-504 (#213)		・2課で実施
	(3) 1次冷却系計装分電盤内、DC110V(7S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	*	
2	操作後 プラント確認。			
	(1) 1次予熱ヒータ操作盤にて、警報表示がされていることを確認する。	A-504 (#207)		

9. 2次予熱ヒータ制御電源 6D系

仮設電源 継込み 操作 (1/1)

(H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認 (1) 2次主冷却系予熱制御盤A, Bが正常に作動中であることを確認する。	S-402 (#662.663)		
2	2次主冷却系予熱制御盤 6D系 仮設電源 継ぎ込み (1) 2次系予熱制御装置NFB (A系電源, B系電源、共通電源)を「OFF」にする。 (2) 6D電源盤内、2次予熱制御装置NFB-C2を「OFF」にする。 (3) 仮設の定検NFBから2次予熱制御装置へ仮設ケーブルを接続する。 (4) 補助電源設備(現場分電盤)内、定検用NFBを「ON」にする。 (5) 仮設の定検用NFBを「ON」にする。	S-402 (#663) A-707 (#340) S-402 (#661.663) S-402 S-402 (#661)	○ ○ ○	・2課にて結線 チェックを行う。
3	(1) 2次系予熱制御装置NFB (A系電源, B系電源、共通電源)を「ON」にする。 (2) 2次系予熱制御装置のIPLを行う。	S-402 (#663) S-402 (#663)		

9. 2次予熱ヒータ制御電源 6D系

仮設電源 復旧 操作

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認 (1) 2次主冷却系予熱制御盤A, Bが正常に作動中であることを確認する。	S-402 (#662.663)		
2	2次主冷却系予熱制御盤 6D系 仮設電源 取外し (1) 2次系予熱制御装置NFB (A系電源, B系電源、共通電源)を「OFF」にする。 (2) 仮設の定検用NFBを「OFF」にする。 (3) 補助電源設備(現場分電盤)内、定検用NFBを「OFF」にする。 (4) 仮設ケーブルを取外し、継ぎ込み作業前状態に復旧する。	S-402 (#663) S-402 (#661) S-402 S-402 (#661.663)	* *	・2課にて結線 チェックを行う。

9. 2次予熱ヒータ 制御電源 6D系

仮設電源 復旧 操作

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	(5) 6D電源盤内、2次予熱制御装置NFB-C2を「ON」にする。	S-402 (#340)	*	
3	(1) 2次系予熱制御装置NFB (A系電源、B系電源、共通電源)を「ON」にする。 (2) 2次系予熱制御装置のIPLを行う。	S-402 (#663) S-402 (#663)		

1 0 . 2 次補助予熱ヒータ 制御電源 4 S 系

仮設電源 継込み 操作 (1/1) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認。 (1) 2次補助予熱制御盤が正常に動作中である事を確認する。	A-505 (#222)		
2	2次補助予熱ヒータ制御電源4S系 仮設電源 継込み。 (1) 2次補助系分電設備4S内、補助電源AC100V NFBが「OFF」である事を確認する。 (2) A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#221盤用AC100Vを「ON」にする。 (3) 2次補助系分電設備4S内、2次補助系現場制御盤制御電源NFBを「OFF」にする。 (4) 2次補助系分電設備4S内、2次補助系現場制御盤制御電源NFBの2次側に、2次補助系分電設備4S内、補助電源AC100Vを接続する。 (5) 2次補助系現場制御盤内、補助電源AC100V NFBを「ON」にする。	A-505 (#221内) A-504 (#Naなし) A-505 (#221内) A-505 (#221内) A-505 (#221内)	○ ○ ○	・2課にて結線 チェックを行う ・NFBのCSを テビグする。 ・2課で実施。
3	操作後 プラント確認。 (1) 2次補助予熱制御盤が正常に動作する事を確認する。	A-505 (#222)		

1 0 . 2 次補助予熱ヒータ 制御電源 4 S 系

仮設電源 復旧 操作 (1/1) (H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認。 (1) 2次補助予熱制御盤が正常に動作中である事を確認する。	A-505 (#222)		
2	2次補助予熱ヒータ制御電源4S系 仮設電源 取り外し (1) 2次補助系現場制御盤内、補助電源AC100V NFB及び、A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#221盤用AC100V NFBを「OFF」にする。 (2) 2次補助系分電設備4S内、2次補助系現場制御盤制御電源NFB 2次側の仮設ケーブルを取り外す。 (3) 2次補助系分電設備4S内、2次補助系現場制御盤制御電源NFBを「ON」にする。	A-504 (#Naなし) A-505 (#221内) A-505 (#221内) A-505 (#221内)	* * *	・2課で実施。

10. 2次補助予熱ヒータ 制御電源 4S系

仮設電源 復旧 操作

(H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	操作後 プラント確認。 (1) 2次補助予熱制御盤が正常に動作する事を確認する。	A-505 (#222)		

1 1 . 予熱N2 ガス系計装・制御電源 4 S・7 S系

仮設電源 継込み 操作 (1/1) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	予熱N2 ガス系制御電源4 S系の仮設電源 継込み。			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤にて、補助電源AC100V NFBが「OFF」である事を確認する。	A-504 (#213)		
	(2) A-504室補助電源「現場分電盤」内、#213盤用AC100V NFBを「ON」にする。	A-504	○	・2課にて結線フェックをおこなう。
	(3) 1次冷却系計装用分電盤にて、予熱N2 ガス系制御電源4 S系のNFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	○	・NFBのCSKテピングする。
	(4) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源4 S系のNFB 2次側に#213盤内、補助電源AC100Vを接続する。	A-504 (#213)		・2課にて実施
(5) 上記、補助電源のNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	○		
2	予熱N2 ガス系 軸封ブロワ制御電源 4 S系の仮設電源 継込み			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤にて、補助電源AC100V NFBが「OFF」である事を確認する。	A-504 (#213)		
	(2) A-504室補助電源「現場分電盤」内、#213盤用AC100V NFBを「ON」にする。	A-504	○	・2課にて結線フェックをおこなう。
	(3) 1次冷却系計装用分電盤にて、予熱N2 ガス系軸封ブロワ制御電源4 S系のNFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	○	・NFBのCSKテピングする。
	(4) #213盤内、予熱N2 ガス系軸封ブロワ制御電源4 S系のNFB 2次側に#213盤内、補助電源AC100Vを接続する。	A-504 (#213)		・2課にて実施
(5) 上記、#213盤内、補助電源のNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	○		
3	予熱N2 ガス系制御電源7 S系の仮設電源 継込み。			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤にて、補助電源DC100V NFBが「OFF」である事を確認する。	A-504 (#213)		
	(2) A-504室補助電源「現場分電盤」内、#213盤用DC100V NFBを「ON」にする。	A-504	○	・2課にて結線フェックをおこなう。
	(3) 1次冷却系計装用分電盤にて、予熱N2 ガス系制御電源7 S系のNFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	○	・NFBのCSKテピングする。 ・V71-17,20 閉となる。
	(4) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源7 S系のNFB 2次側に#213盤内、補助電源DC100Vを接続する。	A-504 (#213)		・2課にて実施
(5) 上記、補助電源のNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	○	・V71-17,20 操作可	

1 1 . 予熱N2 ガス系計装・制御電源 4 S ・ 7 S 系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5. 11/12 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	予熱N2 ガス系制御電源4 S系の仮設電源 復旧			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤内、補助電源AC100V NFB及び、A-504室補助電源「現場分電盤」内 #213盤用AC100V NFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	**	
	(2) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源4 SのNFB 2次側の仮設電源ケーブルを取外す。	A-504 (#213)		・2課にて実施
	(3) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源4 SのNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	*	
2	予熱N2 ガス系 軸封ブロウ制御電源 4 S系の仮設電源 復旧			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤内、補助電源AC100V NFB及び、A-504室補助電源「現場分電盤」内 #213盤用AC100V NFBを「OFF」にする。	A-504 (#213) A-504	**	
	(2) 1次冷却系計装用分電盤内にて、予熱N2 ガス系 軸封ブロウ制御電源4 SのNFB 2次側のケーブルを取外す。	A-504 (#213)		・2課にて実施
	(3) #213盤内、予熱N2 ガス系軸封ブロウ制御電源4 SのNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	*	
3	予熱N2 ガス系制御電源7 S系の仮設電源 復旧			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤内、補助電源DC100V NFB及び、A-504室補助電源「現場分電盤」内 #213盤用DC100V NFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	**	・V71-17,20 閉 とる。
	(2) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源7 S系のNFB 2次側の仮設ケーブルを取り外す。	A-504 (#213)		・2課にて実施
	(3) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源7 S系のNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	*	・V71-17,20 操作可

1 2 . 補機冷却系 計装盤用電源 6 S ・ 7 S 系

仮設電源 継込み 操作 (1/2) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前 プラント操作・確認</p> <p>(1) 補機冷却系の弁ロックが終了していること。</p> <p>(2) 補機系・空調系冷却塔ブロワのインバーク盤CSを「停止」にする。</p> <p>(3) 床下圧力制御器(PdIC 84-201)の「MAN」0%を確認する。</p> <p>(現在、「MAN」0%。本来6S喪失に対する床下圧力制御器(PdIC84-201)の制御不可対策として、「MAN」50%にするが、[V84-97を「開」にしない対策。] [V84-97の電源は6Cであるが、6S喪失で床下圧力制御器の出力信号が0%となるため、「開」になる。] 現在すでに、V84-97が「開」で問題がないため、確認のみとする。</p> <p>(4) 遮コン圧力制御器(PDRICA84-301)の「MAN」100%を確認する。</p> <p>** 現在「MAN」100%であるが、6S喪失で遮コン圧力制御器の出力信号が0%となり、V84-150が「開」になり、圧空が供給されるため、V84-151を「閉」にする。</p> <p>** 床上圧力制御器(PdRICA84-101)は、6S喪失で制御不可になるが、床上圧力制御ダンパ(DP84-18.24)は、6S喪失で開度保持であり、床上圧力の大きな変動はないと考え、対策は講じない。</p> <p>** アニュラス部圧力制御器(PDICA84-501)は、6S喪失で制御不可になるが、現在、アニュラス部排気ファンが停止しているため、対策は必要ない。</p> <p>** アニュラス部排気ファンバイパス弁：V84-1001(6S)も同様に6S喪失で「閉」になるが、現在、アニュラス部排気ファンが停止しているため、対策は必要ない。</p>	<p>A-704</p> <p>A-712 (#422)</p> <p>A-712 (#422)</p> <p>R-501</p>		<p>・弁ロックにより確認する。</p> <p>・遮コン。給気調整弁(V84-150)のF0のため</p>
2	<p>補機冷却系計装盤用電源 6 S ・ 7 S 系仮設電源継ぎ込み</p> <p>(6 S系)</p> <p>(1) 補機冷却系計装盤内、補助電源AC100V NFBの「OFF」を確認する。</p> <p>(2) 中制分電盤6Sフィーダーの#422, #413盤用NFBを「OFF」にする。</p>	<p>A-712 (#413)</p> <p>A-712 (#426)</p>	○	<p>・NFBのCSをテビタする。</p>

1 2 . 補機冷却系 計装盤用電源 6 S ・ 7 S 系

仮設電源 継込み 操作 (2/2) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	(3) 補機冷却系計装盤内、6 S NFBの1次側に同盤内補助電源AC100Vを接続する。	A-712 (#413)		・2課で実施
	(4) 補機冷却系計装盤内、補助電源AC100V NFBを「ON」にする。 (7 S系)	A-712 (#413)	○	
	(5) 補機冷却系計装盤内、補助電源AC100V NFBの「OFF」を確認する。	A-712 (#413)		
	(6) 補機冷却系計装盤内、7 S NFBを「OFF」にする。	A-712 (#413)	○	・NFB のCSをテ- ィンクする。
	(7) 補機冷却系計装盤内、7 S NFBの2次側に同盤内補助電源DC100Vを接続する。	A-712 (#413)		・2課で実施
	(8) 補機冷却系計装盤内、補助電源DC100V NFBを「ON」にする。	A-712 (#413)	○	
	3 操作後 プラント操作・確認			
	(1) 補機系・空調系冷却塔ブロワのインバータ盤にて停止したブロワを起動する。	A-704		

1 2 . 補機冷却系 計装盤用電源 6 S ・ 7 S 系

仮設電源 復旧 操作 (1/2)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前 プラント操作・確認</p> <p>(1) 補機系・空調系冷却塔ブロワのインバータ盤CSを「停止」にする。</p> <p>(2) 床下圧力制御器(PdIC 84-201) の「MAN」 0%を確認する。</p> <p>(現在、「MAN」 0%。本来6S喪失に対する床下圧力制御器(PdIC84-201)の制御不可対策として、「MAN」 50%にするが、[V84-97を「開」にしない対策。] [V84-97の電源は6Cであるが、6S喪失で床下圧力制御器の出力信号が0%となるため、「開」になる。] 現在すでに、V84-97が「開」で問題がないため、確認のみとする。</p> <p>(3) 遮コン圧力制御器(PDRICA84-301)の「MAN」 100%を確認する。</p> <p>** V84-151 を「開」にする。</p> <p>** 床上圧力制御器(PdRICA84-101)は、6S喪失で制御不可になるが、床上圧力制御ダンパ(DP84-18.24)は、6S喪失で開度保持であり、床上圧力の大きな変動はないと考え、対策は講じない。</p> <p>** アンユラス部圧力制御器(PDICA84-501) は、6S喪失で制御不可になるが、現在、アンユラス部排気ファンが停止しているため、対策は必要ない。</p> <p>** アンユラス部排気ファンバイパス弁：V84-1001 (6S)も同様に6S喪失で「閉」になるが、現在、アンユラス部排気ファンが停止しているため、対策は必要ない。</p>	<p>A-704</p> <p>A-712 (#422)</p> <p>A-712 (#422)</p> <p>R-501</p>		<p>・遮コン給気調整弁(V84-150)のFOのため</p>
2	<p>補機冷却系計装盤用電源 6 S ・ 7 S 系仮設電源 取外し (6 S 系)</p> <p>(1) 補機冷却系計装盤内、補助電源AC100V NFB を「OFF」にする。</p> <p>(2) 補機冷却系計装盤内、6S NFB の1次側の仮設ケーブルを取り外す。</p>	<p>A-712 (#413)</p> <p>A-712 (#413)</p>	<p>*</p>	<p>・2課で実施</p>

1 2 . 補機冷却系 計装盤用電源 6 S ・ 7 S 系

仮設電源 復旧 操作 (2/2)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	(3) 中制分電盤6Sフィーダーの#422, #413盤用NFBを「ON」にする。 (7S系)	A-712 (#426)	*	・2課で実施
	(4) 補機冷却系計装盤内、補助電源DC100V NFBを「OFF」にする。	A-712 (#413)	*	
	(5) 補機冷却系計装盤内、7S NFBの2次側の仮設ケーブルを取り外す。	A-712 (#413)		
	(6) 補機冷却系計装盤内、7S NFBを「ON」にする。	A-712 (#413)	*	
3	操作後 プラント操作・確認			
	(1) 補機系・空調系冷却塔ブロワのインバータ盤にて停止したブロワを起動する。	A-704		

1 3 . 廃棄物処理系監視盤電源 4 S系

仮設電源 継込み 操作 (1/1) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント状態 (1) 廃棄物処理系が正常に運転されている事を確認する。 (2) 廃液移送が行われていない事を確認する。	A-712 (#415) A-712 (#415)		
2	廃棄物処理系監視盤 4S系 仮設電源 継込み (1) 廃棄物処理系監視盤内、補助電源AC100V NFBが「OFF」である事を確認する。 (2) 廃棄物処理系監視盤内、主電源NFBを「OFF」にする。 (3) 廃棄物処理系監視盤内、主電源NFBの2次側に、廃棄物処理系監視盤内、補助電源AC100Vを接続する。 (4) 廃棄物処理系監視盤内、補助電源AC100V NFBを「ON」にする。	A-712 (#415) A-712 (#415) A-712 (#415) A-712 (#415)	○ ○	・NFBのCSをテ ィンクも。 ・2課で実施
3	操作後 プラント操作 (1) 廃棄物処理系の各計器が正常に復旧した事を確認する。 (2) 光伝送装置の電源P. B (Rランプ) を一旦「OFF」とし、再投入にて「光伝送装置異常」ANNがリセットできる事を確認する。	A-712 (#415) A-712 (#415)		

1 3 . 廃棄物処理系監視盤電源 4 S系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作			
	(1) 廃棄物処理系が正常に運転されている事を確認する。	A-712 (#415)		
	(2) 廃液移送が行われていない事を確認する。	A-712 (#415)		
2	廃棄物処理系監視盤 4 S系 仮設電源 取外し			
	(1) 廃棄物処理系監視盤内、補助電源AC100V NFBが「OFF」にする。	A-712 (#415)	*	
	(2) 廃棄物処理系監視盤内、主電源NFBの2次側仮設電源ケーブルを取外す。	A-712 (#415)		・2課で実施
	(3) 廃棄物処理系監視盤内、主電源NFBを「ON」にする。	A-712 (#415)	*	
3	操作後 プラント確認			
	(1) 廃棄物処理系の各計器が正常に復旧した事を確認する。	A-712 (#415)		
	(2) 光伝送装置の電源P. B (Rランプ) を一旦「OFF」とし、再投入にて「光伝送装置異常」ANNがリセットできることを確認する。	A-712 (#415)		

1 4 . A r ・ N₂ 廃ガス処理系 制御電源 4 S 系

仮設電源 継込み 操作 (1/2) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前 プラント操作・確認。</p> <p>(1) A r 廃ガス・N₂ 廃ガスが放出されていない事、仮設電源継込み終了まで(約30分間)放出される恐れがない事を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A r 廃ガスヘッド圧力(P I 6 1 - 4)にて、排気がない事。 ・1次A r ガス系(P I S 3 6 . 1 - 9)、安全容器(P I S 8 3 - 2)の圧力を確認し、排気の恐れがない事。ある場合は、手動で排気し、圧力を低めに保持する。 <p>(2) A r 廃ガス常用コンプレッサーの断水リレーのジャンパ準備が完了している事。(場所の確認、ジャンパケーブルの準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用コンプレッサーA : リレー 6 9 - F 1 - 1 ・常用コンプレッサーB : リレー 6 9 - F 1 - 2 (端子 5 - 3 間) <p>(3) 床排水ポンプA・BのCOSを「自動」から「手動」に切替える。 (電源OFFにて床排水ピットタンクレベル計がアップスケールになる。レベル計が超音波式のため、電源ON後正常値に復帰するには時間がかかりその間、床排水ポンプが連続運転になる為)</p> <p>(4) 廃ガス処理系N₂ 供給元弁V 6 1 - 2 2 Aを「閉」にする。 (廃ガスコンプレッサーN₂ パージ弁V 6 2 - 2 0 A 2 0 Bが開となる為の対策)</p>	<p>A - 1 0 4 (# 0 0 7) (# 0 0 8)</p> <p>A - 7 1 2 (# 4 1 5)</p> <p>A - 7 1 2 (# 4 2 4)</p> <p>A - 1 0 4 (# 0 0 7)</p> <p>A - 1 0 4 (# 0 0 7)</p> <p>A - 1 0 6</p>		<p>・メンテナンスに伴う廃ガス放出の有無についても注意が必要。</p> <p>・仮設電源継込み中、必ず廃ガス系の運転が必要になった場合、手動運転を可能にするための対策。</p> <p>・A - 1 0 6 の天井付近。</p> <p>・電源盤の鍵を持っていく。</p> <p>・2 課にて結線チェックを行う。</p> <p>・NFB の CS を テーピング する。</p> <p>・2 課で実施。</p>
2	<p>A r ・ N₂ 廃ガス処理系制御電源 4 S 系仮設電源継込み</p> <p>(1) 原子炉付属建家分電盤(4 S 系)内、補助電源 AC 1 0 0 V NFBが「OFF」である事を確認する。</p> <p>(2) A - 5 0 9 室、補助電源「現場分電盤」AC 1 0 0 V NFBを「ON」にする。</p> <p>(3) 原子炉付属建家分電盤(4 S 系)にて、廃棄物処理計装電源用NFBを「OFF」にする。</p> <p>(4) 原子炉付属建家分電盤(4 S 系)内、廃棄物処理計装電源用NFB 2 次側に、原子炉付属建家分電盤(4 S 系)内、補助電源AC 1 0 0 Vを接続する。</p> <p>(5) 原子炉付属建家分電盤(4 S 系)内、補助電源 AC 1 0 0 V NFBを「ON」にする。</p>	<p>A - 5 0 9 (# 2 7 1)</p> <p>A - 5 0 9</p> <p>A - 5 0 9 (# 2 7 1)</p> <p>A - 5 0 9 (# 2 7 1)</p> <p>A - 5 0 9 (# 2 7 1)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	

1 4 . A r ・ N₂ 廃ガス処理系 制御電源 4 S 系

仮設電源 継込み 操作 (2/2) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	操作後 プラント操作・確認。			
	(1) A r ・ N ₂ 廃ガス系が停止前の状態に復旧した事を確認する。	A-104 (#007) (#008)		<ul style="list-style-type: none"> ・ベビコンが起動した場合は自動停止を確認する。 ・A-106の天井付近。 ・仮設電源継込み前と同一選択
	(2) 廃ガス処理系N: 供給V62-22Aを開にする。	A-106		
	(3) A r 廃ガス貯留タンクの再選択を行う。	A-104 (#007)		
	(4) 床排水ポンプA・BのCOSを「手動」から「自動」に切替える。	A-104 (#007)		
	(5) 光伝送装置の電源P. B (Rランプ) を一旦「OFF」とし、再投入にて「光伝送装置異常」ANNがリセットできることを確認する。	A-712 (#415)		

1 4 . A r ・ N₂ 廃ガス処理系 制御電源 4 S 系

仮設電源 復旧 操作 (1/2)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作・確認。			
	(1) A r 廃ガス・N ₂ 廃ガスが放出されていない事、仮設電源継込み終了まで(約30分間)放出される恐れがない事を確認する。	A-104 (#007) (#008)		・メンテナンスに伴う 廃ガス放出の有無についても注意が必要。
	・A r 廃ガスヘッダ圧力(P I 6 1-4)にて、排気がない事。	A-712 (#415)		
	・1次A r ガス系(P I S 3 6. 1-9)、安全容器(P I S 8 3-2)の圧力を確認し、排気の恐れがない事。ある場合は、手で排気し、圧力を低めに保持する。	A-712 (#424)		
	(2) A r 廃ガス常用コンプレッサーの断水リレーのジャンパ準備が完了している事。(場所の確認、ジャンパケーブルの準備)	A-104 (#007)		・仮設電源継込み中、必ず 廃ガス系の運転が必要になった場合、 手動運転を可能にするための 対策。
	・常用コンプレッサーA:リレー 69-F1-1			
	・常用コンプレッサーB:リレー 69-F1-2 (端子 5-3 間)			
	(3) 床排水ポンプA・BのCOSを「自動」から「手動」に切替える。 (電源OFFにて床排水ビットタンクレベル計がアップスケールになる。レベル計が超音波式のため、電源ON後正常値に復帰するには時間がかかりその間、床排水ポンプが連続運転になる為)	A-104 (#007)		
	(4) 廃ガス処理系N:供給元弁V61-22Aを「閉」にする。 (廃ガスコンプレッサーN ₂ 、パージ弁V62-20A 20Bが開となる為の対策)	A-106		・A-106の 天井付近。
2	A r ・ N ₂ 廃ガス処理系制御電源 4 S 系仮設電源取外し			・電源盤の鍵を 持っていく。
	(1) A-509室、補助電源「現場分電盤」AC100V NFB及び、原子炉付属建家分電盤(4S系)内、補助電源AC100V NFBを「OFF」にする。	A-509 (#271) A-509	* *	
	(2) 原子炉付属建家分電盤(4S系)内、廃棄物処理計装電源用NFB2次側の仮設電源ケーブルを取外す。	A-509 (#271)		
	(3) 原子炉付属建家分電盤(4S系)にて、廃棄物処理計装電源用NFBを「ON」にする。	A-509 (#271)	*	・2課で実施。

1 4 . A r ・ N₂ 廃ガス処理系 制御電源 4 S 系

仮設電源 復旧 操作 (2/2)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	操作後 プラント操作・確認。			
	(1) A r ・ N ₂ 廃ガス系が停止前の状態に復旧した事を確認する。	A-104 (#007) (#008)		<ul style="list-style-type: none"> ・ベビコンが起動した場合は自動停止を確認する。 ・A-106の天井付近。 ・仮設電源継込み前と同一選択
	(2) 廃ガス処理系N ₂ 供給V62-22Aを開にする。	A-106		
	(3) A r 廃ガス貯留タンクの再選択を行う。	A-104 (#007)		
	(4) 床排水ポンプA・BのCOSを「手動」から「自動」に切替える。	A-104 (#007)		
	(5) 光伝送装置の電源P. B (Rランプ) を一旦「OFF」とし、再投入にて「光伝送装置異常」ANNがリセットできることを確認する。	A-712 (#415)		

1 5 . 通 信 装 置 用 電 源 6 S 系

仮設電源 継込み 操作 (1/1) (H5. 8/25 実施)

順序	操 作 ・ 確 認 事 項	操作場所	タグ管理	備 考
1	操作前 処置 (1) 通信装置が一時使用不能になることを一斉放送する。	A-712		
2	通信装置用電源 6S系 仮設電源 継ぎ込み (1) 通信装置盤内、補助電源AC100V NFBの「OFF」を確認する。	A-712 (#408)		
	(2) 中制分電盤 6Sフィーダーの#408盤用NFBを「OFF」にする。	A-712 (#426)	○	・NFBのCSをテ- ビ-グする。
	(3) 通信装置盤内、電源引込み用TB端子ケーブルをリフトし、そこに同盤内、補助電源AC100Vを接続する。	A-712 (#408)	○	・2課で実施
	(4) 通信装置盤内、補助電源AC100V NFBを「ON」にする。	A-712 (#408)	○	
3	操作後 処置 (1) 通信装置が使用可能になったことを一斉放送する。	A-712		

1 5 . 通 信 装 置 用 電 源 6 S 系

仮設電源 復旧 操作 (1/1) (H5. 9/9 実施)

順序	操 作 ・ 確 認 事 項	操作場所	タグ管理	備 考
1	操作前 処置 (1) 通信装置が一時使用不能になることを一斉放送する。	A-712		
2	通信装置用電源 6S系 仮設電源 取外し (1) 通信装置盤内、補助電源AC100V NFBを「OFF」にする。	A-712 (#408)	*	
	(2) 通信装置盤内、電源引込み用TB端子の仮設ケーブルを取外し、本設のケーブルを接続する。	A-712 (#408)	*	・2課で実施
	(3) 中制分電盤 6Sフィーダーの#408盤用NFBを「ON」にする。	A-712 (#426)	*	
3	操作後 処置 (1) 通信装置が使用可能になったことを一斉放送する。	A-712		

16. 床上酸素濃度検出器 電源 4S・4C系

仮設電源 継込み 操作 (1/1) (H5.8/27 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のO ₂ 濃度計停止操作 (1) O ₂ 濃度計盤内、MAINTENANCE」側にする。 (2) 変換器の電源スイッチを「切」にする。	R-601 (#575) R-601 (#575)		
2	床上酸素濃度検出器 電源 4S系の仮設電源 継込み (1) 原子炉建家分電盤内の酸素濃度分析装置用NFBを「切」にする。 (2) 床上酸素濃度分析計電源NFBの1次側をリフトし、補助電源AC100Vを接続する。 (3) 補助電源分電盤(3)内NFBNo.408 (定検用仮設電源R-601 床上O ₂ 計)を「入」にする。 (4) 床上酸素濃度監視盤内の補助電源AC100VNFBを「入」にする。	R-601 (#559) R-601 (#455) A-707 (#326) R-601 (#455)	○ ○ ○	・2課で実施 ・端子部を十分にテピングする。
3	酸素モニター盤 (床上O ₂ 濃度記録計) 電源4C系の 仮設電源 継込み (1) 4C電源盤内、酸素濃度計 (記録計) 用NFBNo.C2を「切」にする。 (2) 床上酸素濃度記録計電源NFBの1次側をリフトし、補助電源AC100Vを接続する。	A-706 (#324) A-712 (#455)	○ ○	・2課で実施 ・4C電源盤点検 妨が、感電防 止の点検、端 子部を十分に テピングする。
注	(3) 補助電源現場分電盤内NFBNo.12 (床上、床下酸素濃度監視盤定検用仮設電源)を「入」にする。 (4) 床上酸素濃度監視盤内の補助電源AC100VNFBを「入」にする。	A-712 (#***) A-712 (#455)	○ ○	
4	操作後の床上O ₂ 濃度計 起動操作 (1) 変換器の電源スイッチを「入」にする。 (2) 切替スイッチを「MEAS」側にする。 (3) 酸素濃度表示器の表示が「UUUU」と「温度」のフリッカーになることを確認する。 (ジルコニアの温度 700～750℃で計測を開始する。) (4) 床上酸素濃度監視盤の (スタート) PBを押す。 (5) 床上酸素濃度監視盤の電磁弁開閉表示ランプが開表示 (R) になり、スタートすることを確認する。	R-601 (#559) R-601 (#559) R-601 (#559) A-712 (#455) A-712 (#455)	 ○ ○ ○	・炉内の温度 確認 ・停止期間が短 いと左記の表 示と異なる
注：床下酸素濃度検出器電源6S系仮設電源継込み操作がある場合は、電源「入」を合わせる。				

1 6 . 床 上 酸 素 濃 度 検 出 器 電 源 4 S ・ 4 C 系

仮 設 電 源 復 旧 操 作 (1 / 1)

(H 5 . 1 0 / 6 実 施)

順序	操 作 ・ 確 認 事 項	操 作 場 所	タ グ 管 理	備 考
1.	操作前のO ₂ 濃度計停止操作			
	(1) 切替スイッチを「MAINTENANCE」側にする。	R-601 (#575)		
	(2) 変換器の電源スイッチを「切」にする。	R-601 (#575)		
2	床上酸素濃度検出器 電源 4S系の仮設電源 復旧			
	(1) 補助電源分電盤(3)内NFBNa.408 (定検用仮設電源 R-601 床上O ₂ 計)を「切」にする。	A-707 (#326)	*	
	(2) 床上酸素濃度監視盤内の補助電源AC100VNFBを「切」にする。	R-601 (#455)	*	
	(3) 床上酸素濃度分析計電源NFBNの1次側から補助電源AC100Vを取り外し、1次側を復旧する。	R-601 (#455)		・ 2課で実施 ・ 端子部を十分にテビグする。
	(4) 原子炉建家分電盤内の酸素濃度分析装置用NFBNを「入」にする。	R-601 (#559)	*	
3	酸素モニター盤 (床上O ₂ 濃度記録計) 電源4C系の 仮設電源 復旧			
注	(1) 補助電源現場分電盤内NFBNa.12 (床上、床下酸素濃度監視盤定検用仮設電源)を「切」にする。	A-712 (****)	*	
	(2) 床上酸素濃度監視盤内の補助電源AC100VNFBを「切」にする。	A-712 (#455)	*	
	(3) 床上酸素濃度記録計電源NFBNの1次側から補助電源AC100Vを取り外し、1次側を復旧する。	A-712 (#455)		・ 2課で実施 ・ 端子部を十分にテビグする。
	(4) 4C電源盤内の酸素濃度計 (記録計) 用NFBNa.C2を「入」にする。	A-706 (#324)	*	
4	操作後の床上O ₂ 濃度計 起動操作			
	(1) 変換器の電源スイッチを「入」にする。	R-601 (#559)		
	(2) 切替スイッチを「MEAS」側にする。	R-601 (#559)		
	(3) 酸素濃度表示器の表示が[UUUU]と[温度]のフリッカーになることを確認する。 (ジルコニアの温度 700~750℃で計測を開始する。)	R-601 (#559)		・ ジルコニアの温度確認 ・ 停止期間が短いと左記の表示とならないこともある
	(4) 床上酸素濃度監視盤の (スタート) PBを押す。	A-712 (#455)		
	(5) 床上酸素濃度監視盤の電磁弁開閉表示ランプが開表示 (R) になり、スタートすることを確認する。	A-712 (#455)		
注 : 床下酸素濃度検出器電源6S系仮設電源復旧操作がある場合は、電源「切」を合わせる。				

1 7. オーバフロー・1次純化系操作電源 4 S系

仮設電源 継込み 操作 (1/1) (H5. 8/30 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) オーバフロー系電磁ポンプのCOSを「予熱」から「除外」にする。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Na純化系電磁ポンプのCOSを「予熱」から「除外」にする。	A-712 (#424)		
2	4 S系操作電源の仮設電源継ぎ込み操作			
	(1) 1次制御盤にて補助電源(4S) AC110VNF Bの「OFF」を確認する。	A-712 (#424)		
	(2) 1次制御盤にて4 S操作電源用NFBを「OFF」にする。	A-712 (#424)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・4S計装電源喪失 ・テーピング ・4S計装電源喪失 ・テーピング ・2課で実施
	(3) 1次制御盤にて4 S計器電源用NFBを「OFF」にする。	A-712 (#424)	○	
	(4) 1次制御盤にて補助電源(4S) AC110VNF Bの2次側と4 S操作電源用NFBの2次側を接続し、4 S操作電源用NFBの2次側と4 S計器電源用NFBの2次側を接続する。	A-712 (#424)		
	(5) 1次制御盤にて補助電源(4S) AC110VNF Bを「ON」にする。	A-712 (#424)	○	
3	操作後のプラント操作			
	(1) オーバフロー系電磁ポンプのCOSを「除外」から「予熱」にする。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Na純化系電磁ポンプのCOSを「除外」から「予熱」にする。	A-712 (#424)		

17. オーバフロー・1次純化系操作電源 4S系

仮設電源 復旧 操作 (1/1) (H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) オーバフロー系電磁ポンプのCOSを「予熱」から「除外」にする。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Na純化系電磁ポンプのCOSを「予熱」から「除外」にする。	A-712 (#424)		
2	4S操作電源の仮設電源復旧操作			
	(1) 1次制御盤にて補助電源(4S)AC110VNF Bを「OFF」にする。	A-712 (#424)	*	
	(2) 1次制御盤にて補助電源(4S)AC110VNF Bの2次側と4S操作電源用NFBの2次側の接続を取外し、4S操作電源用NFBの2次側と4S計器電源用NFBの2次側の接続を取外し、復旧する。	A-712 (#424)		・2課で実施
	(3) 1次制御盤にて4S操作電源用NFBを「ON」にする。	A-712 (#424)	*	
	(4) 1次制御盤にて4S計器電源用NFBを「ON」にする。	A-712 (#424)	*	
3	操作後のプラント操作			
	(1) オーバフロー系電磁ポンプのCOSを「除外」から「予熱」にする。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Na純化系電磁ポンプのCOSを「除外」から「予熱」にする。	A-712 (#424)		

1 8 . 床下酸素濃度検出器・電源 6 S 系

仮設電源 継込み 操作 (1/1) (H5. 8/27 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前の床下O ₂ 濃度計 停止操作			
	(1) 床下O ₂ 濃度計#1の切替スイッチを「MAINTENANCE」側にする。	R-501 (#519)		
	(2) 床下O ₂ 濃度計#1の変換器の電源スイッチを「切」にする。	R-501 (#519)		
	(3) 床下O ₂ 濃度計#2,#3についても、上記操作を実施する。	R-501 (#519)		
2	床下O ₂ 濃度計電源 6 S系仮設電源 継ぎ込み			
	(1) 6 S電源盤内の床下気密テスト・床下O ₂ 濃度計検出設備用NFBNo. C4を「切」にし、2次側をリフトする。	A-704 (#341)	○	
	(2) 床下O ₂ 濃度計検出設備電源NFBの1次側をリフトし、補助電源AC100Vを接続する。	A-712 (#455)		・2課で実施 ・6S電源盤点検 妨がれ、感電防 止の点検、端 子部を十分に テピングする。
注	(3) 補助電源現場分電盤内NFBNo. 12 (床上、床下酸素濃度監視盤定検用仮設電源)を「入」にする。	A-712 (#***)	○	
	(4) 床下O ₂ 濃度計検出設備盤内の補助電源用NFBを「入」にする。	A-712 (#455)	○	
3	操作後の床下O ₂ 濃度計 起動操作			
	(1) 床下O ₂ 濃度計#1の変換器の電源スイッチを「入」にする。	R-501 (#519)		
	(2) 床下O ₂ 濃度計#1の切替スイッチを「MEAS」側にする	R-501 (#519)		
	(3) 酸素濃度表示器の表示が[UUUU]と[温度]のフリッカ一になることを確認する。 (ジルコニアの温度 700~750℃で計測を開始する。)	R-501 (#519)		・ZrO ₂ の温度 確認 ・停止期間が短 いと左記の表 示と異なること もある
	(4) 床下O ₂ 濃度計#2,#3についても、上記操作を実施する。	R-501 (#519)		
	(5) 格内床下O ₂ 濃度盤面の STREAM SELECTER #1 の STREAM NUMBER「00」であることを確認する。	A-712 (#455)		
	(6) (START/RESET)PBを押す。	A-712 (#455)		
	(7) 表示器が「01」となり、スタートすることを確認する。	A-712 (#455)		
	(8) STREAM SELECTER #2,#3についても、(5)・(6)・(7)を実施する。	A-712 (#455)		
注：床上酸素濃度検出器電源4C系仮設電源継込み操作がある場合は、電源「入」を合わせる。				

1 8 . 床下酸素濃度検出器 電源 6 S 系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5.10/6 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前の床下O ₂ 濃度計 停止操作 (1) 床下O ₂ 濃度計#1の切替スイッチを「MAINTENANCE」側にする。 (2) 床下O ₂ 濃度計#1の変換器の電源スイッチを「切」にする。 (3) 床下O ₂ 濃度計#2,#3についても、上記操作を実施する。	R-501 (#519) R-501 (#519) R-501 (#519)		
2	床下O ₂ 濃度計電源 6 S系仮設電源 復旧			
注	(1) 補助電源現場分電盤内のNFBNo.12(床上、床下酸素濃度監視盤検用仮設電源)を「切」にする。 (2) 床下O ₂ 濃度計検出設備盤内の補助電源用NFBを「切」にする。 (3) 床下O ₂ 濃度計検出設備電源NFBの1次側から補助電源AC100Vを取り外し、1次側を復旧する。 (4) 6 S電源盤内の床下気密テスト・床下O ₂ 濃度計検出設備用NFBNo.C4を「入」にする。	A-712 (***) A-712 (#455) A-712 (#455) A-704 (#341)	* * *	・2課で実施 ・端子部を十分にテピングする
3	操作後の床下O ₂ 濃度計 起動操作 (1) 床下O ₂ 濃度計#1の変換器の電源スイッチを「入」にする。 (2) 床下O ₂ 濃度計#1の切替スイッチを「MEAS」側にする (3) 酸素濃度表示器の表示が「UUUU」と「温度」のフリッカーになることを確認する。 (ジルコニアの温度 700~750℃で計測を開始する。) (4) 床下O ₂ 濃度計#2,#3についても、上記操作を実施する。 (5) 格内床下O ₂ 濃度盤面のSTREAM SELECTER #1のSTREAM NUMBER「00」であることを確認する。 (6) (START/RESET)PBを押す。 (7) 表示器が「01」となり、スタートすることを確認する。 (8) STREAM SELECTER #2,#3についても、(5)・(6)・(7)を実施する。	R-501 (#519) R-501 (#519) R-501 (#519) R-501 (#519) A-712 (#455) A-712 (#455) A-712 (#455) A-712 (#455)		・シムエアの温度確認 ・停止期間が短いと左記の表示と異なることもある
注：床上酸素濃度検出器電源4C系仮設電源復旧操作がある場合は、電源「切」を合わせる。				

1 9 . 放射線監視盤電源 6 S 系

仮設電源 継ぎ込み 操作 (1/1) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作・確認 (1) 放射線監視盤を停止する。 ① バイパススイッチを「入」にする。 (EM一括バイパス、IM-3, モニター一括バイパス) ② Ar・N ₂ 廃ガス電磁弁を「切」にする。 ③ 高圧電源を「切」にする。 ④ 低圧電源を「切」にする。	A-712 (#412)		・放管課で実施
2	放射線監視盤電源 6 S系仮設電源 継ぎ込み (1) 補助電源用NFBが「OFF」であることを確認する。 (2) ケーブル室分電盤(6S)のNFBを「OFF」にする。 (3) 仮設電源用NFBが「OFF」であることを確認する。 (4) ケーブル室分電盤(6S)のNFBの2次側に仮設電源ケーブルを接続する。 (5) 補助電源用NFBを「ON」にする。 (6) 仮設電源用NFBを「ON」にする。	A-707 (#326-3) A-605 A-605 A-605 A-707 (#326-3) A-605	○ ○ ○	・2課で実施
3	操作後 プラント復旧 (1) 放射線監視盤を運転する。 ① 低圧電源を「接」にする。 ② 高圧電源を「接」にする。 ③ バイパススイッチを「切」にする。 (EM一括バイパス、IM-3, モニター一括バイパス) ④ Ar・N ₂ 廃ガス電磁弁を「入」にする。	A-712 (#412)		・放管課で実施

19. 放射線監視盤電源 6S系

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作・確認 (1) 放射線監視盤を停止する。 ① バイパススイッチを「入」にする。 (EM一括バイパス、IM-3, モニター一括バイパス) ② Ar・N: 廃ガス電磁弁を「切」にする。 ③ 高圧電源を「切」にする。 ④ 低圧電源を「切」にする。	A-712 (#412)		・放管課で実施
2	放射線監視盤電源 6S系仮設電源 取外し。 (1) 補助電源用NFBを「OFF」にする。 (2) ケーブル室分電盤(6S)のNFBが「OFF」であることを確認する。 (3) 仮設電源用NFBを「OFF」にする。 (4) ケーブル室分電盤(6S)のNFBの2次側に接続した仮設ケーブルを取り外す。 (5) ケーブル室分電盤(6S)のNFBを「ON」にする。	A-707 (#326-3) A-605 A-605 A-605 A-605	* * *	・2課で実施
3	操作後 プラント復旧 (1) 放射線監視盤を運転する。 ① 低圧電源を「接」にする。 ② 高圧電源を「接」にする。 ③ バイパススイッチを「切」にする。 (EM一括バイパス、IM-3, モニター一括バイパス) ④ Ar・N: 廃ガス電磁弁を「入」にする。	A-712 (#412)		・放管課で実施

20. プロセス計装 24V電源 4S系

仮設電源 継込み 操作 (1/2) (H5. 8/30 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前 プラント確認</p> <p>(1) 呼吸ガスヘッダー、安全容器及びリークジャケットの圧力制御系が給気または、排気状態でないことを確認する。</p> <p>(2) 以下のCOSを「自動」から「全閉」にする。</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36. 1-20</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36. 1-22</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36. 1-44</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36. 1-46</p> <p>安全容器給気圧力調整弁V83-6</p> <p>安全容器排気圧力調整弁V83-11</p> <p>リークジャケット給気圧力調整弁V71-27</p> <p>リークジャケット給気圧力調整弁V71-29</p> <p>リークジャケット排気圧力調整弁V71-32</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>		
2	<p>プロセス計装DC24V電源4S系 仮設電源 継込み</p> <p>(1) プロセス計装DC24V電源盤の補助電源 AC 100VNFBが「OFF」であることを確認する。</p> <p>(2) プロセス計装DC24V電源盤の4S系プロセス計装DC24V電源用 NFBを「OFF」にする。</p> <p>(3) プロセス計装DC24V電源盤の4S系プロセス計装DC24V電源用 NFBの2次側に、プロセス計装24V電源盤の補助電源 AC100Vを接続する。</p> <p>(4) プロセス計装DC24V電源盤の補助電源 AC 100VNFBを「ON」にする。</p>	<p>A-712 (#418)</p> <p>A-712 (#418)</p> <p>A-712 (#418)</p> <p>A-712 (#418)</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>・2課で実施</p>

20. プロセス計装 24V電源 4S系

仮設電源 復旧 操作 (1/2)

(H5.9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前 プラント確認</p> <p>(1) 呼吸ガスヘッダー、安全容器及びリークジャケットの圧力制御系が給気または、排気状態でないことを確認する。</p> <p>(2) 以下のCOSを「自動」から「全閉」にする。</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-20</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-22</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-44</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-46</p> <p>安全容器給気圧力調整弁V83-6</p> <p>安全容器排気圧力調整弁V83-11</p> <p>リークジャケット給気圧力調整弁V71-27</p> <p>リークジャケット給気圧力調整弁V71-29</p> <p>リークジャケット排気圧力調整弁V71-32</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>		
2	<p>プロセス計装24V電源 4S系 仮設電源 取外し</p> <p>(1) プロセス計装DC24V電源盤の補助電源 AC 100VNFBを「OFF」にする。</p> <p>(2) プロセス計装DC24V電源盤の4S系プロセス計装DC24V電源用 NFBの2次側仮設電源ケーブルを取り外す。</p> <p>(3) プロセス計装DC24V電源盤の4S系プロセス計装DC24V電源用 NFBを「ON」にする。</p>	<p>A-712 (#418)</p> <p>A-712 (#418)</p> <p>A-712 (#418)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・2課で実施</p>

20. プロセス計装 24V電源 4S系

仮設電源 復旧 操作 (2/2)

(H5. 9/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	<p>操作後 プラント操作</p> <p>(1) 以下のCOSを「全閉」から「自動」にする。</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36. 1-22</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36. 1-20</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36. 1-46</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36. 1-44</p> <p>安全容器給気圧力調整弁V83-6</p> <p>安全容器排気圧力調整弁V83-11</p> <p>リークジャケット給気圧力調整弁V71-29</p> <p>リークジャケット給気圧力調整弁V71-27</p> <p>リークジャケット排気圧力調整弁V71-32</p> <p>(2) 呼吸ガスヘッダー、安全容器及びリークジャケットの圧力制御系が正常に作動していることを確認する。</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>		

2 1 . 原子炉付属建 2 B - 1 C / C

仮設電源 継込み 操作 (1/1) (H5. 8/25 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作			
	(1) 予熱N ₂ ガスプロア潤滑油ポンプ (B) を停止する。	A-504 (#205)		
2	2B-1 C/C 仮設電源 継込み			
	(1) 空気圧縮機予備用NFBの「OFF」を確認する。	A-405 (#151)		
	(2) 原子炉付属建家2B-1 C/C盤の以下のNFBを「OFF」にする。	A-506 (#231)	○○	
	(a) 2C B予熱N ₂ ガスプロア潤滑油ポンプ			
	(b) 2E B予熱N ₂ ガスプロア軸封プロア			
	(3) 空気圧縮機予備用NFB 2次側と	A-405 (#151)		・2課で実施
	・2C B予熱N ₂ ガスプロア潤滑油ポンプ NFB	A-506 (#231)		
	・2E B予熱N ₂ ガスプロア軸封プロア NFB			
	2次側に仮設ケーブルを接続する。			
	(4) 空気圧縮機予備用NFBを「ON」にする。	A-405 (#151)	○	
	(5) 仮設電源盤の以下のNFBを「ON」にする。	A-506 (#231)		
	(a) 2C B予熱N ₂ ガスプロア潤滑油ポンプ			
	(b) 2E B予熱N ₂ ガスプロア軸封プロア			
3	(1) 予熱N ₂ ガスプロア潤滑油ポンプ (B) を起動する。	A-504 (#205)		

2 1 . 原子炉付属建 2 B - 1 C / C

仮設電源 復旧 操作 (1/1)

(H5. 11/12 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作 (1) 予熱N ₂ ガスブロア潤滑油ポンプ (B) を停止する。	A-504 (#205)		
2	2 B - 1 C / C 仮設電源 復旧 (1) 仮設電源盤の以下のNFBを「OFF」にする。 (a) 2 C B予熱N ₂ ガスブロア潤滑油ポンプ (b) 2 E B予熱N ₂ ガスブロア軸封ブロア (2) 空気圧縮機予備用NFBを「OFF」にする。 (3) 空気圧縮機予備用NFB 2次側と ・ 2 C B予熱N ₂ ガスブロア潤滑油ポンプ NFB ・ 2 E B予熱N ₂ ガスブロア軸封ブロア NFB 2次側の仮設ケーブルを取り外す。 (4) 原子炉付属建家2 B - 1 C / C盤の以下のNFBを「ON」にする。 (a) 2 C B予熱N ₂ ガスブロア潤滑油ポンプ (b) 2 E B予熱N ₂ ガスブロア軸封ブロア	A-506 (#231) A-405 (#151) A-506 (#231) A-506 (#231)	* **	・ 2 課で実施
3	(1) 予熱N ₂ ガスブロア潤滑油ポンプ (B) を起動する。	A-504 (#205)		

添付資料 - 3

格納容器雰囲氣監視装置

停止・復旧要領書

格納容器雰囲気監視装置 停止・復旧要領書

(原子炉建家 2S-C/C)

手 順	操 作 内 容	操作場所	備 考
1	<u>停止操作</u>		
(1)	ハロゲン計のプロセッサ内の検出器電源スイッチを「切」にする。(T.C.D)	R-501	
(2)	ハロゲン計のプロセッサ内のプロセッサ電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(3)	酸素分析計内の計器電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(4)	湿分計パネル前面の計器電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(5)	P-1ポンプ用スナップスイッチを「切」にする。	R-501	(盤内)
(6)	雰囲気監視盤内の装置主電源NFBを「切」にする。	R-501	
2	<u>復旧操作</u> (2課作業終了後)		
(1)	P-1ポンプ用スナップスイッチを「入」にする。	R-501	(盤内)
(2)	雰囲気監視盤内の装置主電源NFBを「入」にする。	R-501	サンプリングポンプ2台起動
(3)	湿分計パネル前面の計器電源スイッチを「入」にする。 (湿分計自動計測)	R-501	
(4)	酸素分析計内の計器電源スイッチを「入」にする。 (酸素濃度自動計測)	R-501	計測安定まで時間がかかる。
(5)	ハロゲン計のプロセッサ内のプロセッサ電源スイッチを「入」にする。	R-501	
(6)	検出器の恒温槽の温度が66℃で安定したら、ハロゲン計のプロセッサ内の検出器電源スイッチを「入」にする。	R-501	温度安定までに4hr位かかる。

添付資料 - 4

F F D - C G 法 停止・起動要領書

(1) 装置の停止

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
1.	1次系ガスクロ連続計測の停止			
	(1) プロセッサパネル面の6を押し時間を表示させる。	中 制 (453)	DISPLAYのDATA部に時間が表示される。	
	(2) OPERATIONスイッチを引き上げる。	中 制 (453)		
	(3) 時間表示が890.1 ~ 899.9 (秒)の間にMODEスイッチのMAINT ボタンを押す。	中 制 (453)	AUTOランプ消灯 MAINT ランプ点灯 STATUSランプ全て消灯	各バルブを「閉」状態で停止させるため1回の分析周期終了間際(15分=900秒)にMODEを変更する。
	(4) OPERATION スイッチを引き下げLOCK位置とする。	中 制 (453)		
2.	サンプルガス流通停止			
	(1) V36.1-80を「閉」とする。	中 制 (453)	Ⓒランプ点灯	
	(2) V36.1-81を「閉」とする。	中 制 (453)	Ⓒランプ点灯	
3.	ガスクロ停止			
	(1) プロセッサパネル内のTCD CURRENT とPWR スイッチを「OFF」とする。	中 制 (453)	CURRENT 指示 0 mAとなる。	
	(2) レコーダ電源SUPPLY及びRECORD スイッチを「OFF」とする。	中 制 (453)		
4.	キャリアガス流通停止			
	(1) V36.1-85を「閉」とする。	R-501		
	(2) V36.1-84を「閉」とする。	中 制 (453)	Ⓒランプ点灯	
	(3) プロセッサラック裏側のNFB-1, NFB-2 を「OFF」とする。	中 制 (453)	プロセッサパネル内 HTRランプ消灯	
5.	FFD-CG法を停止する。			
	(1) プレシピテータコンソールMAIN POWER SWを「OFF」にする。	R-601 (566)	プレシピテータコンソール「MAIN POWER」ランプ消灯	
	(2) CP46-1コンプレッサCOSを「手動」にする。	R-601 (564)	コンプレッサの停止	

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
	(3) パージガス流調弁V46-10を「全閉」とする。	R-501 (バルブ スタンド)		
	(4) 下記の弁を「直接」「閉」とする			
	① カバーガス入口弁 V46-1	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	
	② カバーガス出口弁 V46-6	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	
	③ カバーガス出口弁 V46-5, 15 (「手動」「閉」とする。)	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	
	(5) (4)のバルブを「遠方」とする。 V46-5, 15については「自動」にする。	R-601 (564)		
	(6) カバーガス流調弁V46-2 を開度表示で0%にする。	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	
	(7) B46-2 プロアCSを「停止」にする。	R-601 (564)	㊟ランプ点灯	

(2) 装置の起動操作

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
1.	V46-5 COS 「直接・手動」確認。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	1次Arガス系と接続される。
2.	V46-5 CSを「開」にする。	R-601 (564)		
3.	V46-5 COS を「自動」にする。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	
4.	V46-15 COS「直接・手動」確認。	R-601 (564)		
5.	V46-15 CS を「開」にする。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	
6.	V46-15 COSを「自動」にする。	R-601 (564)		
7.	V46-6 COS 「直接」確認。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯 FPRA46-1打点No.10の 「カバーガス圧力」で 0.01Kg/cm ²	
8.	V46-6 CSを「全開」にする。	R-601 (564)		
9.	V46-1 COS 「直接」確認。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	
10.	V46-1 CSを「全開」にする。	R-601 (564)		
11.	V46-8 を「全開」にする。	R-501 (バルブ スタンド)	Ⓡランプ点灯, 確認は 564盤	
12.	B46-2 プロアCSを「起動」にする。	R-601 (564)	Ⓡランプ点灯	
13.	CP46-1コンプレッサCOS「手動」を確認する。	R-601 (564)		
14.	CP46-1コンプレッサCSを「起動」にする。	R-601 (564)		
15.	CP46-1コンプレッサCOS を「自動」にする。	R-601 (564)		
16.	V46-14 COS「手動」確認	R-601 (564)		
17.	V46-14 COSを「自動」にする。	R-601 (564)		
18.	V46-2 の開度をCSで調整する。	R-601 (564)	FPR46-2 ch1 「カバー ガス流量」が120 ~130 ℓ/min を示すこと。	

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考	
19.	V46-10の開度を調整する。	R-501 (バルブ スタンド)	FE46-3パーシガス流量 が0.10ℓ/min あるこ と。	通常 0.5kg/cm ² 本操作によ り中制 (429) のPB で開, 閉が できる。	
20.	V46-2 の開度をCSで調整する。	R-601 (564) R-409	FPR46-2 ch2 「サンプ ルガス流量」が350mℓ /min あること。 PI46-11 「コンプレッ サ吐出圧」が0.8kg/cm ² 以下であること。		
21.	下記弁COS を「遠方」にする。 (1) 「V46- 1」 (2) 「V46-15」 (3) 「V46- 5」 (4) 「V46- 6」	R-601 (564)			
22.	最終的な運転状態確認		弁状態表「起動」によ る。		
23.	プレシピテータコンソール MAIN POWER SW を「ON」にする。	R-601 (566)	MAIN POWER SW ④ラン プ点灯 8個のANN点灯		
24.	プレシピテータコンソール RESET SWを「ON」にする。	R-601 (566)	ANN消灯		
25.	プレシピテータ電圧及び設定値を確認 する。	R-601 (566)	プレシピテータ高圧 500V設定フォトマル高 圧1.5kV 設定 ソークタイム600sec設 定		
26.	プレシピテータコンソール PUSH STARTを「ON」にする。 (1次系ガスクロの運転)	R-601 (566)	プレシピテータがカウ ントを開始する。		
27.	キャリアガス流通 (1) プロセッサラック裏側のNFB-1 及 びNFB-2 を「ON」にする。 (2) V36.1-84を「開」とする。	中 制 (453) 中 制 (453)	プロセッサパネル内 HTR ランプ点灯 ④ランプ点灯		
					* NFB-2 が 弁の電源と なっている

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
28.	(3) V36.1-85を徐々に「開」とする。	R-501		ガスクロへ急激に圧力がかからないようゆっくり「開」にする。
	(4) ガスクロアナライザにて圧力と流量を確認する。	R-409	圧力：3.4 kg/cm ² 流量：2.5 ゲージ目盛	
	ガスクロ起動			
	(1) ガスクロアナライザの恒温槽温度を確認する。	R-409	温度指示：66℃	
	(2) プロセッサパネルを開けPWR と DET CURRENT スイッチを「ON」とする。	中 制 (453)	140mAを指示すること。 3時間以上放置する。	ベースラインが安定するまで待つ。
	(3) ベースラインの安定を確認する。			
	① クロマト用ペン(カートリッジ式)を取り付ける。	中 制 (453)		レコーダ内に置いてある。
	② 記録計のSUPPLY及びRECORDスイッチを「ON」とする。	中 制 (453)		
	③ チャートスピードを変更する。 上段スイッチ：mm/h→mm/min 下段スイッチ：25 → 12.5	中 制 (453)	チャートスピードが早くなること。	
	④ プロセッサのRECORDERスイッチをBAR からCHROMAT へ引き上げる レコーダ内右側上部のレバーを下に降ろす。	中 制 (453)	ベースラインを書き始めるのでドリフトしていないことを確認する。 (蛇行していない事)	安定確認 約10分間
⑤ 記録計のRECORDスイッチを「OFF」とする。	中 制 (453)			
⑥ クロマト用ペン(カートリッジ式)を取り外す。	中 制 (453)		レコーダ内に置く。	
⑦ 記録計のRECORDERスイッチを「ON」とする。	中 制 (453)			
⑧ プロセッサのRECORDERスイッチをCHROMATからBARへ引き下ろす レコーダ内右側上部のレバーを上げる。	中 制 (453)	1ペンレコーダから打点方式となること。		

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
	⑨ チャートスピードを変更する。 上段スイッチ:mm/min →mm/h 下段スイッチ:12.5 →25	中 制 (453)	チャートスピードが遅くなること。	
29.	サンプルガス流通			
	(1) V36.1-80を「開」とする。	中 制 (453)	Ⓡランプ点灯	
	(2) V36.1-81を「開」とする。	中 制 (453)	Ⓡランプ点灯	
30.	連続計測開始			
	(1) OPERATION スイッチを引き上げる。	中 制 (453)		各キー操作が可能となる。
	(2) MODEスイッチの AUTO ボタンを押す。	中 制 (453)	AUTOランプ点灯	計測開始
	(3) OPERATION スイッチを引き下げLOCK位置とする。	中 制 (453)		
31.	サンプルガス流量調整			流量が規程値よりずれている場合のみ実施
	(1) アナライザ盤前面扉を六角レンチを用い、開とする。	R-409		
	(2) サンプル出口流調弁NV-5を約1/2開とする。	R-409		
	(3) サンプル入口弁NV-1及びサンプルバイパス弁NV-2を約1/2開としサンプル流量50cc/min, サンプルバイパス流量500cc/min に調整する。	R-409	サンプル流量50cc/minで安定していること。 サンプルバイパス流量500cc/minで安定していること。	
	(4) アナライザ盤前面扉を六角レンチを用い、閉とする。	R-409		

添付資料 - 5

N₂ 気化器温度監視記録

ボイラー停止に伴うN₂気化器の温度監視

(2B, 3B-P/C点検)

電源盤点検に伴い、ボイラー停止及びN₂気化器への蒸気供給が停止となる。

N₂気化器への蒸気供給停止中は、気化器温度を監視し、添付のデータシートに気化器温度を記入する。

温度監視中、気化器温度が15℃以下まで低下した場合は、N₂気化器給・排水弁(V74-W1, W2)を「開」とし、気化器に通水を行ない凍結を防止する。

添付資料 - 6

オーバフロー系・1次純化系

電磁ポンプダクト温度監視記録

3 S - P / C 停電時の電磁ポンプダクト温度監視記録

平成5年9月13日(1/2)

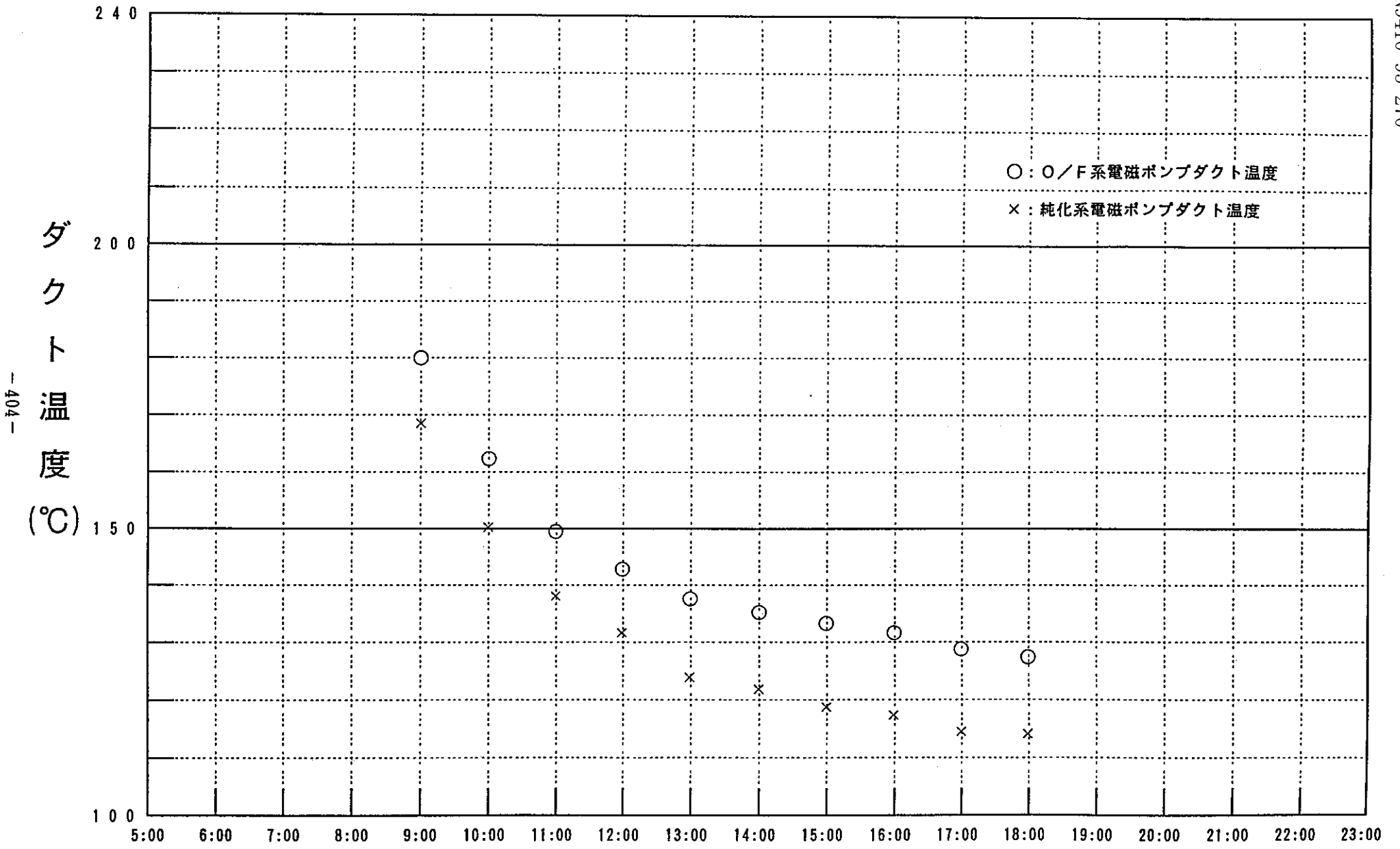
時刻		温度(°C)									
		7:00	7:47	9:07	10:00	11:06	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
O/F電磁ポンプ	EMPダクト温度 TR33-4(5)	254.3	256.7	180.1	161.9	148.8	143.6	138.6	135.7	133.3	131.1
	予熱ヒータ H33-7	260	260	260	260	260	265	250	260	265	260
	- 8	240	240	245	245	245	245	245	245	245	245
	- 9	255	255	255	255	255	255	255	255	255	255
	- 14	250	250	255	255	255	260	260	260	260	250
	- 28	240	240	200	195	180	175	175	170	170	165
	- 29	240	240	170	160	150	145	140	140	135	135
純化系電磁ポンプ	EMPダクト温度 TR33-4(1)	252.9	251.7	168.4	150.3	136.4	130.7	125.5	123.2	119.4	116.5
	予熱ヒータ H34.1-2	240	240	230	230	230	235	235	235	235	235
	- 4	240	240	250	255	270	255	265	250	245	260
	- 5	250	250	240	245	260	270	280	280	240	240
	- 6	200	200	200	200	195	190	195	195	195	190
	- 61	240	240	225	225	215	215	210	205	200	195
	- 62	240	240	170	160	150	140	140	135	130	125

3 S - P / C 停電時の電磁ポンプダクト温度監視記録

平成5年9月13日 (2/2)

時刻		17:00	18:00	18:45	20:00						
温度(°C)											
O / F 電磁ポンプ	EMPダクト温度 TR33-4(5)	129.3	128.0	127.5	165.8						
	予熱ヒータ H33-7	240	240	—	—						
	-8	240	240	—	—						
	-9	240	240	—	—						
	-14	240	240	—	—						
	-28	240	240	—	—						
	-29	240	240	—	—						
純化系 電磁ポンプ	EMPダクト温度 TR33-4(11)	113.5	113.4	113.7	181.4						
	予熱ヒータ H34.1-2	240	240	—	—						
	-4	260	250	—	—						
	-5	260	265	—	—						
	-6	190	190	—	—						
	-61	195	195	—	—						
	-62	125	120	—	—						

電磁ポンプダクト温度変化



添付資料 - 7

2次系ドレン配管温度記録

2次系ドレン配管温度監視記録(2HD-P/C)

平成5年 9月14日

	8:50	9:55	11:10	11:45	13:00	14:00	16:25	:	:	:	:	:	:	:
SC・II-70	52	52	51	50	49	45	—							
SC・II-71	63	63	64	64	65	67	—							
SC・II-76	25	25	25	26	26	26	—							
SC・II-80	181	148	101	88	67	83	188							
SC・II-81	215	170	120	107	154	186	210							
SC・II-83	187	155	111	97	73	117	191							
SC・II-84	222	175	126	110	173	220	195							
SC・II-85	176	163	119	104	177	218	179							
SC・II-86	221	175	129	113	151	191	175							
SC・II-89	179	146	96	81	62	86	191							
SC・II-90	163	137	105	95	77	86	130							

添付資料 - 8

1 次系 A r ガス配管, 1 次系ドレン配管

温度監視記録

1次Ar配管温度監視記録 (1HD-P/C)

平成5年 9月14日 (1/1)

○：初期状態「切」

		16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H36.1-	1	—	—	—											
	2	—	—	—											
	3	—	—	—											
	4	—	—	—											
	5	—	—	—											
	6	—	—	—											
	7	—	—	—											
	8	60	95	125											
	9	—	—	—											
	10	—	—	—											
	11	—	—	—											
○	12	50	—	—											
○	13	60	—	—											
○	14	50	—	—											
○	15	50	—	—											
○	16	20	—	—											
	17	—	—	—											
	18	—	—	—											

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HD-P/C)

平成5年 9月14日 (1/8)

	16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-	1	100	100	145										
	2	95	105	165										
	3	—	—	—										
	4	—	—	—										
	5	—	—	—										
	6	—	—	—										
	7	—	—	—										
	8	—	—	—										
	9	—	—	—										
	10	95	85	130										
	11	100	100	145										
	12	—	—	—										
	13	100	105	155										
	14	—	—	—										
	15	—	—	—										
	16	—	—	—										
	17	—	—	—										
	18	—	—	—										

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HD-P/C)

平成5年 9月14日 (2/8)

	16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-19	—	—	—												
20	—	—	—												
21	—	—	—												
22	—	—	—												
23	—	—	—												
24	—	—	—												
25	80	105	145												
26	—	—	—												
27	90	115	180												
36	100	130	160												
37	—	—	—												
○ 38	30	—	—												
○ 39	25	—	—												
40	—	—	—												
41	85	110	160												
42	—	—	—												
43	85	80	140												
44	90	90	130												

PNC TN9410 95-270

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HD-P/C)

平成5年 9月14日 (3/8)

	16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-45	—	—	—											
46	—	—	—											
47	—	—	—											
48	—	—	—											
49	—	—	—											
50	—	—	—											
51	—	—	—											
52	—	—	—											
53	—	—	—											
54	—	—	—											
55	—	—	—											
56	—	—	—											
57	—	—	—											
58	—	—	—											
59	—	—	—											
60	—	—	—											
61	—	—	—											
62	—	—	—											

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HD-P/C)

平成5年 9月14日 (4/8)

	16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-63	—	—	—												
64	—	—	—												
65	—	—	—												
66	—	—	—												
67	—	—	—												
68	—	—	—												
69	—	—	—												
70	—	—	—												
71	—	—	—												
72	—	—	—												
73	—	—	—												
74	—	—	—												
75	—	—	—												
76	—	—	—												
77	—	—	—												
78	—	—	—												
79	—	—	—												
80	—	—	—												

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HD-P/C)

平成5年 9月14日 (5/8)

PNC TN9410 95-270

	16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-81	—	—	—												
82	—	—	—												
83	—	—	—												
84	—	—	—												
85	—	—	—												
86	—	—	—												
87	—	—	—												
88	—	—	—												
89	—	—	—												
90	—	—	—												
91	—	—	—												
92	—	—	—												
93	—	—	—												
94	—	—	—												
95	—	—	—												
96	—	—	—												
97	—	—	—												
98	—	—	—												

1次系ドレン配管温度監視記録 (IHD-P/C)

平成5年 9月14日 (6/8)

	16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-99	80	105	145											
100	—	—	—											
101	95	90	165											
102	65	70	150											
103	25	—	—											
104	20	—	—											
105	40	—	—											
106	70	70	180											
107	90	90	130											
108	95	95	150											
109	—	—	—											
110	95	130	165											
111	—	—	—											
112	—	—	—											
113	80	110	150											
114	—	—	—											
115	90	90	140											
116	—	—	—											

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HD-P/C)

平成5年 9月14日 (7/8)

	16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-117	—	—	—												
118	—	—	—												
119	—	—	—												
120	—	—	—												
121	—	—	—												
122	—	—	—												
123	—	—	—												
124	—	—	—												
125	—	—	—												
126	—	—	—												
127	—	—	—												
128	—	—	—												
129	—	—	—												
130	—	—	—												
131	—	—	—												
132	—	—	—												
133	—	—	—												
134	—	—	—												

1次系ドレン配管温度監視記録 (IHD-P/C)

平成5年 9月14日 (8/8)

	16:45	18:55	20:00	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-135	—	—	—											
136	—	—	—											
137	—	—	—											
138	—	—	—											
139	—	—	—											
140	—	—	—											
141	—	—	—											
142	—	—	—											
143	—	—	—											
144	—	—	—											
145	—	—	—											
146	—	—	—											